

令和8年度

市民意識調査報告書



令和8年6月

伊勢崎市

目次

| | | |
|-----------|------------------------------|-----------|
| I | 調査の概要 | 3 |
| II | 調査の結果 | 7 |
| 1 | 回答者の属性 | 8 |
| (1) | 性別 | 8 |
| (2) | 年齢 | 10 |
| (3) | 同居の家族等 | 12 |
| (4) | 家族等の年齢について | 15 |
| (5) | 居住形態 | 17 |
| (6) | 職業 | 19 |
| 2 | 定住意向 | 21 |
| (7) | 居住地区 | 21 |
| (8) | 地区の住みやすさ | 23 |
| (9) | 住みやすいと思う点 | 25 |
| (10) | 住みにくいと思う点 | 29 |
| (11) | 前住地（現在の住まいの直前に住んでいた場所） | 33 |
| (12) | 伊勢崎市を住まいとして選んだ理由 | 35 |
| (13) | 伊勢崎市への愛着 | 39 |
| (14) | 今後の居住地 | 41 |
| (15) | 希望する居住地 | 43 |
| (16) | 転居先として『伊勢崎市以外（計）』を選んだ理由 | 45 |
| 3 | 現在と将来の伊勢崎市について | 49 |
| (17) | 現在の伊勢崎市のイメージ | 49 |
| (18) | 将来なっしてほしい伊勢崎市のイメージ | 54 |
| (19) | 「現在の伊勢崎市」と「将来なっしてほしい伊勢崎市」の比較 | 59 |
| 4 | 市の取組について | 64 |
| (20) | 市の取組への満足度 | 64 |
| (21) | 市の取組の重要度 | 70 |
| (22) | 市の取組に対する満足度と重要度の比較 | 76 |

| | |
|--|------------|
| (23) 「少子高齢化対策」に関する取組への満足度及び重要度 | 82 |
| (24) 「産業の活性化」に関する取組への満足度及び重要度 | 89 |
| (25) 「暮らしの安心実現」に関する取組への満足度及び重要度 | 96 |
| (26) 「共生社会の実現」に関する取組への満足度及び重要度 | 103 |
| (27) 「DX の推進」に関する取組への満足度及び重要度 | 110 |
| (28) 「SDGs の推進（いせさきGXの推進）」に関する取組への満足度及び重要度 | 117 |
| (29) 「互いに認め合う多文化共生」への満足度 | 124 |
| (30) 「人権を尊重するまちづくり」への満足度 | 126 |
| (31) 伊勢崎市はDXが進んでいると思うか | 128 |
| (32) 伊勢崎市が「SDGs 未来都市」であることの認知度 | 130 |
| (33) 「いせさきGX」の認知度 | 130 |
| (34) 今後、市に実施して欲しい取組 | 134 |
| 5 自由記述（まちづくりや市民サービスに対する意見・要望・提案等） | 138 |
| Ⅲ 参考資料（調査票） | 139 |

I 調査の概要

1 調査の目的

市民意識の動向と現在の市民の多様なニーズを統計的に把握し、その結果を第3次伊勢崎市総合計画前期アクションプラン（以下、前期アクションプランという。）の進行管理や今後の市政運営の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の方法

- | | |
|-------------|---|
| (1) 調査地域 | 市内全域 |
| (2) 調査対象者 | 市内に在住する満18歳以上の人 |
| (3) サンプル数 | 2,000人 |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳から無作為抽出 |
| (5) 実施方法 | 調査票を郵送し、回答を返信用封筒にて返送 又は専用ページからインターネットで回答 |
| (6) 調査期間 | 令和8年3月1日（日）～3月16日（月） |
| (7) 回答者への謝礼 | I S E C Aポイント 500ポイント（希望者の中から抽選で300名） |

3 調査項目

- (1) 現在と将来の伊勢崎市について
現在の伊勢崎市のイメージ及び将来の伊勢崎市がどのような市になって欲しいかについて調査するもの。
- (2) 市の取組について
前期アクションプランの重点プロジェクトを中心として、5つのプロジェクト及びSDGsの推進に関する取組について、市民の満足度や重要度について調査するもの。年度末に調査を行うことで、事業実施の効果を図る。
- (3) 定住意向について
住んでいる地区の住みやすさ及び今後の定住意向について、前期アクションプランの地区別計画における伊勢崎、赤堀、東、境の4つの地区ごとに調査するもの。
- (4) 回答者の属性について
回答者の性別、年齢、家族構成、職業等を調査するもの

4 報告書の留意点

- (1) 基礎となるべき実数は、有効回答数とした。
- (2) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、すべてパーセント（%）で表した。そのためパーセントの合計が100%にならないことがある。
- (3) 複数回答が可能な質問では、比率算出の基礎数は有効回答者数とし、その項目を選んだ人が有効回答者数からみて何%なのかという見方をした。そのため、各項目の比率の合計は通常100%を超える。
- (4) 本報告書の回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合がある。
- (5) 質問において、記入のなかった回答については、全て「無回答」として扱った。
- (6) 属性別のクロス集計において、回答数が極端に少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため集計を掲載していない場合がある。
- (7) 地区別での集計は、「伊勢崎地区」、「赤堀地区」、「東地区」、「境地区」の4地区を単位とした。

5 市内各地区の人口及び回収の状況

(1) 各地区の人口

(令和8年3月1日現在)

| | 男性 (人) | 女性 (人) | 計 (人) | 割合 |
|-------|-----------|-----------|----------|--------|
| 伊勢崎地区 | 59,143 | 59,287 | 118,430 | 61.1% |
| 赤堀地区 | 11,658 | 11,441 | 23,099 | 11.9% |
| 東地区 | 13,051 | 12,894 | 25,945 | 13.4% |
| 境地区 | 13,350 | 13,145 | 26,495 | 13.7% |
| 合計 | 97,202 | 96,767 | 193,969 | 100.0% |

※外国人を除く

(2) 回収の状況

| 配布数 (人)…A | 回収数 (人)…B | 回収率 (%) B/A*100 | 無効回答数 (人)…C | 有効回答数 (人)…D | 有効回答率 (%) D/A*100 |
|--------------|--------------|-----------------------|----------------|----------------|-------------------------|
| 2,000 | 499 | 25.0 | 0 | 499 | 25.0 |

・性別

| | 有効回答数 (人) | 割合 | 配布数 (人) | 有効回収率 |
|-----|--------------|--------|------------|-------|
| 男性 | 198 | 39.7% | 1,024 | 19.3% |
| 女性 | 297 | 59.5% | 976 | 30.4% |
| その他 | 3 | 0.6% | - | - |
| 無回答 | 1 | 0.2% | - | - |
| 合計 | 499 | 100.0% | 2,000 | 25.0% |

・年代別

| | 有効回答数 (人) | 割合 (%) | 配布数 (人) | 有効回収率 (%) |
|--------|--------------|-----------|------------|--------------|
| 18～29歳 | 31 | 6.2% | 310 | 10.0% |
| 30歳代 | 70 | 14.0% | 282 | 24.8% |
| 40歳代 | 73 | 14.6% | 359 | 20.3% |
| 50歳代 | 100 | 20.0% | 402 | 24.9% |
| 60歳代 | 106 | 21.2% | 298 | 35.6% |
| 70歳以上 | 118 | 23.6% | 349 | 33.8% |
| 無回答 | 1 | 0.2% | - | - |
| 合計 | 499 | 100.0% | 2,000 | 25.0% |

・地区別

| | 有効回答数 (人) | 割合 | 配布数 (人) | 有効回収率 |
|-------|--------------|-------|------------|-------|
| 伊勢崎地区 | 338 | 67.7% | 1,222 | 27.7% |
| 赤堀地区 | 47 | 9.4% | 237 | 19.8% |
| 東地区 | 55 | 11.0% | 269 | 20.4% |
| 境地区 | 59 | 11.8% | 272 | 21.7% |
| 無回答 | 0 | 0.0% | - | - |
| 合計 | 499 | 100.0 | 2,000 | 25.0% |

Ⅱ 調査の結果

1 回答者の属性

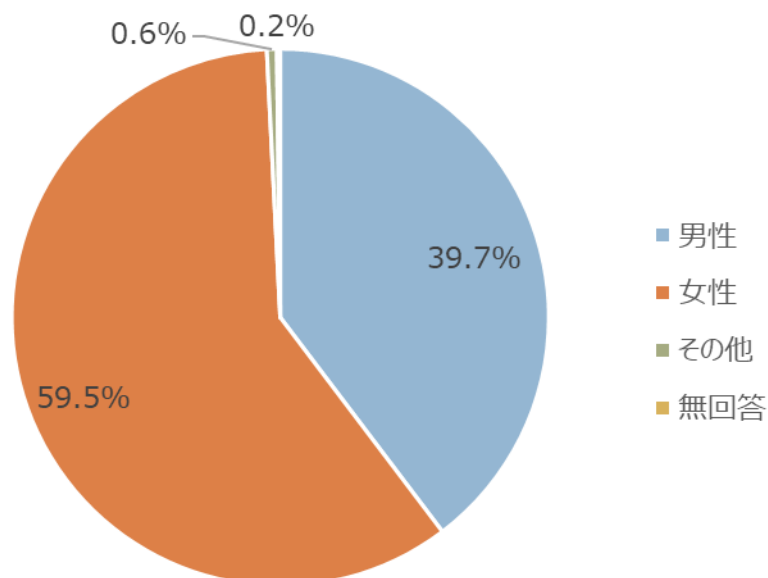
(1) 性別

性別については、「男性」が 198 人(39.7%)、「女性」が 297 人(59.5%)、「その他」が 3 人 (0.6%)、「無回答」が 1 人(0.2%)となった。

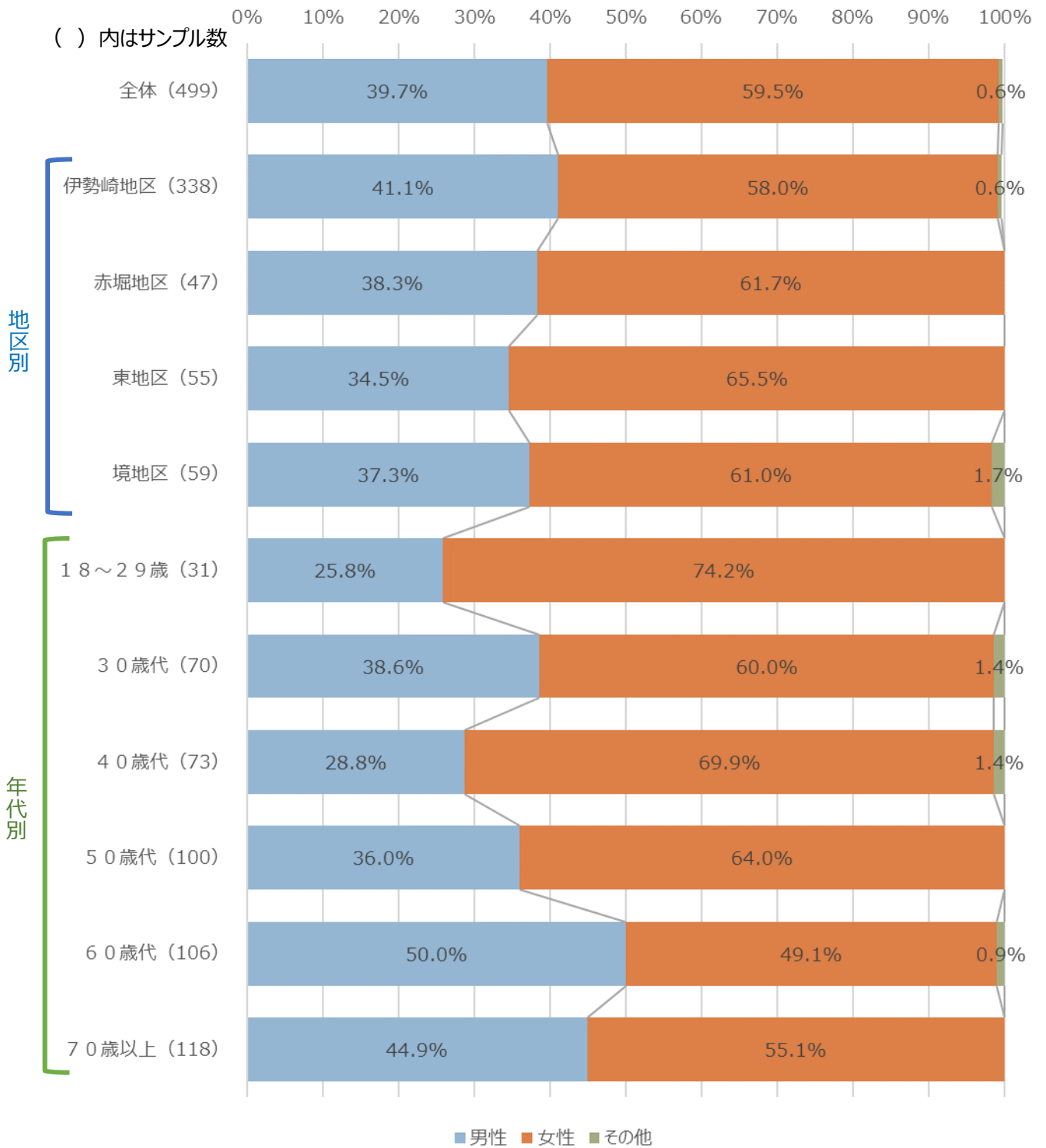
回答者の性別

| | 回答数 | 割合 |
|-----|-----|--------|
| 男性 | 198 | 39.7% |
| 女性 | 297 | 59.5% |
| その他 | 3 | 0.6% |
| 無回答 | 1 | 0.2% |
| 合計 | 499 | 100.0% |

回答者の性別（割合）



回答者の性別（割合）【地区別・年代別】



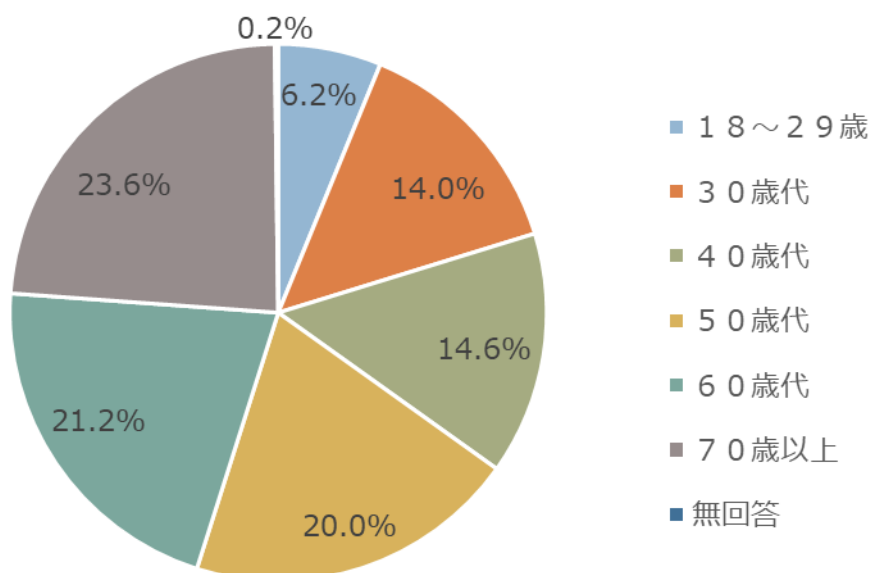
(2) 年齢

年齢については、「18～29歳」が31人(6.2%)、「30歳代」が70人(14.0%)、「40歳代」が73人(14.6%)、「50歳代」が100人(20.0%)、「60歳代」が106人(21.2%)、「70歳以上」が118人(23.6%)、「無回答」が1人(0.2%)となった。

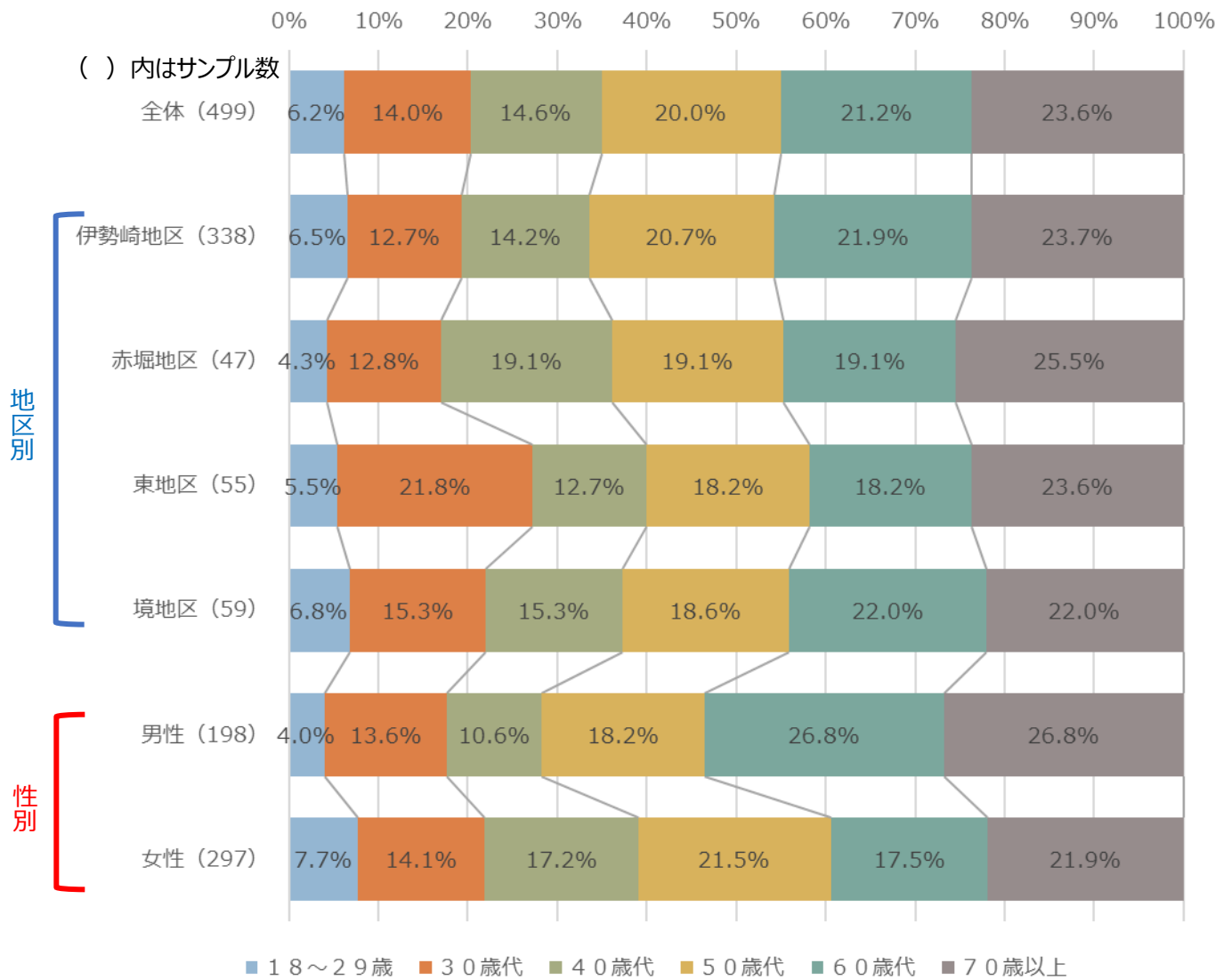
回答者の年齢

| | 回答数 | 割合 |
|--------|-----|--------|
| 18～29歳 | 31 | 6.2% |
| 30歳代 | 70 | 14.0% |
| 40歳代 | 73 | 14.6% |
| 50歳代 | 100 | 20.0% |
| 60歳代 | 106 | 21.2% |
| 70歳以上 | 118 | 23.6% |
| 無回答 | 1 | 0.2% |
| 合計 | 499 | 100.0% |

回答者の年齢（割合）



回答者の年齢（割合）【地区別・性別】



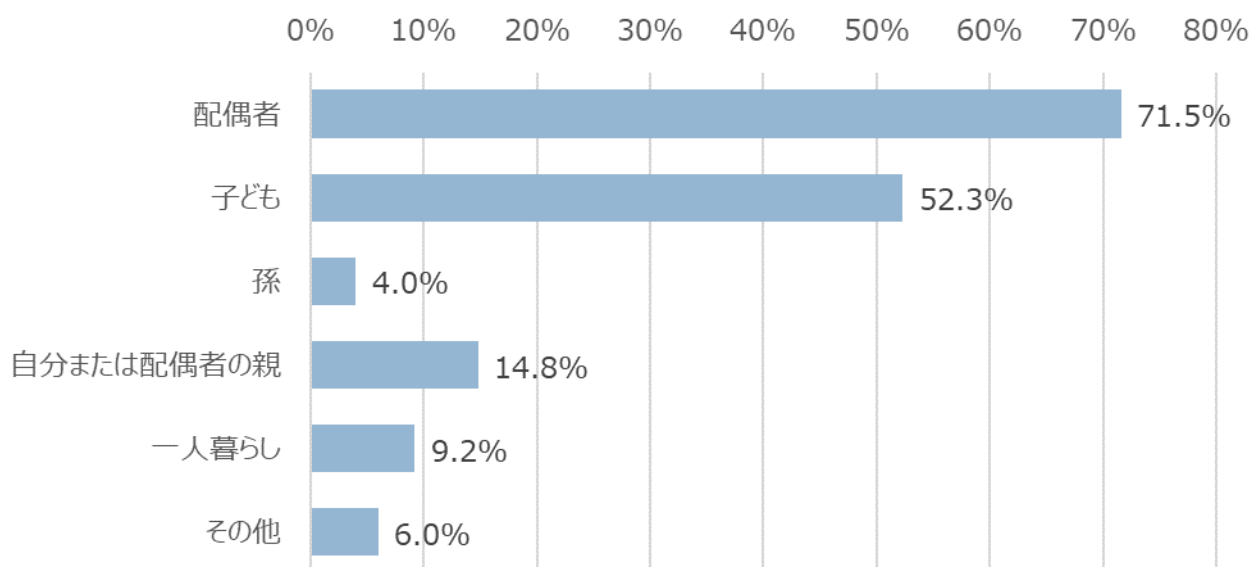
(3) 同居の家族等

同居家族については、「配偶者」が357人(71.5%)、「子ども」が261人(52.3%)、「孫」が20人(4.0%)、「自分または配偶者の親」が74人(14.8%)、「一人暮らし」が46人(9.2%)、「その他」が30人(6.0%)となった。

回答者の同居家族等（複数回答）

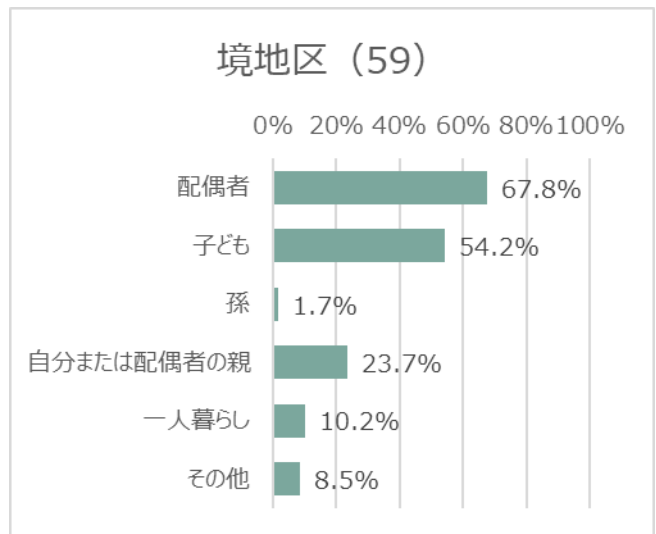
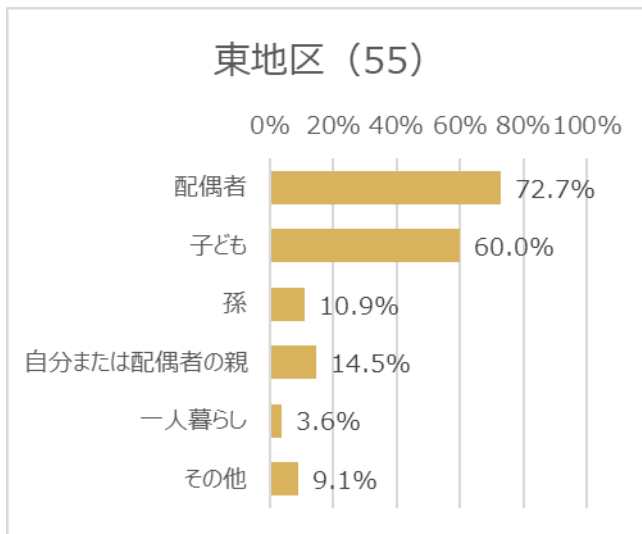
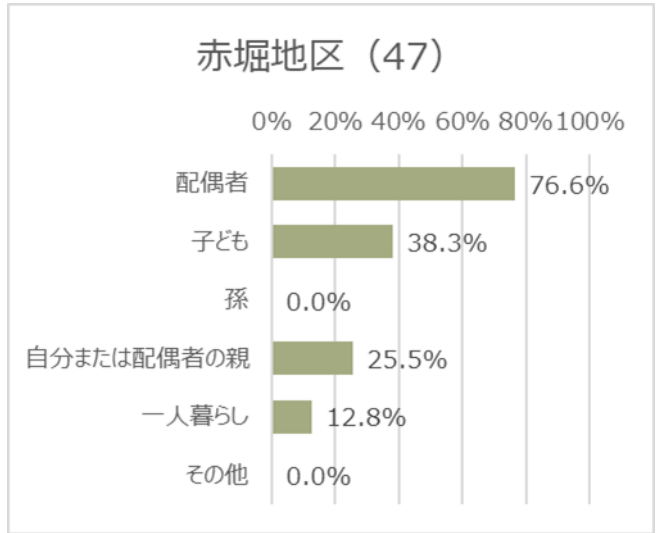
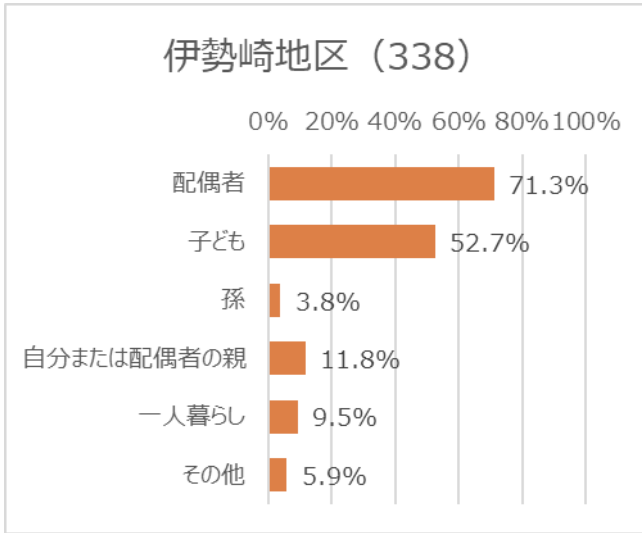
| | 回答数 | 割合 |
|------------|-----|-------|
| 配偶者 | 357 | 71.5% |
| 子ども | 261 | 52.3% |
| 孫 | 20 | 4.0% |
| 自分または配偶者の親 | 74 | 14.8% |
| 一人暮らし | 46 | 9.2% |
| その他 | 30 | 6.0% |

回答者の同居家族等（複数回答・割合）



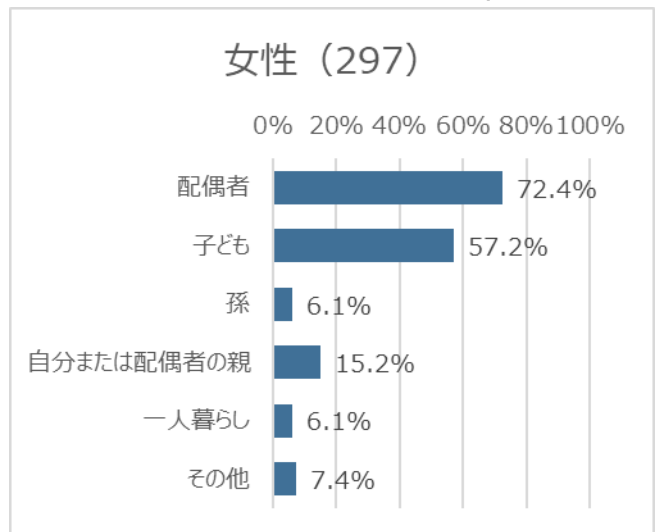
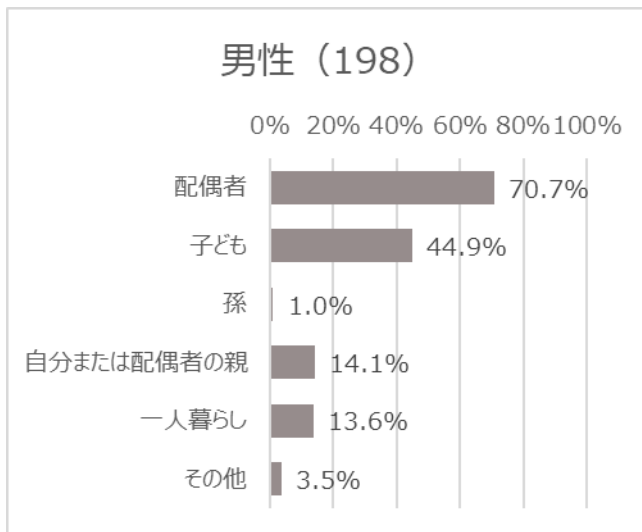
回答者の同居家族等（割合）【地区別】

() 内はサンプル数



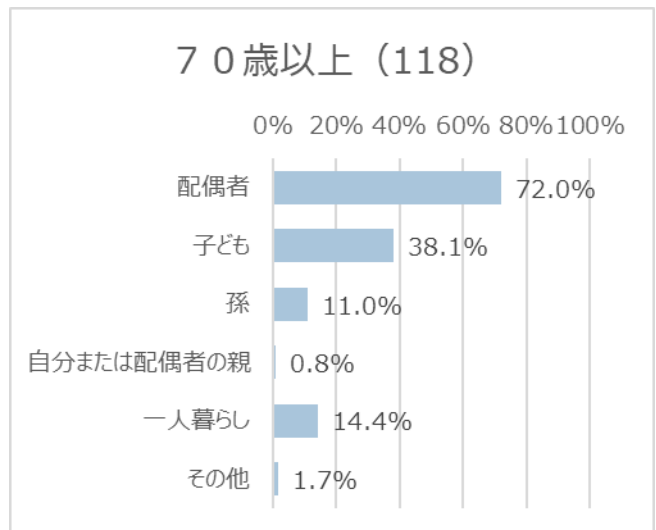
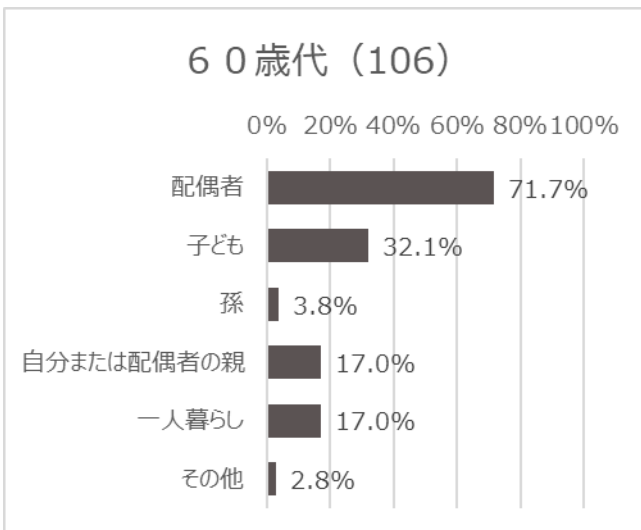
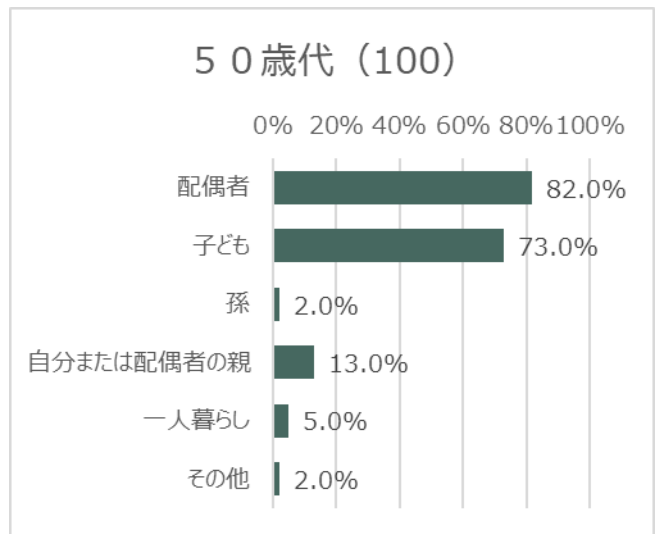
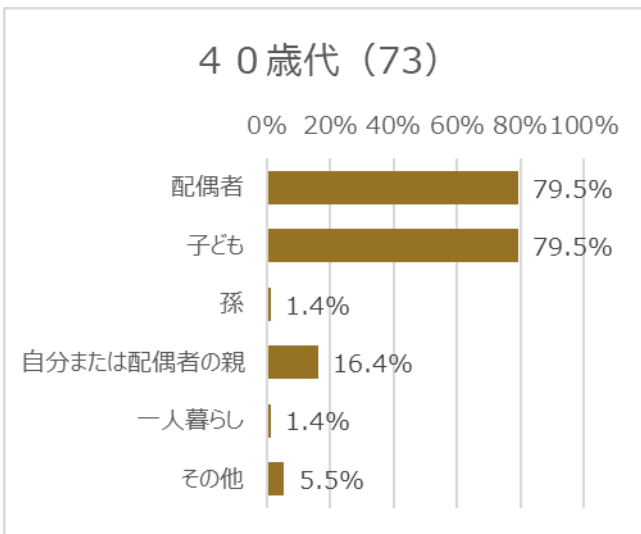
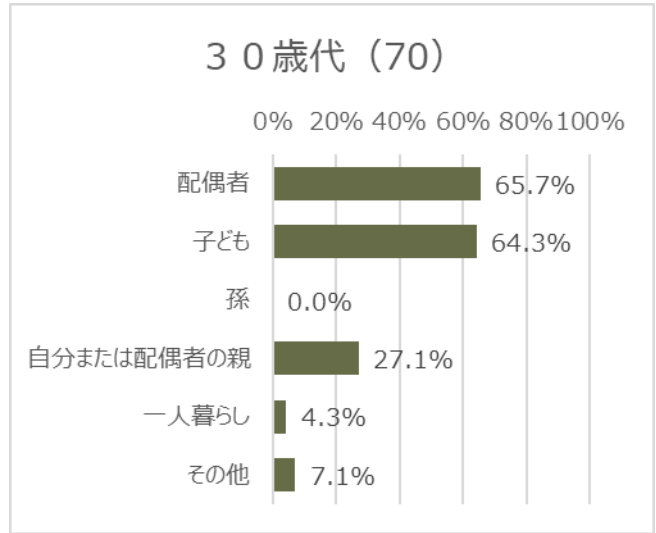
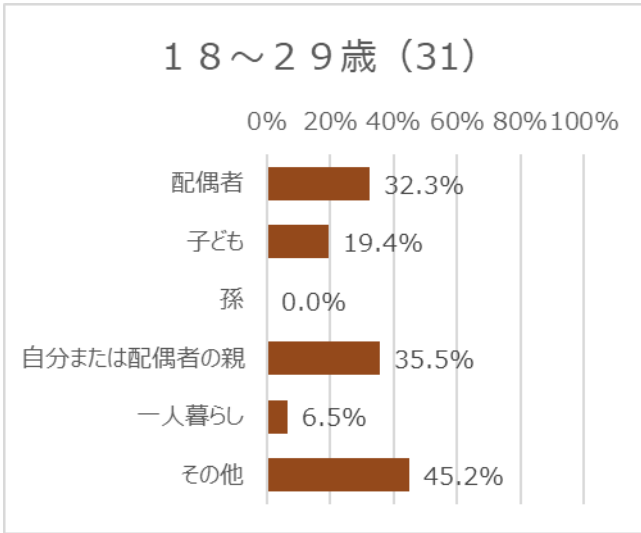
回答者の同居家族等（割合）【性別】

() 内はサンプル数



回答者の同居家族等（割合）【年代別】

() 内はサンプル数



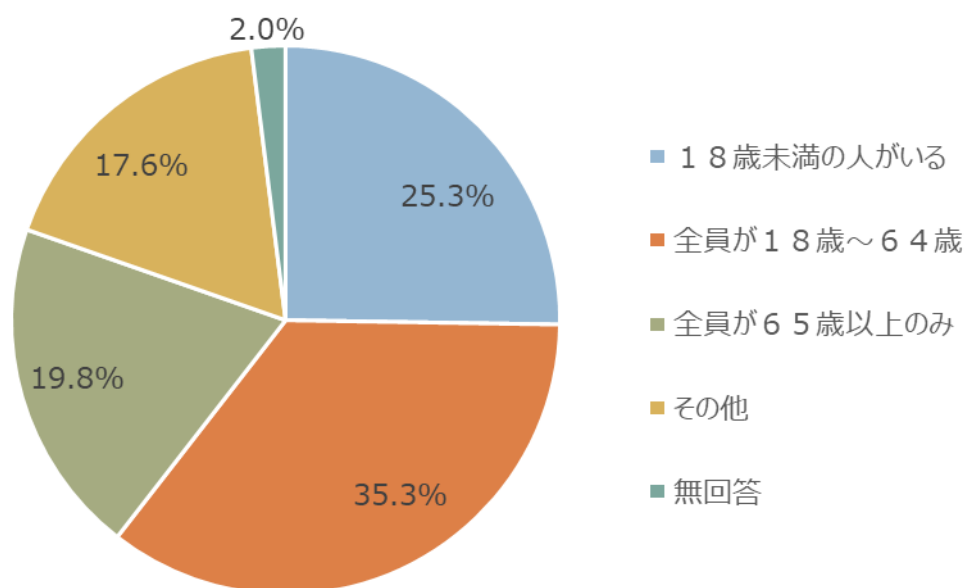
(4) 同居家族等の年齢について

同居家族等の年齢構成については、「18歳未満の人がいる」が126人(25.3%)、「全員が18歳～64歳」が176人(35.3%)、「全員が65歳以上のみ」が99人(19.8%)、「その他」が88人(17.6%)、「無回答」が10人(2.0%)となった。

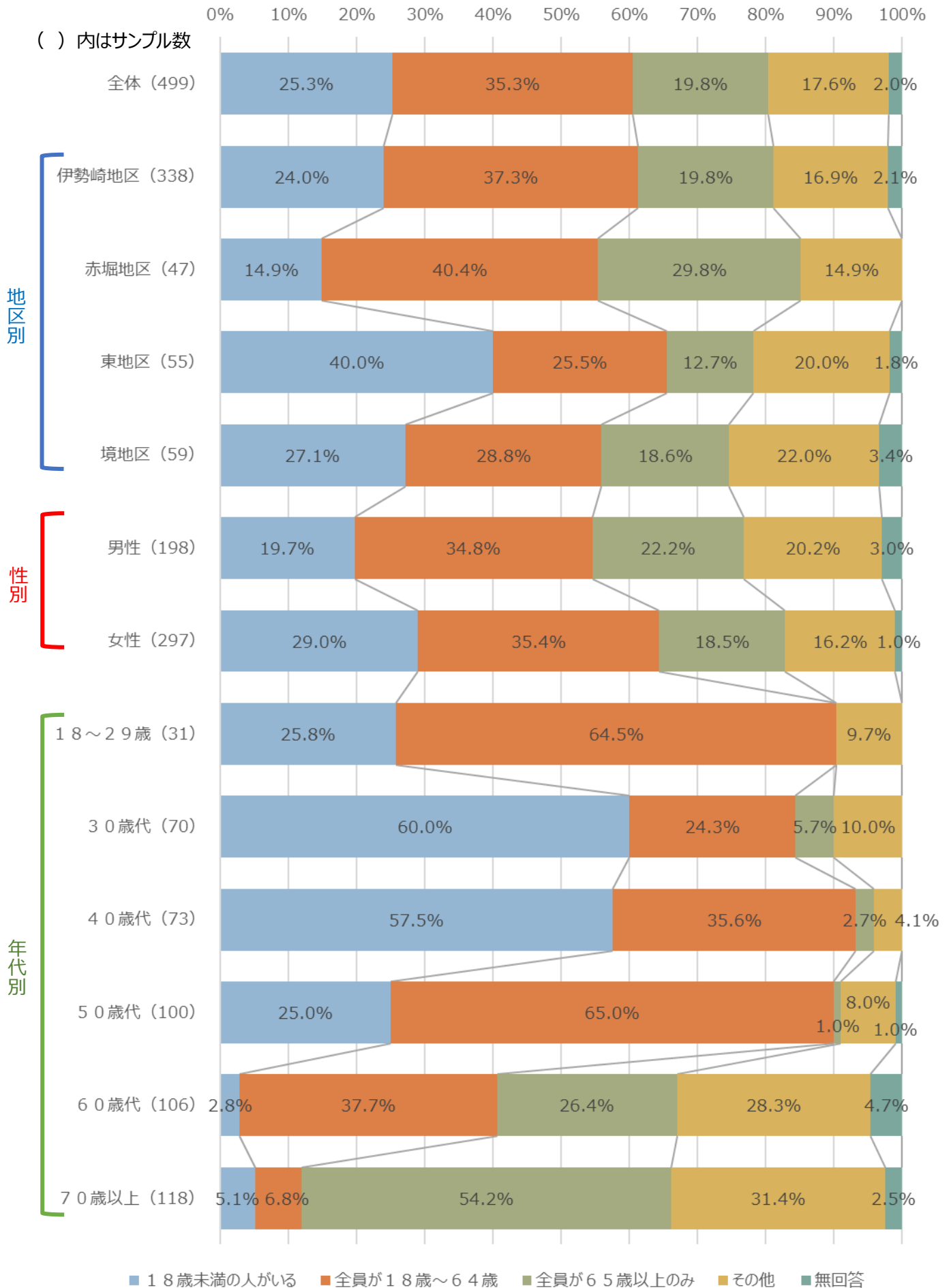
回答者の同居家族等の年齢構成【複数回答】

| | 回答数 | 割合 |
|------------|-----|--------|
| 18歳未満の人がいる | 126 | 25.3% |
| 全員が18歳～64歳 | 176 | 35.3% |
| 全員が65歳以上のみ | 99 | 19.8% |
| その他 | 88 | 17.6% |
| 無回答 | 10 | 2.0% |
| 合計 | 499 | 100.0% |

回答者の同居家族等の年齢構成（複数回答・割合）



回答者の同居家族等の年齢（複数回答・割合）【地区別・性別・年代別】



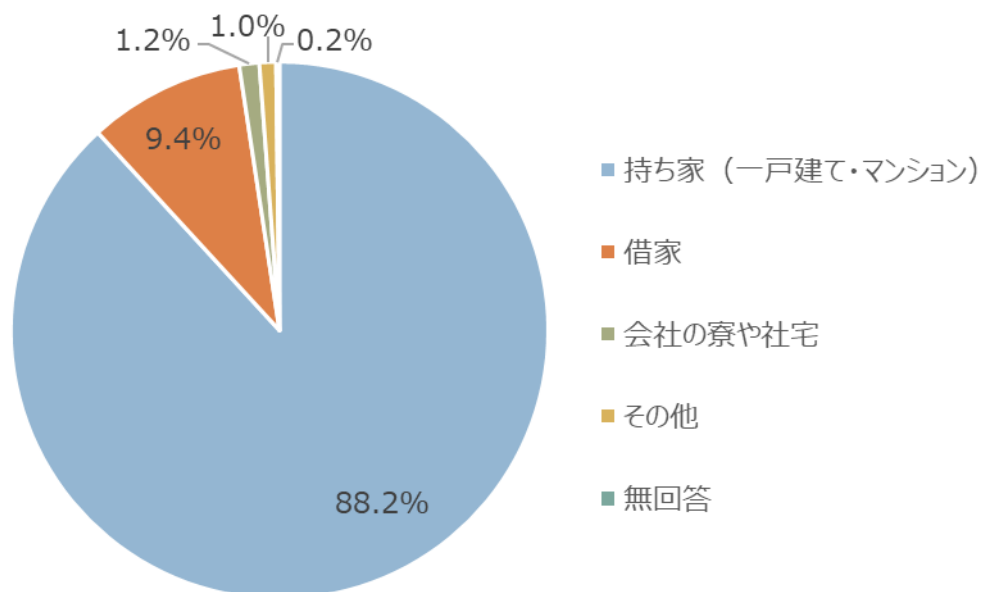
(5) 居住形態

居住形態については、「持ち家（一戸建て・マンション）」が440人(88.2%)、「借家」が47人(9.4%)、「会社の寮や社宅」が6人(1.2%)、「その他」が5人(1.0%)、「無回答」が1人(0.2%)となった。

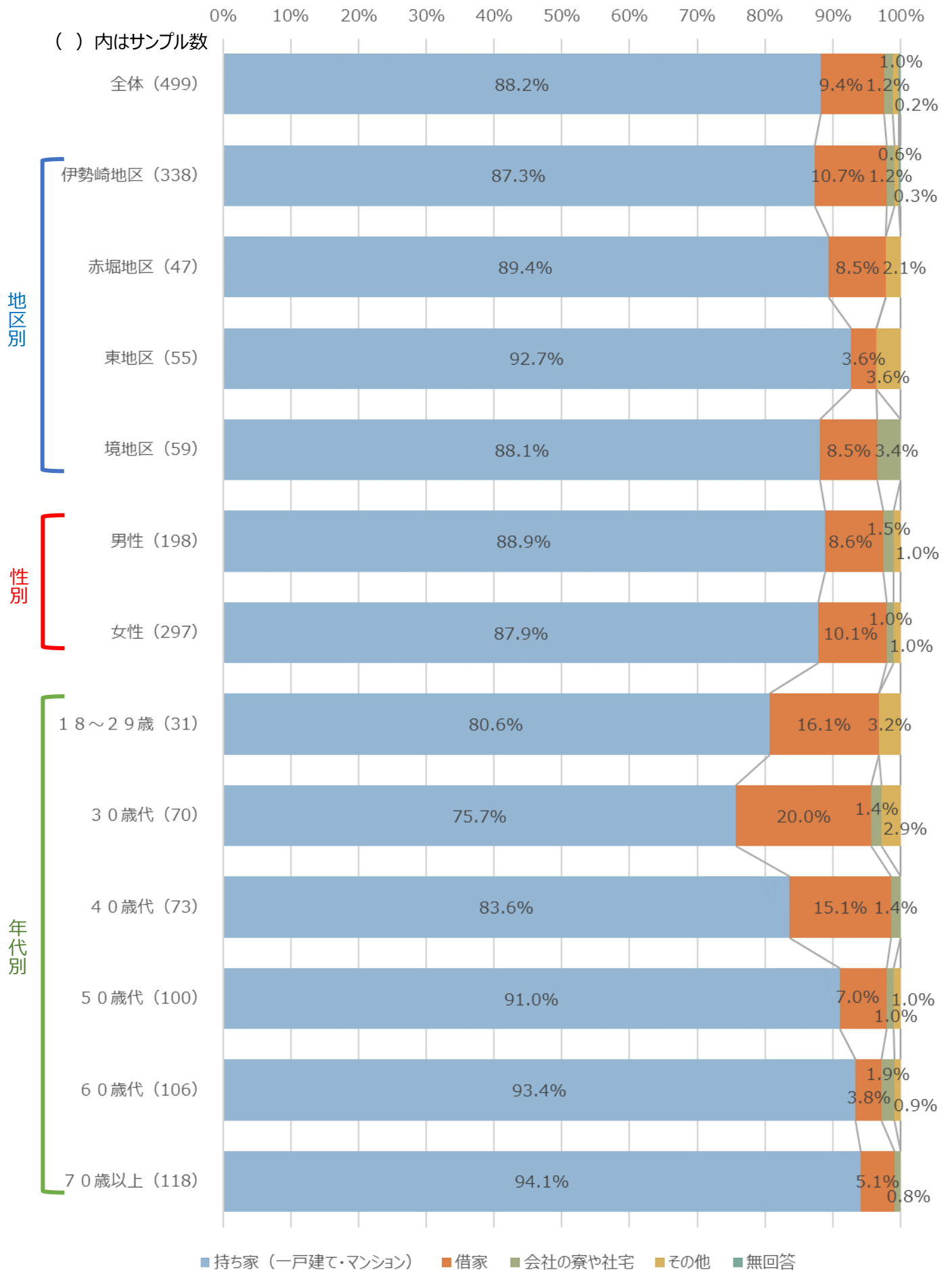
回答者の居住形態【複数回答】

| | 回答数 | 割合 |
|-----------------|-----|--------|
| 持ち家（一戸建て・マンション） | 440 | 88.2% |
| 借家 | 47 | 9.4% |
| 会社の寮や社宅 | 6 | 1.2% |
| その他 | 5 | 1.0% |
| 無回答 | 1 | 0.2% |
| 合計 | 499 | 100.0% |

回答者の居住形態（割合）



回答者の居住形態（割合）【地区別・性別・年代別】



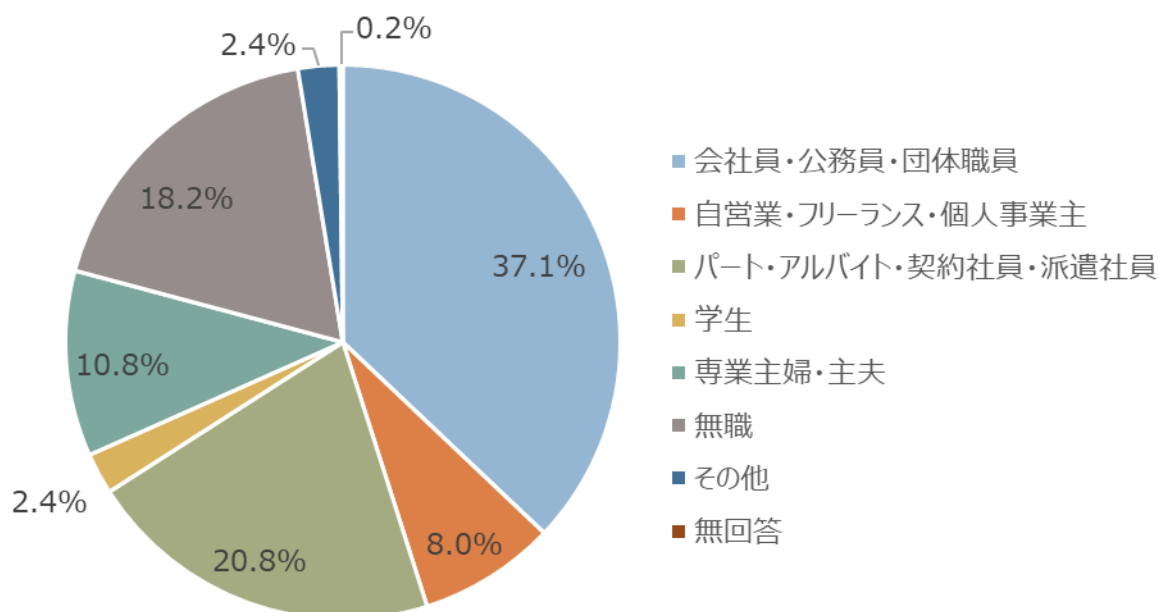
(6) 職業

職業については、「会社員・公務員・団体職員」が185人(37.1%)、「自営業・フリーランス・個人事業主」が40人(8.0%)、「パート・アルバイト・契約社員・派遣社員」が104人(20.8%)、「学生」が12人(2.4%)、「専業主婦・主夫」が54人(10.8%)、「無職」が91人(18.2%)、「その他」が12人(2.4%)、「無回答」が1人(0.2%)となった。

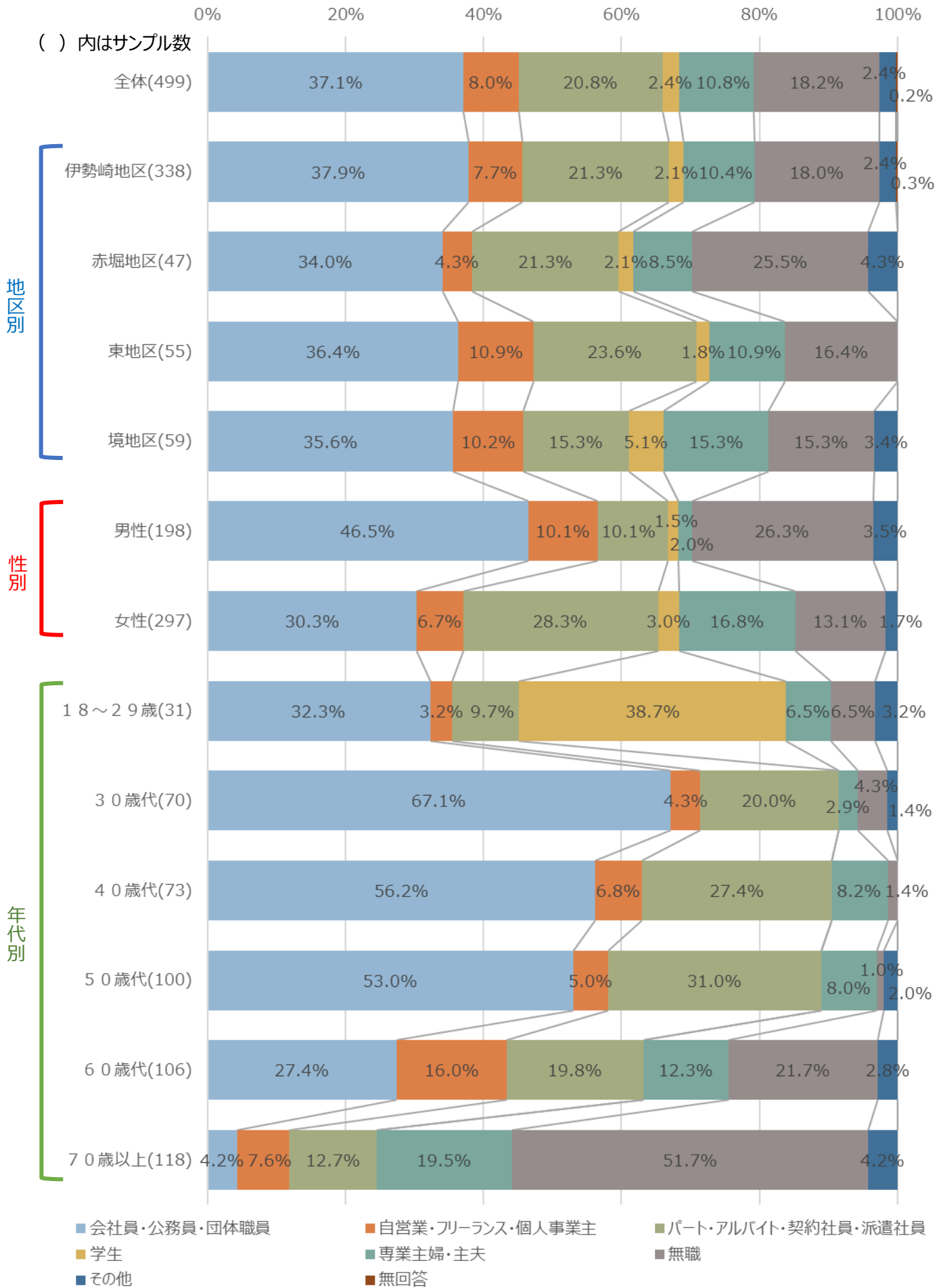
回答者の職業

| | 回答数 | 割合 |
|---------------------|-----|--------|
| 会社員・公務員・団体職員 | 185 | 37.1% |
| 自営業・フリーランス・個人事業主 | 40 | 8.0% |
| パート・アルバイト・契約社員・派遣社員 | 104 | 20.8% |
| 学生 | 12 | 2.4% |
| 専業主婦・主夫 | 54 | 10.8% |
| 無職 | 91 | 18.2% |
| その他 | 12 | 2.4% |
| 無回答 | 1 | 0.2% |
| 合計 | 499 | 100.0% |

回答者の職業（割合）



回答者の職業（割合）【地区別・性別・年代別】



2 定住意向

移住・定住の推進に向け、伊勢崎市の長所や今後伸ばしていくべき点を明らかにするため、現在住んでいる地区の住みやすいと思う点及び住みにくいと思う点、伊勢崎市を住まいとして選んだ理由や、もし転居するならどこに住みたいか、また、その場所を選んだ理由について調査を行った。

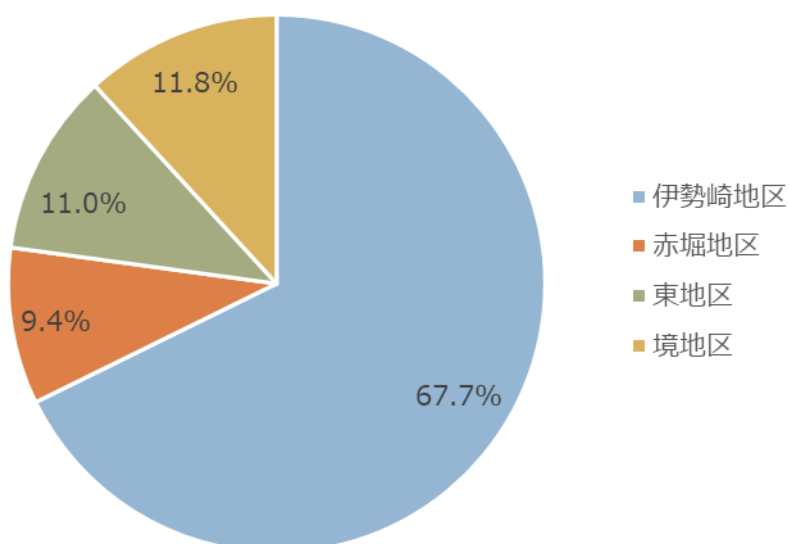
(7) 居住地区

居住地区については、「伊勢崎地区」が338人(67.7%)、「赤堀地区」が47人(9.4%)、「東地区」が55人(11.0%)、「境地区」が59人(11.8%)、「無回答」が0人(0.0%)となった。

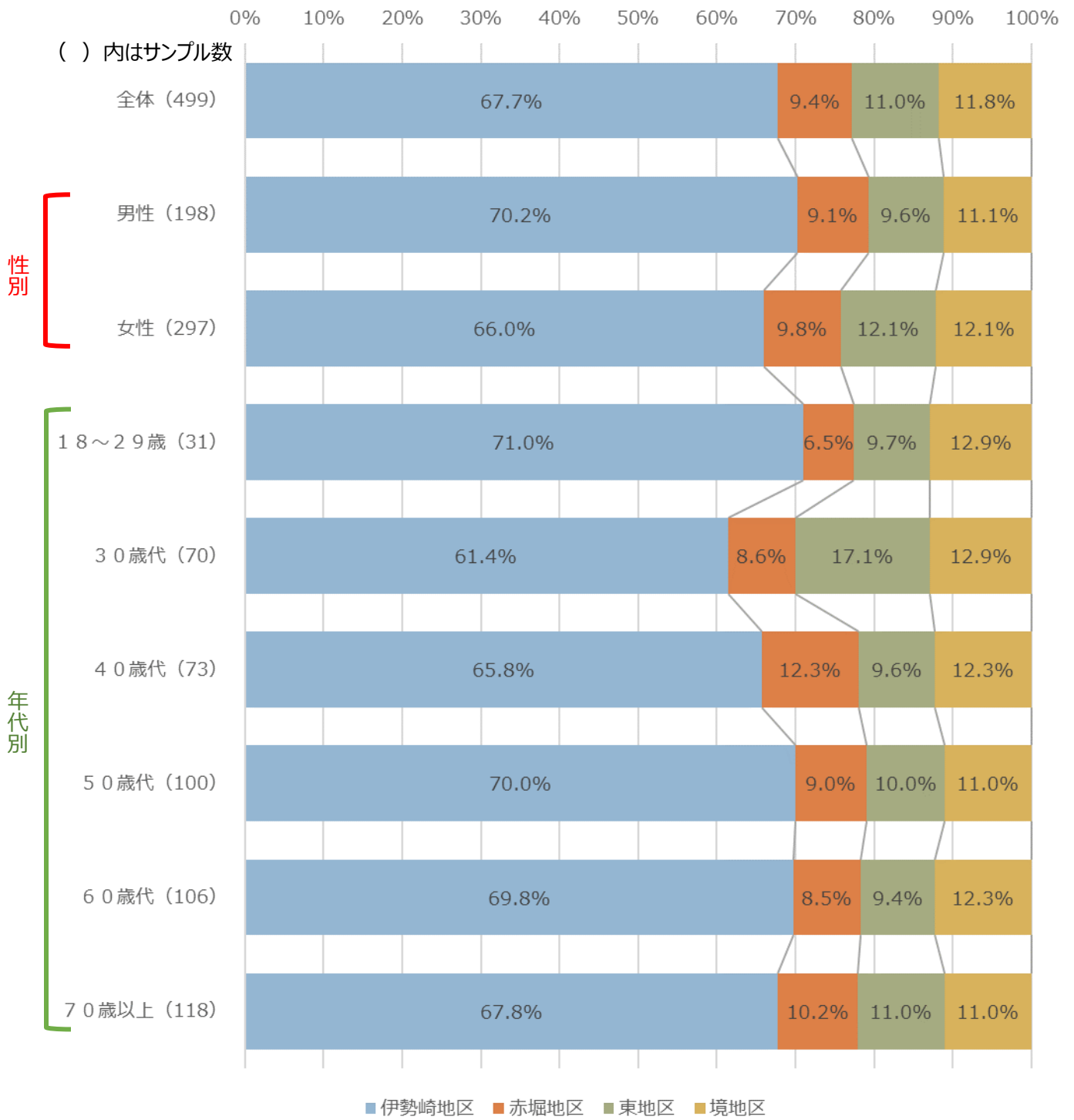
回答者の居住地区

| | 回答数 | 割合 |
|-------|-----|--------|
| 伊勢崎地区 | 338 | 67.7% |
| 赤堀地区 | 47 | 9.4% |
| 東地区 | 55 | 11.0% |
| 境地区 | 59 | 11.8% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 499 | 100.0% |

回答者の居住地区（割合）



回答者の居住地区（割合）【性別・年代別】



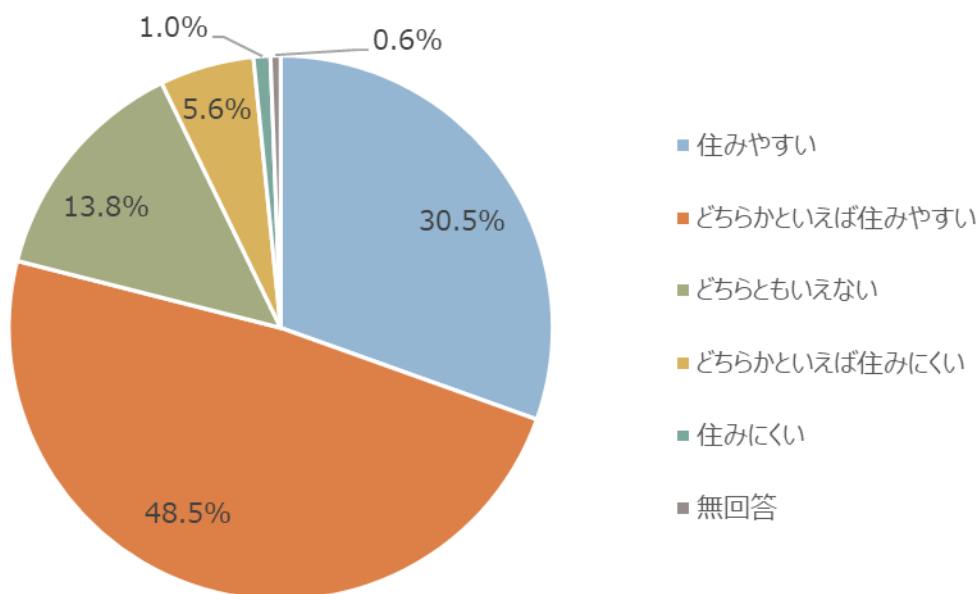
(8) 住みやすさ

住んでいる地区の住みやすさを聞いたところ、「どちらかといえば住みやすい」を含め「住みやすい」と回答した人は 394 人 (79.0%)、「どちらともいえない」と回答した人は 69 人(13.8%)、「どちらかといえば住みにくい」を含め「住みにくい」と回答した人は 33 人(6.6%)、「無回答」が 3 人(0.6%)となり、多くの人が「どちらかといえば住みやすい」を含め「住みやすい」と回答した。

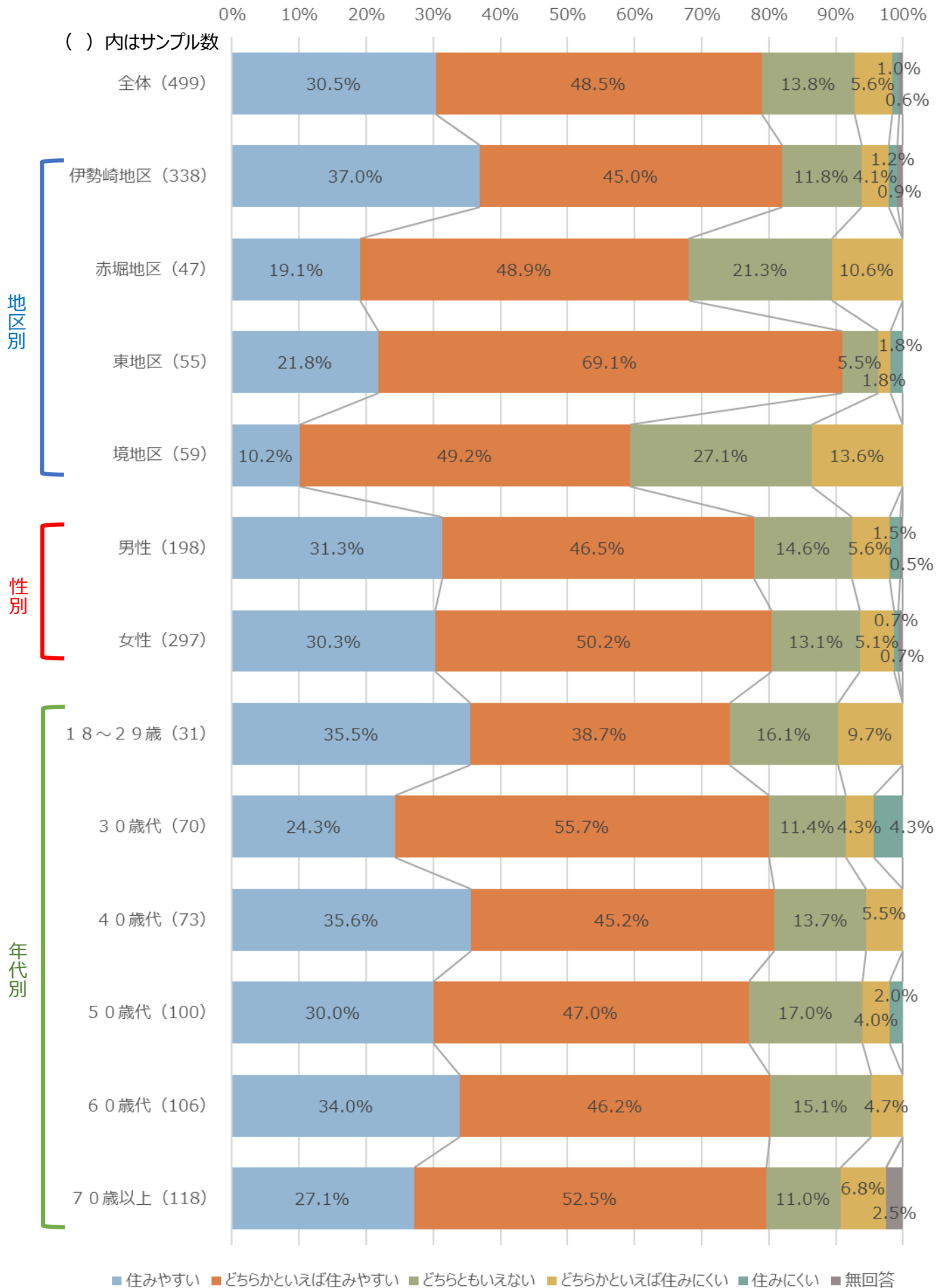
「住みやすさ」についての回答

| | 回答数 | 割合 |
|---------------|-----|--------|
| 住みやすい | 152 | 30.5% |
| どちらかといえば住みやすい | 242 | 48.5% |
| どちらともいえない | 69 | 13.8% |
| どちらかといえば住みにくい | 28 | 5.6% |
| 住みにくい | 5 | 1.0% |
| 無回答 | 3 | 0.6% |
| 合計 | 499 | 100.0% |

「住みやすさ」についての回答 (割合)



「住みやすさ」についての回答（割合）【地区別・性別・年代別】



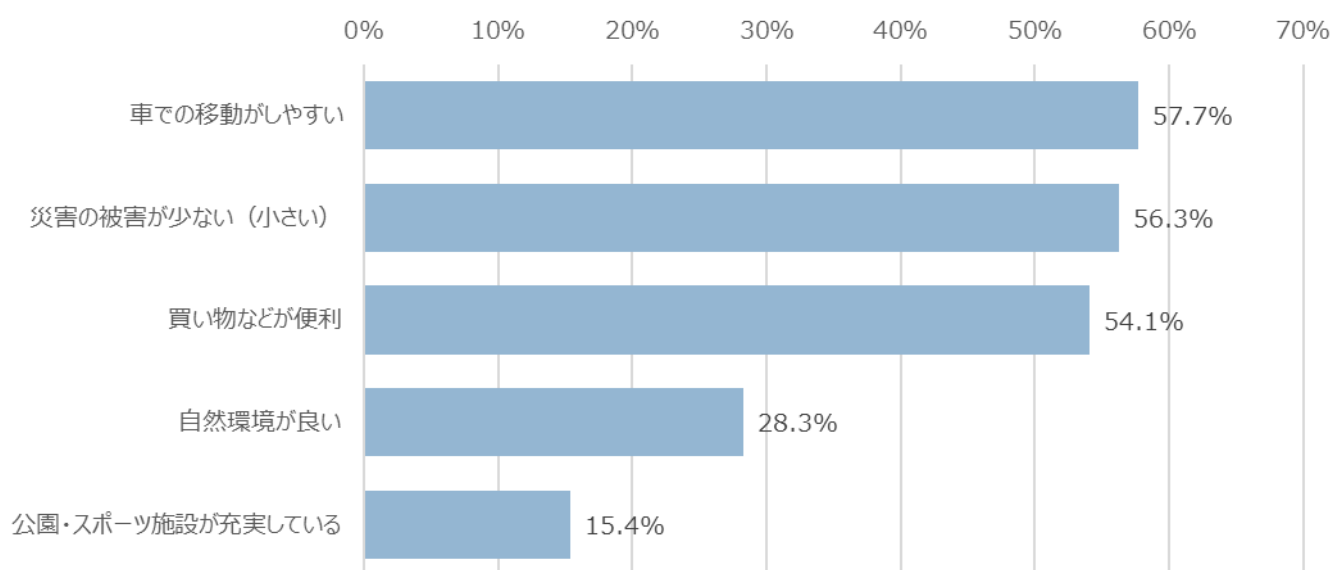
(9) 地区の住みやすいと思う点

住んでいる地区の住みやすいと思う点を聞いたところ、「車での移動がしやすい」と回答した人が最も多く、288人（57.7%）となっている。以下、「災害の被害が少ない（小さい）」が281人（56.3%）、「買い物などが便利」が270人（54.1%）と続いている。

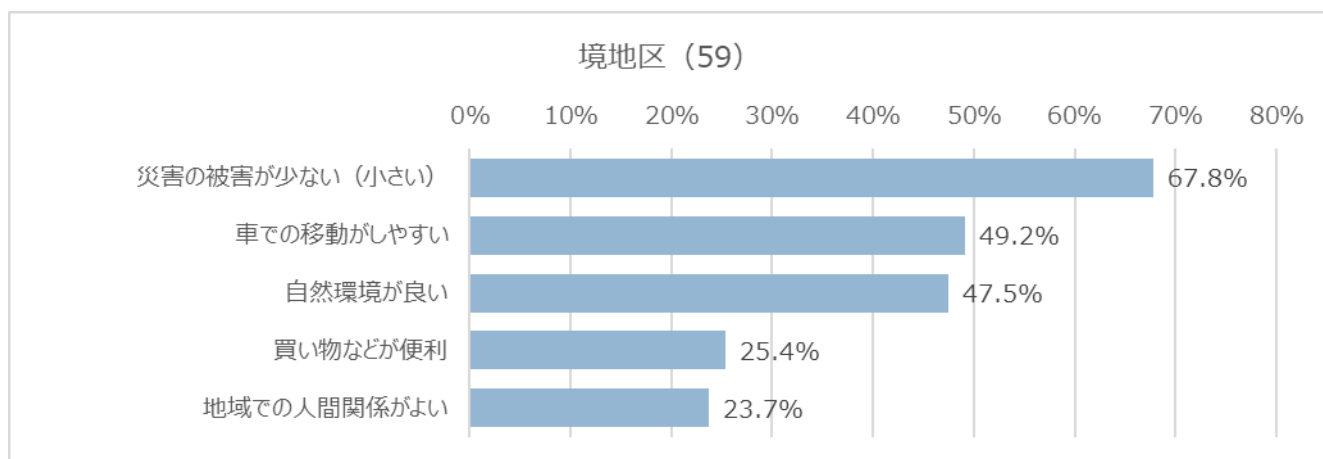
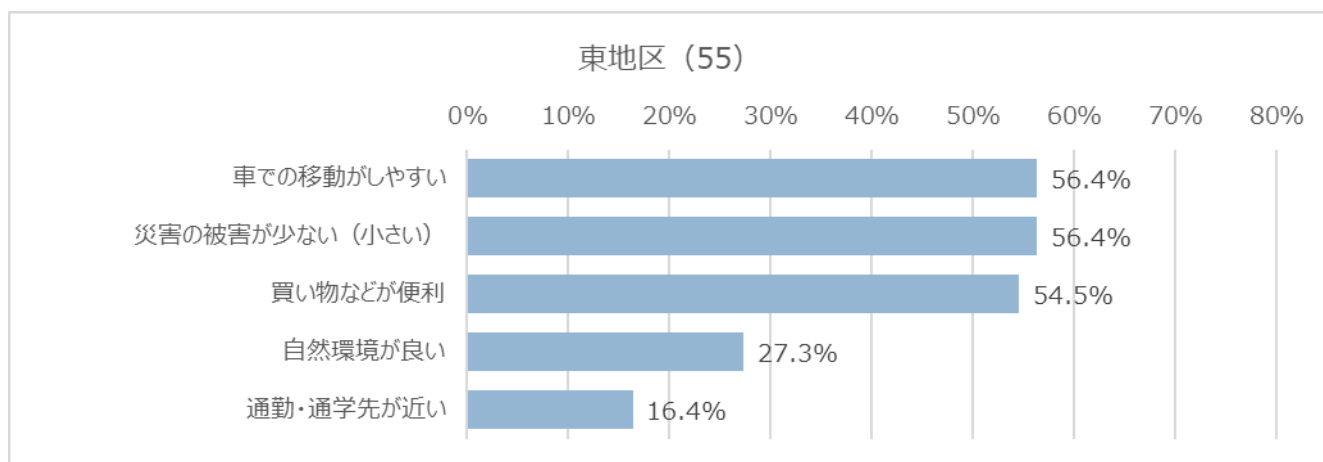
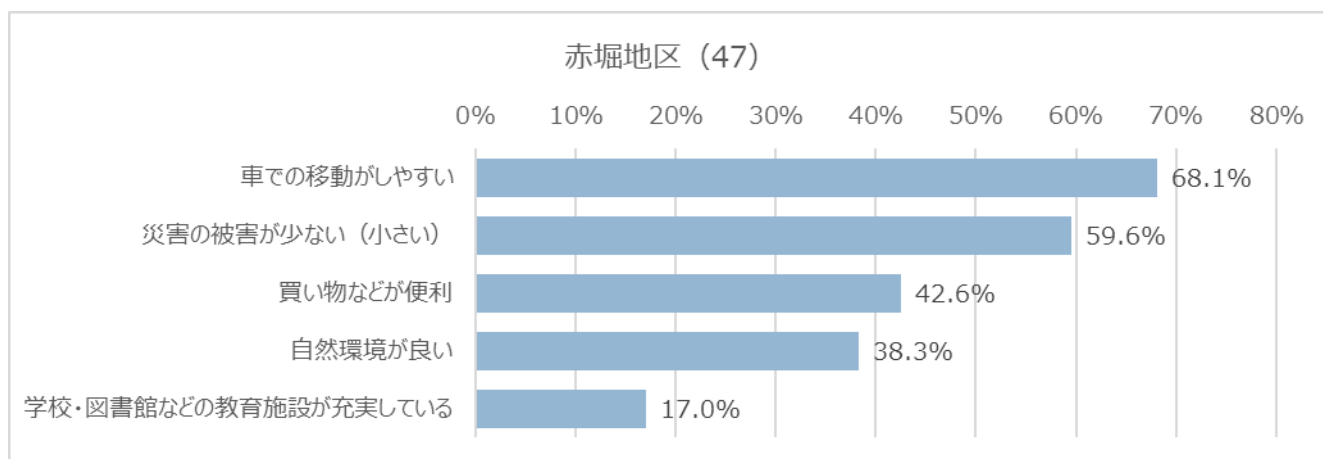
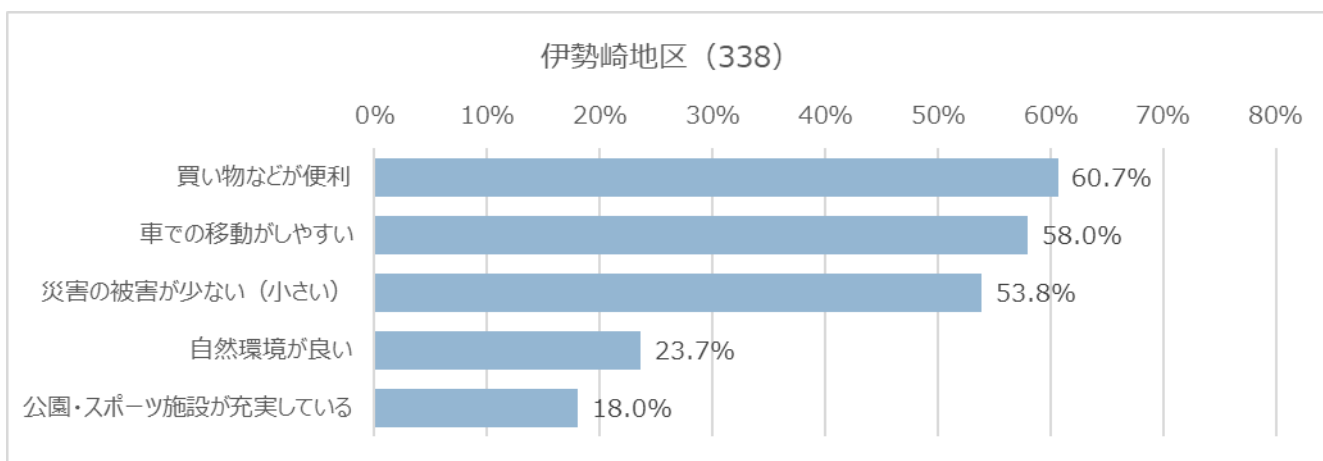
「住みやすいと思う点」についての回答【複数回答】

| | 回答数 | 割合 |
|----------------------|-----|-------|
| 車での移動がしやすい | 288 | 57.7% |
| 災害の被害が少ない（小さい） | 281 | 56.3% |
| 買い物などが便利 | 270 | 54.1% |
| 自然環境が良い | 141 | 28.3% |
| 公園・スポーツ施設が充実している | 77 | 15.4% |
| 通勤・通学先が近い | 69 | 13.8% |
| 地域での人間関係がよい | 68 | 13.6% |
| 学校・図書館などの教育施設が充実している | 37 | 7.4% |
| 医療体制が充実している | 37 | 7.4% |
| 子育てをする環境が充実している | 18 | 3.6% |
| バスなどの公共交通機関が便利 | 13 | 2.6% |
| 高齢者・障害者への対応が充実している | 11 | 2.2% |
| 学校教育が充実している | 8 | 1.6% |
| 魅力的な仕事が充実している | 5 | 1.0% |

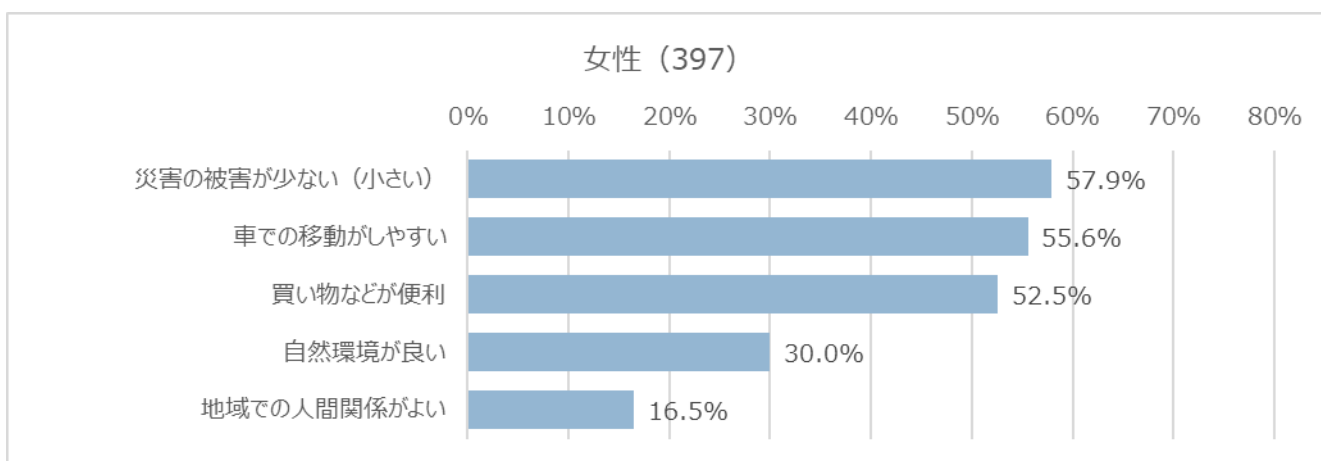
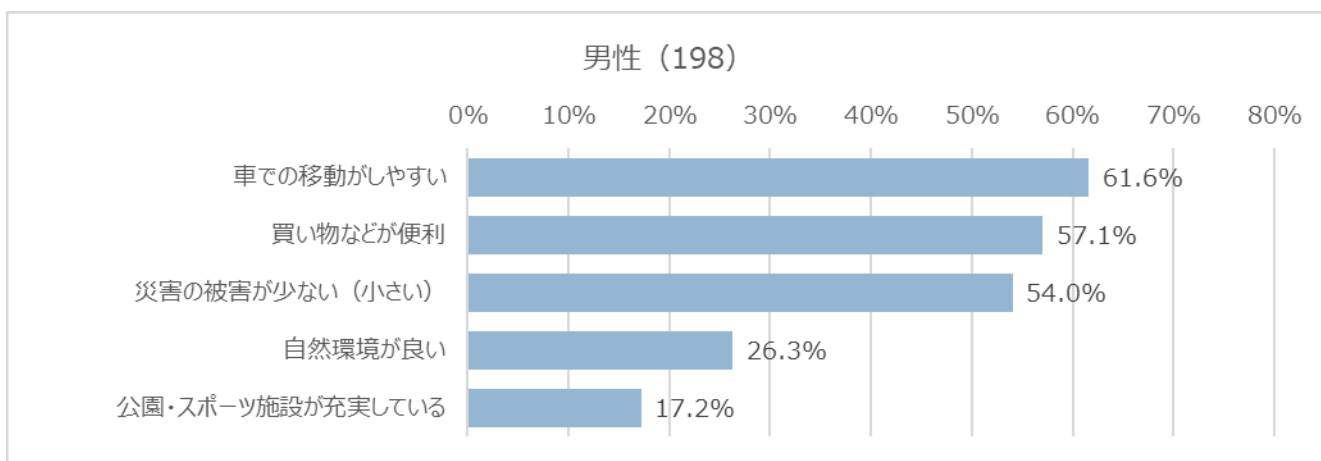
「住みやすいと思う点」の回答の上位5項目（割合）【複数回答】



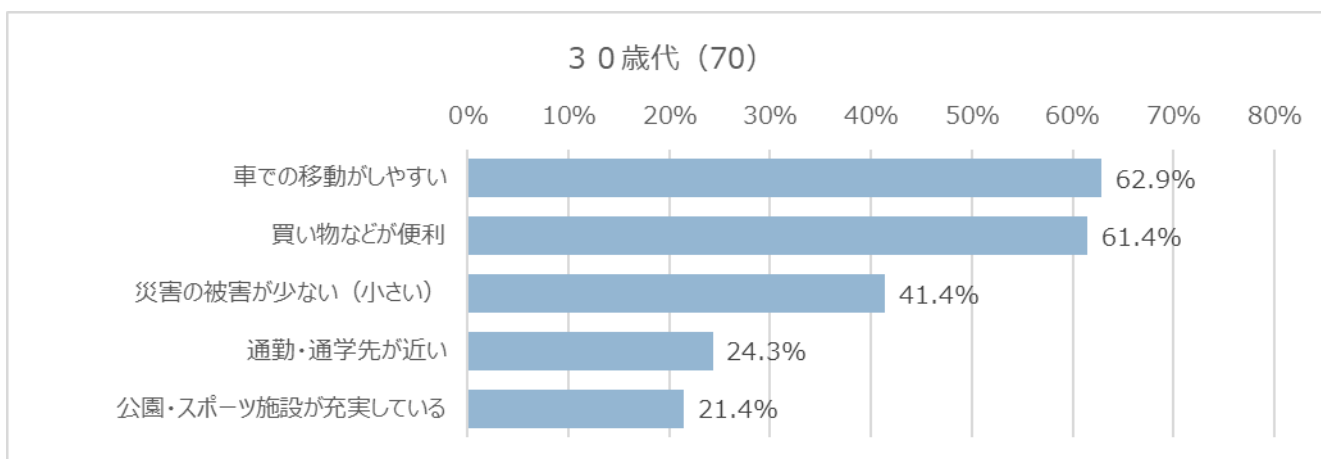
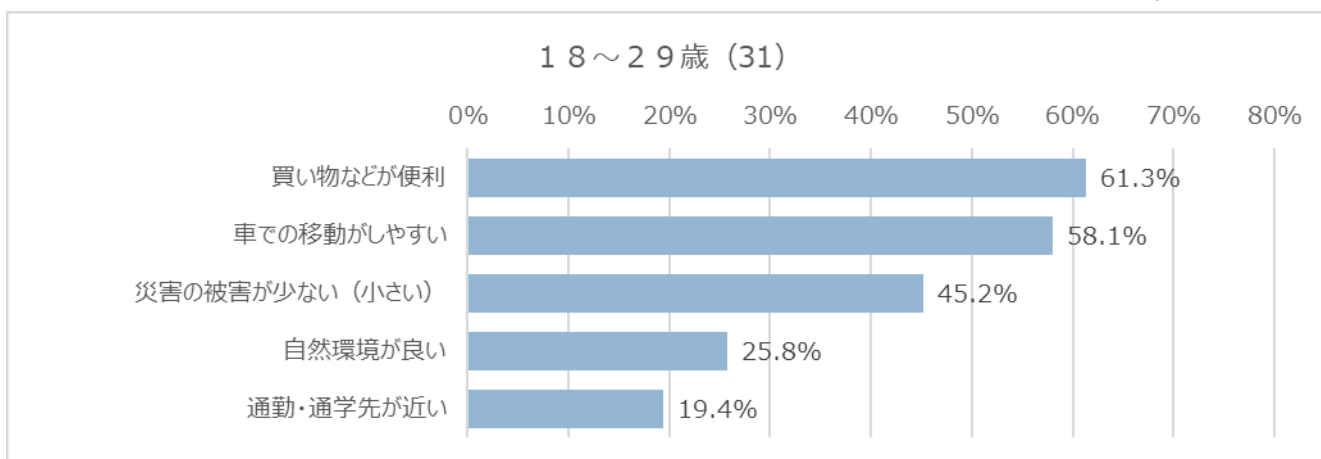
「住みやすいと思う点」の回答の上位5項目（割合・複数回答）【地区別】（ ）内はサンプル数



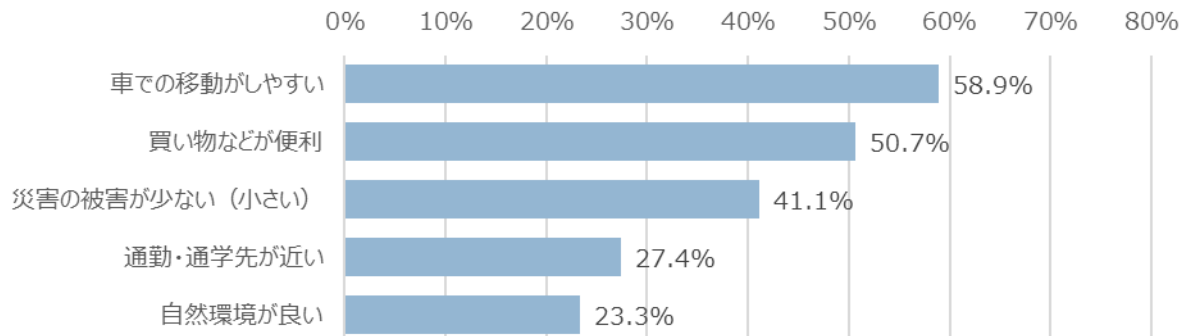
「住みやすいと思う点」の回答の上位5項目（割合・複数回答）【性別】（ ）内はサンプル数



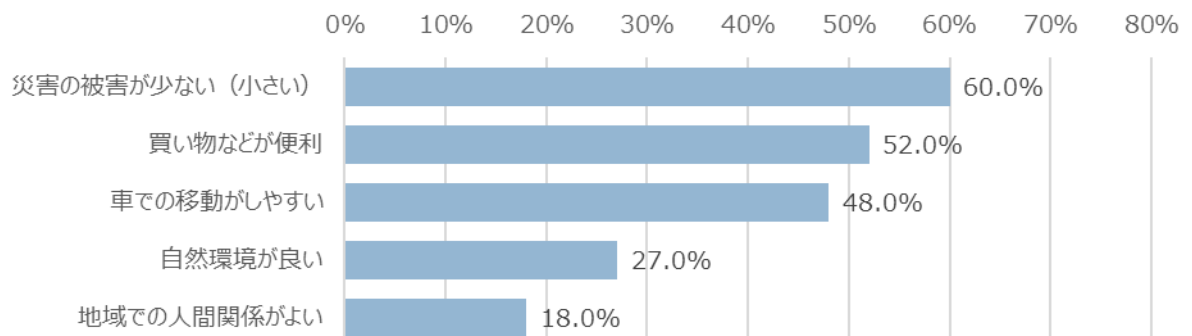
「住みやすいと思う点」の回答の上位5項目（割合・複数回答）【年代別】（ ）内はサンプル数



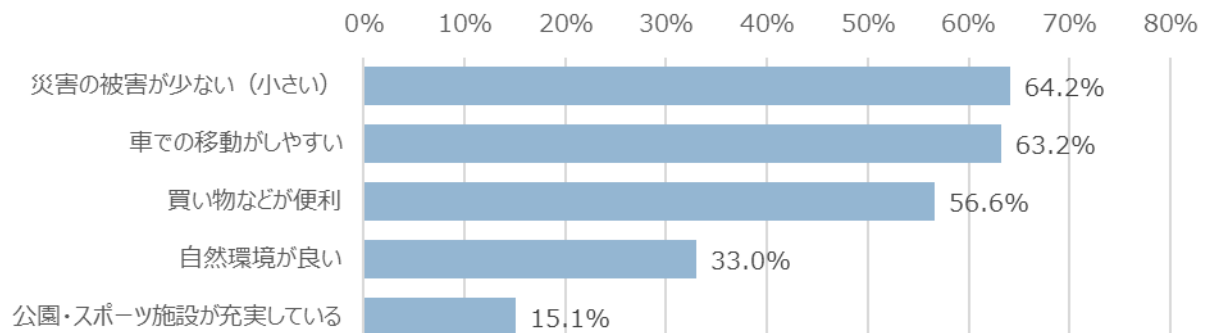
40歳代 (73)



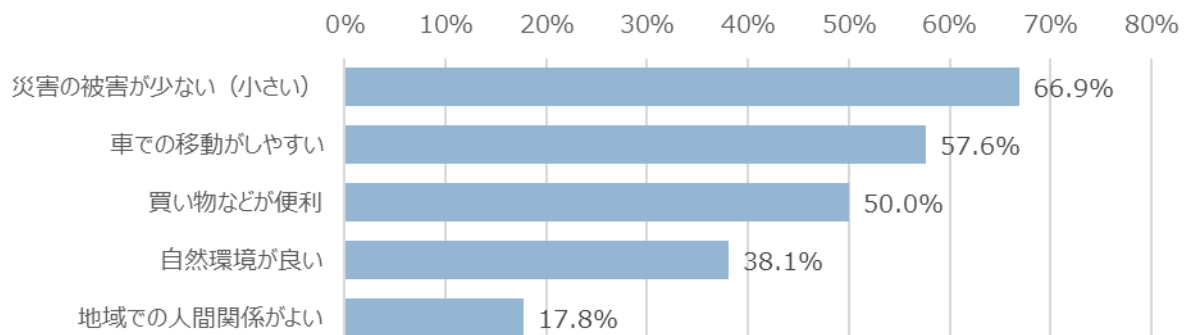
50歳代 (100)



60歳代 (106)



70歳以上 (118)



◆「その他」の住みやすいと思う点 (主なもの)

- ・静かな居住環境
- ・東京都へのアクセスが良い
- ・比較的物価が安い

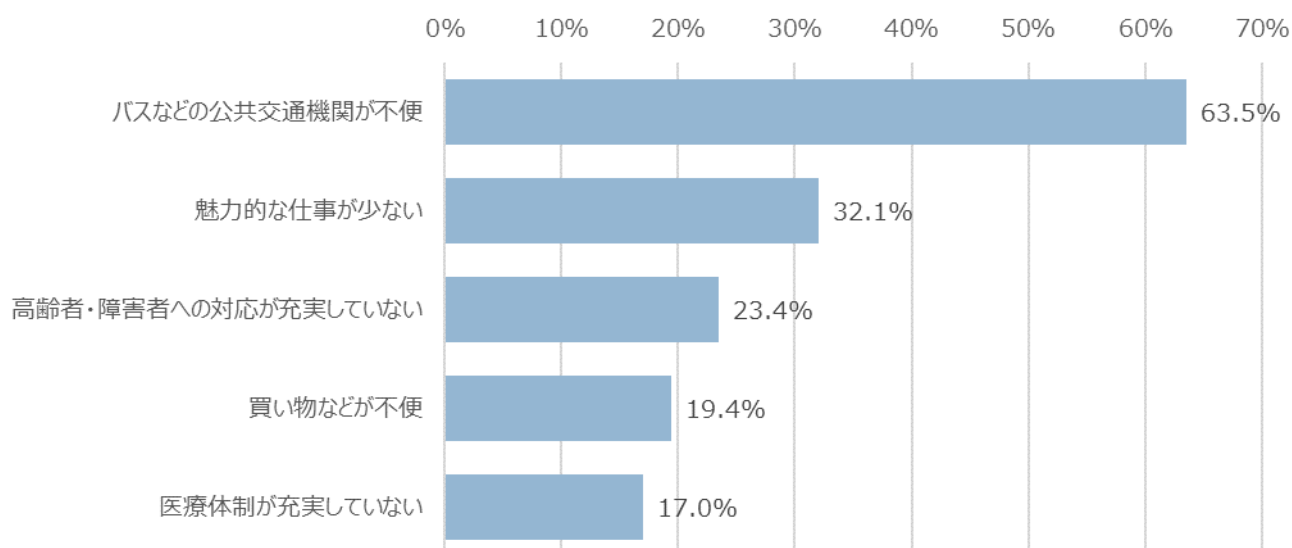
(10) 地区の住みにくいと思う点

住んでいる地区の住みにくいと思う点を聞いたところ、「バスなどの公共交通機関が不便」と回答した人が最も多く、317人(63.5%)となっている。以下、「魅力的な仕事が少ない」が160人(32.1%)、「高齢者・障害者への対応が充実していない」が117人(23.4%)と続いている。

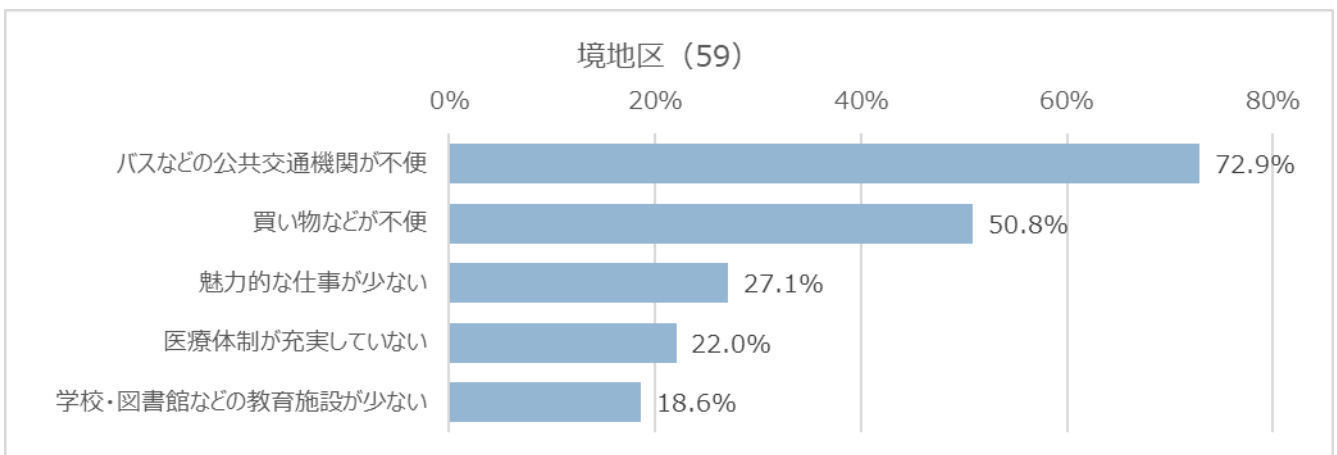
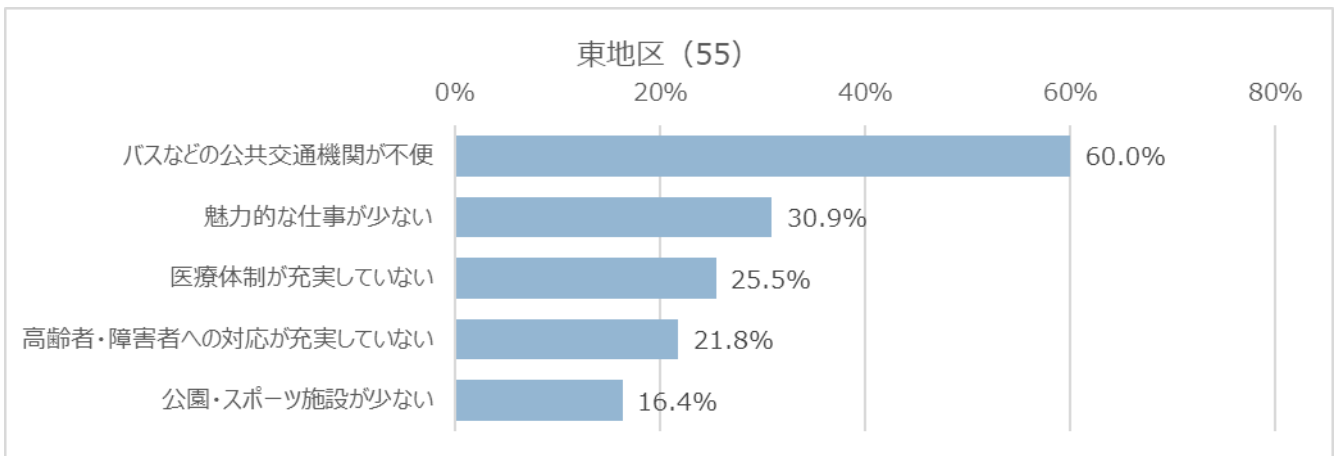
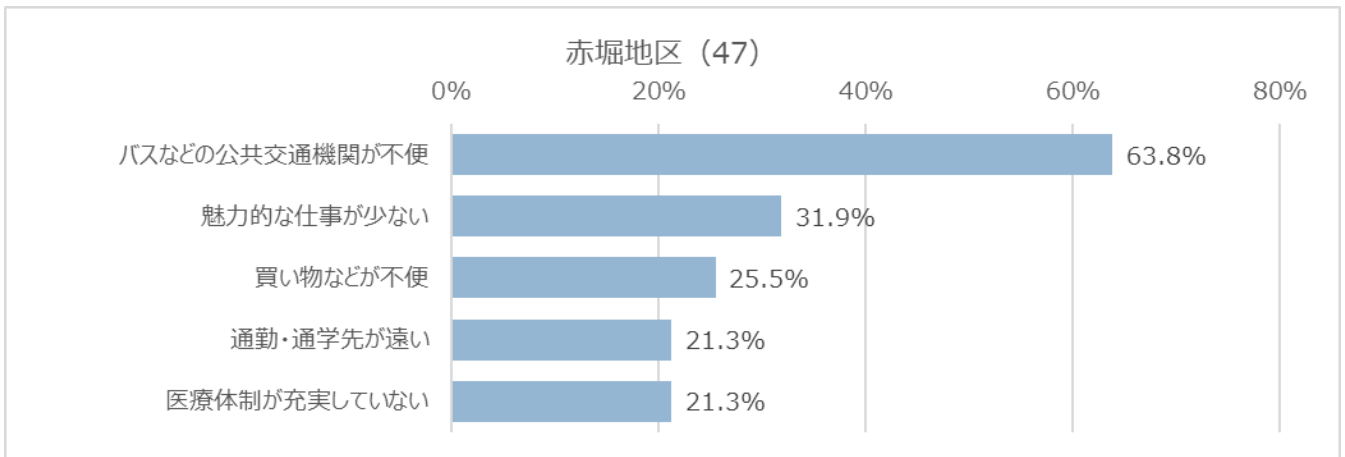
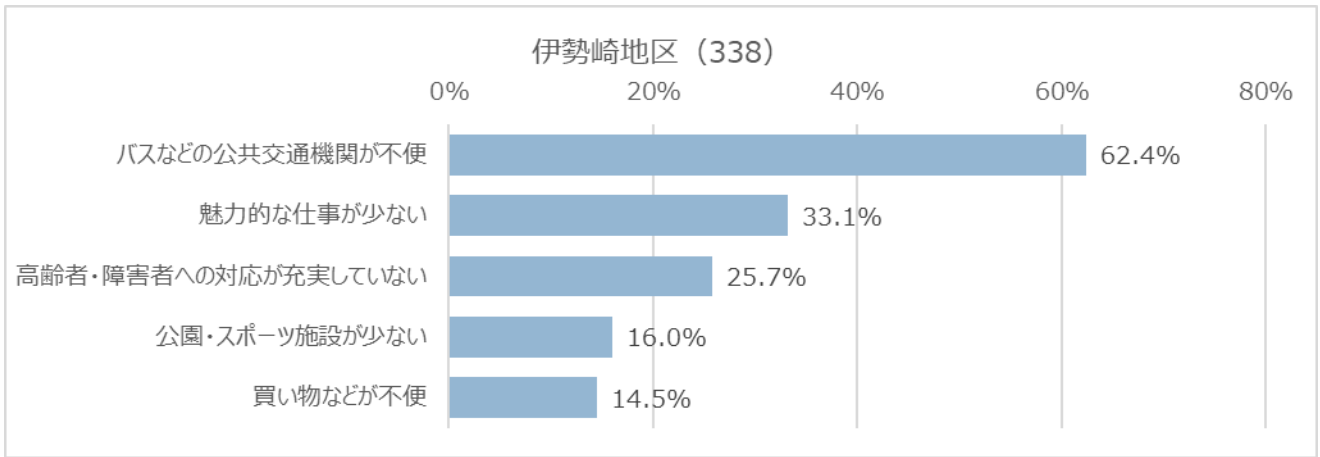
「住みにくいと思う点」についての回答【複数回答】

| | 回答数 | 割合 |
|---------------------|-----|-------|
| バスなどの公共交通機関が不便 | 317 | 63.5% |
| 魅力的な仕事が少ない | 160 | 32.1% |
| 高齢者・障害者への対応が充実していない | 117 | 23.4% |
| 買い物などが不便 | 97 | 19.4% |
| 医療体制が充実していない | 85 | 17.0% |
| 公園・スポーツ施設が少ない | 79 | 15.8% |
| 通勤・通学先が遠い | 60 | 12.0% |
| 子育てをする環境が充実していない | 56 | 11.2% |
| 学校・図書館などの教育施設が少ない | 53 | 10.6% |
| 地域での人間関係が悪い | 48 | 9.6% |
| 学校教育が充実していない | 31 | 6.2% |
| 自然環境が悪い | 28 | 5.6% |
| 車での移動がしにくい | 21 | 4.2% |
| 災害の被害が多い(大きい) | 11 | 2.2% |

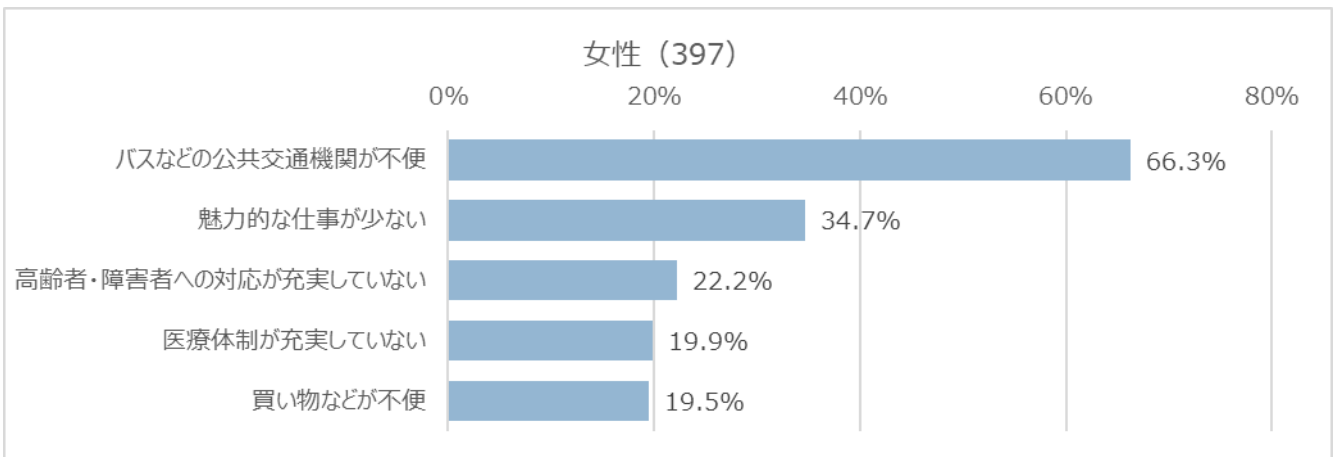
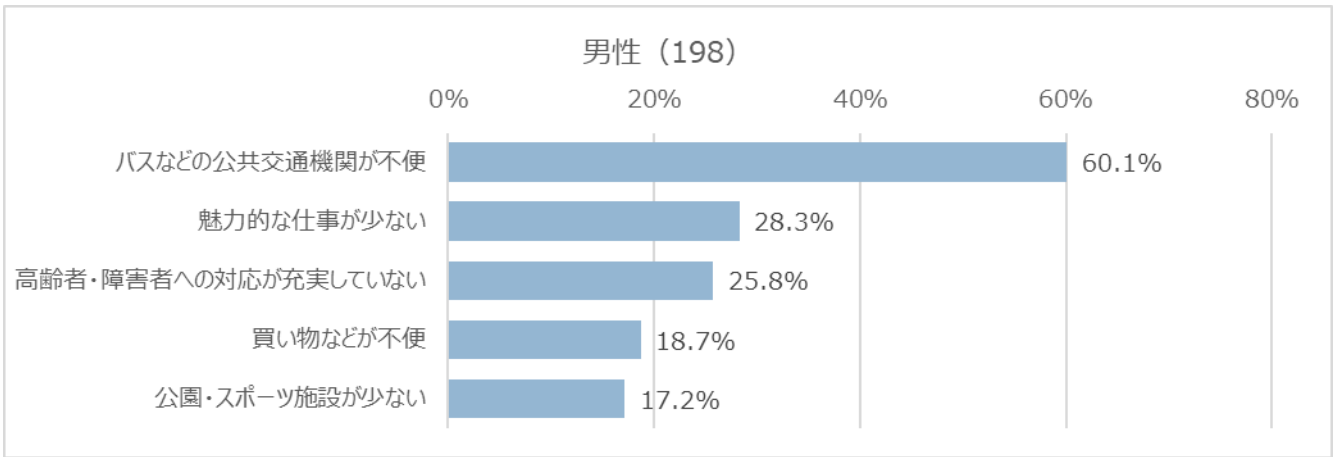
「住みにくいと思う点」の回答の上位5項目(割合)【複数回答】



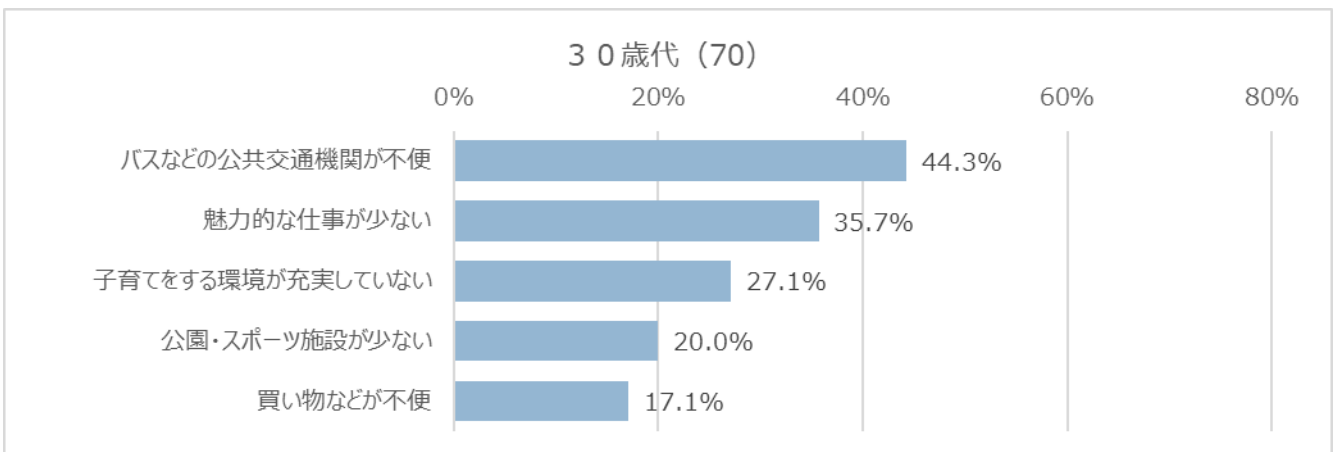
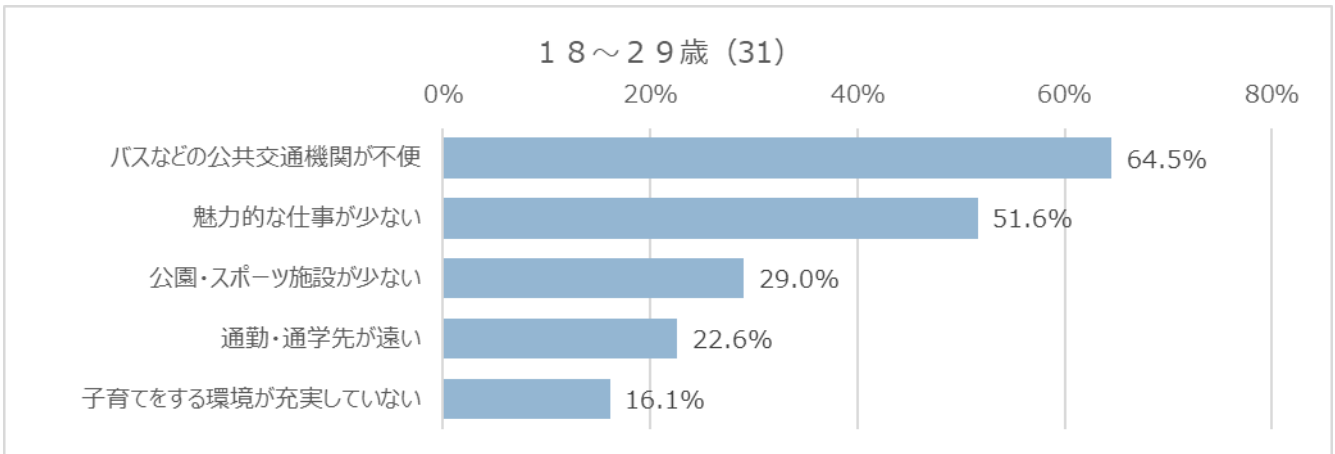
「住みにくいと思う点」の回答の上位5項目（割合・複数回答）【地区別】（ ）内はサンプル数

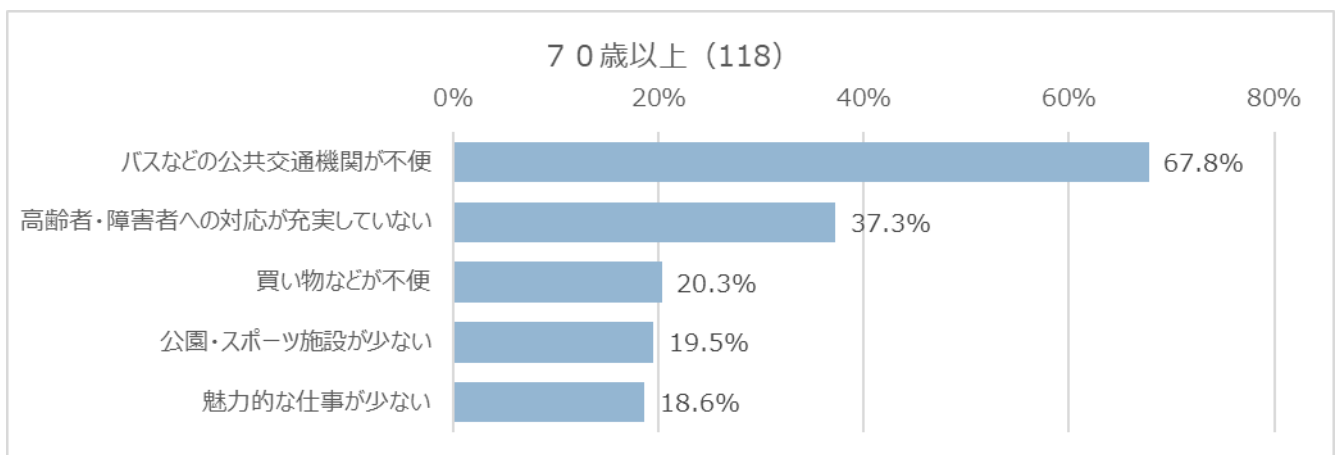
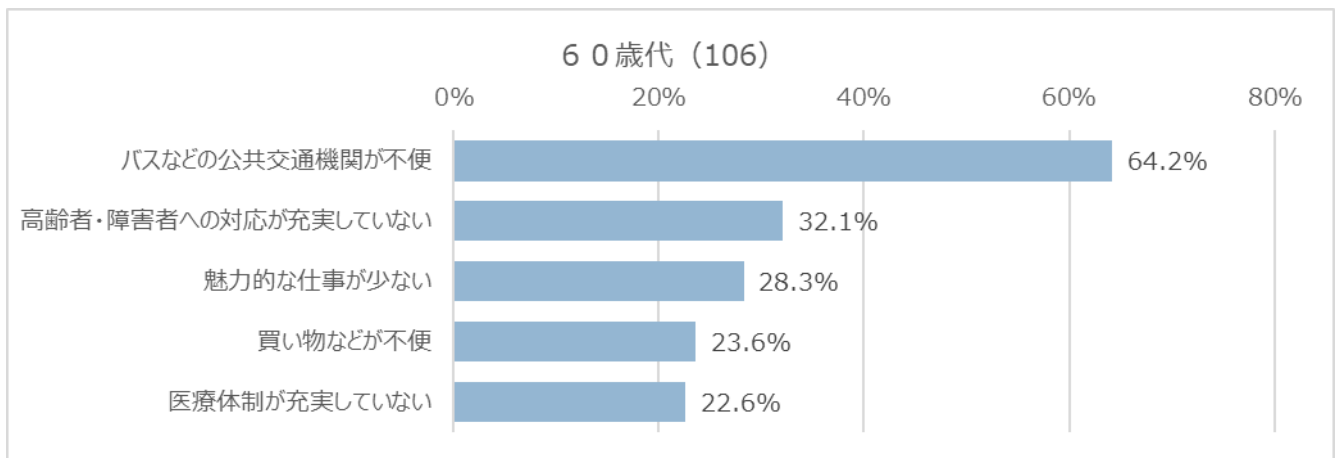
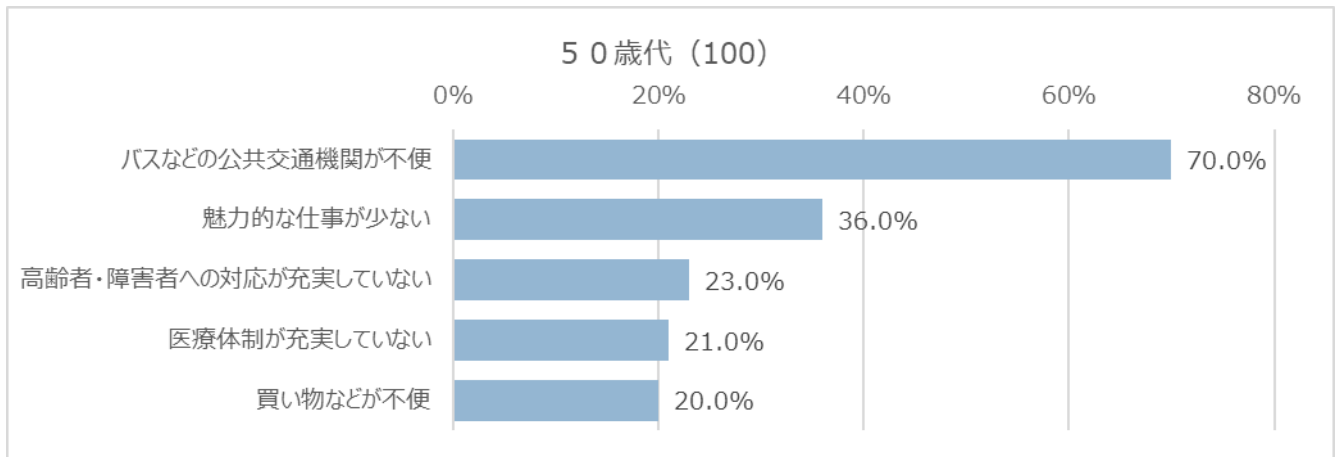
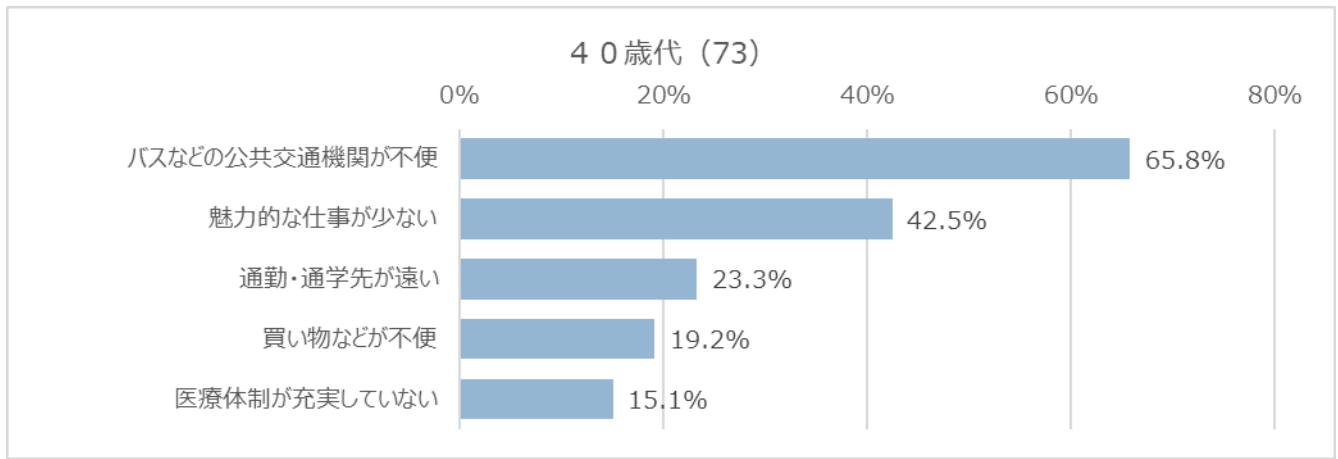


「住みにくいと思う点」の回答の上位5項目（割合・複数回答）【性別】（ ）内はサンプル数



「住みにくいと思う点」の回答の上位5項目（割合・複数回答）【年代別】（ ）内はサンプル数





◆「その他」の住みにくいと思う点（主なもの）

- ・夏の暑さやからっ風など天候の影響
- ・外国人のごみ捨てなどのマナー
- ・治安に不安がある

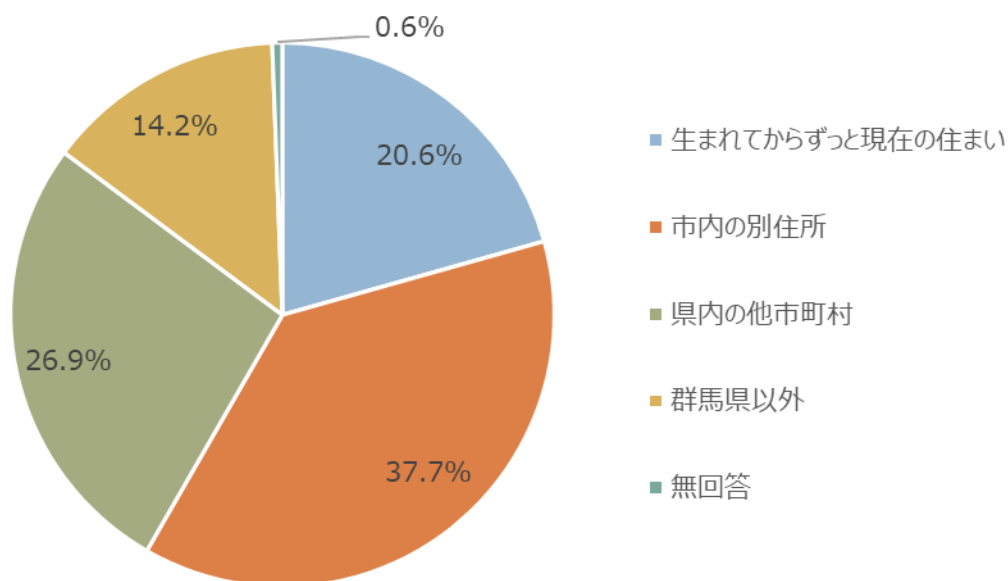
(11) 前住地（現在の住まいの直前に住んでいた場所）

現住所の直前に住んでいた場所について聞いたところ、「生まれてからずっと現在の住まい」が 103 人（20.6%）、「市内の別住所」が 188 人（37.7%）、「県内の他市町村」が 134 人（26.9%）、「県外」が 71 人（14.2%）、「無回答」が 3 人（0.6%）となった。

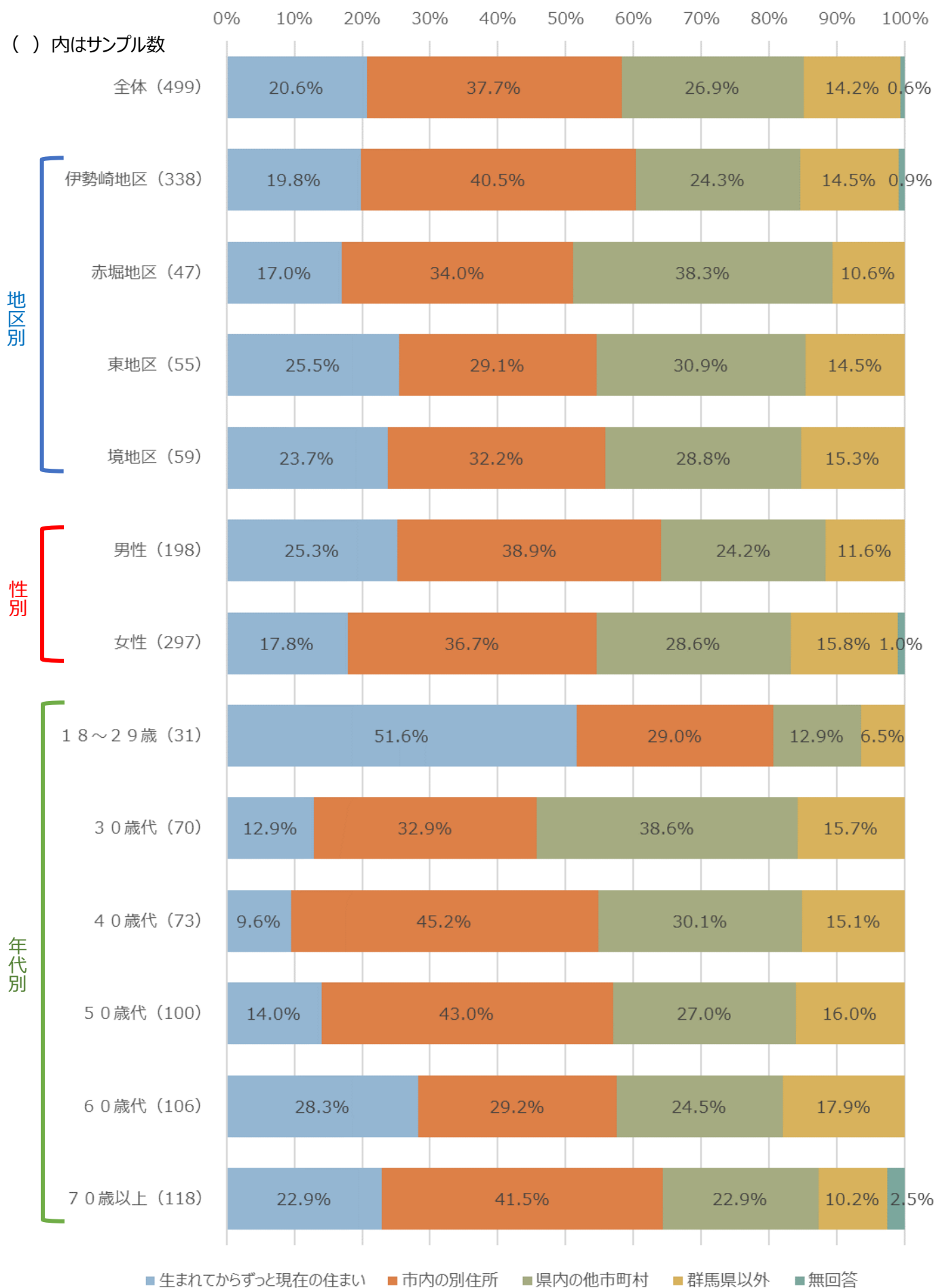
回答者の前住地

| | 回答数 | 割合 |
|-----------------|-----|--------|
| 生まれてからずっと現在の住まい | 103 | 20.6% |
| 市内の別住所 | 188 | 37.7% |
| 県内の他市町村 | 134 | 26.9% |
| 群馬県以外 | 71 | 14.2% |
| 無回答 | 3 | 0.6% |
| 合計 | 499 | 100.0% |

回答者の前住地（割合）



回答者の前住地（割合）【地区別・性別・年代別】



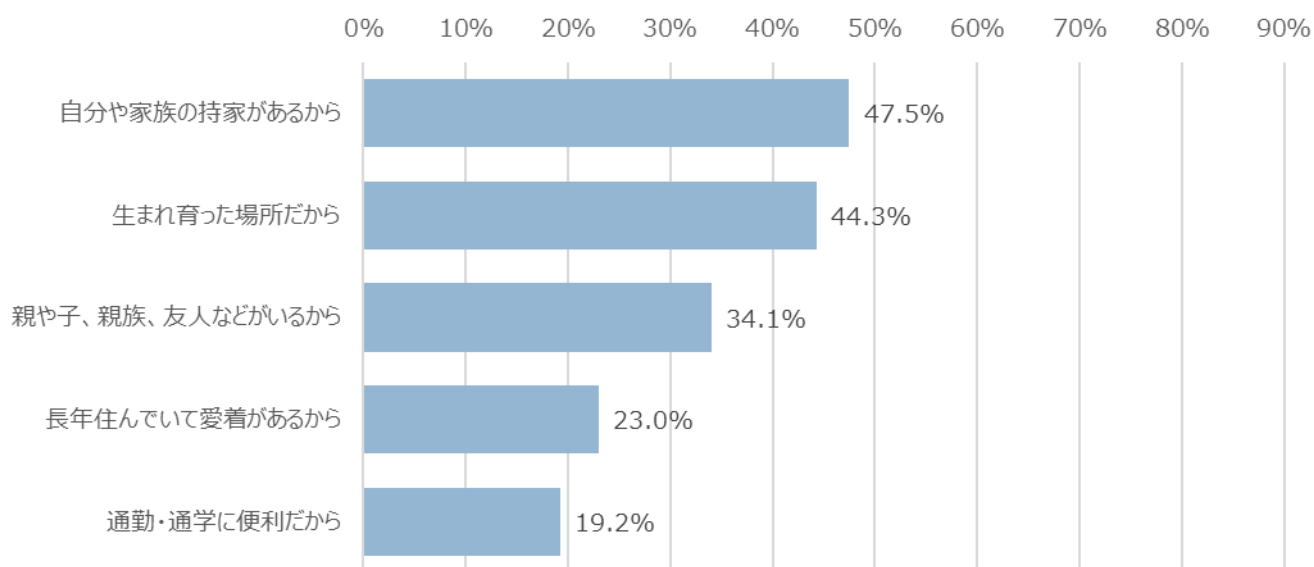
(12) 伊勢崎市を住まいとして選んだ理由

伊勢崎市を住まいとして選んだ理由を聞いたところ、「自分や家族の持家があるから」と回答した人が最も多く、237人(47.5%)となっている。以下、「生まれ育った場所だから」が221人(44.3%)、「親や子、親族、友人などがいるから」が170人(34.1%)と続いている。

「伊勢崎市を住まいとして選んだ理由」の回答【複数回答】

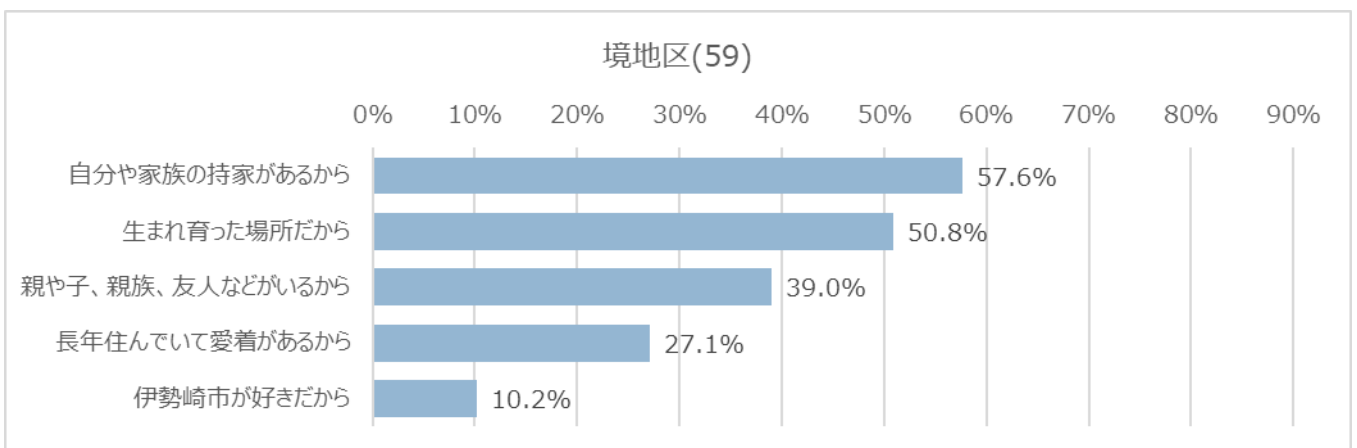
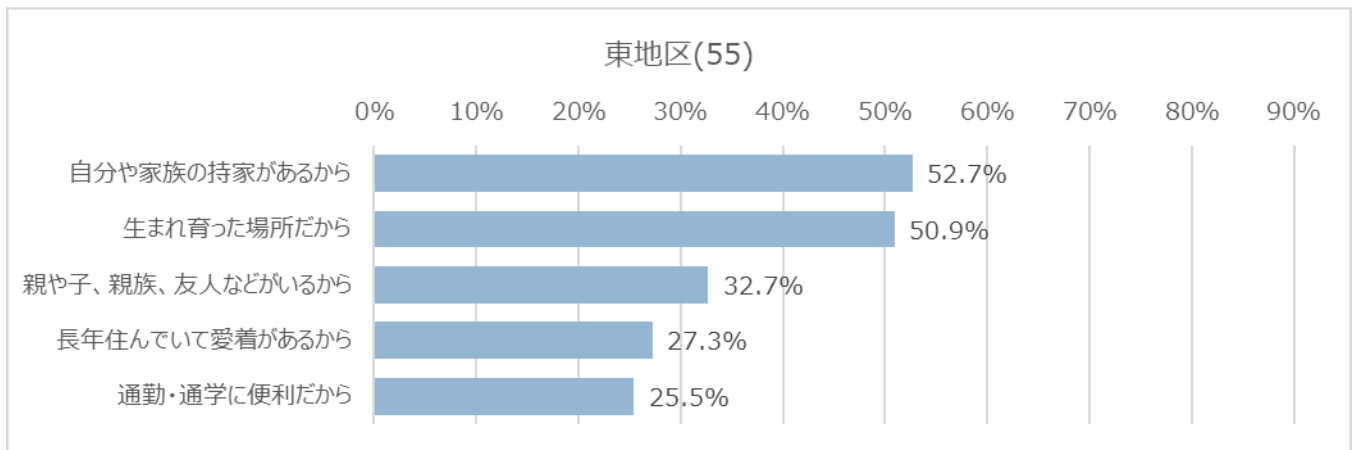
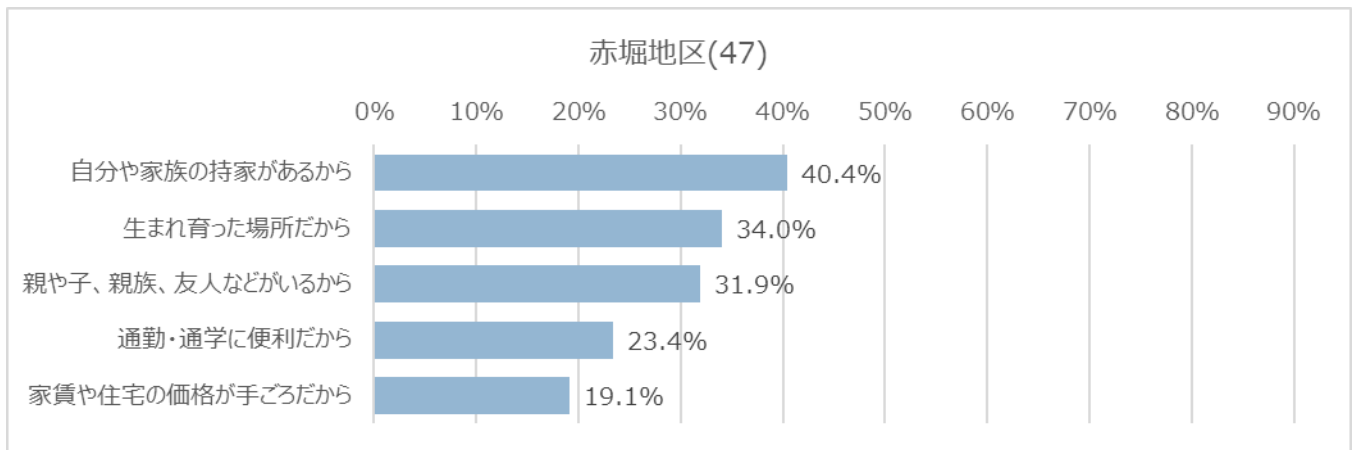
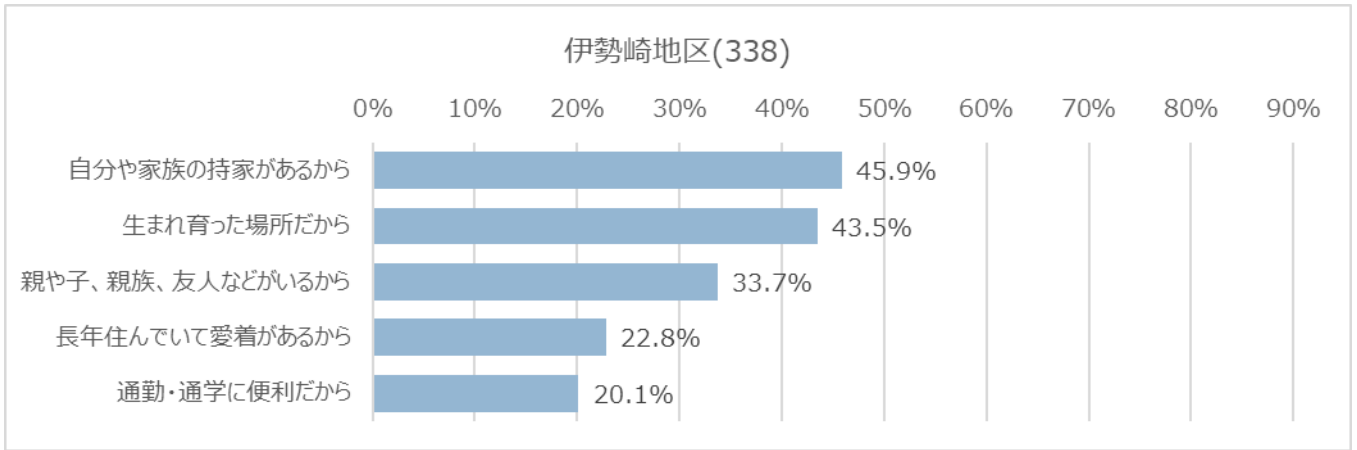
| | 回答数 | 割合 |
|-----------------------|-----|-------|
| 自分や家族の持家があるから | 237 | 47.5% |
| 生まれ育った場所だから | 221 | 44.3% |
| 親や子、親族、友人などがいるから | 170 | 34.1% |
| 長年住んでいて愛着があるから | 115 | 23.0% |
| 通勤・通学に便利だから | 96 | 19.2% |
| 伊勢崎市が好きだから | 54 | 10.8% |
| 家賃や住宅の価格が手ごろだから | 50 | 10.0% |
| 買い物、医療などの生活環境が整っているから | 49 | 9.8% |
| 自然が身近にあるから | 46 | 9.2% |
| 特に理由はない | 39 | 7.8% |
| 街のイメージがよいから | 16 | 3.2% |
| 子育ての環境が整っているから | 15 | 3.0% |
| 余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから | 14 | 2.8% |
| 街並みや景観がよいから | 12 | 2.4% |
| 街ににぎわいや活気があるから | 11 | 2.2% |

「伊勢崎市を住まいとして選んだ理由」の回答の上位5項目（割合）【複数回答】



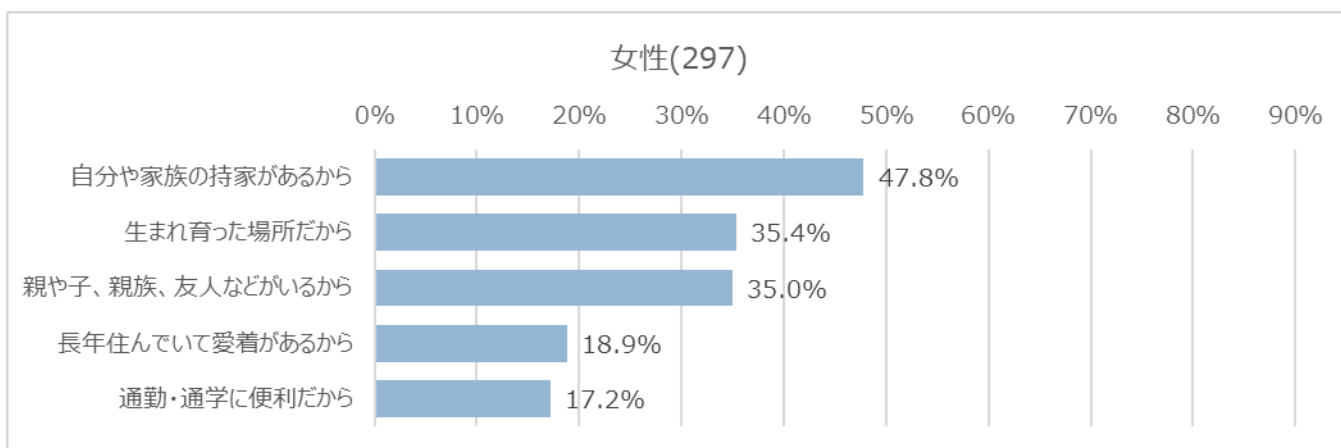
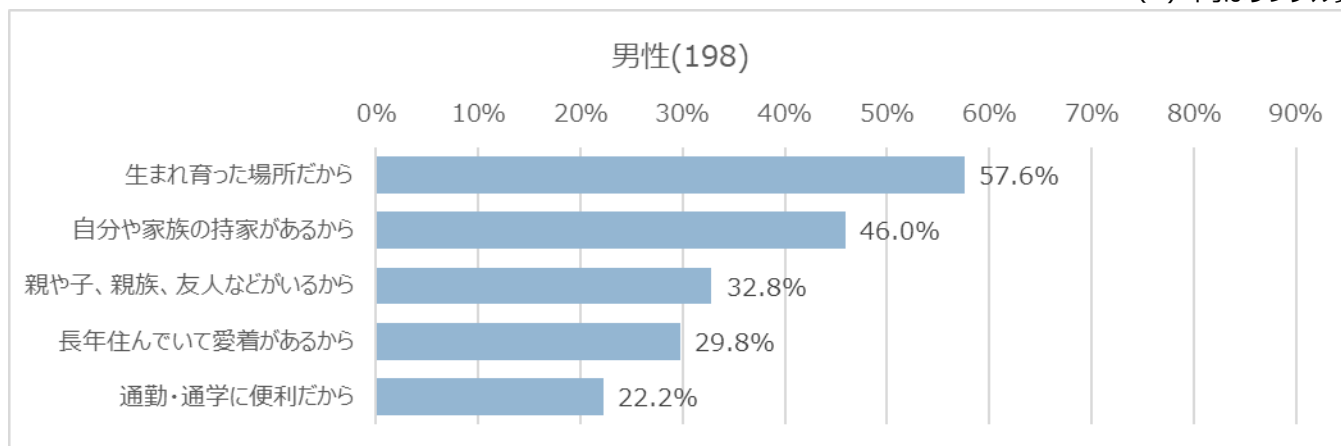
「伊勢崎市を住まいとして選んだ理由」の回答の上位5項目（割合・複数回答）【地区別】

() 内はサンプル数



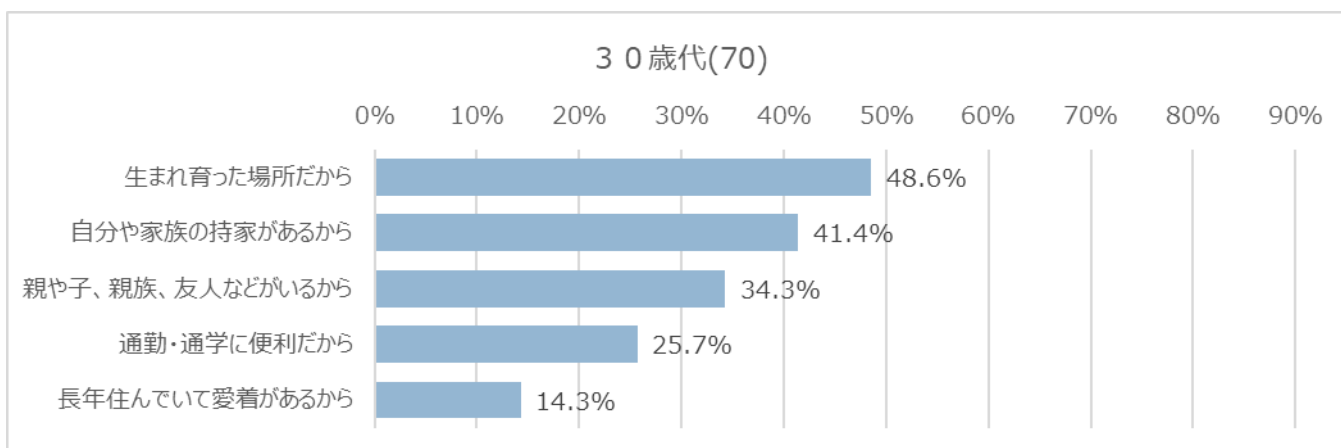
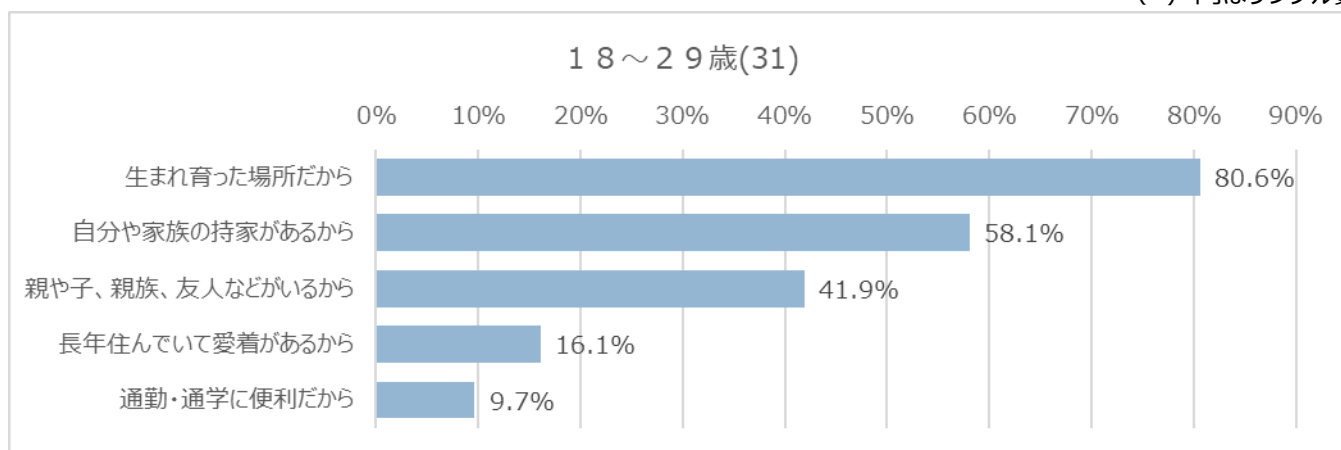
「伊勢崎市を住まいとして選んだ理由」の回答の上位5項目（割合・複数回答）【性別】

() 内はサンプル数

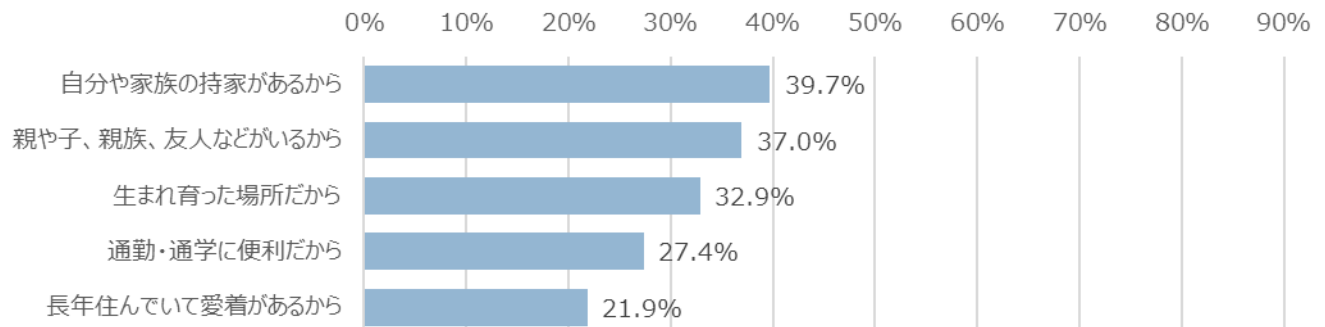


「伊勢崎市を住まいとして選んだ理由」の回答の上位5項目（割合・複数回答）【年代別】

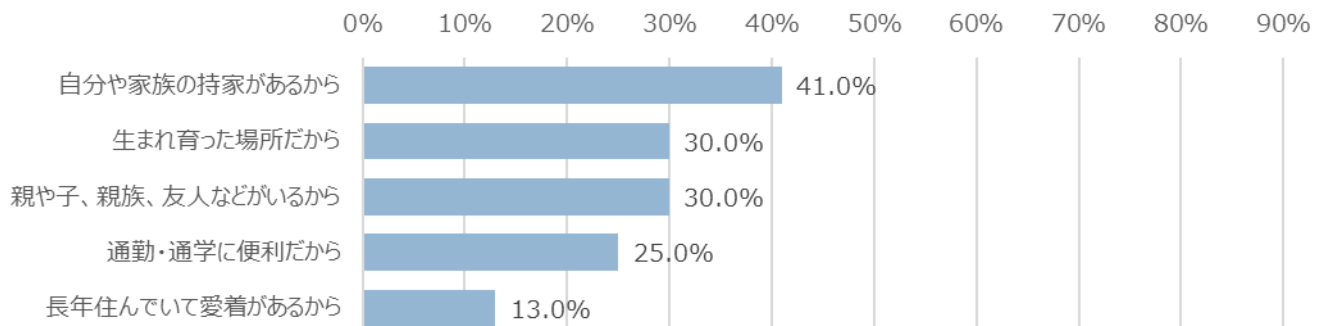
() 内はサンプル数



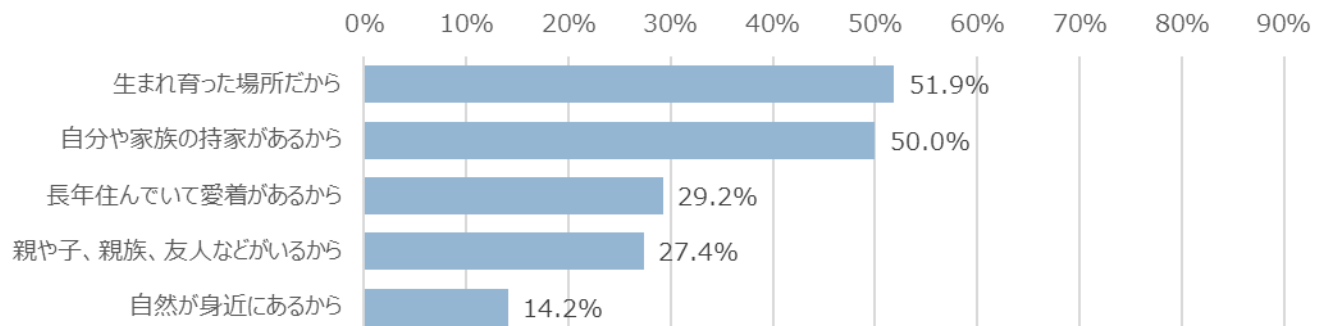
40歳代(73)



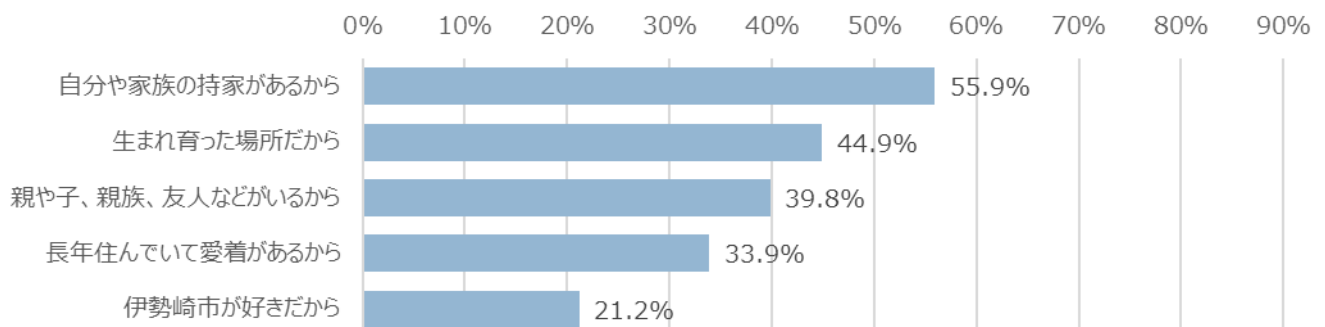
50歳代(100)



60歳代(106)



70歳以上(118)



◆「その他」の伊勢崎市を住まいとして選んだ理由（主なもの）

- ・配偶者（パートナー）の出身地だから
- ・配偶者（パートナー）の仕事の都合
- ・配偶者（パートナー）と自分の出身地の中間地点だから

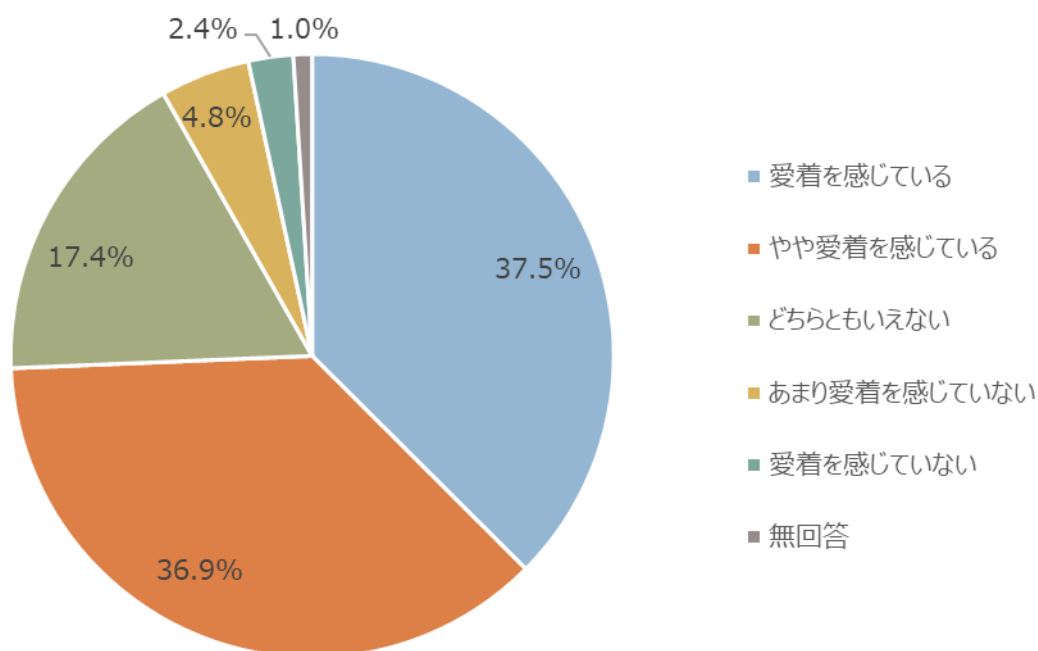
(13) 伊勢崎市への愛着

伊勢崎市に愛着を感じているか聞いたところ、「やや愛着を感じている」を含め「愛着を感じている」と回答した人は 371 人 (74.4%)、「どちらともいえない」と回答した人は 87 人(17.4%)、「あまり愛着を感じていない」を含め「愛着を感じていない」と回答した人は 36 人(7.2%)、「無回答」が 5 人(1.0%)となり、多くの人が「やや愛着を感じている」を含め「愛着を感じている」と回答した。

回答者の伊勢崎市への愛着

| | 回答数 | 割合 |
|--------------|-----|--------|
| 愛着を感じている | 187 | 37.5% |
| やや愛着を感じている | 184 | 36.9% |
| どちらともいえない | 87 | 17.4% |
| あまり愛着を感じていない | 24 | 4.8% |
| 愛着を感じていない | 12 | 2.4% |
| 無回答 | 5 | 1.0% |
| 合計 | 499 | 100.0% |

回答者の伊勢崎市への愛着 (割合)



「伊勢崎市への愛着」の回答（割合）【地区別・性別・年代別】



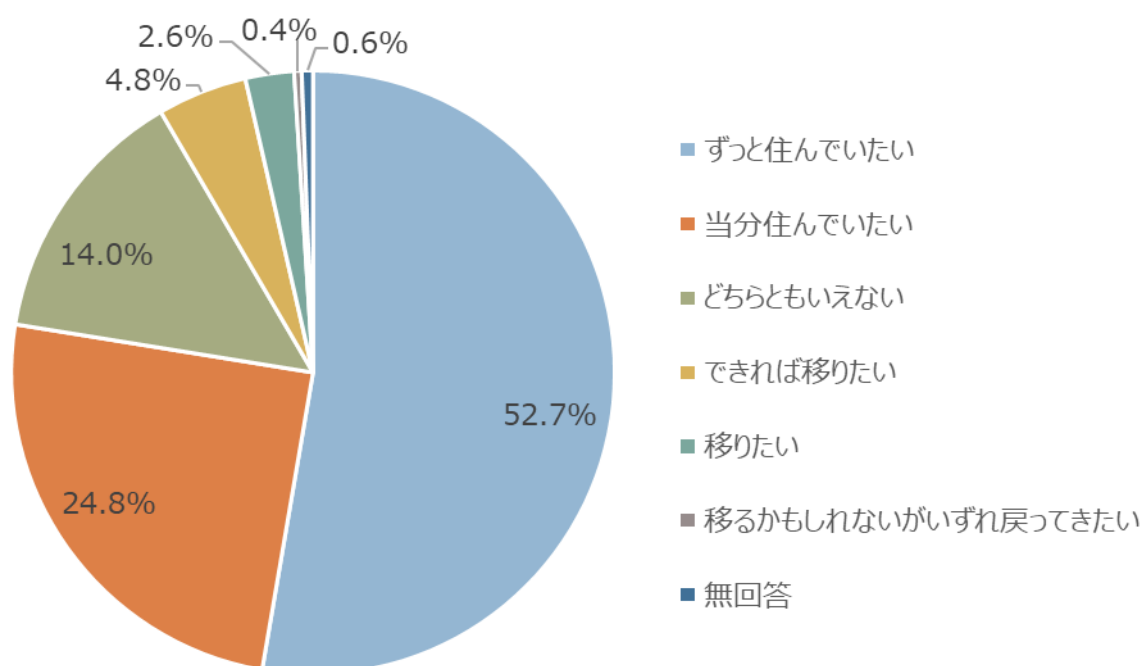
(14) 今後の居住地について

これからも今の住まいに住み続けたいか聞いたところ、「当分住んでいたい」を含め「住んでいたい」と回答した人は 387 人 (77.5%)、「どちらともいえない」と回答した人は 70 人(14.0%)、「できれば移りたい」を含め「移りたい」と回答した人は 37 人 (7.4%)、「移るかもしれないがいずれ戻ってきたい」と回答した人は 2 人(0.4%)、「無回答」が 3 人(0.6%)となり、多くの人が「当分住んでいたい」を含め「住んでいたい」と回答した。

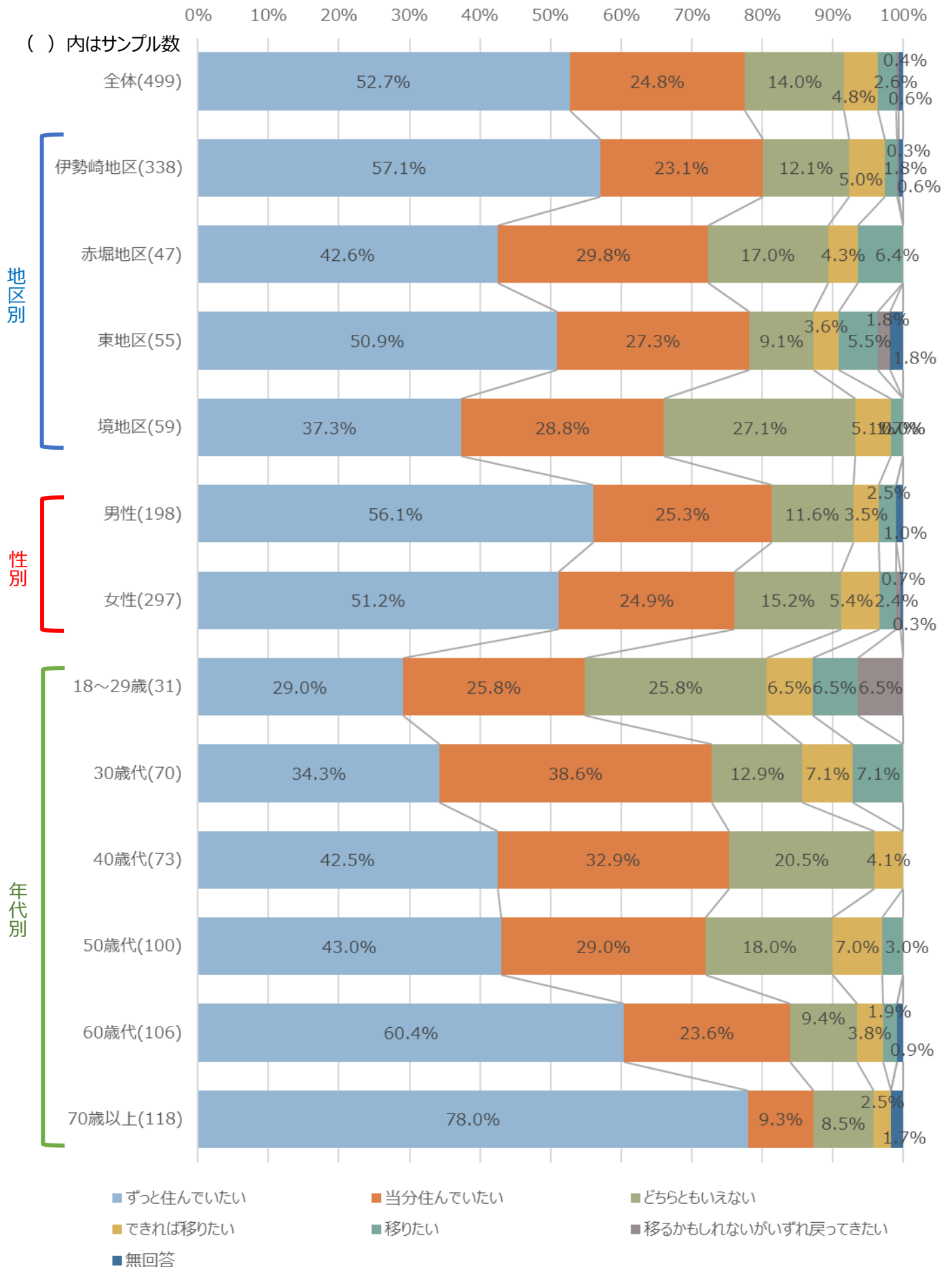
「今後の居住地について」の回答

| | 回答数 | 割合 |
|--------------------|-----|--------|
| ずっと住んでいたい | 263 | 52.7% |
| 当分住んでいたい | 124 | 24.8% |
| どちらともいえない | 70 | 14.0% |
| できれば移りたい | 24 | 4.8% |
| 移りたい | 13 | 2.6% |
| 移るかもしれないがいずれ戻ってきたい | 2 | 0.4% |
| 無回答 | 3 | 0.6% |
| 合計 | 499 | 100.0% |

「今後の居住地について」の回答 (割合)



「今後の居住地について」の回答（割合）【地区別・性別・年代別】



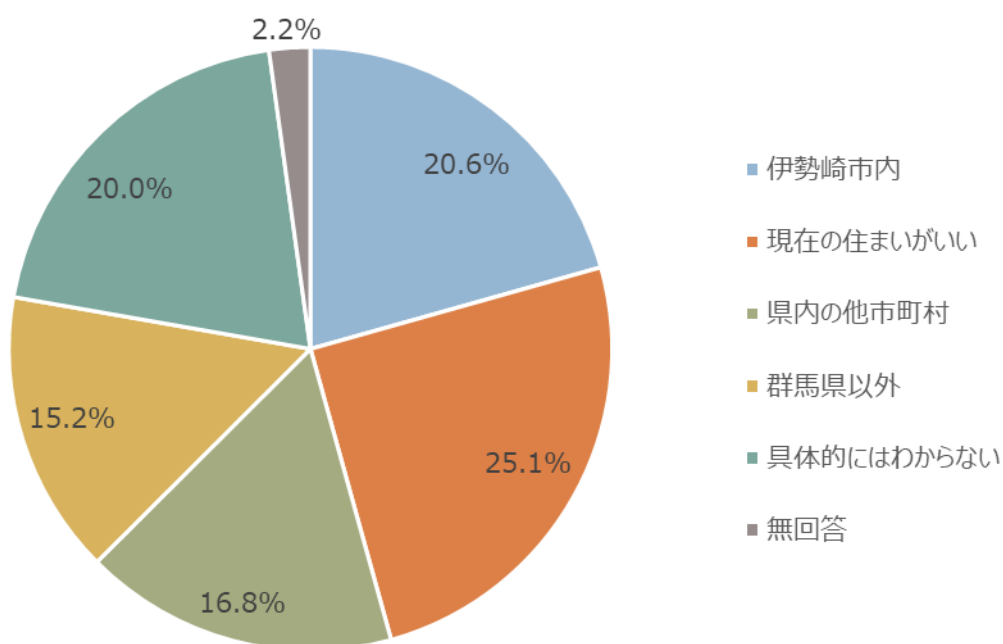
(15) 希望する転居先

現実の問題は別として、もし転居すると仮定した場合の転居先を聞いたところ、「現在の住まいがいい」が 125 人（25.1%）で最も多くなった。以下、「伊勢崎市内」が 103 人（20.6%）、「具体的にはわからない」が 100 人（20.0%）、「県内の他市町村」が 84 人（16.8%）、「群馬県以外」が 76 人（15.2%）、無回答が 11 人（2.2%）となっている。

また、「伊勢崎市内」と「現在の住まいがいい」を合わせた『伊勢崎市内（計）』は 228 人（45.7%）となり、「県内の他市町村」と「群馬県以外」を合わせた『伊勢崎市以外（計）』160 人（32.0%）を上回っている。

「希望する居住先」についての回答

| | 回答数 | 割合 |
|------------|-----|--------|
| 伊勢崎市内 | 103 | 20.6% |
| 現在の住まいがいい | 125 | 25.1% |
| 県内の他市町村 | 84 | 16.8% |
| 群馬県以外 | 76 | 15.2% |
| 具体的にはわからない | 100 | 20.0% |
| 無回答 | 11 | 2.2% |
| 合計 | 499 | 100.0% |



「希望する居住先」の回答の割合【地区別・性別・年代別】



(16) 「(15) 希望する転居先として『伊勢崎市以外(計)』を選んだ理由

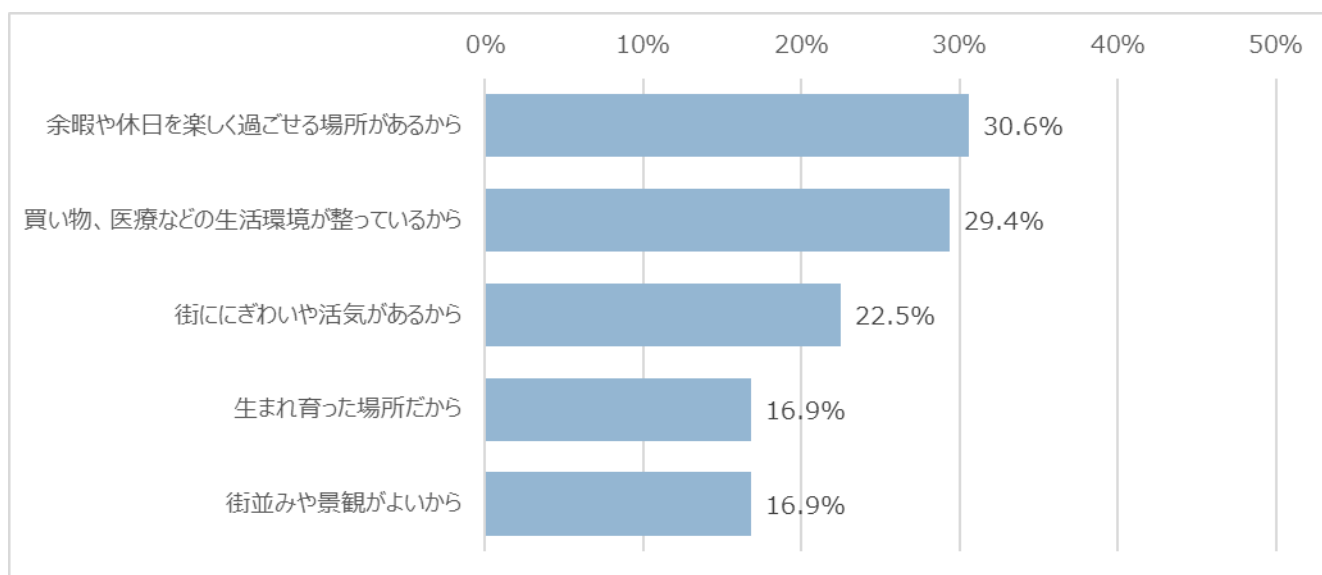
「(15) 希望する転居先」として、「県内の他市町村」と「群馬県以外」を合わせた『伊勢崎市以外(計)』を希望した人は160人(32.0%)であり、そのうち希望する理由としては、「余暇や休日を楽しみ過ごせる場所があるから」と回答した人が多く、49人(30.6%)となっている。以下、「買い物、医療などの生活環境が整っているから」が47人(29.4%)、「街ににぎわいや活気があるから」が36人(22.5%)、「生まれ育った場所だから」が27人(16.9%)と続いている。

『伊勢崎市以外(計)』を選んだ理由【複数回答】

(サンプル数=160)

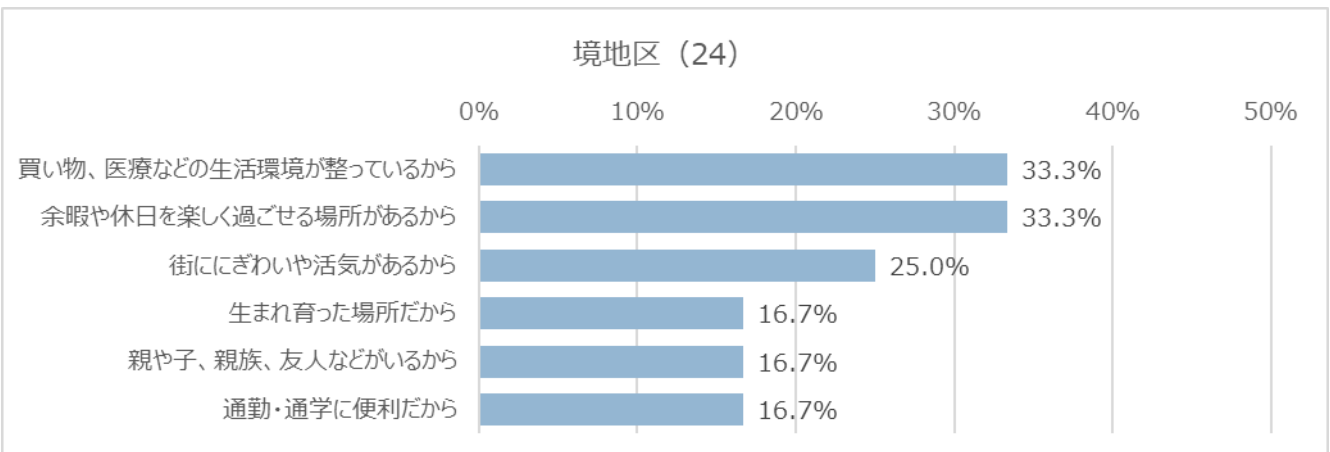
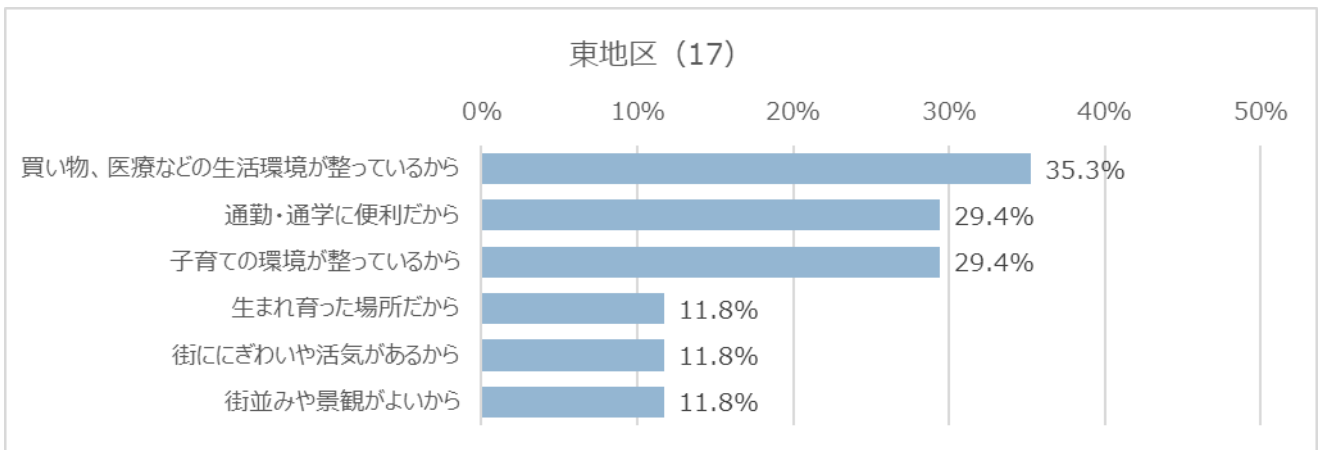
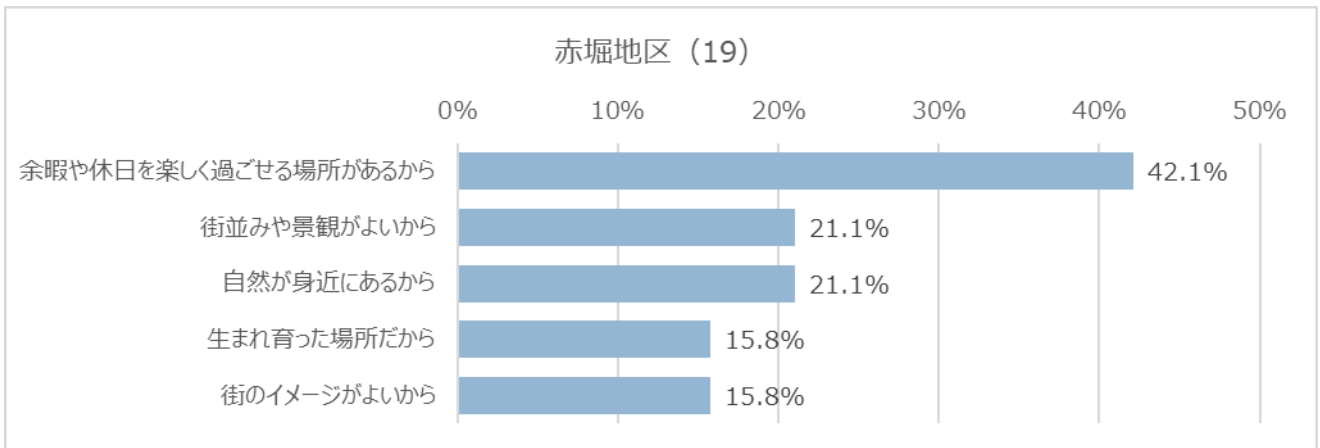
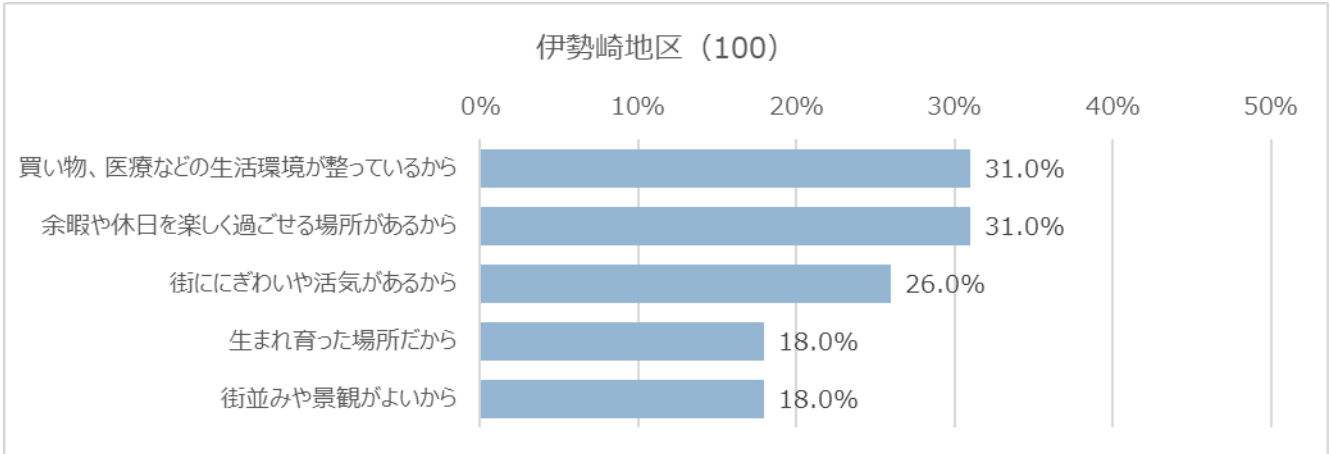
| | 回答数 | 割合 |
|-----------------------|-----|-------|
| 余暇や休日を楽しみ過ごせる場所があるから | 49 | 30.6% |
| 買い物、医療などの生活環境が整っているから | 47 | 29.4% |
| 街ににぎわいや活気があるから | 36 | 22.5% |
| 生まれ育った場所だから | 27 | 16.9% |
| 街並みや景観がよいから | 27 | 16.9% |
| 通勤・通学に便利だから | 25 | 15.6% |
| 親や子、親族、友人などがあるから | 24 | 15.0% |
| 自然が身近にあるから | 23 | 14.4% |
| 街のイメージがよいから | 20 | 12.5% |
| 子育ての環境が整っているから | 17 | 10.6% |
| 自分や家族の持家があるから | 11 | 6.9% |
| 特に理由はない | 10 | 6.3% |
| 長年住んでいて愛着があるから | 8 | 5.0% |
| 家賃や住宅の価格が手ごろだから | 2 | 1.3% |

『伊勢崎市以外(計)』を選んだ理由の上位5項目(割合)【複数回答】



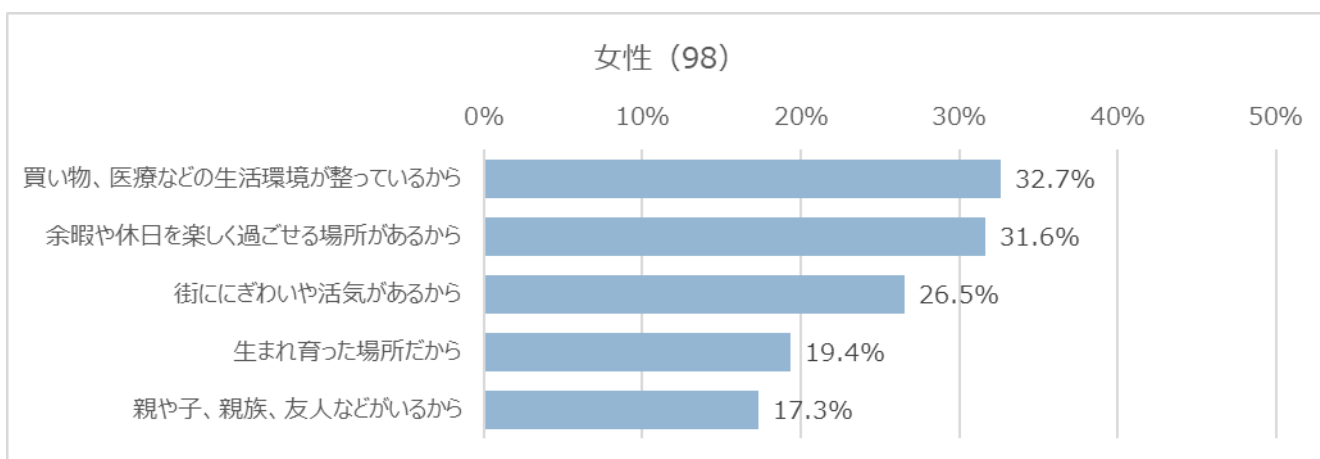
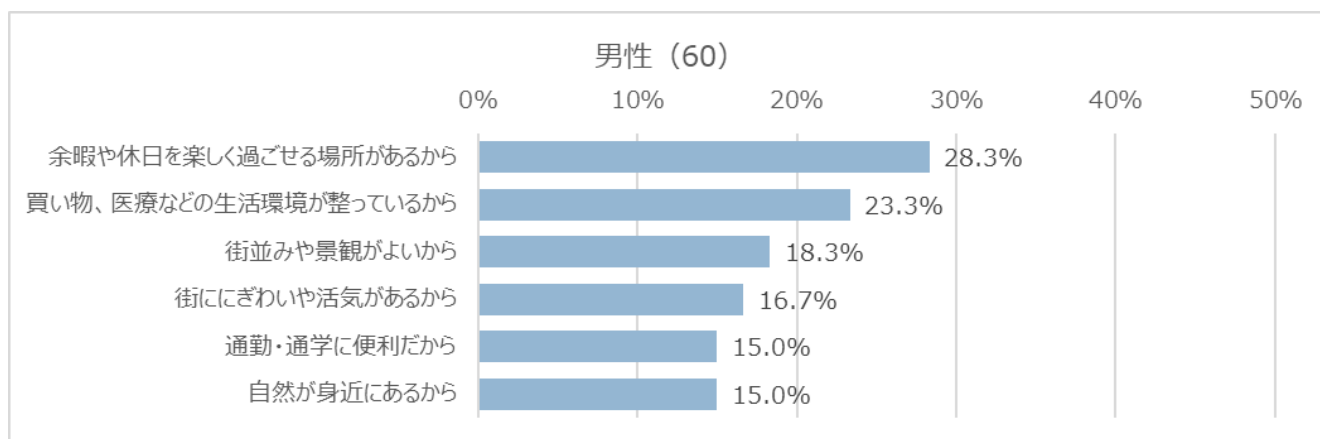
『伊勢崎市以外（計）』を選んだ理由の回答の上位5項目（割合・複数回答）【地区別】

（ ）内はサンプル数



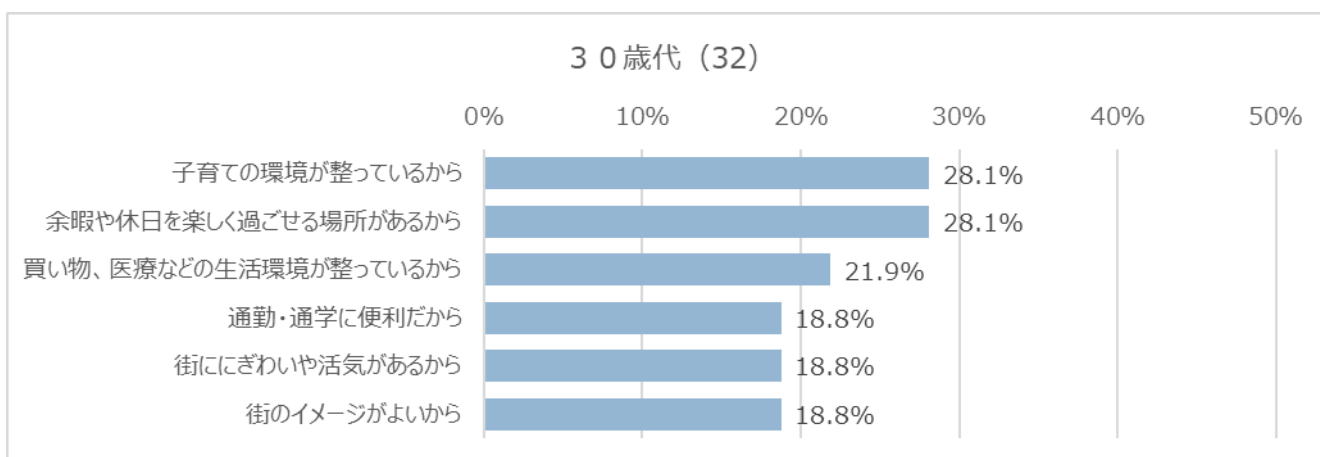
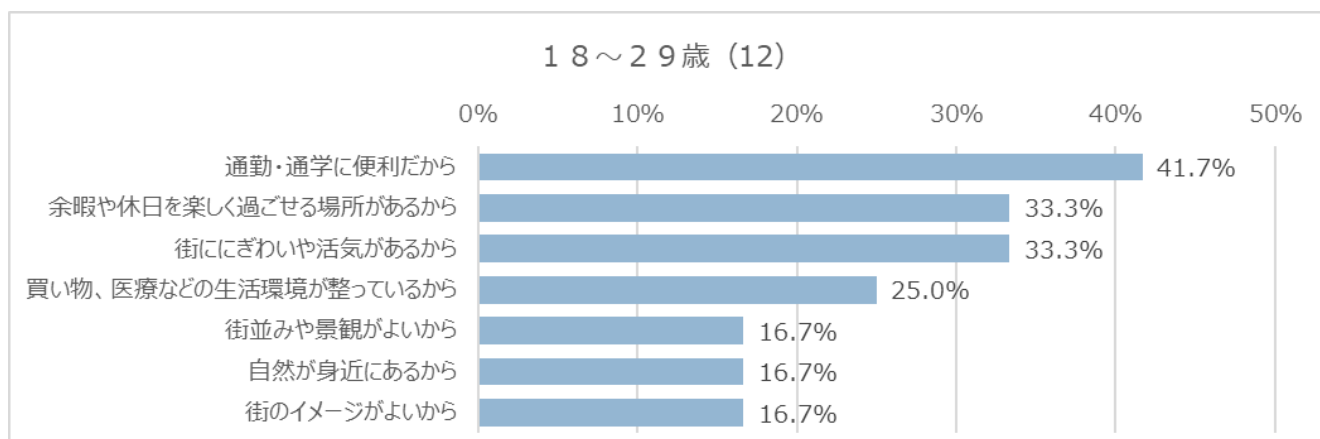
『伊勢崎市以外（計）』を選んだ理由の回答の上位5項目（割合・複数回答）【性別】

（ ）内はサンプル数

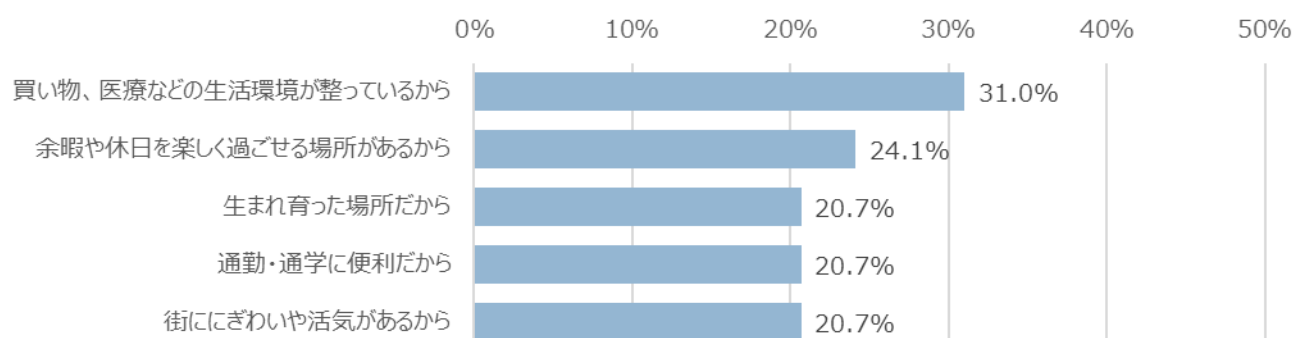


『伊勢崎市以外（計）』を選んだ理由の回答の上位5項目（割合・複数回答）【年代別】

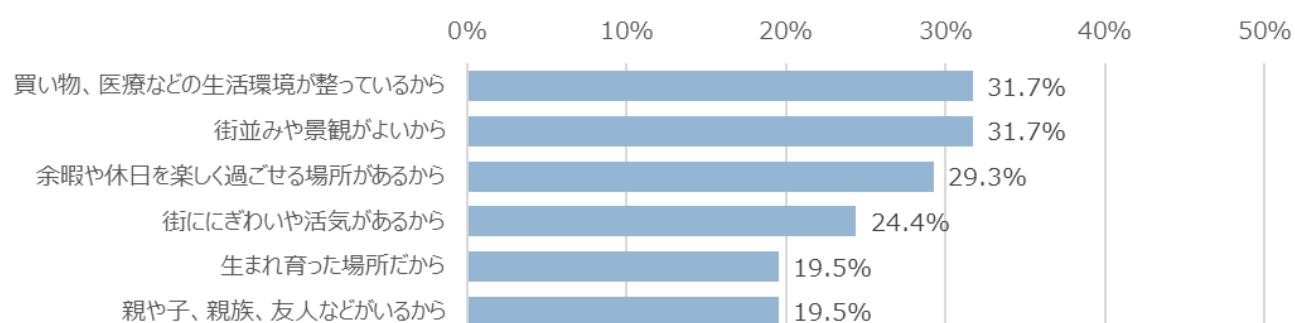
（ ）内はサンプル数



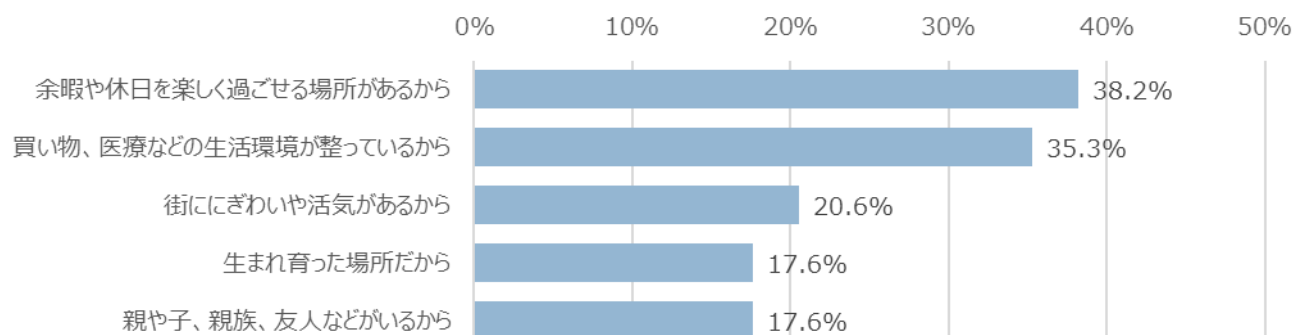
40歳代 (29)



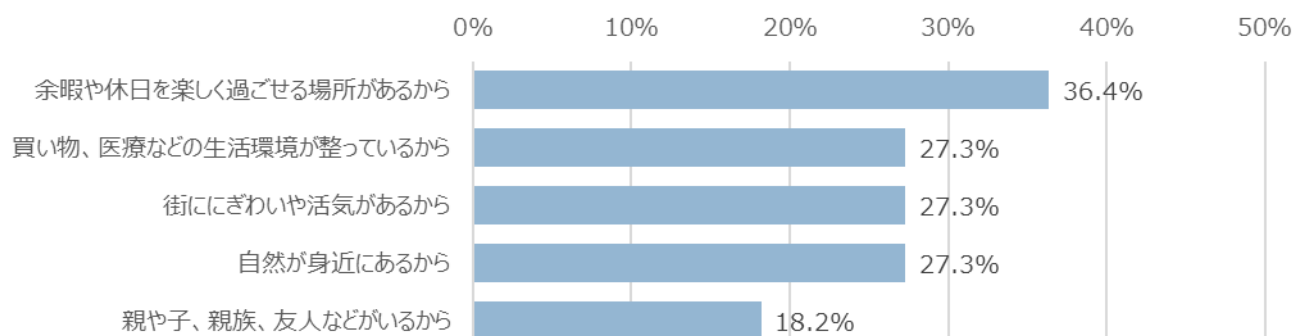
50歳代 (41)



60歳代 (34)



70歳以上 (11)



◆「その他」の『伊勢崎市以外（計）』を選んだ理由（主なもの）

- ・群馬県以外で生活してみたいから
- ・天候が安定しているところに住みたいから
- ・公共交通機関等が充実しているところに住みたいから

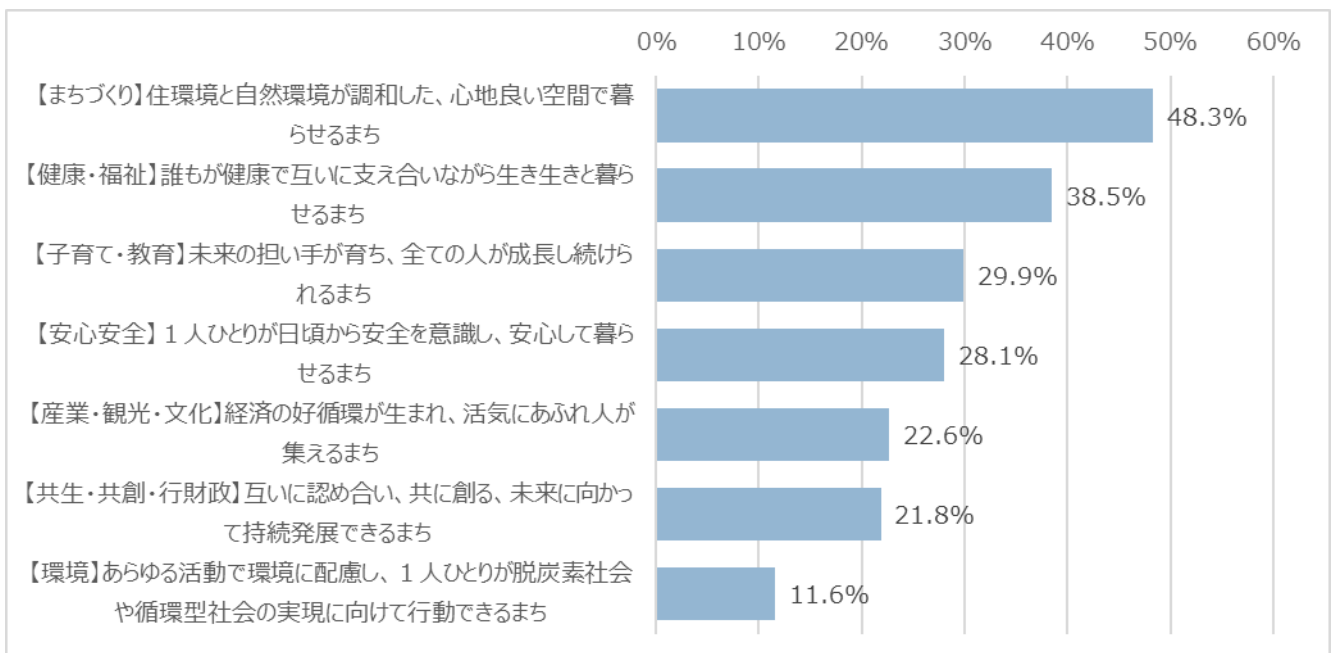
■ 現在と将来の伊勢崎市について

(17) 現在の伊勢崎市のイメージについて

現在の伊勢崎市のイメージについて聞いたところ、「【まちづくり】住環境と自然環境が調和した、心地良い空間で暮らせるまち」と回答した人が最も多く、241人(48.3%)となっている。以下、「【健康・福祉】誰もが健康で互いに支え合いながら生き生きと暮らせるまち」が192人(38.5%)、「【子育て・教育】未来の担い手が育ち、全ての人々が成長し続けられるまち」が149人(29.9%)と続いている。

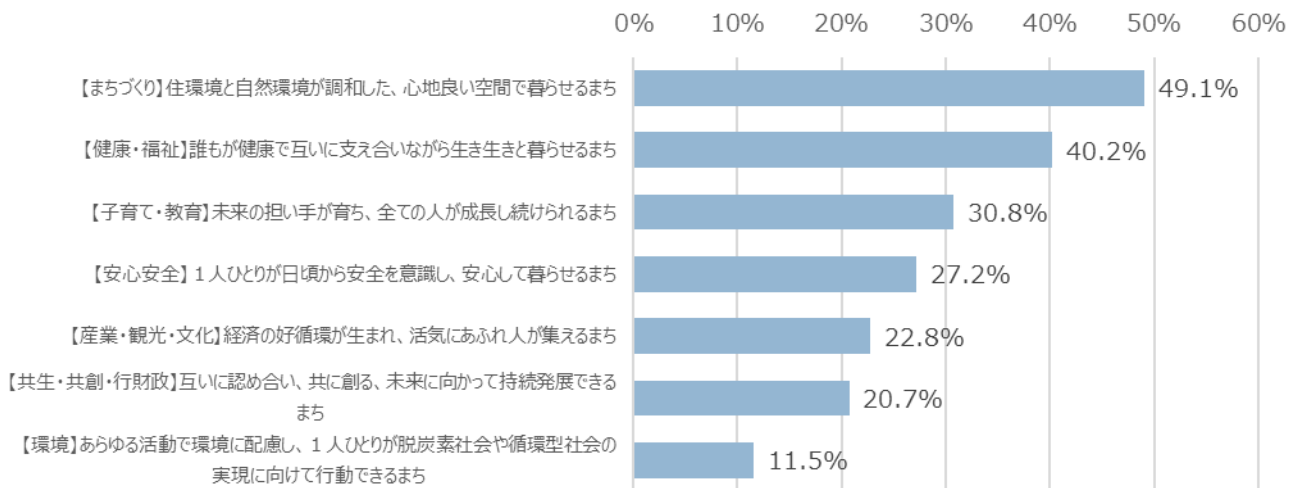
「現在の伊勢崎市のイメージ」についての回答【複数回答】

| | 回答数 | 割合 |
|---|-----|-------|
| 【まちづくり】 住環境と自然環境が調和した、心地良い空間で暮らせるまち | 241 | 48.3% |
| 【健康・福祉】 誰もが健康で互いに支え合いながら生き生きと暮らせるまち | 192 | 38.5% |
| 【子育て・教育】 未来の担い手が育ち、全ての人々が成長し続けられるまち | 149 | 29.9% |
| 【安心安全】 1人ひとりが日頃から安全を意識し、安心して暮らせるまち | 140 | 28.1% |
| 【産業・観光・文化】 経済の好循環が生まれ、活気にあふれ人が集えるまち | 113 | 22.6% |
| 【共生・共創・行財政】 互いに認め合い、共に創る、未来に向かって持続発展できるまち | 109 | 21.8% |
| 【環境】 あらゆる活動で環境に配慮し、1人ひとりが脱炭素社会や循環型社会の実現に向けて行動できるまち | 58 | 11.6% |

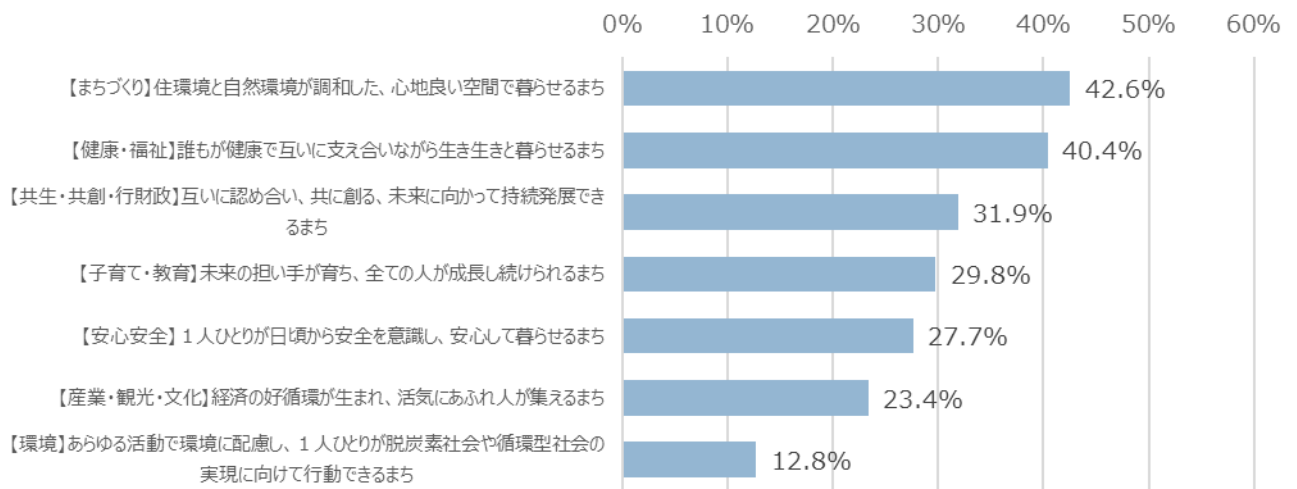


「現在の伊勢崎市のイメージ」についての回答（複数回答・割合）【地区別】（ ）内はサンプル数

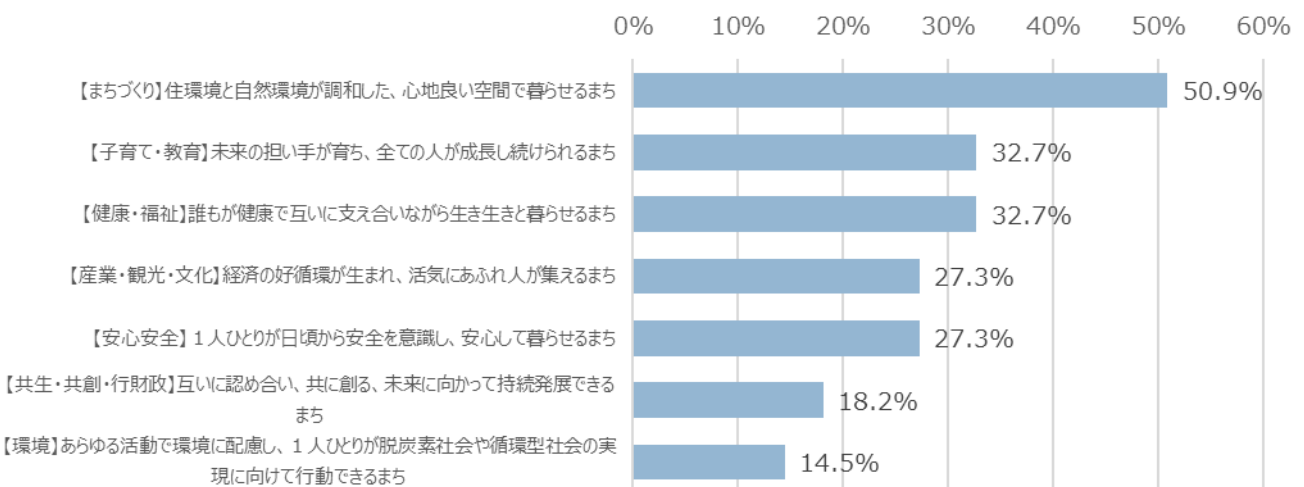
伊勢崎地区（338）

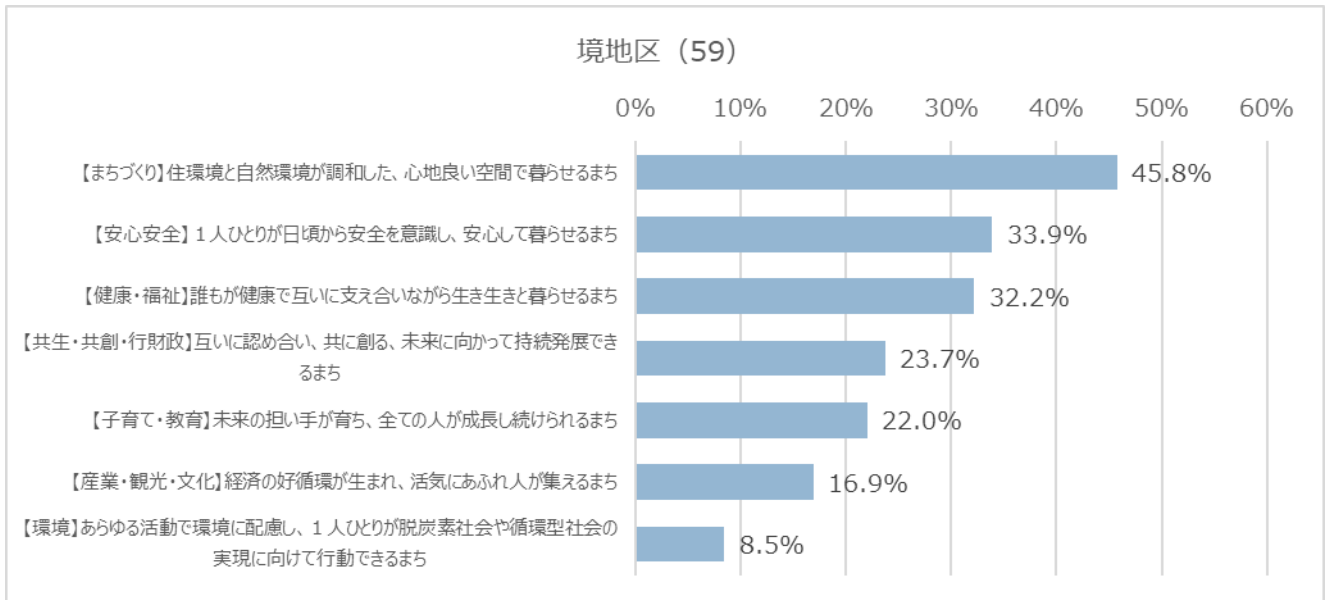


赤堀地区（47）



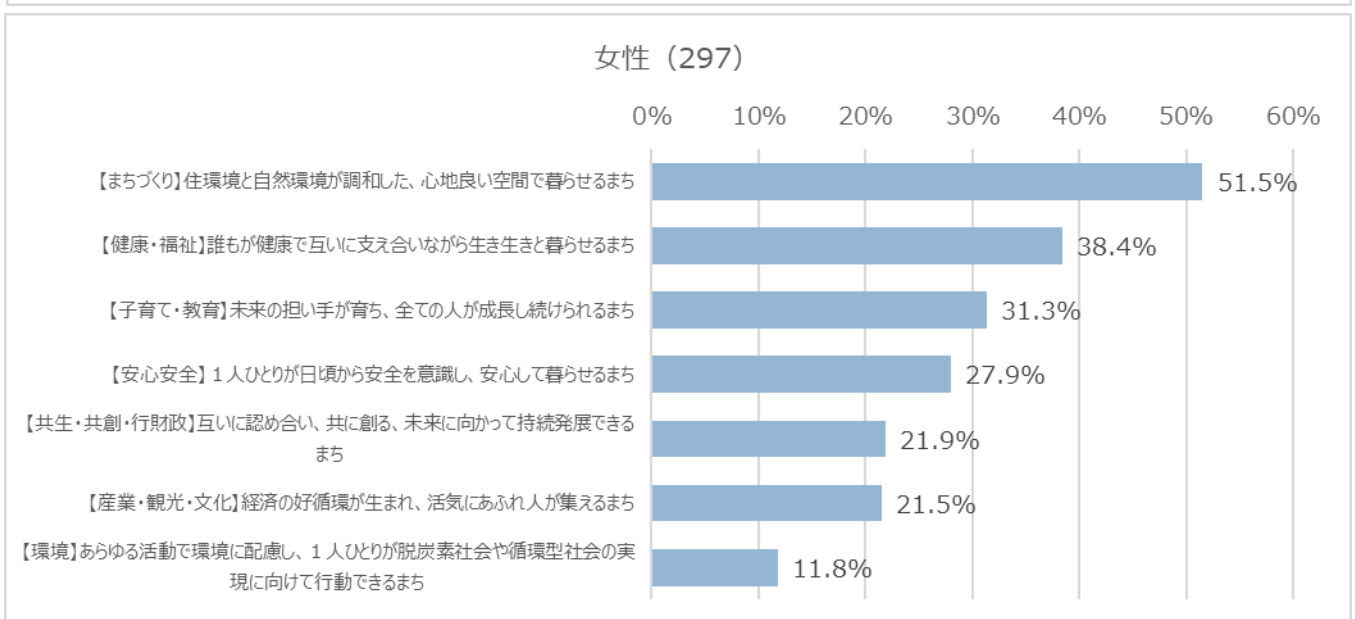
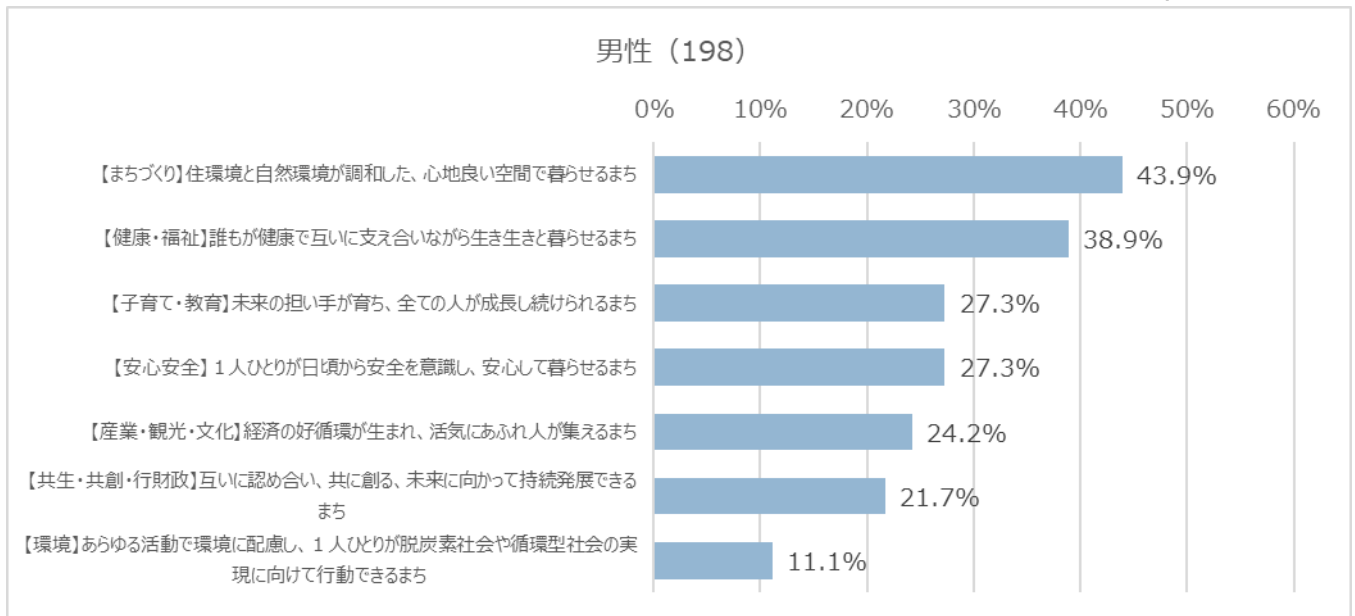
東地区（55）





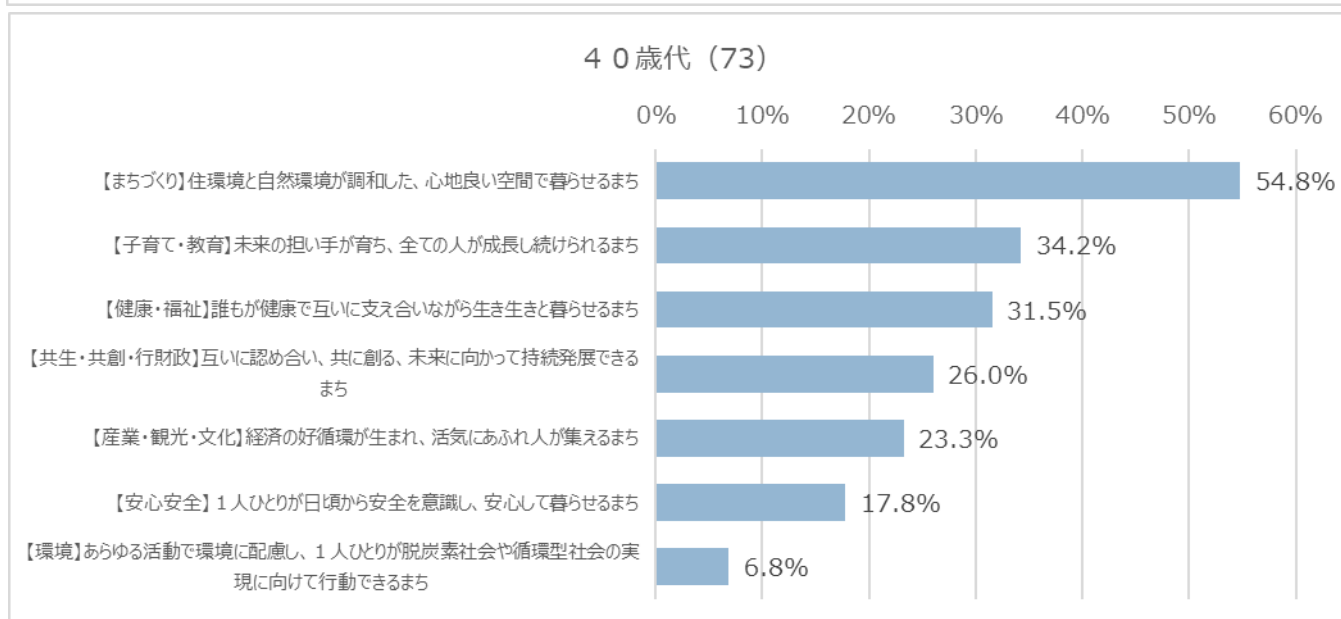
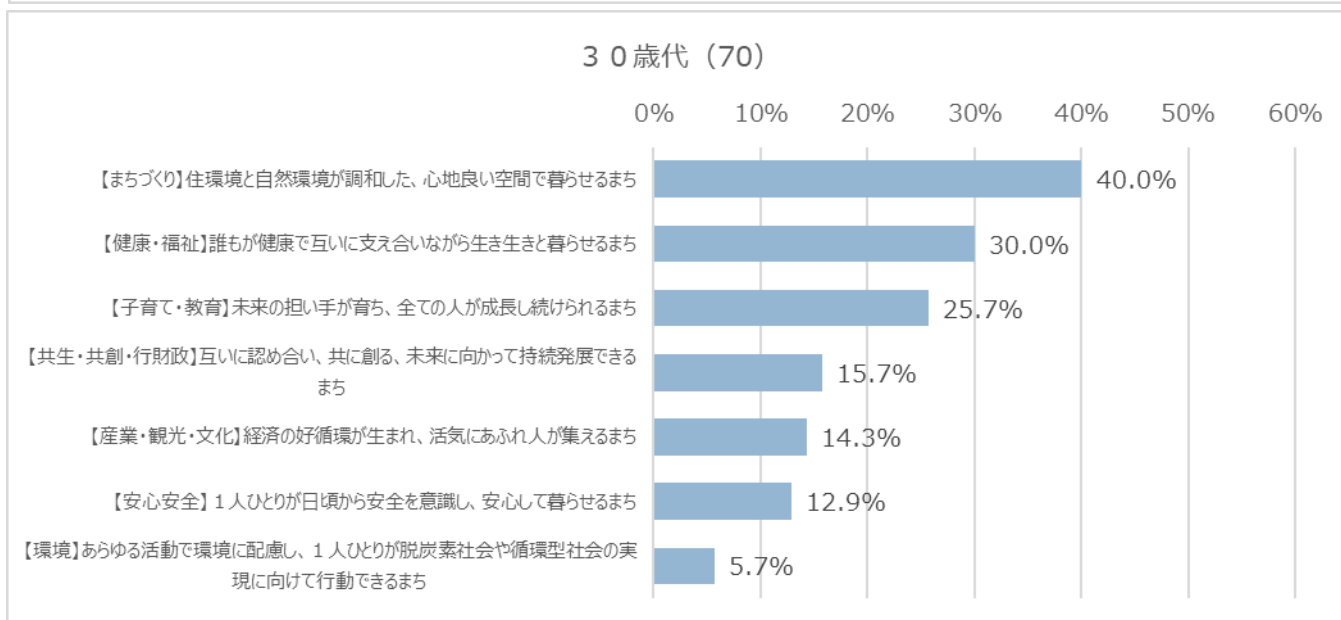
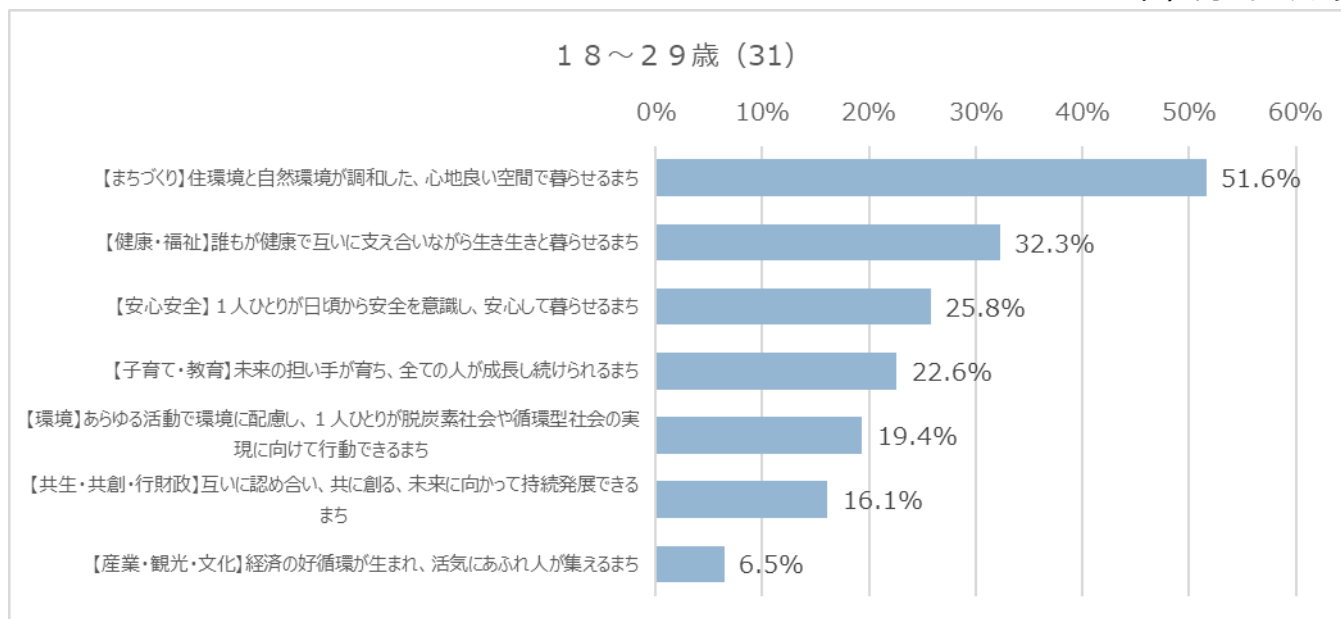
「現在の伊勢崎市のイメージ」についての回答（複数回答・割合）【性別】

() 内はサンプル数

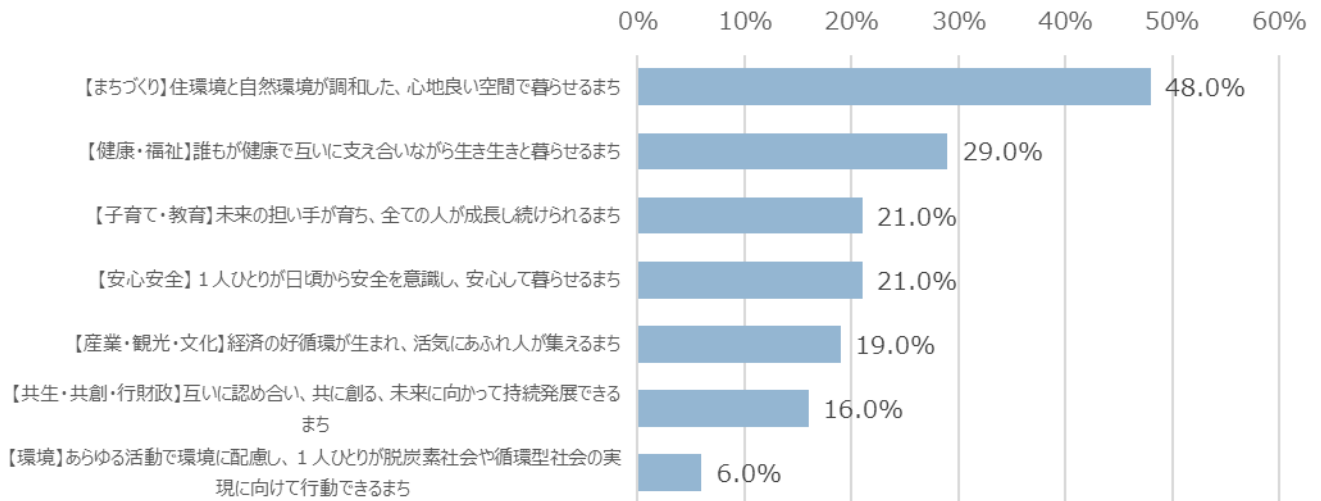


「現在の伊勢崎市のイメージ」についての回答（複数回答・割合）【年代別】

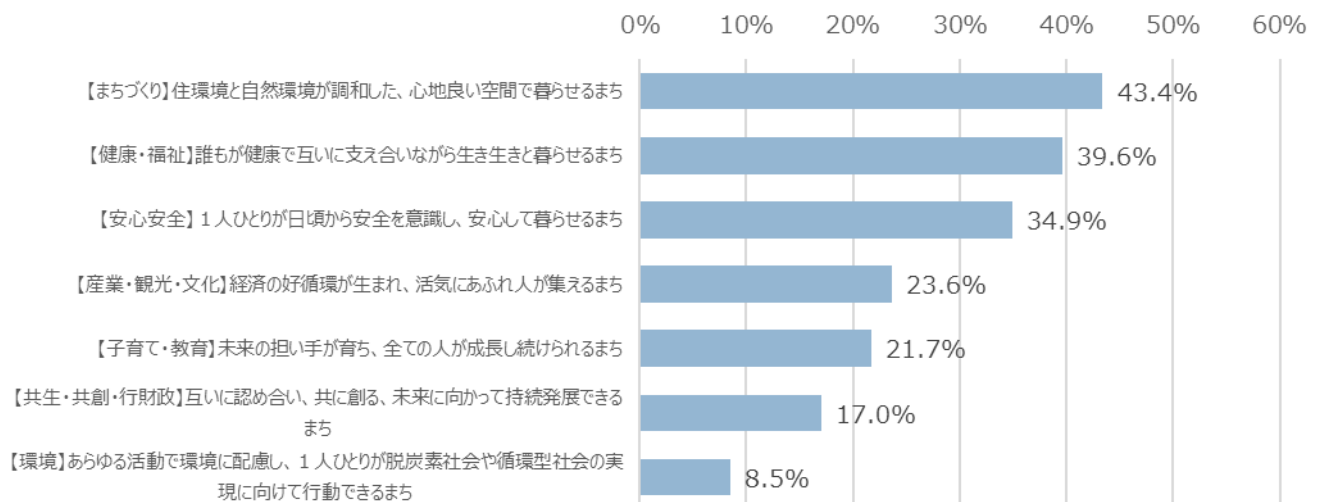
() 内はサンプル数



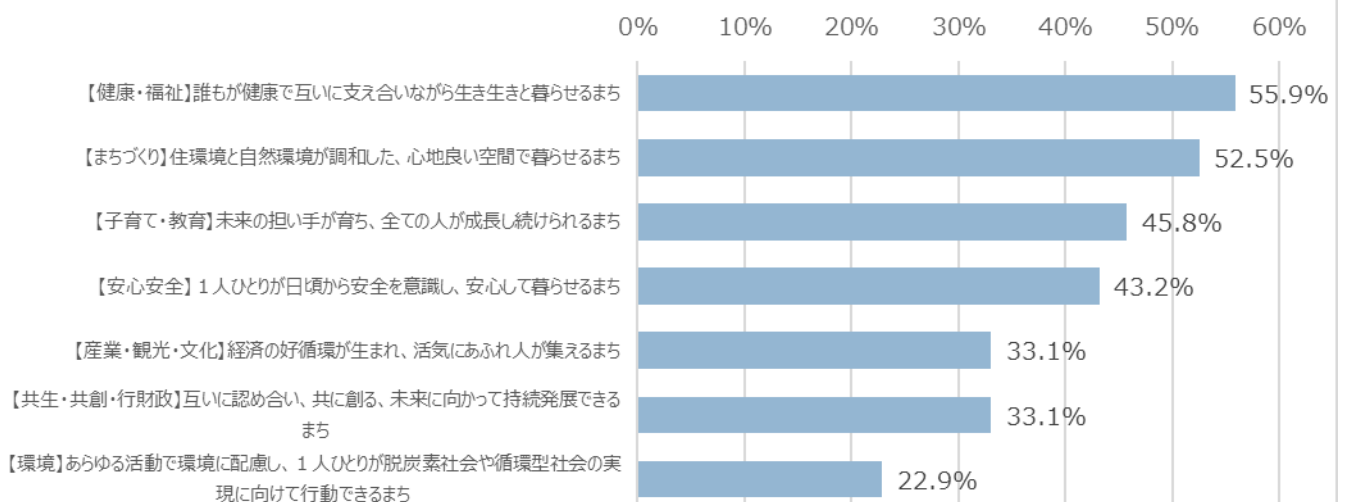
50歳代 (100)



60歳代 (106)



70歳以上 (118)

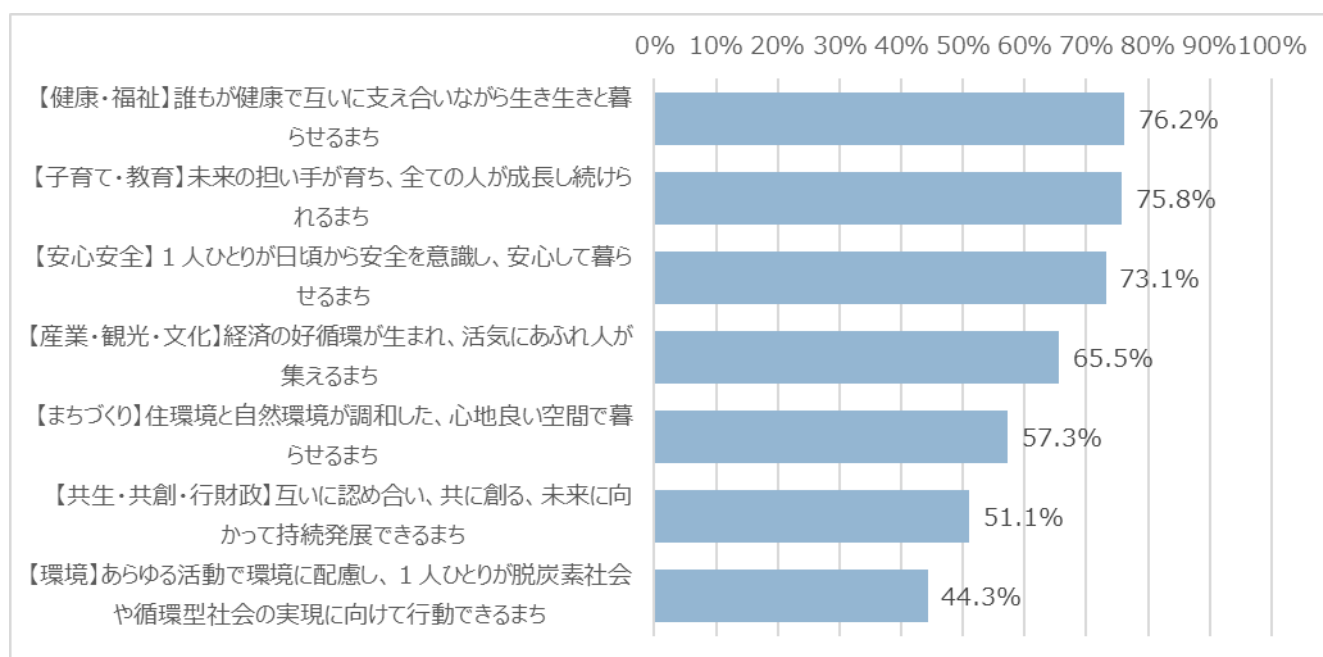


(18) 将来なっしてほしい伊勢崎市のイメージ

将来の伊勢崎市が、どのような市になっほしいか聞いたところ、「【健康・福祉】誰もが健康で互いに支え合いながら生き生きと暮らせるまち」と回答した人が最も多く、380人(76.2%)となっている。以下、「【子育て・教育】未来の担い手が育ち、全ての人成長し続けられるまち」が378人(75.8%)、「【安心安全】1人ひとりが日頃から安全を意識し、安心して暮らせるまち」が365人(73.1%)と続いている。

「将来なっほしい伊勢崎市」についての回答【複数回答】

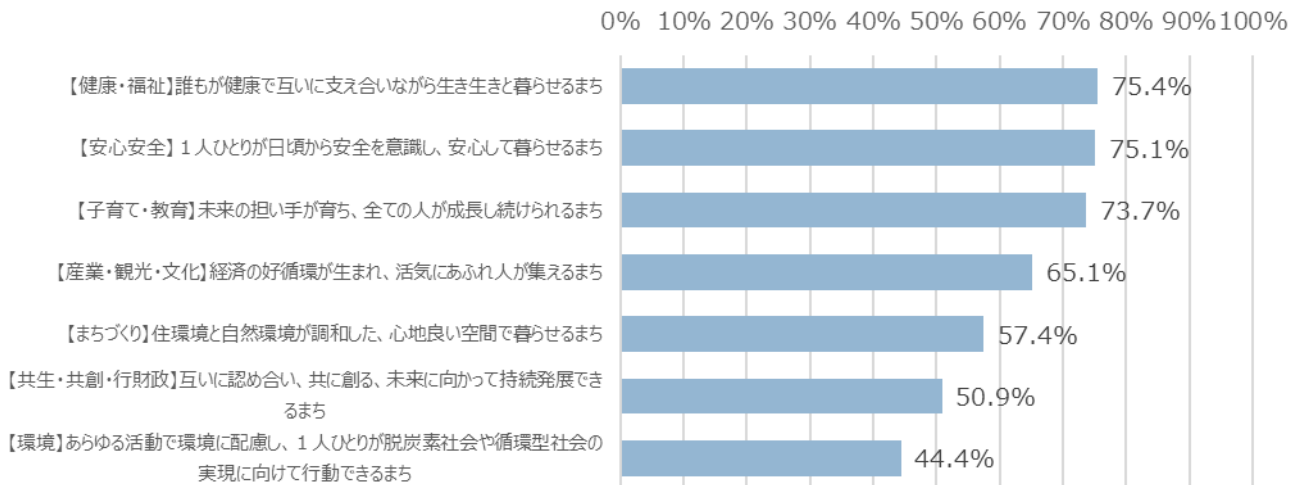
| | 回答数 | 割合 |
|---|-----|-------|
| 【健康・福祉】 誰もが健康で互いに支え合いながら生き生きと暮らせるまち | 380 | 76.2% |
| 【子育て・教育】 未来の担い手が育ち、全ての人成長し続けられるまち | 378 | 75.8% |
| 【安心安全】 1人ひとりが日頃から安全を意識し、安心して暮らせるまち | 365 | 73.1% |
| 【産業・観光・文化】 経済の好循環が生まれ、活気にあふれ人が集えるまち | 327 | 65.5% |
| 【まちづくり】 住環境と自然環境が調和した、心地良い空間で暮らせるまち | 286 | 57.3% |
| 【共生・共創・行財政】 互いに認め合い、共に創る、未来に向かって持続発展できるまち | 255 | 51.1% |
| 【環境】 あらゆる活動で環境に配慮し、1人ひとりが脱炭素社会や循環型社会の実現に向けて行動できるまち | 221 | 44.3% |



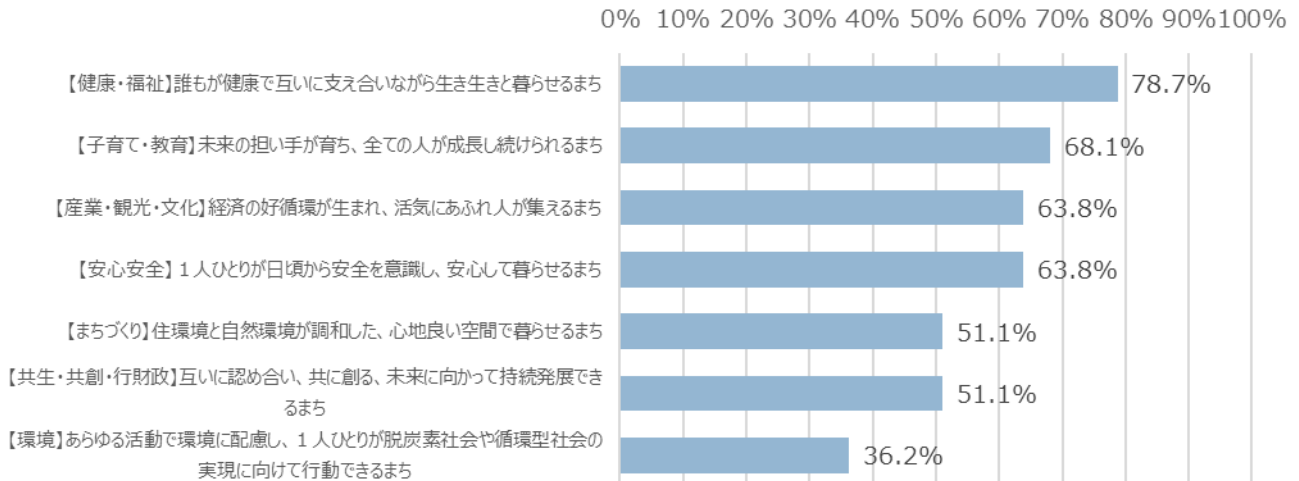
「将来なっしてほしい伊勢崎市のイメージ」についての回答（複数回答・割合）【地区別】

() 内はサンプル数

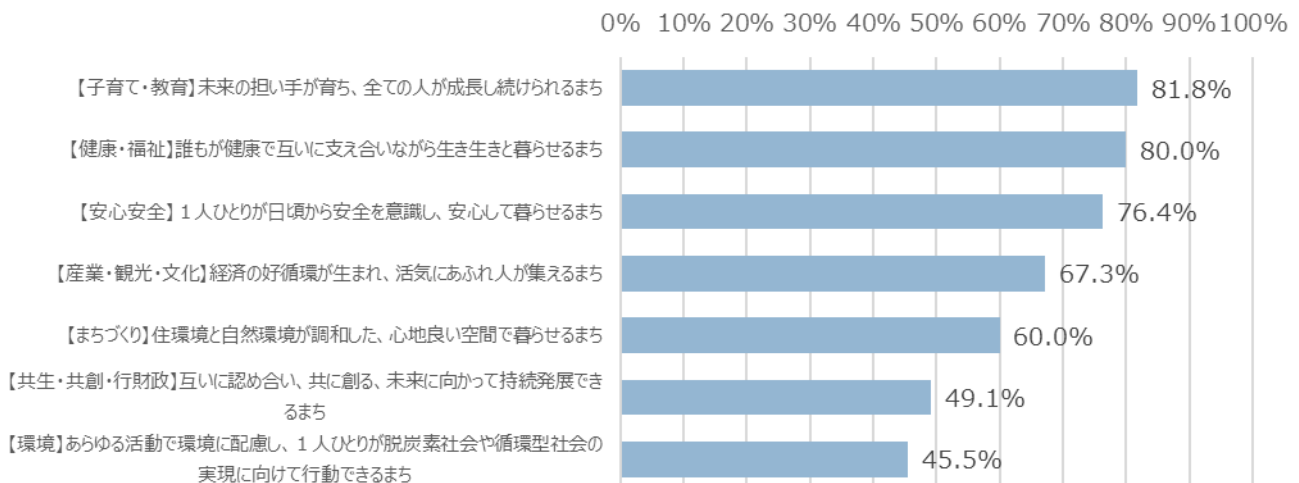
伊勢崎地区 (338)



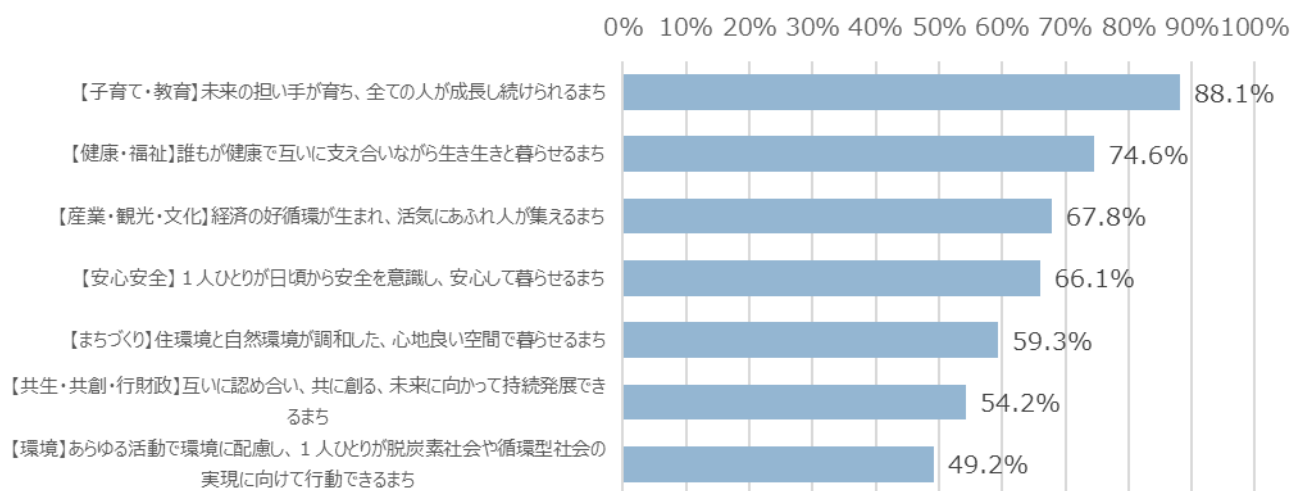
赤堀地区 (47)



東地区 (55)



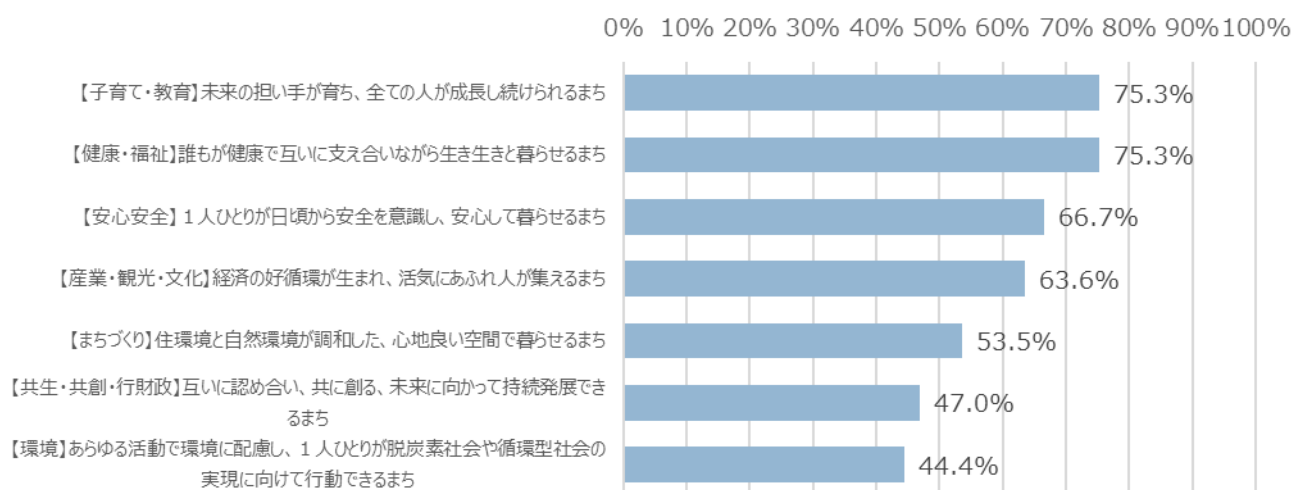
境地区 (59)



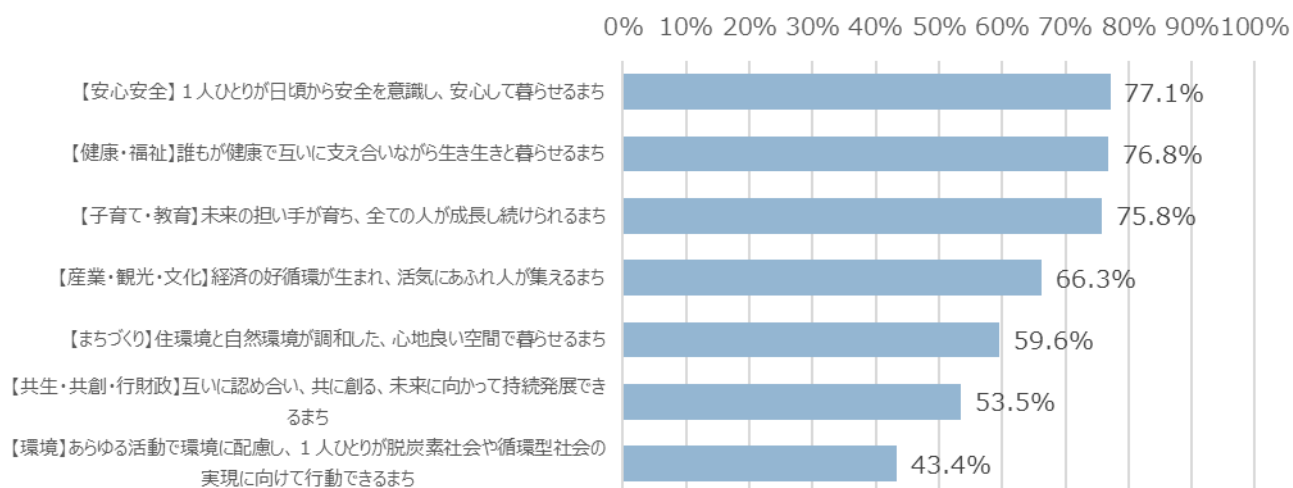
「将来なっしてほしい伊勢崎市のイメージ」についての回答（複数回答・割合）【性別】

() 内はサンプル数

男性 (198)



女性 (297)

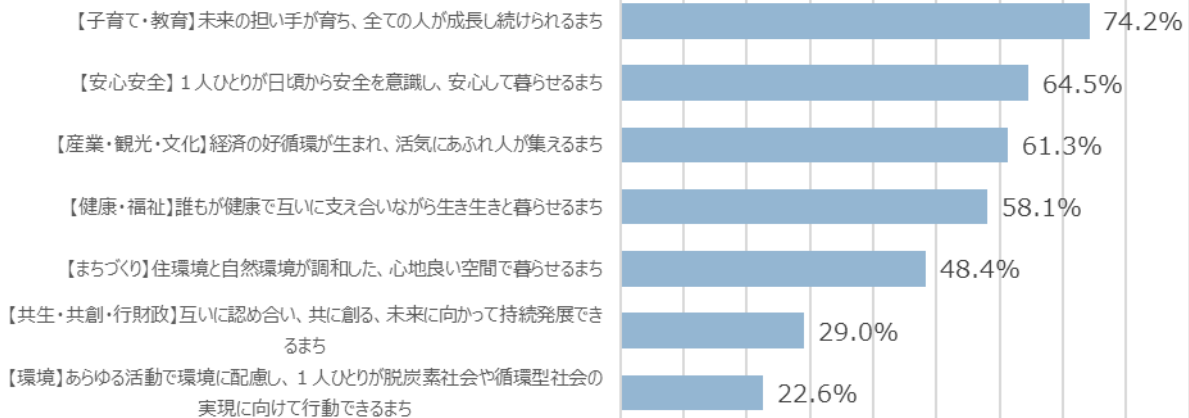


「将来なっしてほしい伊勢崎市のイメージ」についての回答（複数回答・割合）【年代別】

() 内はサンプル数

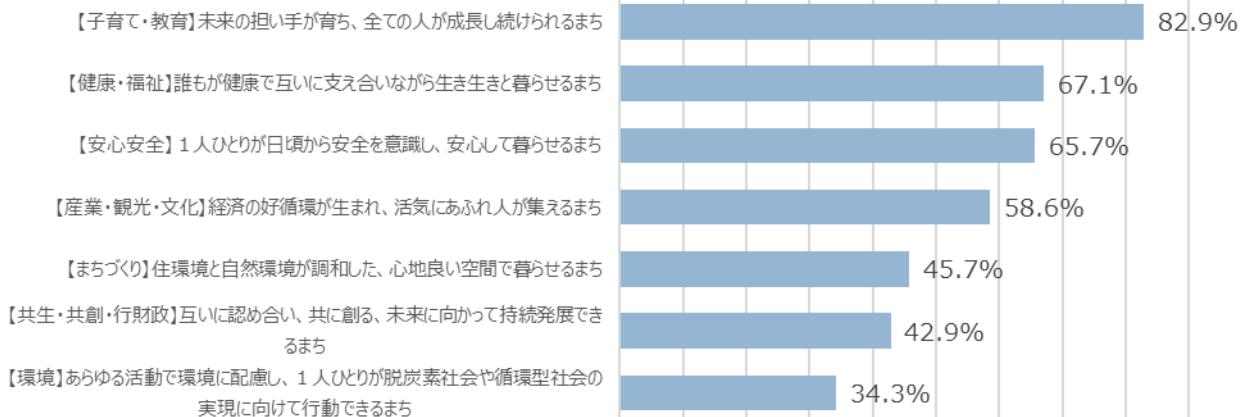
18～29歳 (31)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



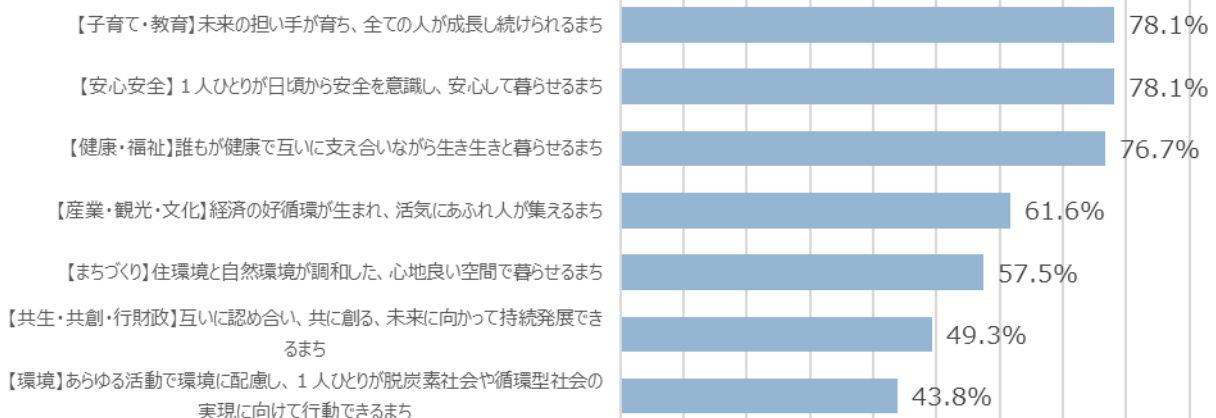
30歳代 (70)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



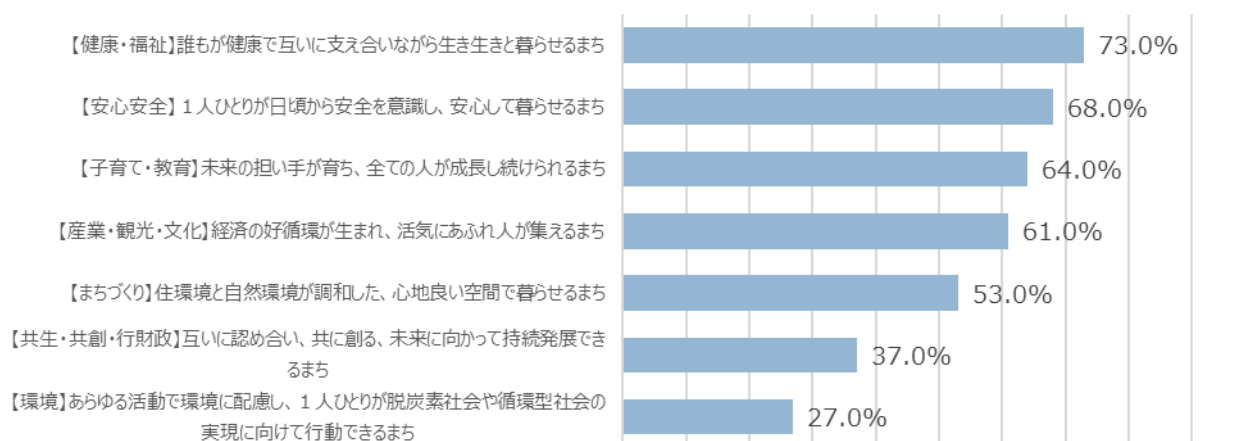
40歳代 (73)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



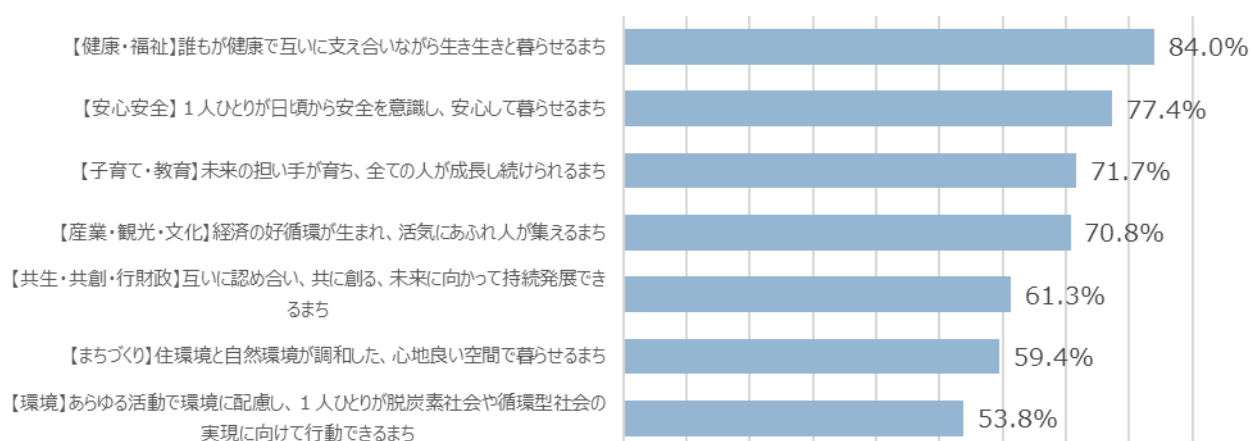
50歳代 (100)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



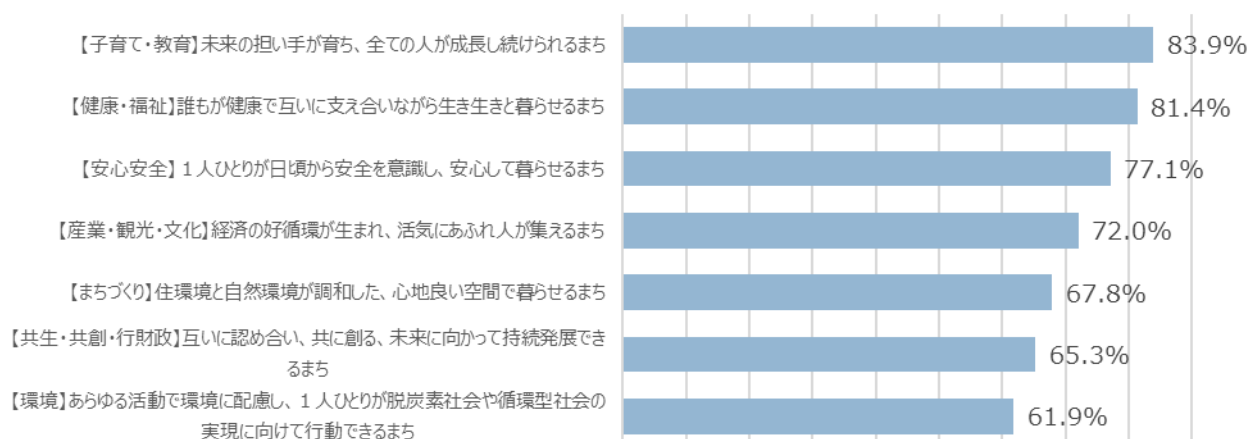
60歳代 (106)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



70歳以上 (118)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

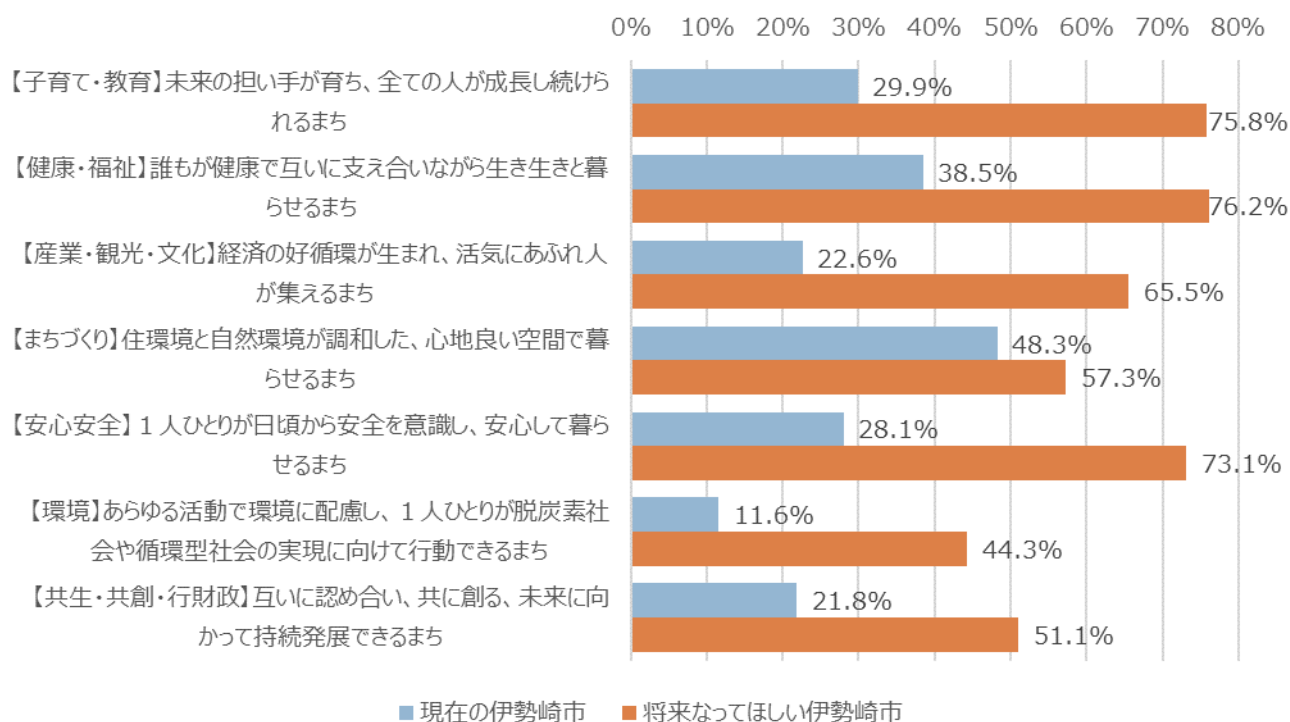


(19) 「現在の伊勢崎市」と「将来なっしてほしい伊勢崎市」の比較

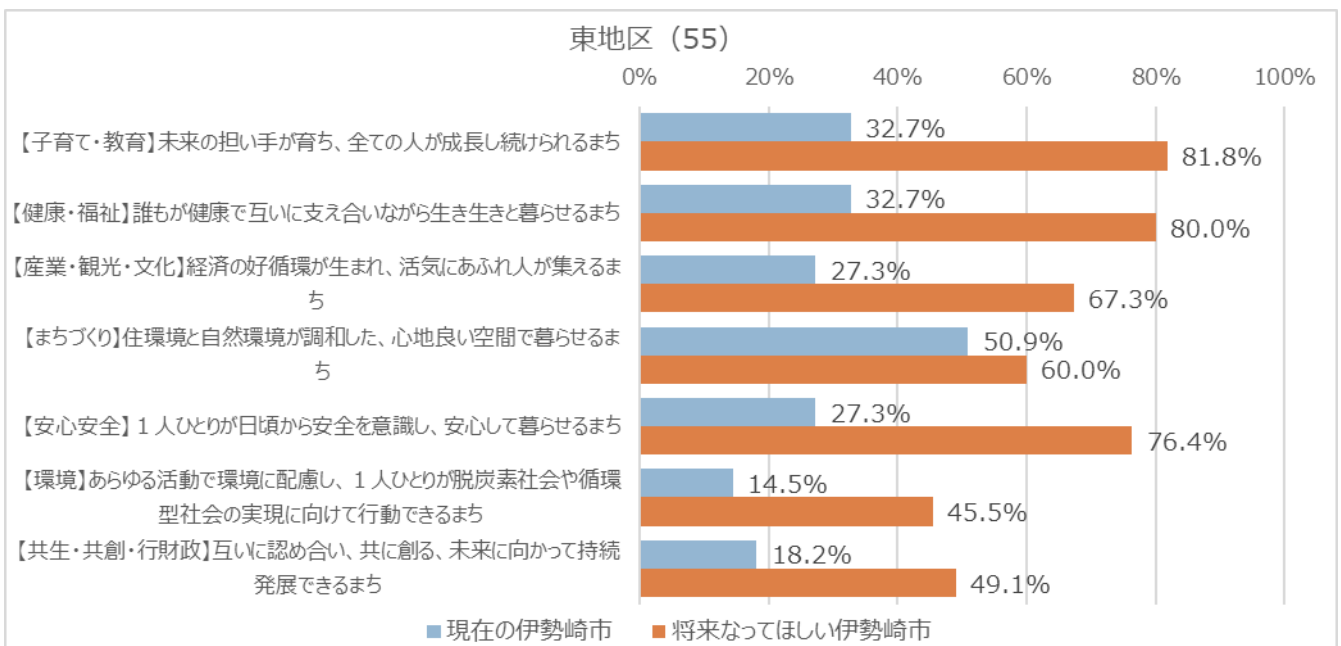
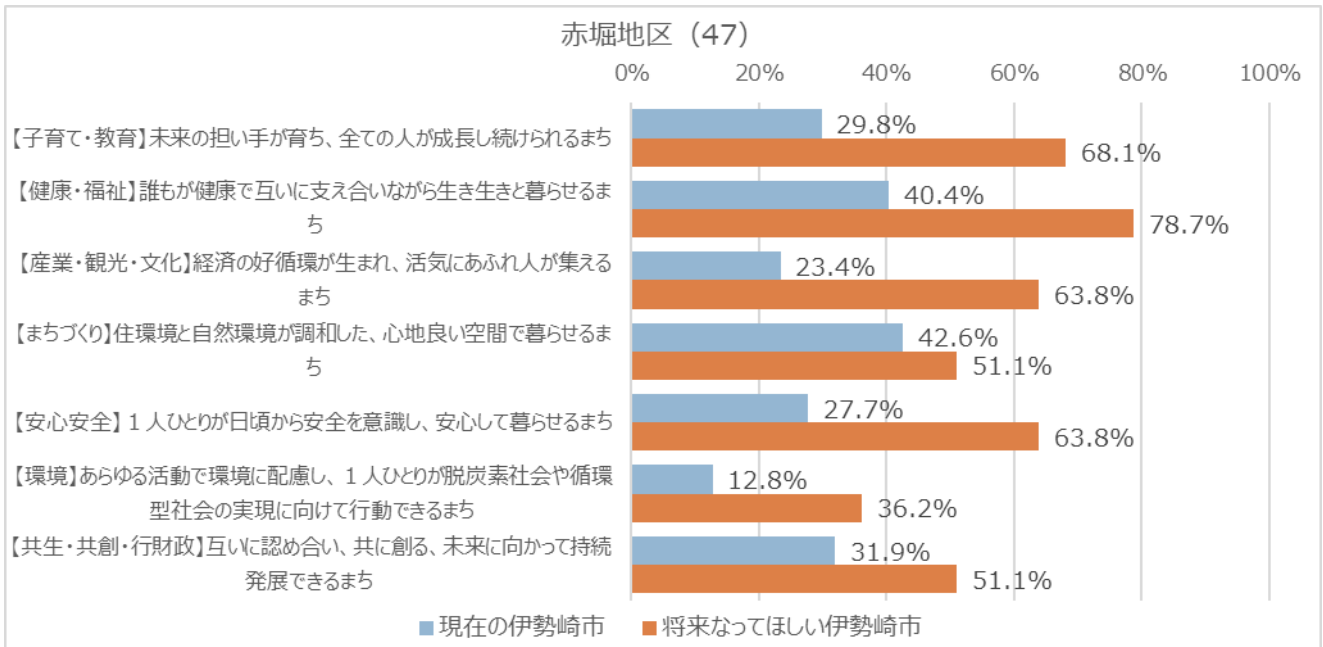
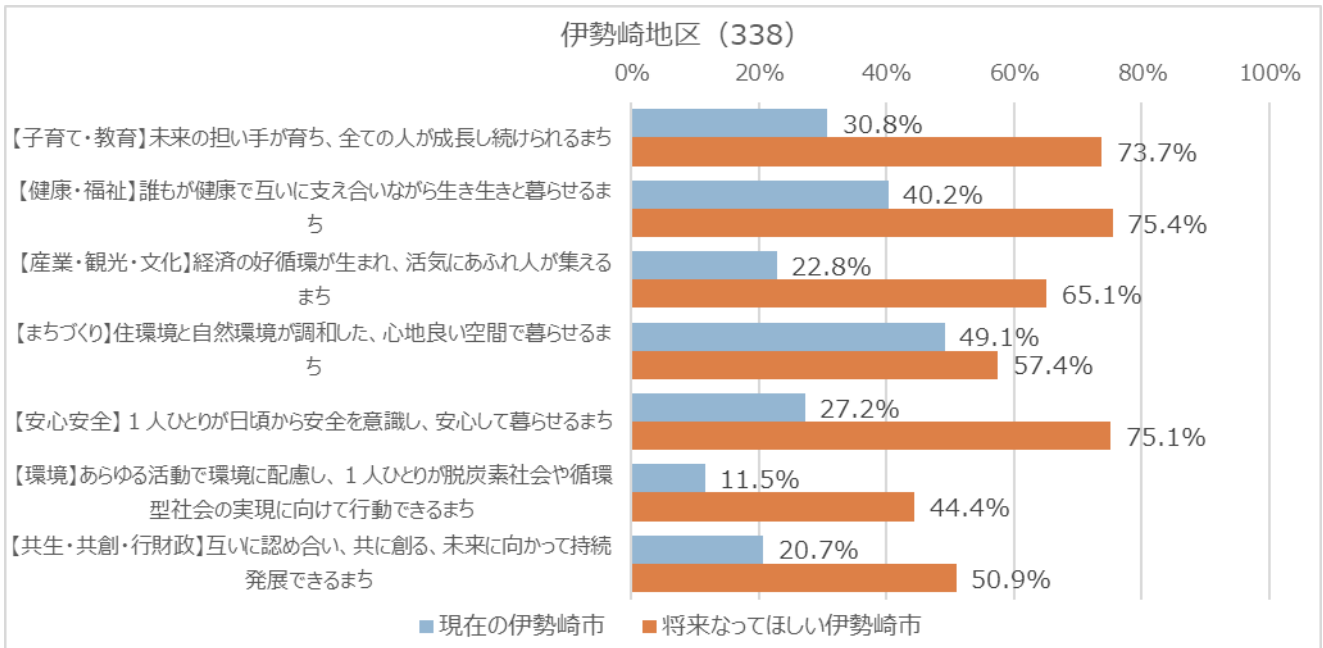
「現在の伊勢崎市のイメージ」と「将来なっほしい伊勢崎市のイメージ」について、回答の割合を比較した。その結果、「【子育て・教育】未来の担い手が育ち、全ての人成長し続けられるまち」のギャップが45.9%で最も大きく、以下「【安心安全】1人ひとりが日頃から安全を意識し、安心して暮らせるまち（45.1%）」、「【産業・観光・文化】経済の好循環が生まれ、活気にあふれ人が集えるまち（42.9%）」と続いている。

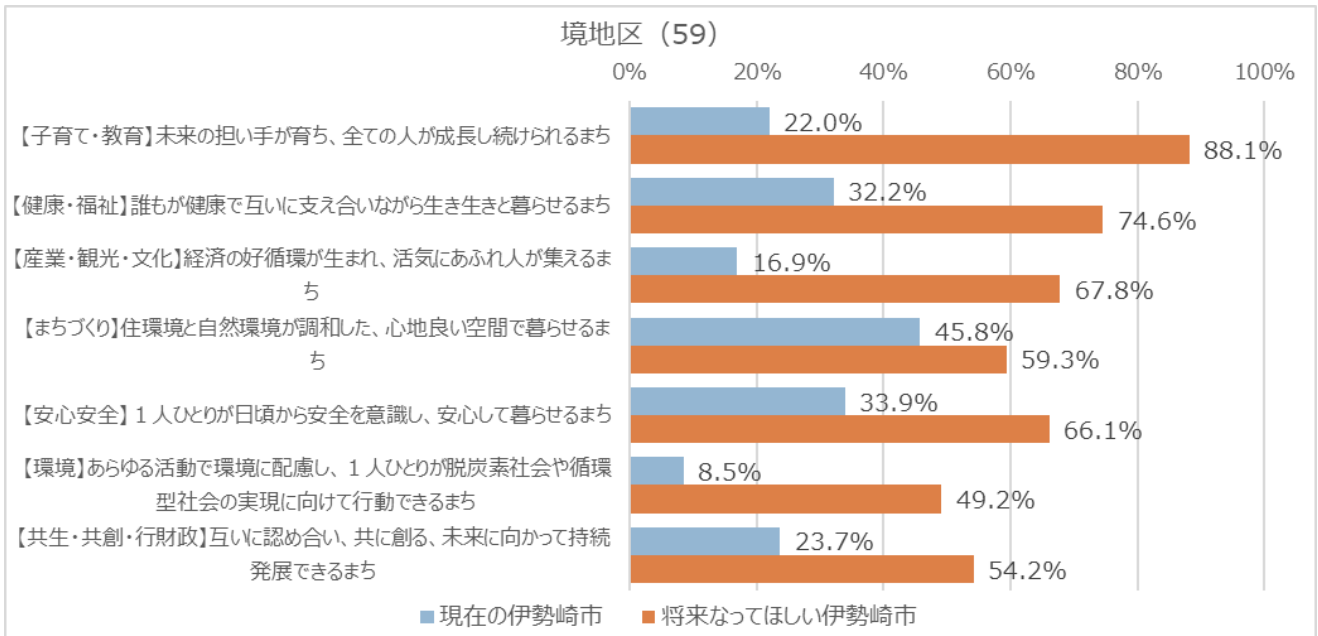
「現在の伊勢崎市」と「将来なっほしい伊勢崎市」の比較（ギャップ）

| | 現在 (割合)…a | 将来 (割合)…b | ギャップ …(b-a) |
|---|--------------|--------------|----------------|
| 【子育て・教育】 未来の担い手が育ち、全ての人成長し続けられるまち | 29.9% | 75.8% | 45.9% |
| 【健康・福祉】 誰もが健康で互いに支え合いながら生き生きと暮らせるまち | 38.5% | 76.2% | 37.7% |
| 【産業・観光・文化】 経済の好循環が生まれ、活気にあふれ人が集えるまち | 22.6% | 65.5% | 42.9% |
| 【まちづくり】 住環境と自然環境が調和した、心地良い空間で暮らせるまち | 48.3% | 57.3% | 9.0% |
| 【安心安全】 1人ひとりが日頃から安全を意識し、安心して暮らせるまち | 28.1% | 73.1% | 45.0% |
| 【環境】 あらゆる活動で環境に配慮し、1人ひとりが脱炭素社会や循環型社会の実現に向けて行動できるまち | 11.6% | 44.3% | 32.7% |
| 【共生・共創・行財政】 互いに認め合い、共に創る、未来に向かって持続発展できるまち | 21.8% | 51.1% | 29.3% |

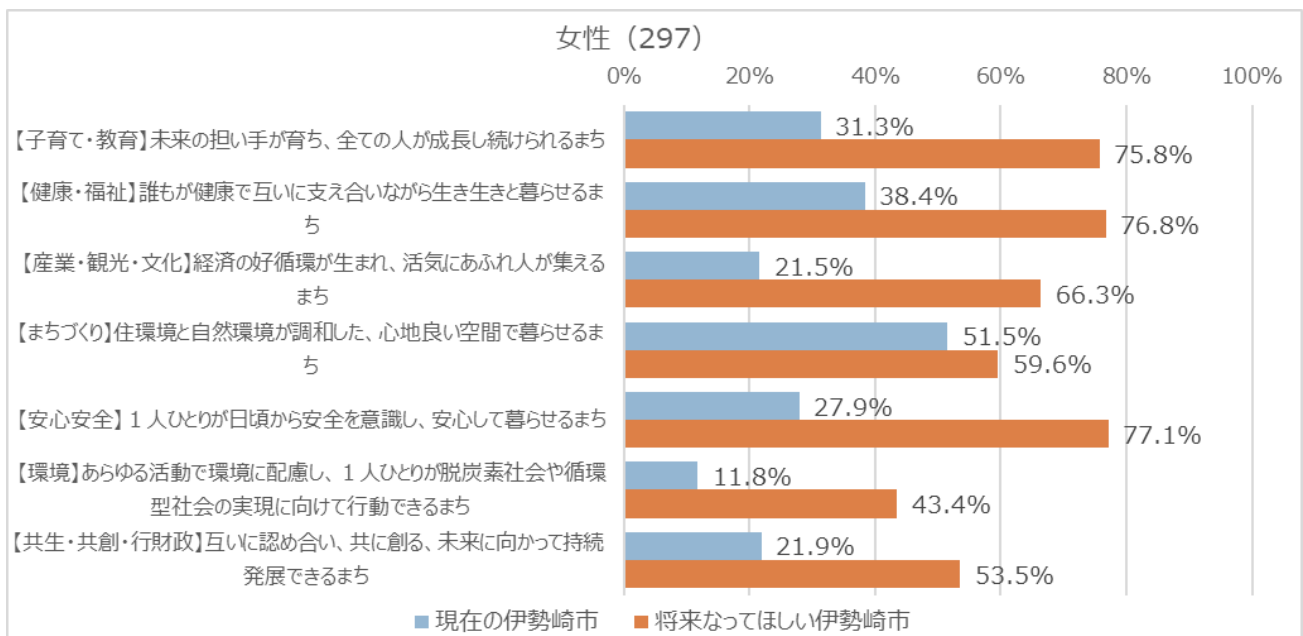
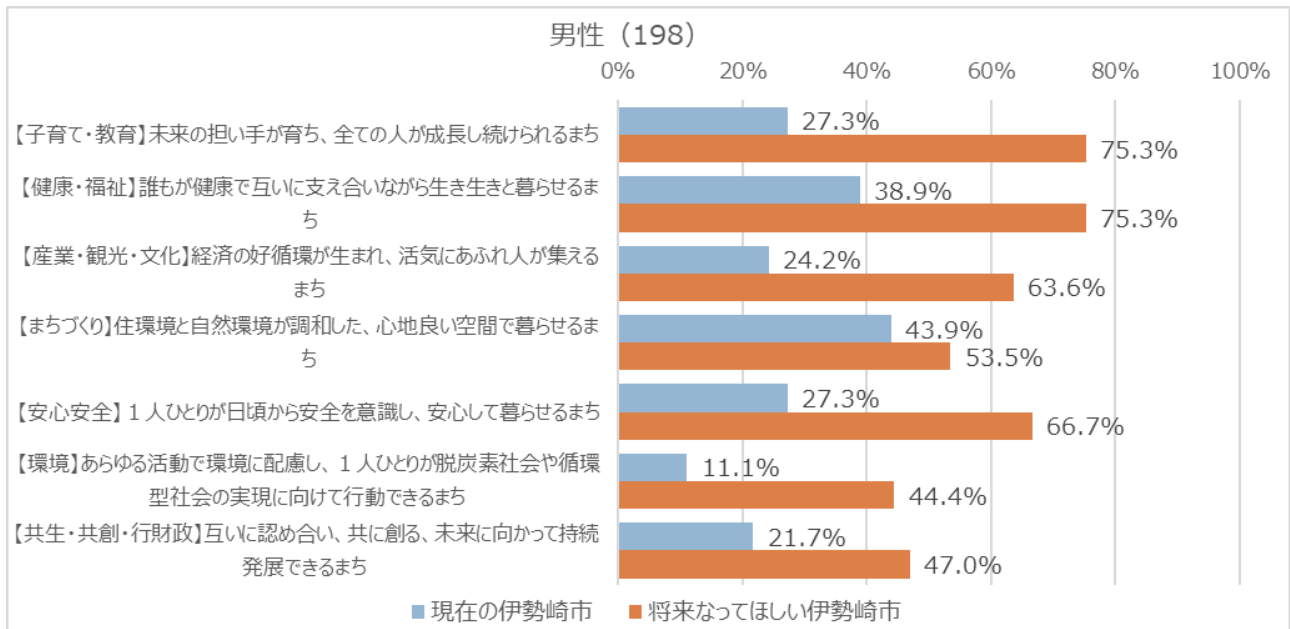


「現在の伊勢崎市」と「将来なっしてほしい伊勢崎市」の比較（ギャップ）【地区別】

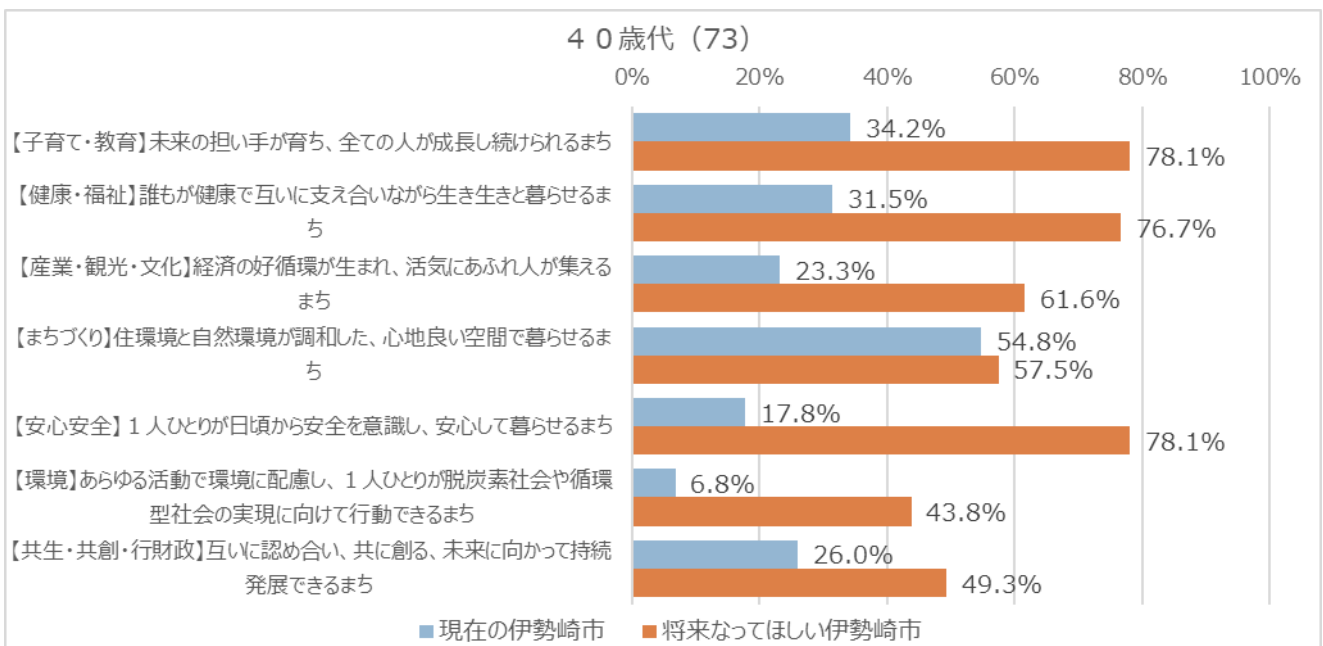
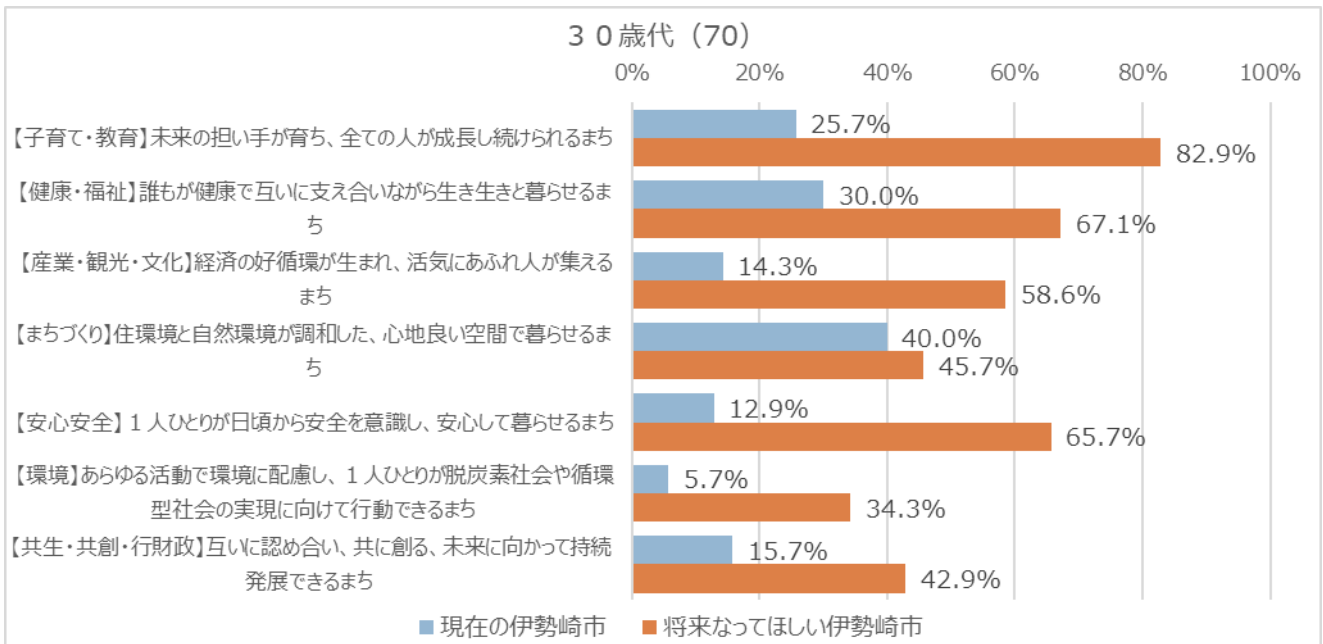
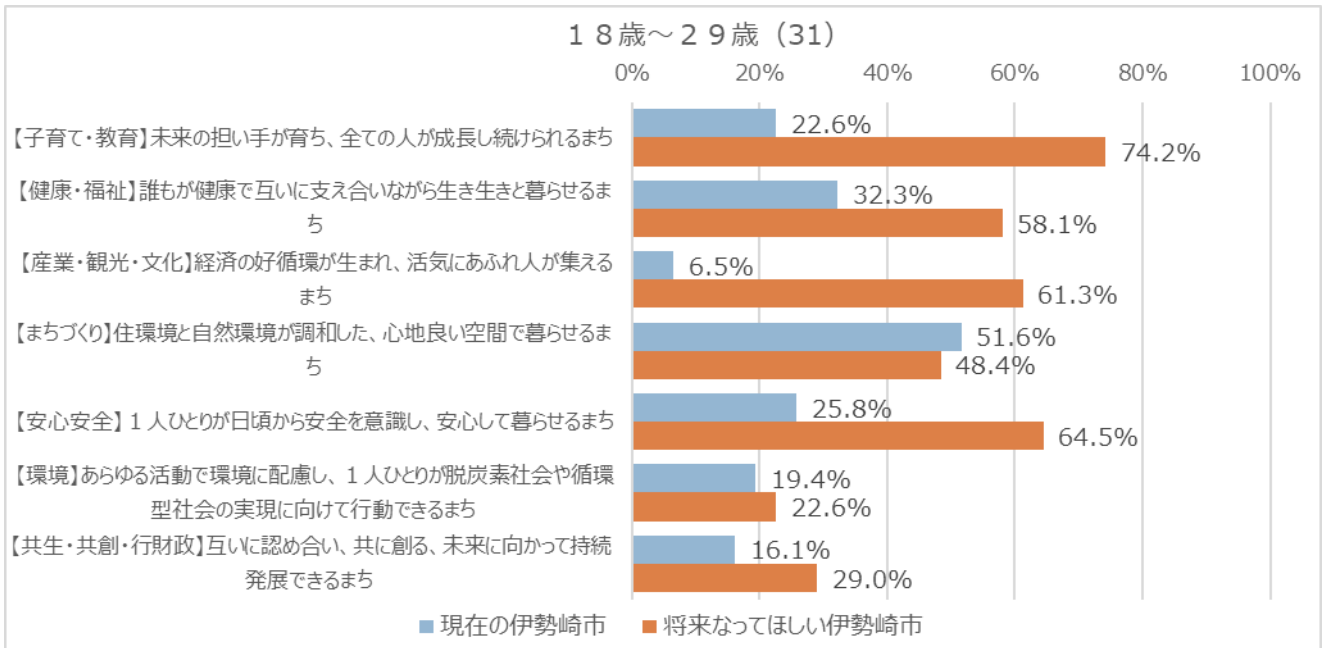


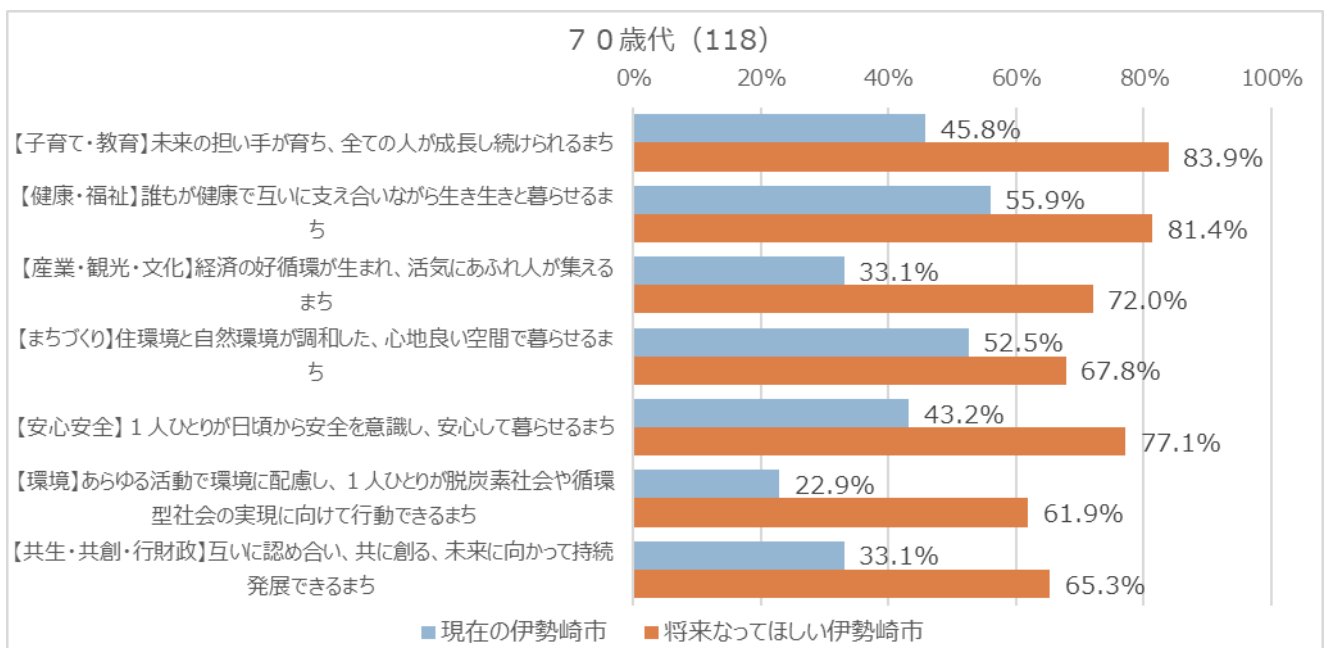
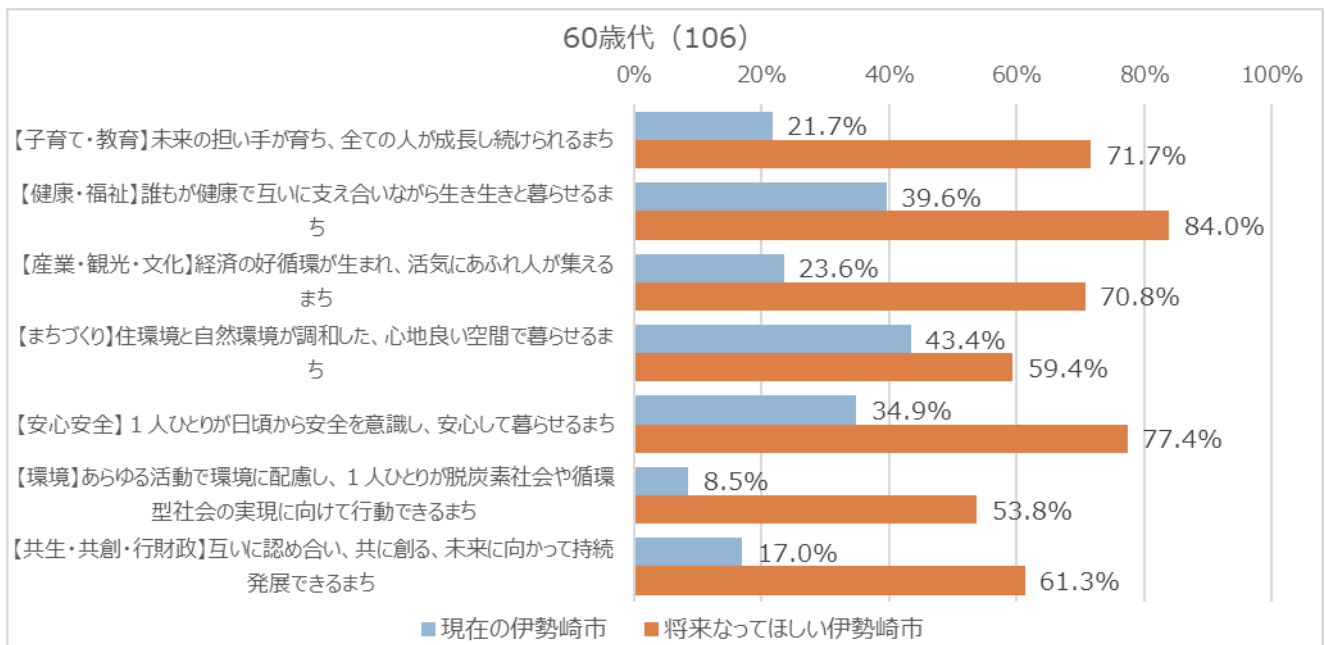
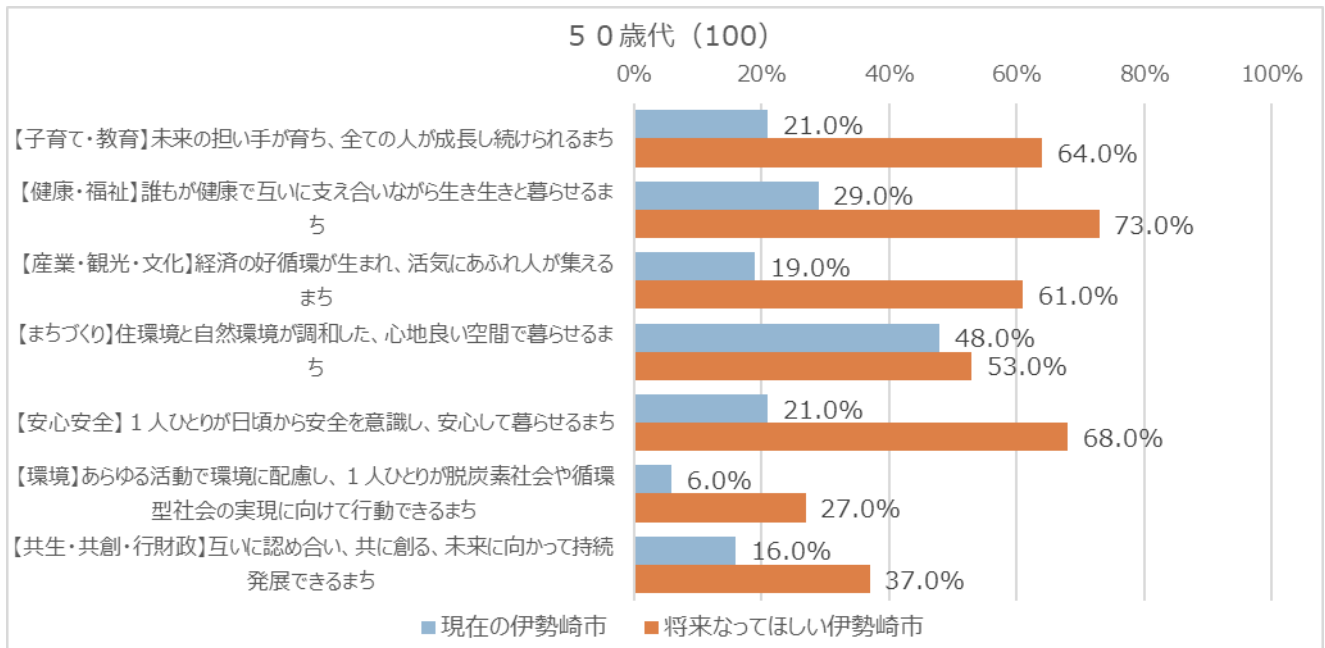


「現在の伊勢崎市」と「将来なっほしい伊勢崎市」の比較（ギャップ）【性別】



「現在の伊勢崎市」と「将来なっしてほしい伊勢崎市」の比較（ギャップ）【年代別】





■市の取組について

第3次伊勢崎市総合計画前期アクションプランの重点プロジェクトとして施策横断的に推進する、「少子高齢化対策」、「産業の活性化」、「暮らしの安心の実現」、「共生社会の実現」、「DXの推進」及び「SDGsの推進（いせさきGX[※]の推進）」に関する取組についての満足度と重要度について調査を行った。

（20）市の取組についての満足度

「満足度」については、「満足」を5点とし、以下「どちらかといえば満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「どちらかといえば不満」を2点、「不満」を1点として平均値を算出した。各項目への回答が同数であった場合、平均得点は3.00点となる。

なお、「満足度」を算出するにあたっては、無回答を除いた有効回答数を基礎数としている。

また、満足度における「割合」については、「満足」と「どちらかといえば満足」を「満足」とし、「不満」と「どちらかといえば不満」を「不満」として回答の割合を算出している。

全体の満足度の平均は3.10点で、最も満足度が高かった重点プロジェクトは、「少子高齢化対策プロジェクト」の3.21点、最も満足度が低かった重点プロジェクトは、「共生社会実現プロジェクト」の3.00点となった。

また、重点プロジェクトに関する取組ごとにとみると、最も満足度の高かった取組は、「水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全【SDGsの推進（いせさきGXの推進）】」の3.40点、最も満足度が低かった重点プロジェクトは「外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援【共生社会実現プロジェクト】」の2.85点となった。

プロジェクトごとの詳細はP82～P123を参照。

「市の取組」についての満足度（プロジェクトごと）

| 順位 | 重点プロジェクト | 満足度 (平均値) |
|----|--------------------|--------------|
| - | 全体 | 3.10 |
| 1 | 少子高齢化対策プロジェクト | 3.21 |
| 2 | SDGsの推進（いせさきGXの推進） | 3.17 |
| 3 | 暮らしの安心実現プロジェクト | 3.13 |
| 4 | 産業活性化プロジェクト | 3.04 |
| 5 | DX推進プロジェクト | 3.02 |
| 6 | 共生社会実現プロジェクト | 3.00 |

※いせさきGX：「脱炭素に限定せず、一般的な環境問題への対応として、あらゆる主体が進める全ての取組を環境配慮という観点から検討・実行するもの。

「市の取組」についての満足度（取組ごと）

| 順位 | 重点プロジェクト | 取組 | 満足度 |
|----|-----------------------------|--|------|
| 1 | S D G s の推進 (いせさきG Xの推進) | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 3.40 |
| 2 | 暮らしの安心実現プロジェクト | 災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり | 3.30 |
| 3 | 少子高齢化対策プロジェクト | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 3.25 |
| 4 | 少子高齢化対策プロジェクト | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 3.23 |
| 5 | S D G s の推進 (いせさきG Xの推進) | ごみの減量化・再資源化 | 3.19 |
| 6 | D X 推進プロジェクト | 行政サービス等のデジタル化 | 3.17 |
| 7 | 少子高齢化対策プロジェクト | あらゆる世代の人が生きがいをもち、心身ともに健康に活躍できる環境づくり | 3.14 |
| 7 | 暮らしの安心実現プロジェクト | 災害に関する時の情報伝達の強化や防災訓練の実施など、地域における防災力の強化 | 3.14 |
| 9 | 産業活性化プロジェクト | 工業・農業等の生産力の向上・販路拡大の支援 | 3.13 |
| 10 | 共生社会実現プロジェクト | 性別や障害などで分け隔てることなく、多様な人材が活躍できるまちづくり | 3.11 |
| 11 | 共生社会実現プロジェクト | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 3.05 |
| 12 | 産業活性化プロジェクト | 地域の魅力の情報発信や移住定住の促進など、にぎわいあるまちづくり | 3.04 |
| 13 | 暮らしの安心実現プロジェクト | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 2.96 |
| 13 | D X 推進プロジェクト | デジタルを活用した人にやさしいまちづくり | 2.96 |
| 15 | 産業活性化プロジェクト | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 2.95 |
| 16 | D X 推進プロジェクト | デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 2.94 |
| 17 | S D G s の推進 (いせさきG Xの推進) | 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 2.93 |
| 18 | 共生社会実現プロジェクト | 外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援 | 2.85 |

「市の取組」についての満足度（取組ごと）【地区別】

伊勢崎地区（平均：3.08）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 満足度 |
|----|---|------------------------|----------------------------------|------|
| 上位 | 1 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 3.40 |
| | 2 | 暮らしの安心実現 | 災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり | 3.26 |
| | 3 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 3.25 |
| 下位 | 3 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 2.93 |
| | 3 | DX推進 | デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 2.93 |
| | 2 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 2.91 |
| | 1 | 共生社会実現 | 外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援 | 2.80 |

赤堀地区（平均：3.28）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 満足度 |
|----|---|------------------------|------------------------------|------|
| 上位 | 1 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 3.55 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 3.51 |
| | 3 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 3.47 |
| 下位 | 2 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 3.09 |
| | 2 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 3.09 |
| | 1 | DX推進 | デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 3.07 |

東地区（平均：3.02）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 満足度 |
|----|---|------------------------|----------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 暮らしの安心実現 | 災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり | 3.35 |
| | 2 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 3.30 |
| | 3 | DX推進プロジェクト | 行政サービス等のデジタル化 | 3.19 |
| 下位 | 2 | 共生社会実現 | 外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援 | 2.85 |
| | 2 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 2.85 |
| | 1 | 産業活性化 | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 2.71 |

境地区（平均：3.13）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 満足度 |
|----|---|------------------------|----------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 暮らしの安心実現 | 災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり | 3.42 |
| | 2 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 3.41 |
| | 3 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 3.33 |
| 下位 | 3 | 共生社会実現 | 外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援 | 2.92 |
| | 2 | DX推進 | デジタルを活用した人にやさしいまちづくり | 2.85 |
| | 1 | DX推進 | デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 2.83 |

「市の取組」についての満足度（取組ごと）【性別】

男性（平均：3.07）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 満足度 |
|----|---|------------------------|----------------------------------|------|
| 上位 | 1 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 3.35 |
| | 2 | 暮らしの安心実現 | 災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり | 3.26 |
| | 3 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 3.25 |
| 下位 | 3 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 2.90 |
| | 2 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 2.88 |
| | 1 | 共生社会実現 | 外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援 | 2.84 |

女性（平均：3.13）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 満足度 |
|----|---|------------------------|----------------------------------|------|
| 上位 | 1 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 3.44 |
| | 2 | 暮らしの安心実現 | 災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり | 3.34 |
| | 3 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 3.30 |
| 下位 | 3 | DX推進 | デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 2.96 |
| | 3 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 2.96 |
| | 2 | 産業活性化 | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 2.95 |
| | 1 | 共生社会実現 | 外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援 | 2.87 |

「市の取組」についての満足度（取組ごと）【年代別】

18～29歳（平均：3.27）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 満足度 |
|----|---|------------------------|----------------------------------|------|
| 上位 | 1 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 3.81 |
| | 2 | 暮らしの安心実現 | 災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり | 3.58 |
| | 3 | 産業活性化 | 工業・農業等の生産力の向上・販路拡大の支援 | 3.52 |
| 下位 | 2 | 産業活性化 | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 3.00 |
| | 2 | DX推進 | デジタルを活用した人にやさしいまちづくり | 3.00 |
| | 1 | 共生社会実現 | 外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援 | 2.94 |
| | 1 | DX推進 | デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 2.94 |

30歳代（平均：3.00）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 満足度 |
|----|---|------------------------|----------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 暮らしの安心実現 | 災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり | 3.34 |
| | 2 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 3.24 |
| | 3 | DX推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 3.20 |
| 下位 | 3 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 2.86 |
| | 2 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 2.84 |
| | 1 | 共生社会実現 | 外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援 | 2.64 |

40歳代（平均：3.23）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 満足度 |
|----|---|------------------------|------------------------------|------|
| 上位 | 1 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 3.60 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 3.47 |
| | 3 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 3.45 |
| 下位 | 3 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 3.00 |
| | 2 | 産業活性化 | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 2.92 |
| | 1 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 2.88 |

50歳代（平均：3.07）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 満足度 |
|----|---|------------------------|----------------------------------|------|
| 上位 | 1 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 3.43 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 3.29 |
| | 3 | 暮らしの安心実現 | 災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり | 3.24 |
| 下位 | 3 | 産業活性化 | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 2.87 |
| | 2 | 共生社会実現 | 外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援 | 2.80 |
| | 1 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 2.78 |

60歳代（平均：3.02）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 満足度 |
|----|---|------------------------|----------------------------------|------|
| 上位 | 1 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 3.34 |
| | 2 | 暮らしの安心実現 | 災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり | 3.21 |
| | 3 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | ごみの減量化・再資源化 | 3.19 |
| 下位 | 3 | DX推進 | デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 2.80 |
| | 2 | DX推進 | デジタルを活用した人にやさしいまちづくり | 2.79 |
| | 1 | 共生社会実現 | 外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援 | 2.74 |

70歳以上（平均：3.13）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 満足度 |
|----|---|------------------------|------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 3.37 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 3.34 |
| | 3 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 3.30 |
| 下位 | 2 | DX推進 | デジタルを活用した人にやさしいまちづくり | 2.98 |
| | 2 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 2.98 |
| | 1 | DX推進 | デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 2.96 |

(21) 市の取組の重要度

「重要度」については、「重要」を5点とし、以下「どちらかといえば重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「どちらかといえば重要でない」を2点、「重要でない」を1点として平均値を算出した。各項目への回答が同数であった場合、平均得点は3.00点となる。

なお、「重要度」を算出するにあたっては、無回答を除いた有効回答数を基礎数としている。

また、重要度における「割合」については、「重要」と「どちらかといえば重要」を「重要」とし、「重要でない」と「どちらかといえば重要でない」を「重要でない」として回答の割合を算出している。

全体の重要度の平均は4.16点で、最も重要度が高かった重点プロジェクトは、「少子高齢化対策プロジェクト」の4.49点、最も満足度が低かった重点プロジェクトは、「DX推進プロジェクト」の3.86点となった。

また、重点プロジェクトに関する取組ごとにもみると、最も重要度の高かった取組は、「子どもを産み育てやすい環境づくり【少子高齢化対策プロジェクト】」の4.55点、最も重要度が低かった取組は「異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成【共生社会実現プロジェクト】」の3.76点となった。

「市の取組」についての重要度（プロジェクトごと）

| 順位 | 重点プロジェクト | 重要度 (平均値) |
|----|--------------------|--------------|
| - | 全体 | 4.16 |
| 1 | 少子高齢化対策プロジェクト | 4.49 |
| 2 | 暮らしの安心実現プロジェクト | 4.42 |
| 3 | 産業活性化プロジェクト | 4.16 |
| 4 | SDGsの推進（いせさきGXの推進） | 4.11 |
| 5 | 共生社会実現プロジェクト | 3.95 |
| 6 | DX推進プロジェクト | 3.86 |

「市の取組」についての重要度（取組ごと）

| 順位 | 重点プロジェクト | 取組 | 重要度 |
|----|------------------------|--|------|
| 1 | 少子高齢化対策プロジェクト | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 4.55 |
| 2 | 暮らしの安心実現プロジェクト | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 4.54 |
| 3 | 少子高齢化対策プロジェクト | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 4.52 |
| 4 | 暮らしの安心実現プロジェクト | 災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり | 4.41 |
| 4 | 少子高齢化対策プロジェクト | あらゆる世代の人が生きがいを持ち、心身ともに健康に活躍できる環境づくり | 4.41 |
| 6 | 暮らしの安心実現プロジェクト | 災害に関する時の情報伝達の強化や防災訓練の実施など、地域における防災力の強化 | 4.31 |
| 7 | 産業活性化プロジェクト | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 4.30 |
| 8 | 産業活性化プロジェクト | 工業・農業等の生産力の向上・販路拡大の支援 | 4.21 |
| 9 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 4.20 |
| 10 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | ごみの減量化・再資源化 | 4.19 |
| 11 | 共生社会実現プロジェクト | 性別や障害などで分け隔てることなく、多様な人材が活躍できるまちづくり | 4.07 |
| 12 | 共生社会実現プロジェクト | 外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援 | 4.02 |
| 13 | 産業活性化プロジェクト | 地域の魅力の情報発信や移住定住の促進など、にぎわいあるまちづくり | 3.98 |
| 14 | DX推進プロジェクト | デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 3.93 |
| 14 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 3.93 |
| 16 | DX推進プロジェクト | 行政サービス等のデジタル化 | 3.84 |
| 17 | DX推進プロジェクト | デジタルを活用した人にやさしいまちづくり | 3.81 |
| 18 | 共生社会実現プロジェクト | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 3.76 |

「市の取組」についての重要度（取組ごと）【地区別】

伊勢崎地区（平均：4.14）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 重要度 |
|----|---|----------|------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 4.54 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 4.52 |
| | 3 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 4.49 |
| 下位 | 3 | D X 推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 3.81 |
| | 2 | D X 推進 | デジタルを活用した人にやさしいまちづくり | 3.76 |
| | 1 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 3.69 |

赤堀地区（平均：4.26）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 重要度 |
|----|---|----------|------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 4.60 |
| | 2 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 4.53 |
| | 3 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 4.47 |
| 下位 | 3 | D X 推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 4.00 |
| | 2 | D X 推進 | デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 3.94 |
| | 1 | D X 推進 | デジタルを活用した人にやさしいまちづくり | 3.77 |

東地区（平均：4.10）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 重要度 |
|----|---|-------------|----------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 4.60 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 4.58 |
| | 3 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 4.44 |
| 下位 | 3 | 産業活性化 | 地域の魅力の情報発信や移住定住の促進など、にぎわいあるまちづくり | 3.82 |
| | 2 | S D G s の推進 | 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 3.73 |
| | 1 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 3.62 |

境地区（平均：4.21）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 重要度 |
|----|---|----------|------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 4.63 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 4.61 |
| | 3 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 4.53 |
| 下位 | 3 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 3.90 |
| | 3 | D X 推進 | デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 3.90 |
| | 2 | D X 推進 | デジタルを活用した人にやさしいまちづくり | 3.78 |
| | 1 | D X 推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 3.72 |

「市の取組」についての重要度（取組ごと）【性別】

男性（平均：4.10）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 重要度 |
|----|---|-------------|------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 4.50 |
| | 1 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 4.50 |
| | 3 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 4.46 |
| 下位 | 3 | D X 推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 3.79 |
| | 2 | S D G s の推進 | 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 3.76 |
| | 1 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 3.69 |

女性（平均：4.22）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 重要度 |
|----|---|----------|------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 4.58 |
| | 2 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 4.56 |
| | 3 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 4.56 |
| 下位 | 3 | D X 推進 | デジタルを活用した人にやさしいまちづくり | 3.96 |
| | 2 | D X 推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 3.89 |
| | 1 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 3.81 |

「市の取組」についての重要度（取組ごと）【年代別】

18～29歳（平均：4.27）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 重要度 |
|----|---|----------|------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 4.65 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 4.58 |
| | 2 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 4.58 |
| 下位 | 3 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 4.03 |
| | 2 | D X 推進 | デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 4.00 |
| | 1 | D X 推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 3.81 |

30歳代（平均：4.22）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 重要度 |
|----|---|-------------|----------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 4.77 |
| | 1 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 4.77 |
| | 3 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 4.61 |
| 下位 | 3 | 産業活性化 | 地域の魅力の情報発信や移住定住の促進など、にぎわいあるまちづくり | 3.91 |
| | 2 | S D G s の推進 | 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 3.73 |
| | 1 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 3.51 |

40歳代（平均：4.23）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 重要度 |
|----|---|-------------|------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 4.70 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 4.63 |
| | 3 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 4.60 |
| 下位 | 3 | D X 推進 | デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 4.03 |
| | 3 | S D G s の推進 | 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 4.03 |
| | 2 | D X 推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 3.85 |
| | 1 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 3.82 |

50歳代（平均：4.19）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 重要度 |
|----|---|----------|----------------------------|------|
| 上位 | 1 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 4.54 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 4.52 |
| | 3 | 暮らしの安心実現 | 災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり | 4.50 |
| 下位 | 3 | D X 推進 | デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 3.93 |
| | 2 | D X 推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 3.87 |
| | 1 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 3.77 |

60歳代（平均：4.16）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 重要度 |
|----|---|-------------|------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 4.48 |
| | 2 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 4.47 |
| | 3 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 4.43 |
| 下位 | 3 | S D G s の推進 | 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 3.92 |
| | 2 | D X 推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 3.87 |
| | 1 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 3.76 |

70歳以上（平均：4.09）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | 重要度 |
|----|---|----------|------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 4.45 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 4.43 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 4.43 |
| 下位 | 3 | D X 推進 | デジタルを活用した人にやさしいまちづくり | 3.71 |
| | 2 | D X 推進 | デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 3.70 |
| | 1 | D X 推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 3.66 |

◆「その他」の重要だと思う取組（主なもの）

- ・芸術など文化活動発展のための支援
- ・公共交通機関の充実

(22) 市の取組に対する満足度と重要度の比較

「市の取組に対する満足度」と「取組の重要度」についての回答を比較した。

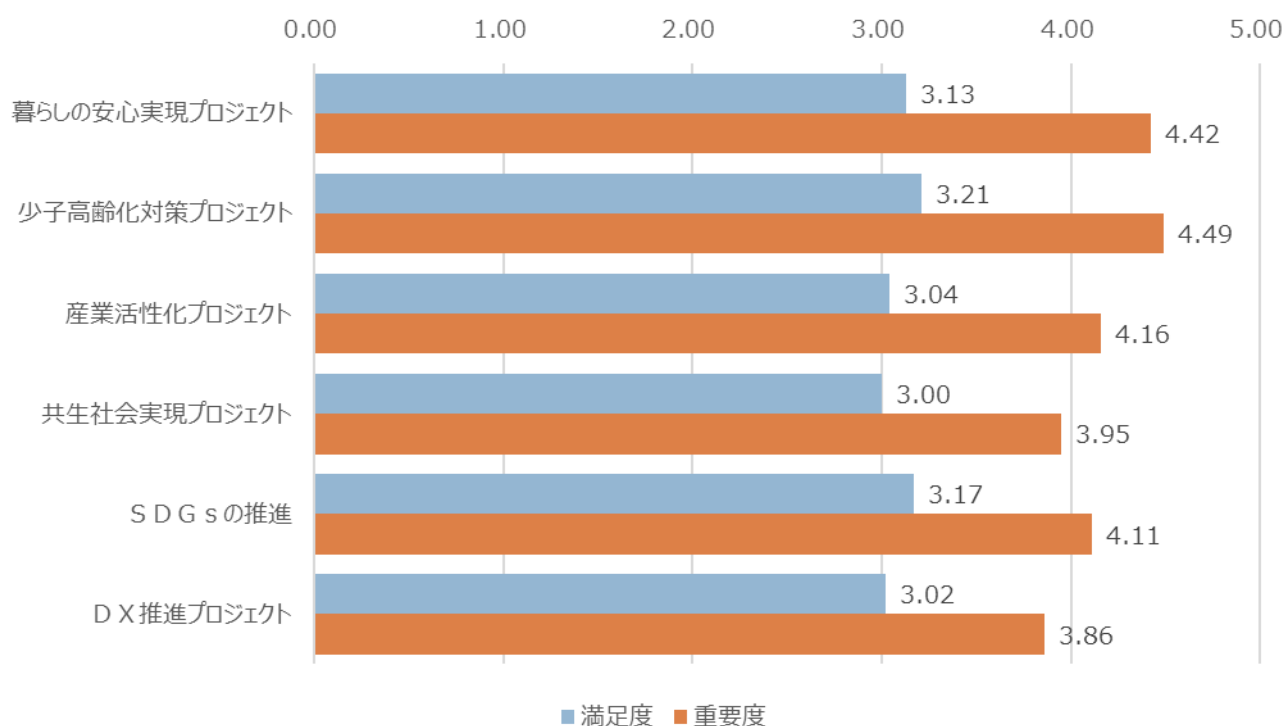
最もギャップの大きかった重点プロジェクトは、「暮らしの安心実現プロジェクト」で 1.29 ポイントで、以下「少子高齢化対策プロジェクト」が 1.28 ポイント、「産業活性化プロジェクト」が 1.12 ポイントと続いており、最もギャップ小さかった重点プロジェクトは「DX推進プロジェクト」で 0.84 ポイントとなっている。

取組ごとにみると、最もギャップの大きかった取組は「防犯体制の強化・交通安全対策の推進【暮らしの安心実現プロジェクト】」で 1.58 ポイント、以下「労働環境の向上と雇用確保の支援【産業活性化プロジェクト】」が 1.35 ポイント、「子どもを産み育てやすい環境づくり【少子高齢化対策プロジェクト】」が 1.30 ポイントと続いている。

また、ギャップが最も小さかった取組は「行政サービス等のデジタル化【DX推進プロジェクト】」で 0.67 ポイントとなっている。

市の取組に対する満足度と重要度のギャップ【プロジェクトごと】

| 順位 | 重点プロジェクト | 満足度 | 重要度 | ギャップ |
|----|--------------------|------|------|------|
| － | 全体 | 3.10 | 4.17 | 1.07 |
| 1 | 暮らしの安心実現プロジェクト | 3.13 | 4.42 | 1.29 |
| 2 | 少子高齢化対策プロジェクト | 3.21 | 4.49 | 1.28 |
| 3 | 産業活性化プロジェクト | 3.04 | 4.16 | 1.12 |
| 4 | 共生社会実現プロジェクト | 3.00 | 3.95 | 0.95 |
| 5 | SDGsの推進（いせさきGXの推進） | 3.17 | 4.11 | 0.94 |
| 6 | DX推進プロジェクト | 3.02 | 3.86 | 0.84 |



市の取組に対する満足度と重要度のギャップ【取組ごと】

| 順位 | 重点プロジェクト | 取組 | 満足度 | 重要度 | ギャップ |
|----|------------------------|--|------|------|------|
| 1 | 暮らしの安心実現プロジェクト | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 2.96 | 4.54 | 1.58 |
| 2 | 産業活性化プロジェクト | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 2.95 | 4.30 | 1.35 |
| 3 | 少子高齢化対策プロジェクト | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 3.25 | 4.55 | 1.30 |
| 4 | 少子高齢化対策プロジェクト | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 3.23 | 4.52 | 1.29 |
| 5 | 少子高齢化対策プロジェクト | あらゆる世代の人が生きがいを持ち、心身ともに健康に活躍できる環境づくり | 3.14 | 4.41 | 1.27 |
| 6 | 暮らしの安心実現プロジェクト | 災害に関する時の情報伝達の強化や防災訓練の実施など、地域における防災力の強化 | 3.14 | 4.31 | 1.17 |
| 6 | 共生社会実現プロジェクト | 外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援 | 2.85 | 4.02 | 1.17 |
| 8 | 暮らしの安心実現プロジェクト | 災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり | 3.30 | 4.41 | 1.11 |
| 9 | 産業活性化プロジェクト | 工業・農業等の生産力の向上・販路拡大の支援 | 3.13 | 4.21 | 1.08 |
| 10 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | ごみの減量化・再資源化 | 3.19 | 4.19 | 1.00 |
| 10 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 2.93 | 3.93 | 1.00 |
| 12 | DX推進プロジェクト | デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 2.94 | 3.93 | 0.99 |
| 13 | 共生社会実現プロジェクト | 性別や障害などで分け隔てることなく、多様な人材が活躍できるまちづくり | 3.11 | 4.07 | 0.96 |
| 14 | 産業活性化プロジェクト | 地域の魅力の情報発信や移住定住の促進など、にぎわいあるまちづくり | 3.04 | 3.98 | 0.94 |
| 15 | DX推進プロジェクト | デジタルを活用した人にやさしいまちづくり | 2.96 | 3.81 | 0.85 |
| 16 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 3.40 | 4.20 | 0.80 |
| 17 | 共生社会実現プロジェクト | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 3.05 | 3.76 | 0.71 |
| 18 | DX推進プロジェクト | 行政サービス等のデジタル化 | 3.17 | 3.84 | 0.67 |

市の取組に対する満足度と重要度のギャップ（取組ごと）【地区別】

伊勢崎地区（平均：1.06）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | ギャップ |
|----|---|----------|----------------------------|------|
| 上位 | 1 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 1.61 |
| | 2 | 産業活性化 | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 1.33 |
| | 3 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 1.29 |
| 下位 | 3 | SDGsの推進 | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 0.74 |
| | 2 | DX推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 0.68 |
| | 1 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 0.66 |

赤堀地区（平均：0.97）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | ギャップ |
|----|---|----------|------------------------|------|
| 上位 | 1 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 1.44 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 1.13 |
| | 3 | 産業活性化 | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 1.09 |
| | 3 | SDGsの推進 | ごみの減量化・再資源化 | 1.09 |
| 下位 | 3 | SDGsの推進 | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 0.81 |
| | 1 | DX推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 0.60 |
| | 1 | DX推進 | デジタルを活用した人にやさしいまちづくり | 0.60 |

東地区（平均：1.09）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | ギャップ |
|----|---|------------|----------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 1.56 |
| | 2 | 産業活性化 | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 1.53 |
| | 3 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 1.49 |
| 下位 | 3 | SDGsの推進 | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 0.86 |
| | 3 | 産業活性化 | 地域の魅力の情報発信や移住定住の促進など、にぎわいあるまちづくり | 0.86 |
| | 2 | DX推進プロジェクト | 行政サービス等のデジタル化 | 0.75 |
| | 1 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 0.64 |

境地区（平均：1.08）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | ギャップ |
|----|---|----------|------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 1.50 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 1.49 |
| | 3 | 産業活性化 | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 1.40 |
| 下位 | 3 | SDGsの推進 | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 0.83 |
| | 2 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 0.75 |
| | 1 | DX推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 0.53 |

市の取組に対する満足度と重要度のギャップ（取組ごと）【性別】

男性（平均：1.04）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | ギャップ |
|----|---|------------------------|----------------------------|------|
| 上位 | 1 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 1.60 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 1.34 |
| | 3 | 産業活性化 | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 1.26 |
| 下位 | 3 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 0.79 |
| | 1 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 0.67 |
| | 1 | DX推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 0.67 |

女性（平均：1.09）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | ギャップ |
|----|---|------------------------|------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 1.55 |
| | 2 | 産業活性化 | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 1.39 |
| | 3 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 1.33 |
| 下位 | 3 | SDGsの推進 (いせさきGXの推進) | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 0.79 |
| | 2 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 0.73 |
| | 1 | DX推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 0.68 |

市の取組に対する満足度と重要度のギャップ（取組ごと）【年代別】

18～29歳（平均：1.00）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | ギャップ |
|----|---|-------------|------------------------|------|
| 上位 | 1 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 1.48 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 1.42 |
| | 2 | 産業活性化 | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 1.42 |
| 下位 | 3 | 産業活性化 | 工業・農業等の生産力の向上・販路拡大の支援 | 0.64 |
| | 2 | D X 推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 0.49 |
| | 1 | S D G s の推進 | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 0.42 |

30歳代（平均：1.23）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | ギャップ |
|----|---|-------------|------------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 1.83 |
| | 1 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 1.83 |
| | 3 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 1.75 |
| 下位 | 2 | 共生社会実現 | 性別や障害などで分け隔てることなく、多様な人材が活躍できるまちづくり | 0.80 |
| | 2 | S D G s の推進 | ごみの減量化・再資源化 | 0.80 |
| | 1 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 0.61 |

40歳代（平均：1.00）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | ギャップ |
|----|---|-------------|----------------------------|------|
| 上位 | 1 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 1.70 |
| | 2 | 産業活性化 | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 1.46 |
| | 3 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 1.16 |
| 下位 | 3 | S D G s の推進 | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 0.69 |
| | 2 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 0.56 |
| | 1 | D X 推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 0.49 |

50歳代（平均：1.12）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | ギャップ |
|----|---|-------------|------------------------------|------|
| 上位 | 1 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 1.76 |
| | 2 | 産業活性化 | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 1.53 |
| | 3 | 少子高齢化対策 | 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 1.28 |
| 下位 | 3 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 0.71 |
| | 1 | D X 推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 0.69 |
| | 1 | S D G s の推進 | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 0.69 |

60歳代（平均：1.14）

| | | 重点プロジェクト | 取組 | ギャップ |
|----|---|-------------|----------------------------|------|
| 上位 | 1 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 1.56 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | 子どもを産み育てやすい環境づくり | 1.31 |
| | 2 | 産業活性化 | 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 1.31 |
| 下位 | 3 | S D G s の推進 | 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 0.87 |
| | 2 | D X 推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 0.86 |
| | 1 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 0.84 |

70歳以上（平均：0.95）

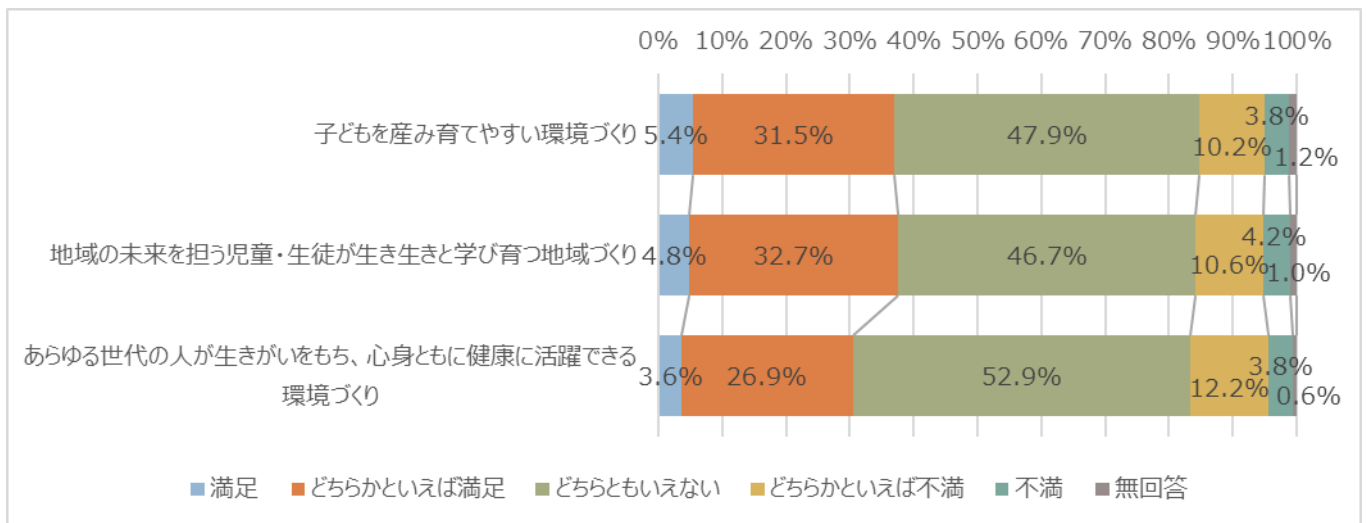
| | | 重点プロジェクト | 取組 | ギャップ |
|----|---|----------|--|------|
| 上位 | 1 | 暮らしの安心実現 | 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 1.28 |
| | 2 | 少子高齢化対策 | あらゆる世代の人が生きがいを持ち、心身ともに健康に活躍できる環境づくり | 1.21 |
| | 3 | 暮らしの安心実現 | 災害に関する時の情報伝達の強化や防災訓練の実施など、地域における防災力の強化 | 1.16 |
| 下位 | 2 | 共生社会実現 | 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 0.73 |
| | 2 | D X 推進 | デジタルを活用した人にやさしいまちづくり | 0.73 |
| | 1 | D X 推進 | 行政サービス等のデジタル化 | 0.52 |

(23) 「少子高齢化対策」に関する取組への満足度及び重要度

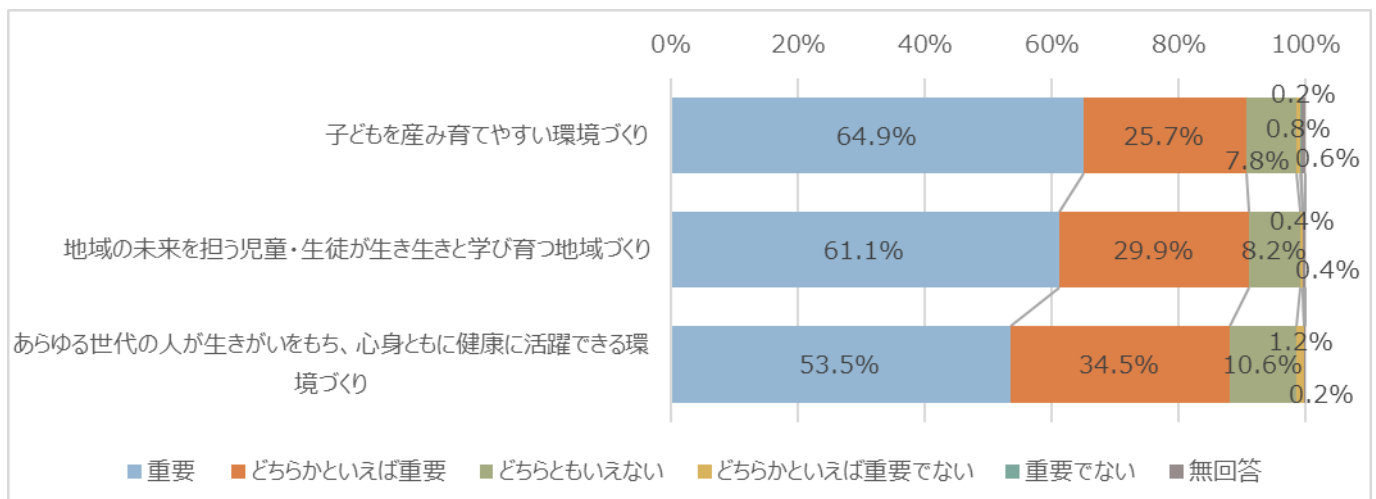
「少子高齢化対策」に関する取組への満足度及び重要度を聞いたところ、「子どもを産み育てやすい環境づくり」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は 36.9%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は 14.0%であり、満足度は 3.25（全体の 3 位）、重要度は 4.55（全体の 1 位）であった。「地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は 37.5%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は 14.8%であり、満足度は 3.23（全体の 4 位）、重要度は 4.52（全体の 3 位）であった。「あらゆる世代の人が生きがいを持ち、心身ともに健康に活躍できる環境づくり」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は 30.5%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は 16.0%であり、満足度は 3.14（全体の 7 位）、重要度は 4.41（全体の 4 位）であった。

| 取組 | 満足度 | | 重要度 | | 割合 (%) | |
|-------------------------------------|------|----|------|----|--------|-------|
| | 平均値 | 順位 | 平均値 | 順位 | 満足 | 不満 |
| 子どもを産み育てやすい環境づくり | 3.25 | 3 | 4.55 | 1 | 36.9% | 14.0% |
| 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 3.23 | 4 | 4.52 | 3 | 37.5% | 14.8% |
| あらゆる世代の人が生きがいを持ち、心身ともに健康に活躍できる環境づくり | 3.14 | 7 | 4.41 | 4 | 30.5% | 16.0% |

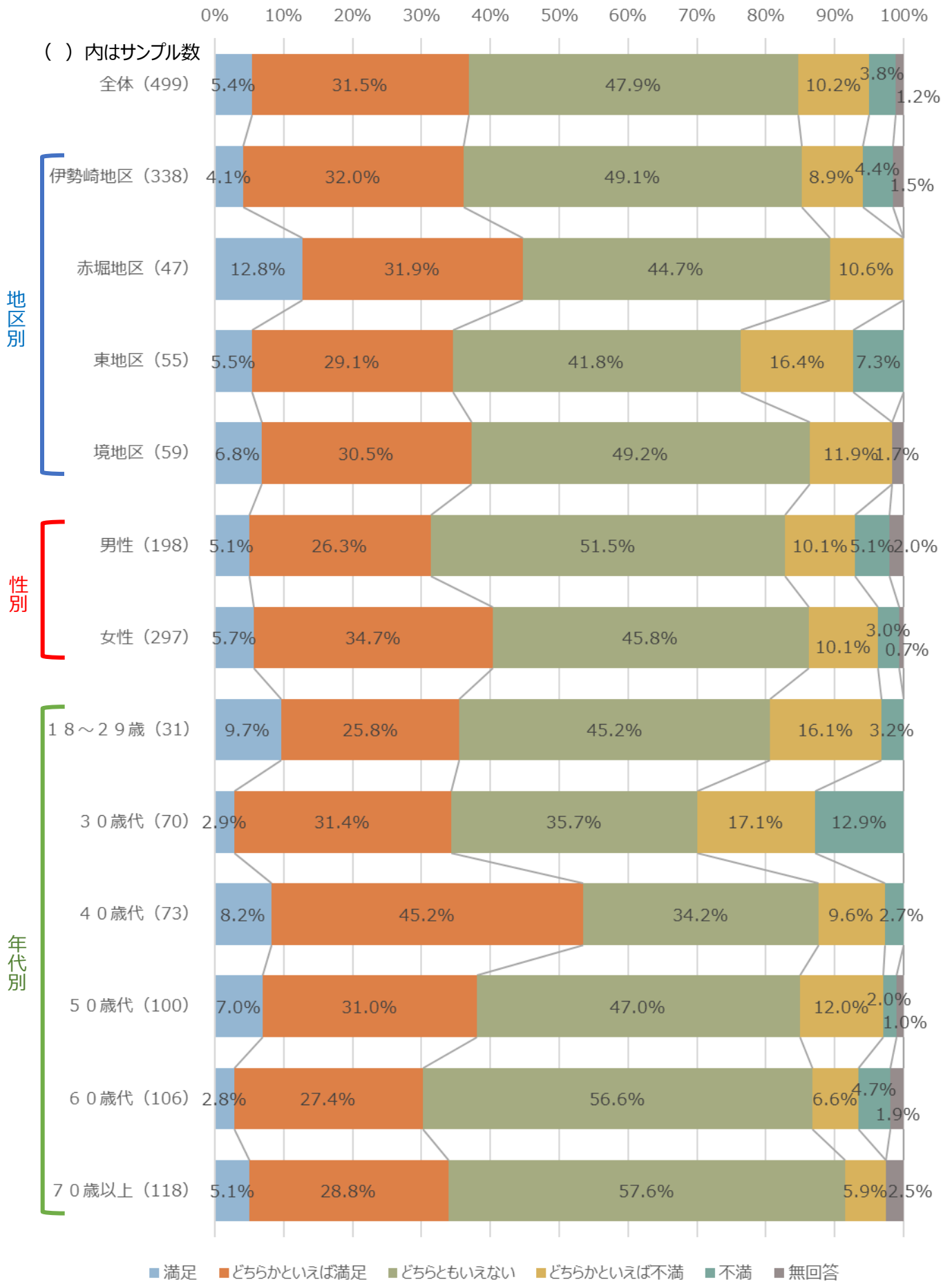
「少子高齢化対策」に関する取組への満足度の回答（割合）



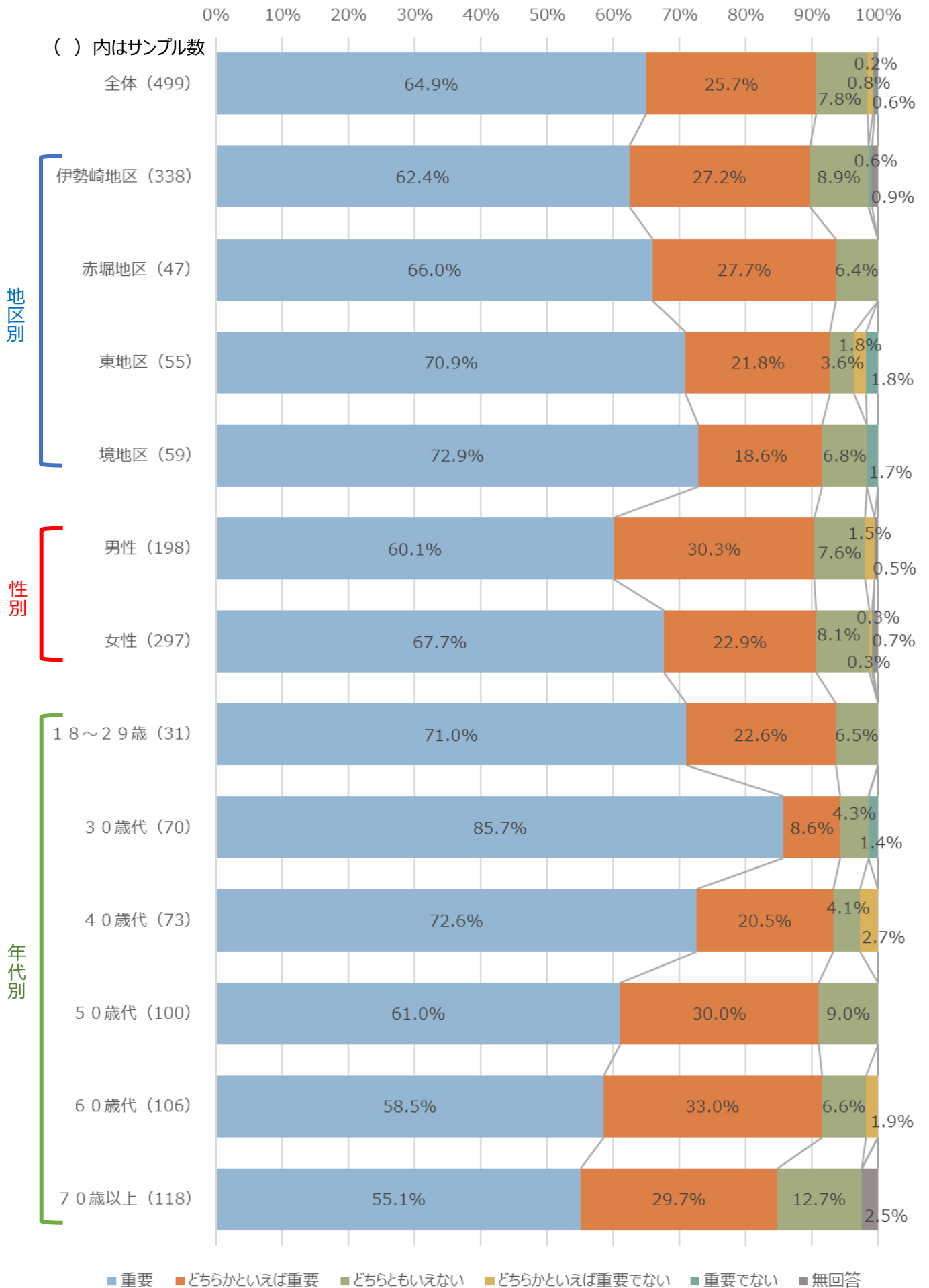
「少子高齢化対策」に関する取組への重要度の回答（割合）



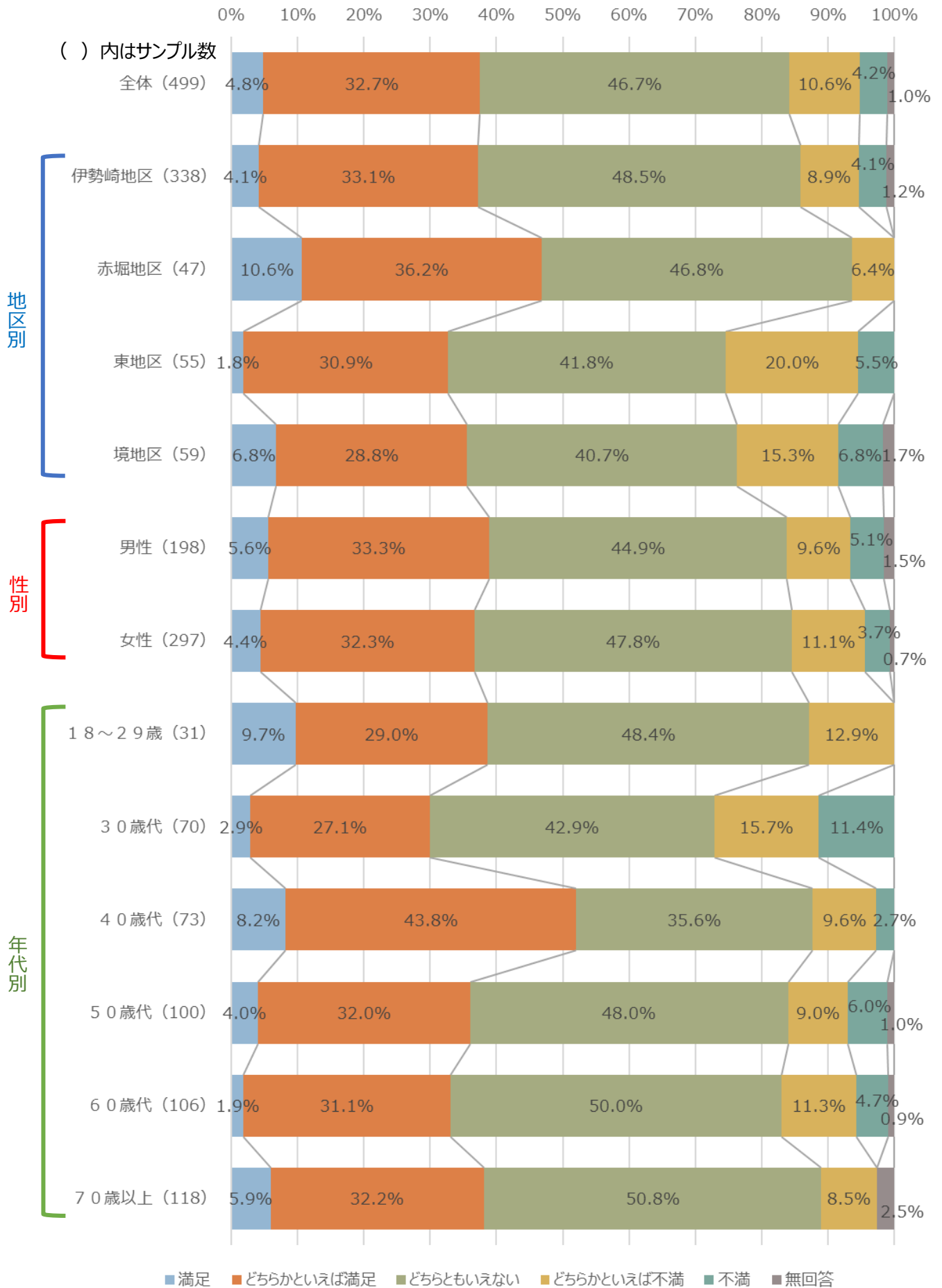
「子どもを産み育てやすい環境づくり」への満足度の回答（割合）【地区別・性別・年代別】



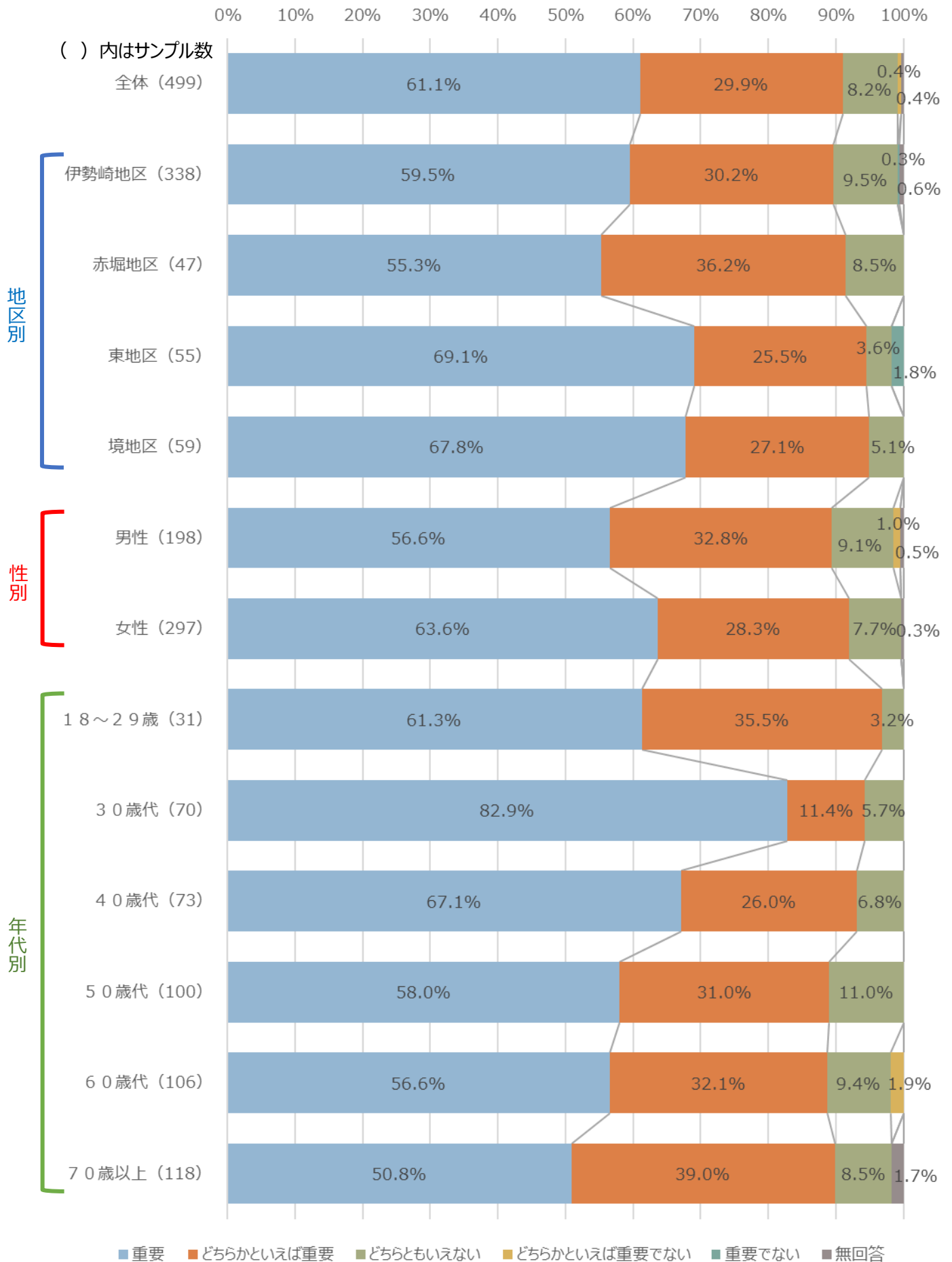
「子どもを産み育てやすい環境づくり」の重要度への回答（割合）【地区別・性別・年代別】



「地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり」への満足度の回答（割合）【地区別・性別・年代別】

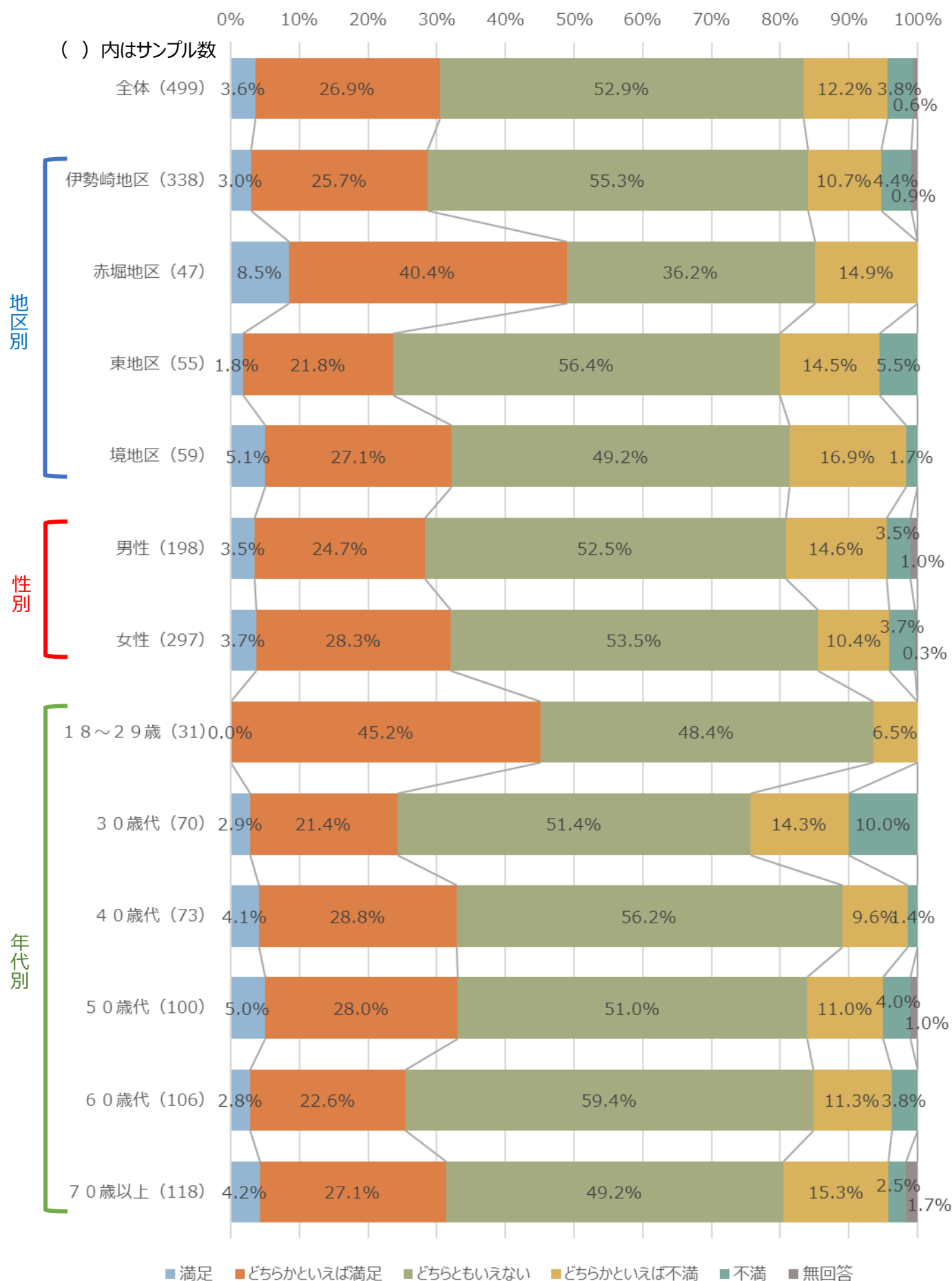


「地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり」の重要度への回答（割合）【地区別・性別・年代別】



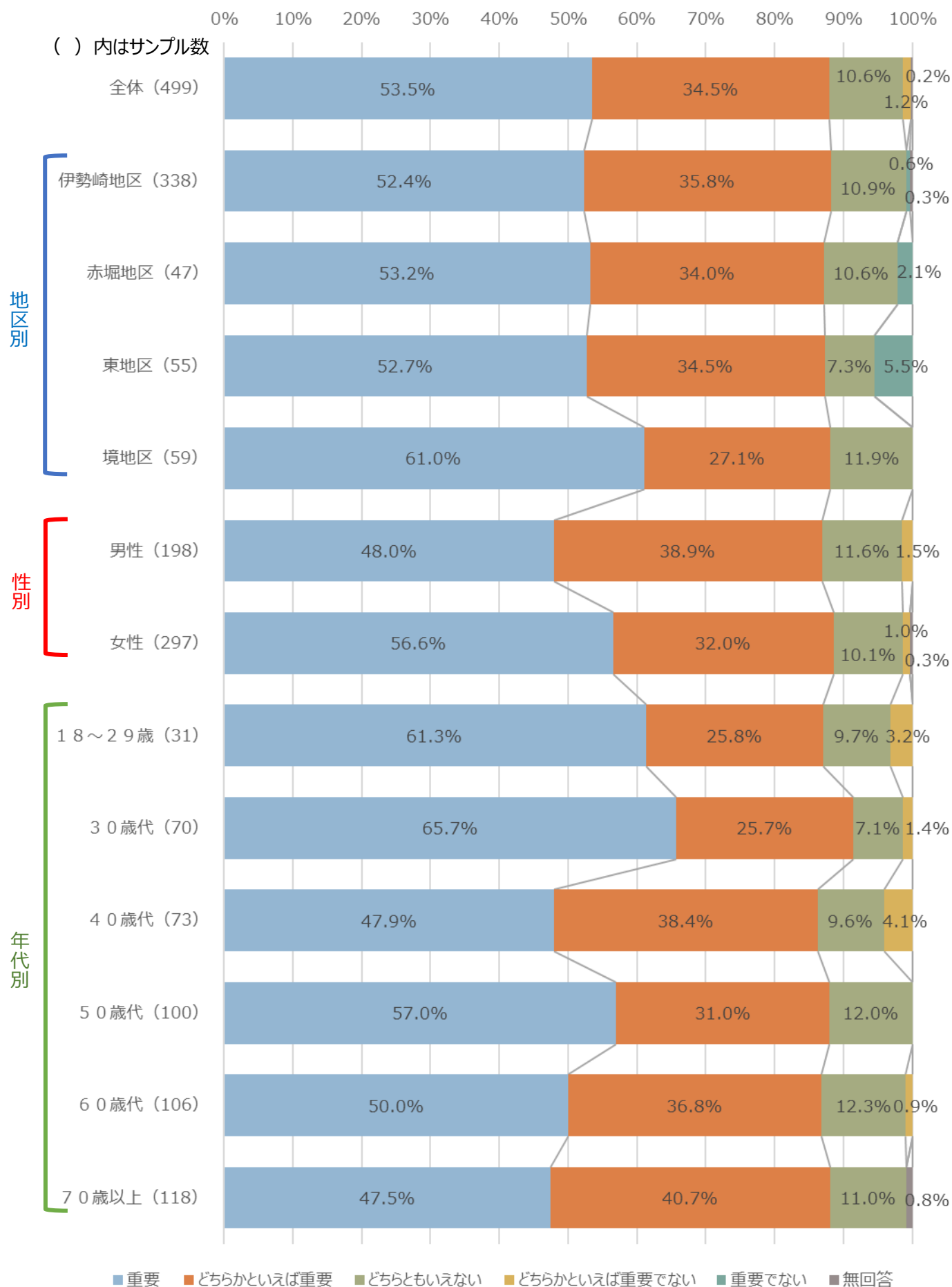
「あらゆる世代の人が生きがいを持ち、心身ともに健康に活躍できる環境づくり」への満足度の回答（割合）

【地区別・性別・年代別】



「あらゆる世代の人が生きがいを持ち、心身ともに健康に活躍できる環境づくり」の重要度への回答（割合）

【地区別・性別・年代別】

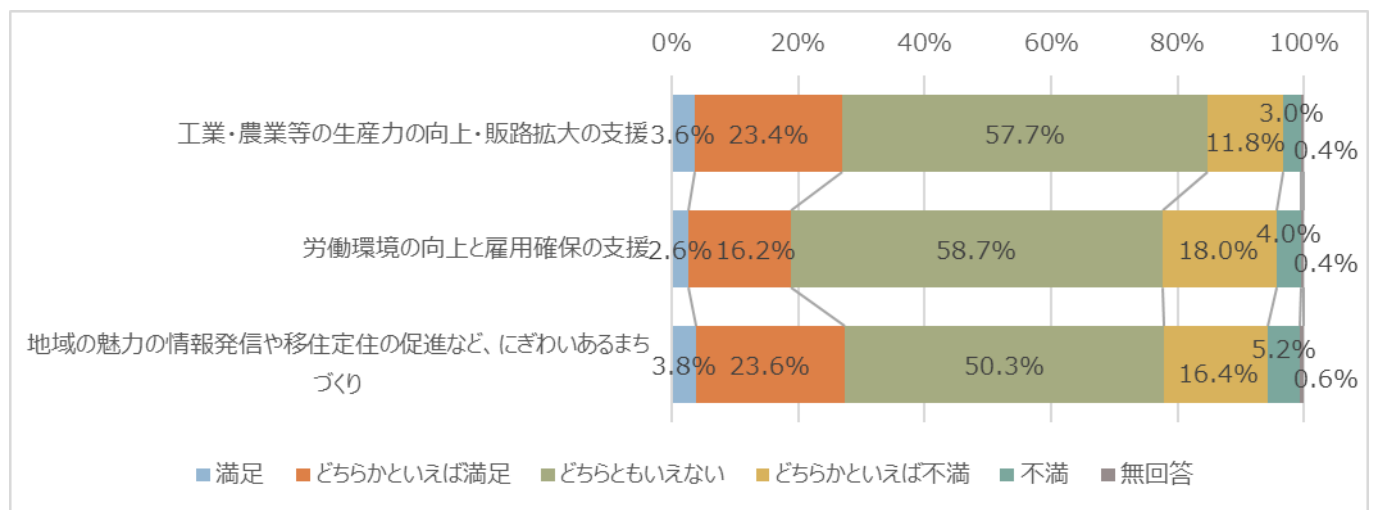


(24) 「産業活性化プロジェクト」に関する取組への満足度及び重要度

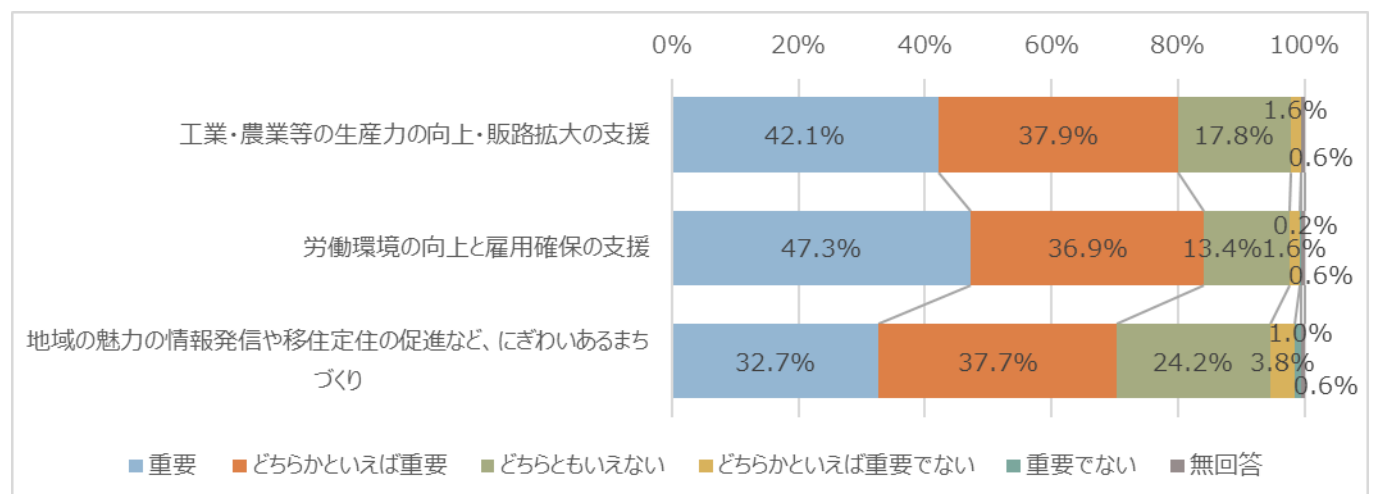
「産業活性化プロジェクト」に関する取組への満足度及び重要度を聞いたところ、「工業・農業等の生産力の向上・販路拡大の支援」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は27.1%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は14.8%であり、満足度は3.13（全体の9位）、重要度は4.21（全体の8位）であった。「労働環境の向上と雇用確保の支援」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は18.8%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は22.0%であり、満足度は2.95（全体の15位）、重要度は4.30（全体の7位）であった。「地域の魅力の情報発信や移住定住の促進など、にぎわいあるまちづくり」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は27.5%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は21.6%であり、満足度は3.04（全体の12位）、重要度は3.98（全体の13位）であった。

| 取組 | 満足度 | | 重要度 | | 満足度の割合 (%) | |
|----------------------------------|------|----|------|----|------------|-------|
| | 平均値 | 順位 | 平均値 | 順位 | 満足 | 不満 |
| 工業・農業等の生産力の向上・販路拡大の支援 | 3.13 | 9 | 4.21 | 8 | 27.1% | 14.8% |
| 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 2.95 | 15 | 4.30 | 7 | 18.8% | 22.0% |
| 地域の魅力の情報発信や移住定住の促進など、にぎわいあるまちづくり | 3.04 | 12 | 3.98 | 13 | 27.5% | 21.6% |

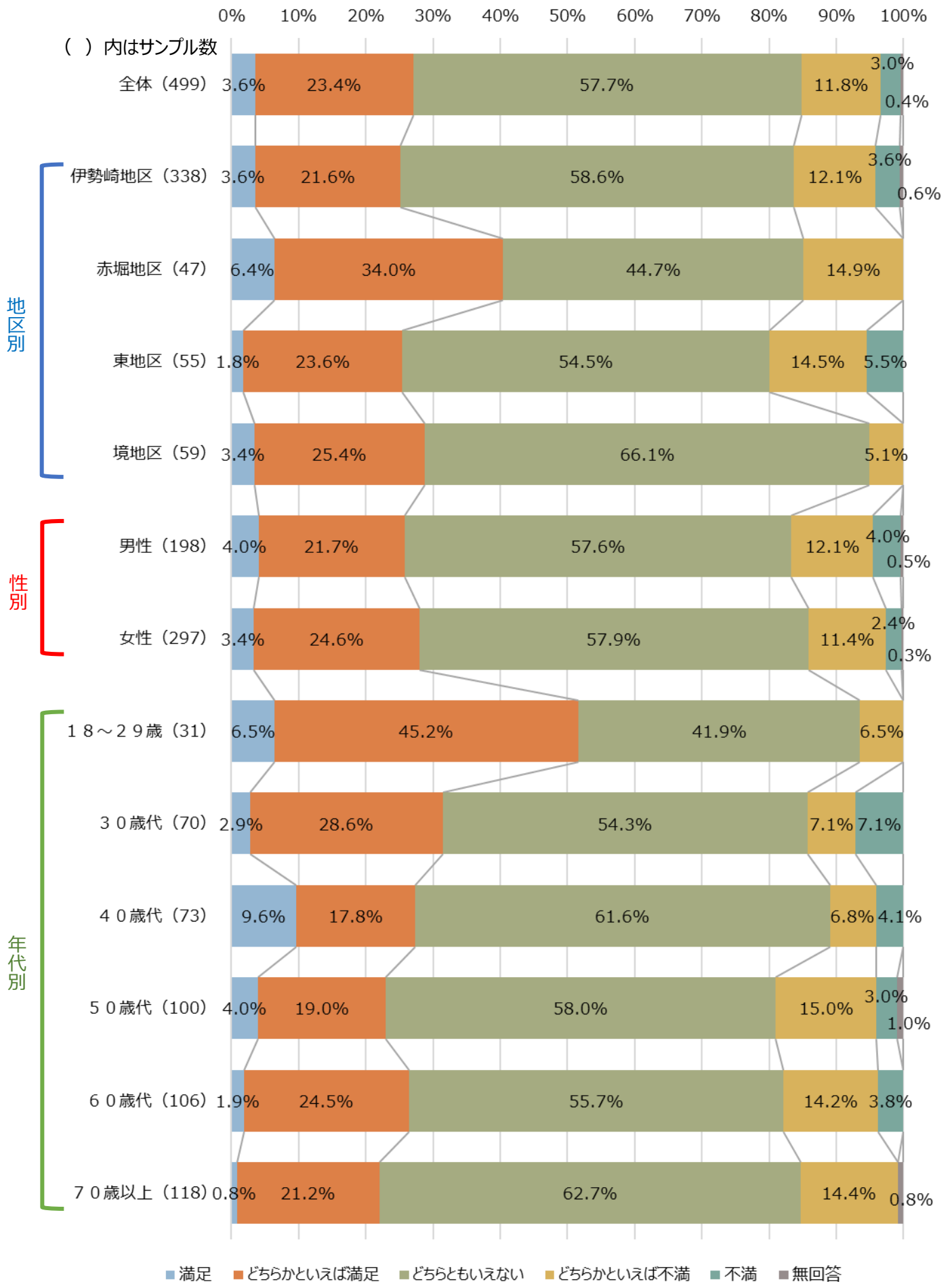
「産業の活性化」に関する取組への満足度の回答（割合）



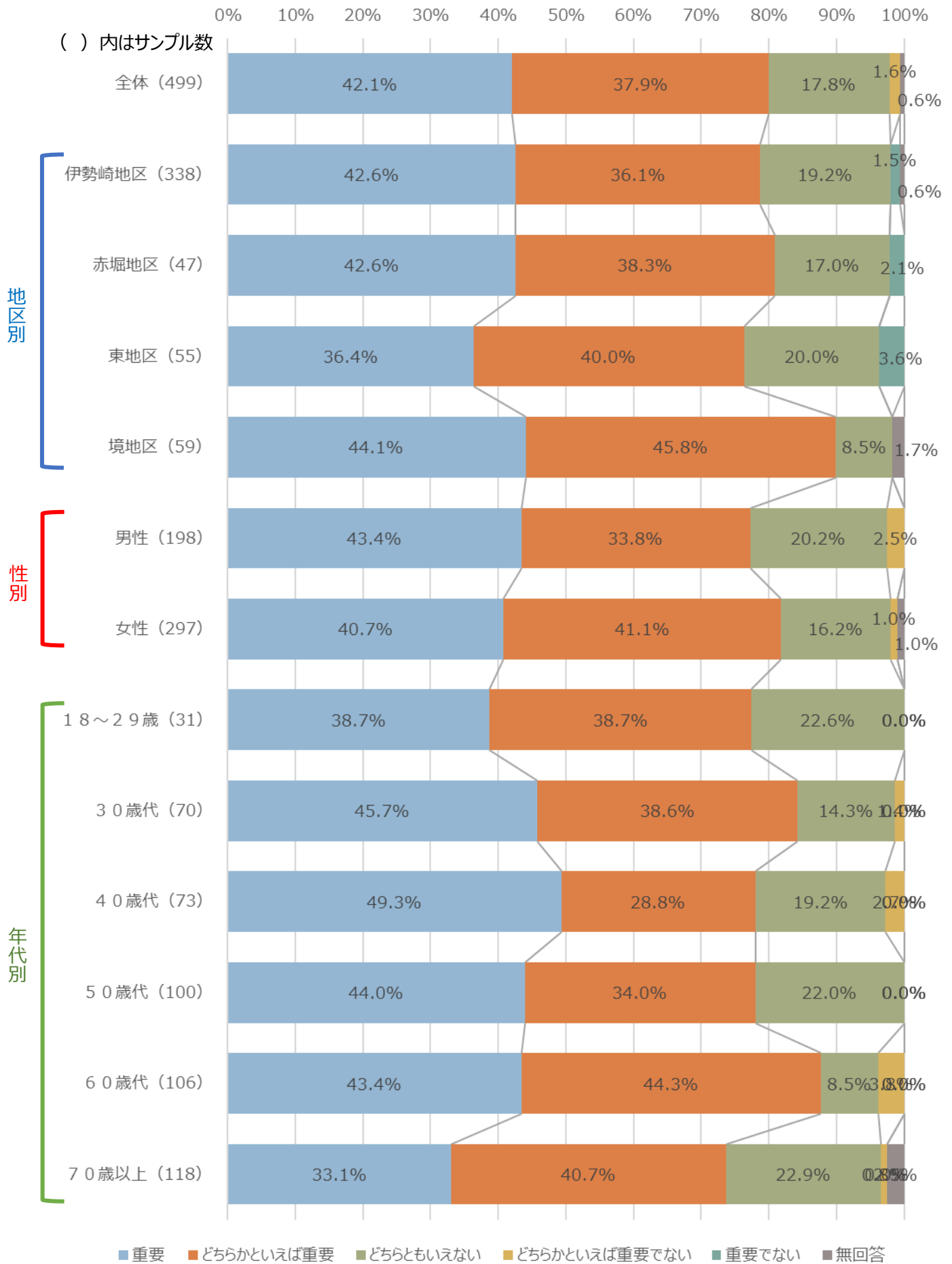
「産業の活性化」に関する取組の重要度への回答（割合）



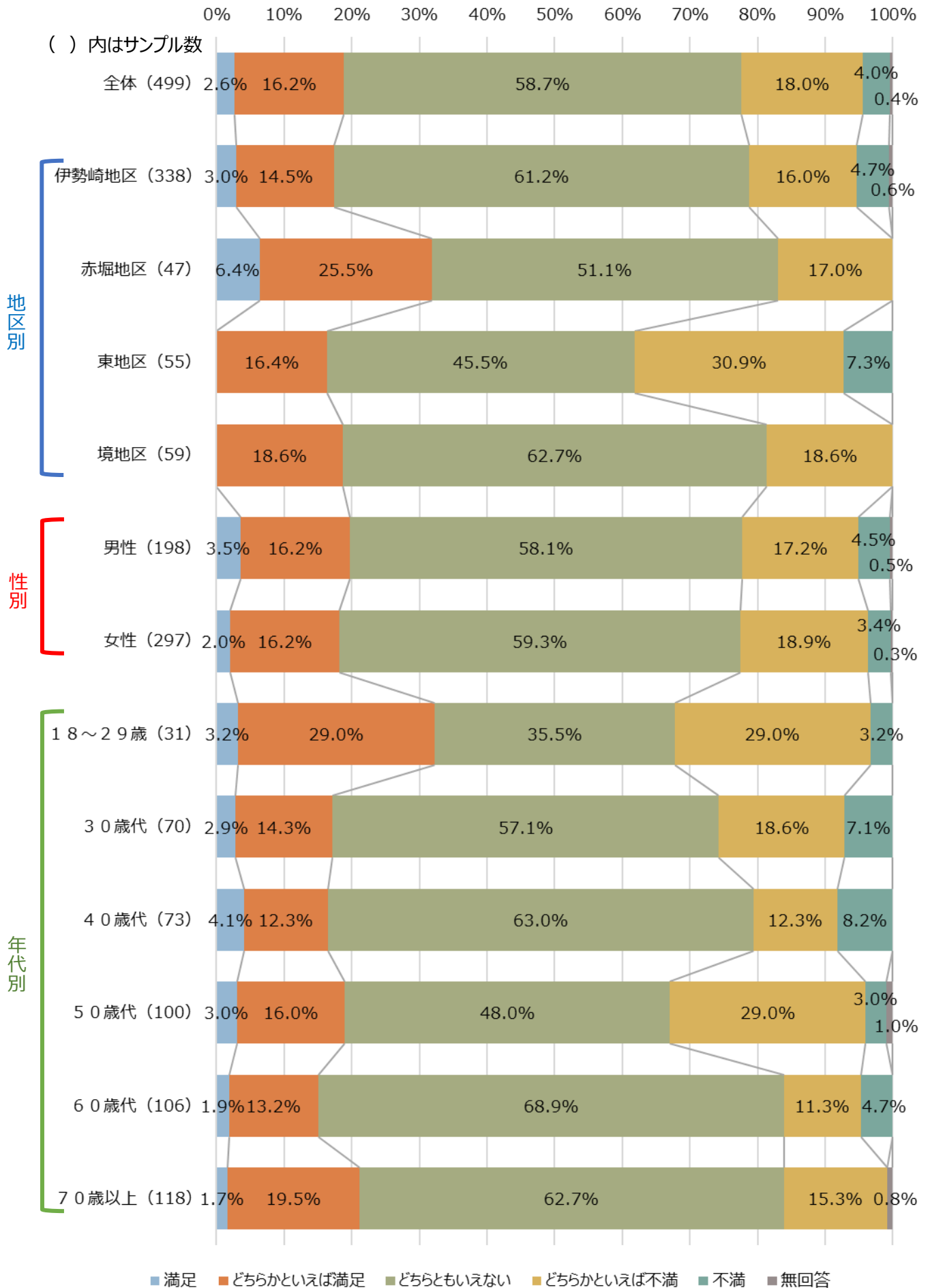
「工業・農業等の生産力の向上・販路拡大の支援」への満足度の回答（割合）【地区別・性別・年代別】



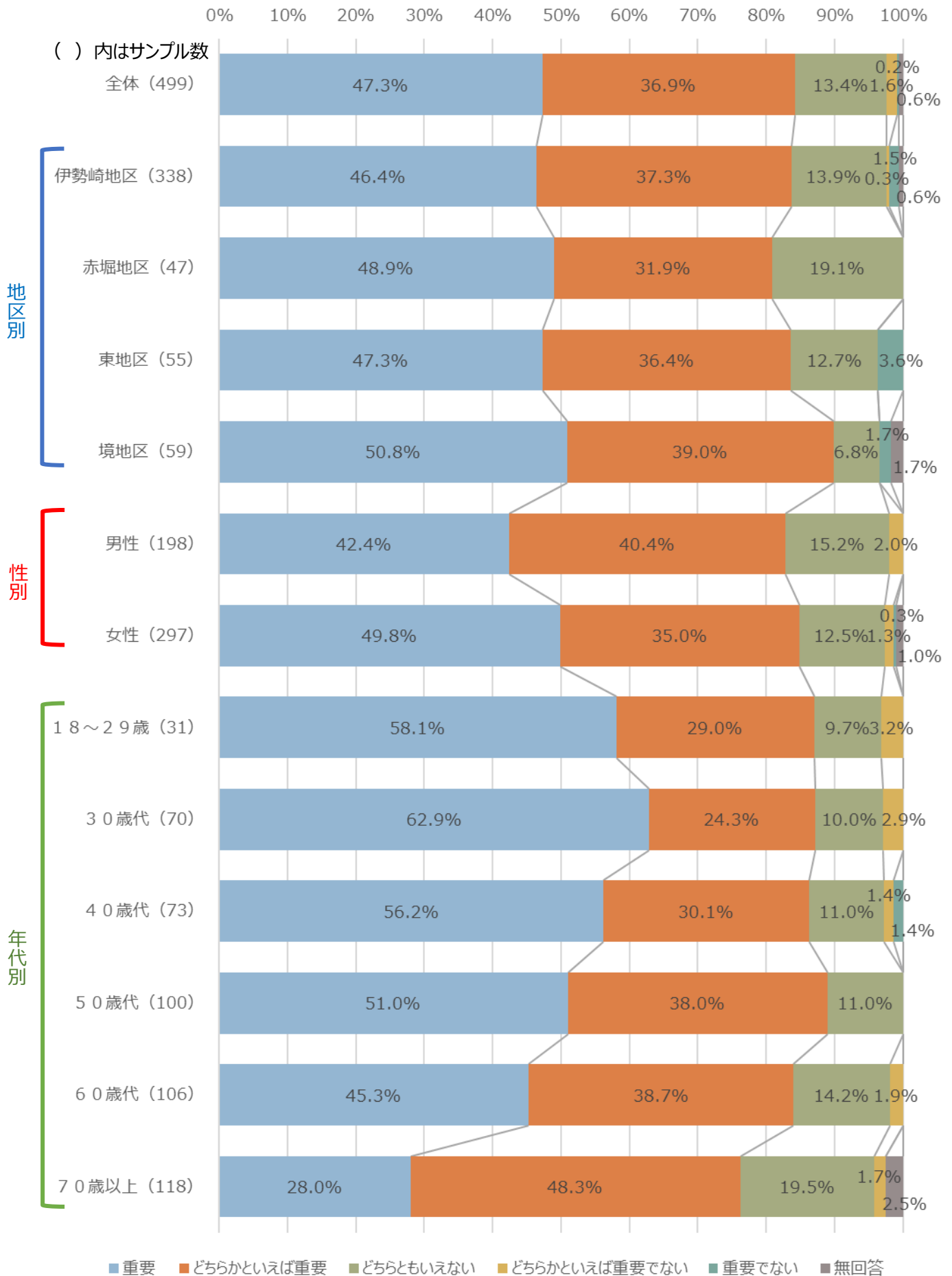
「工業・農業等の生産力の向上・販路拡大の支援」の重要度への回答（割合）【地区別・性別・年代別】



「労働環境の向上と雇用確保の支援」への満足度の回答（割合）【地区別・性別・年代別】

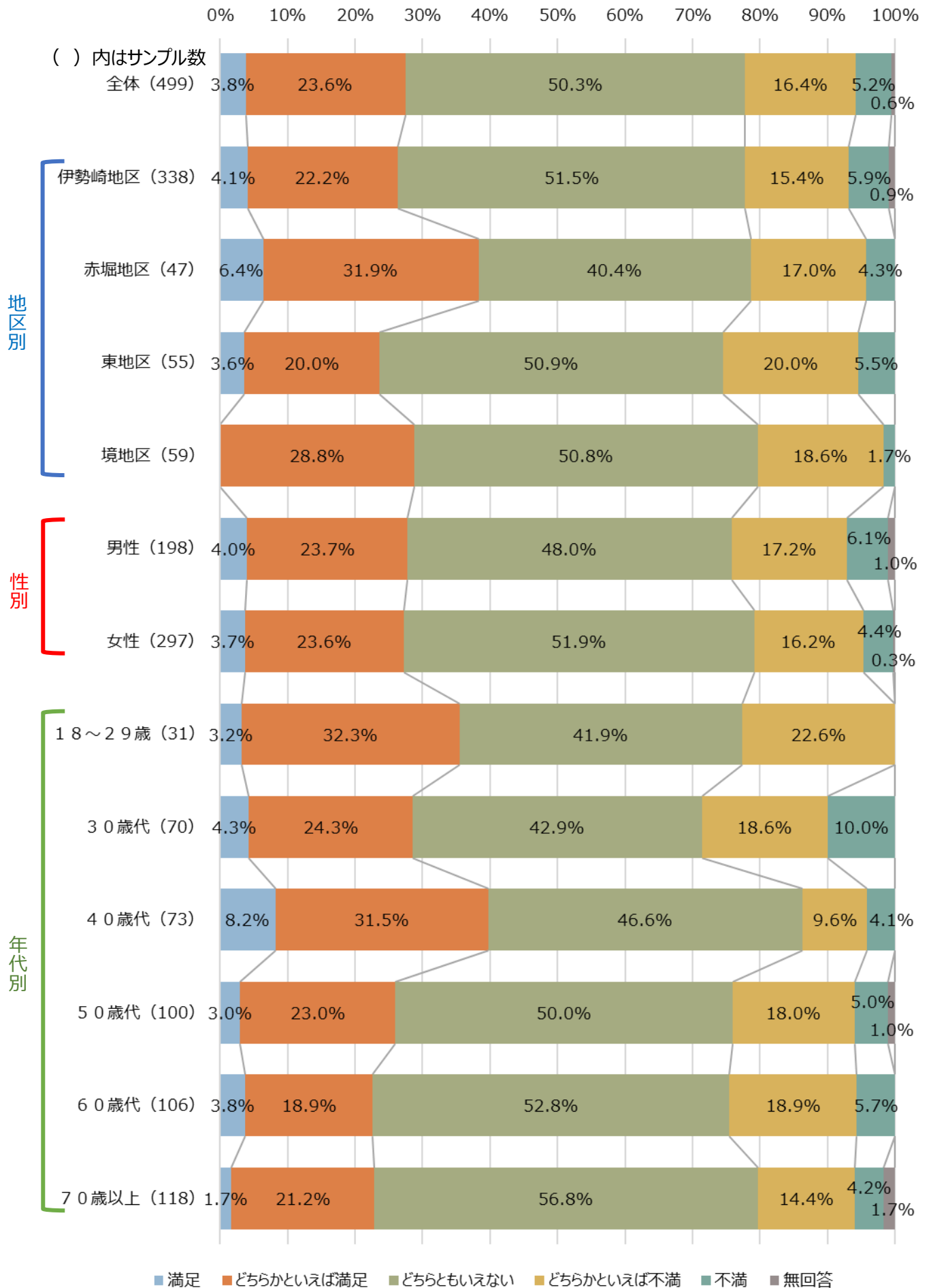


「労働環境の向上と雇用確保の支援」の重要度への回答（割合）【地区別・性別・年代別】



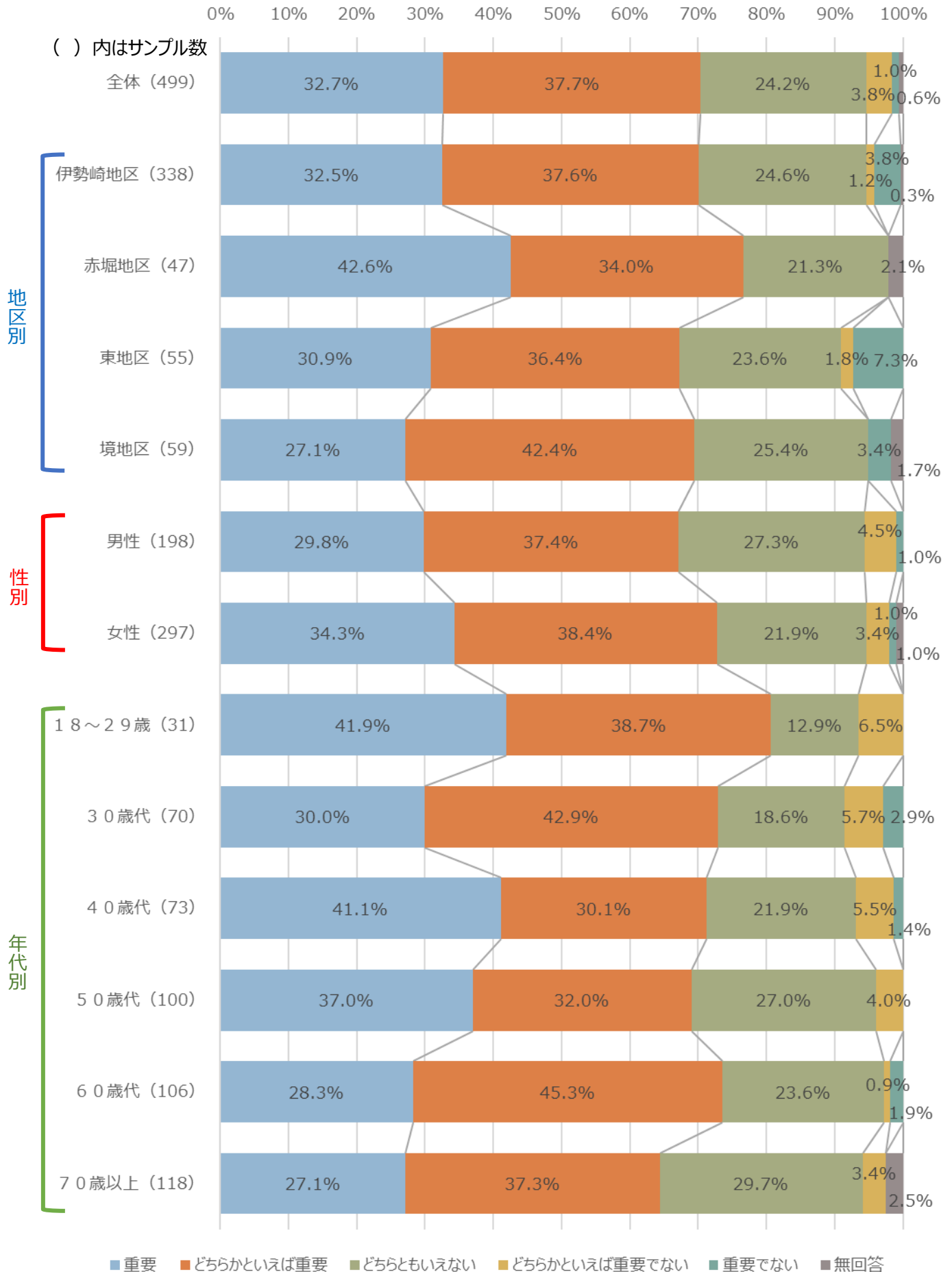
「地域の魅力の情報発信や移住定住の促進など、にぎわいあるまちづくり」への満足度の回答（割合）

【地区別・性別・年代別】



「地域の魅力の情報発信や移住定住の促進など、にぎわいあるまちづくり」の重要度への回答（割合）

【地区別・性別・年代別】

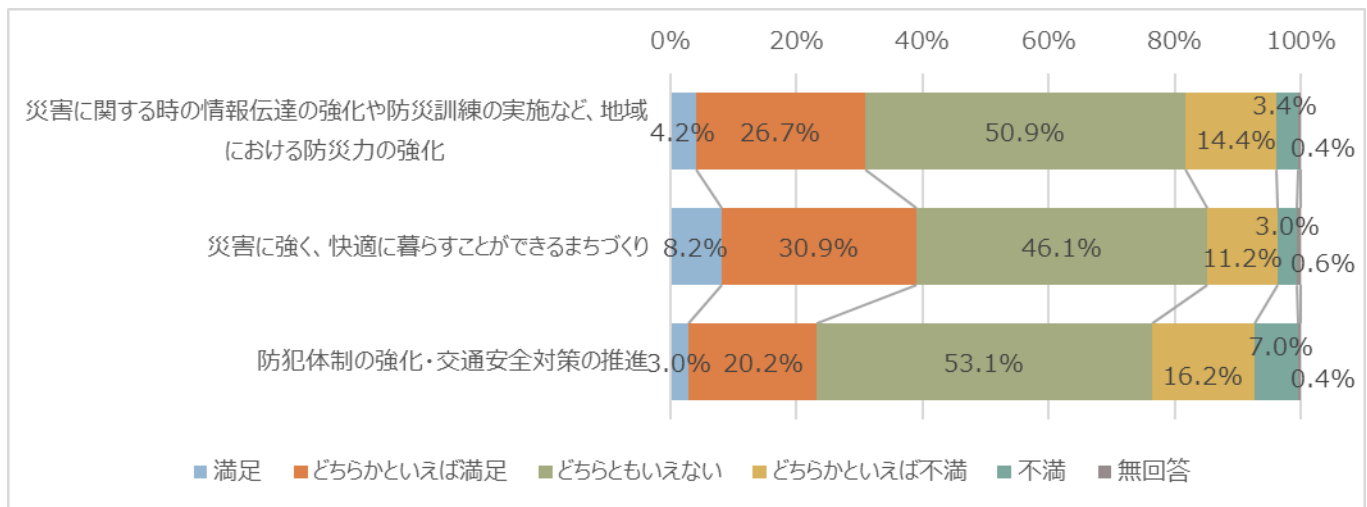


(25) 「暮らしの安心実現プロジェクト」に関する取組への満足度及び重要度

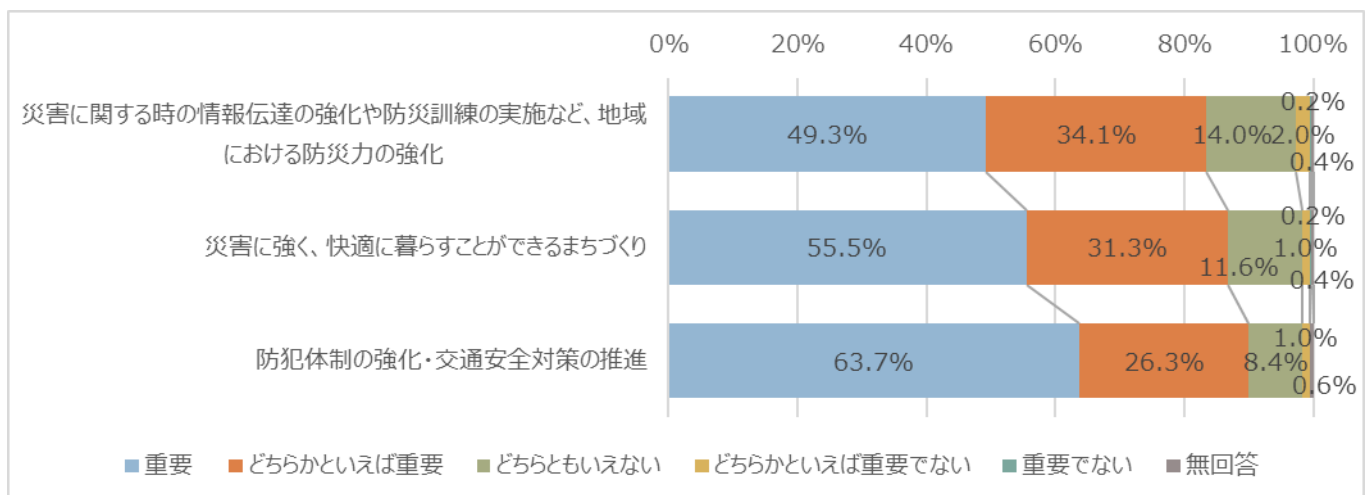
「暮らしの安心実現プロジェクト」に関する取組への満足度及び重要度を聞いたところ、「災害に関する時の情報伝達の強化や防災訓練の実施など、地域における防災力の強化」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は30.9%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は17.8%であり、満足度は3.14（全体の7位）、重要度は4.31（全体の6位）であった。「災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は39.1%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は14.2%であり、満足度は3.30（全体の2位）、重要度は4.41（全体の4位）であった。「防犯体制の強化・交通安全対策の推進」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は23.2%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は23.2%であり、満足度は2.96（全体の13位）、重要度は4.54（全体の2位）であった。

| 取組 | 満足度 | | 重要度 | | 満足度の割合 (%) | |
|--|------|----|------|----|------------|-------|
| | 平均値 | 順位 | 平均値 | 順位 | 満足 | 不満 |
| 災害に関する時の情報伝達の強化や防災訓練の実施など、地域における防災力の強化 | 3.14 | 7 | 4.31 | 6 | 30.9% | 17.8% |
| 災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり | 3.30 | 2 | 4.41 | 4 | 39.1% | 14.2% |
| 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 2.96 | 13 | 4.54 | 2 | 23.2% | 23.2% |

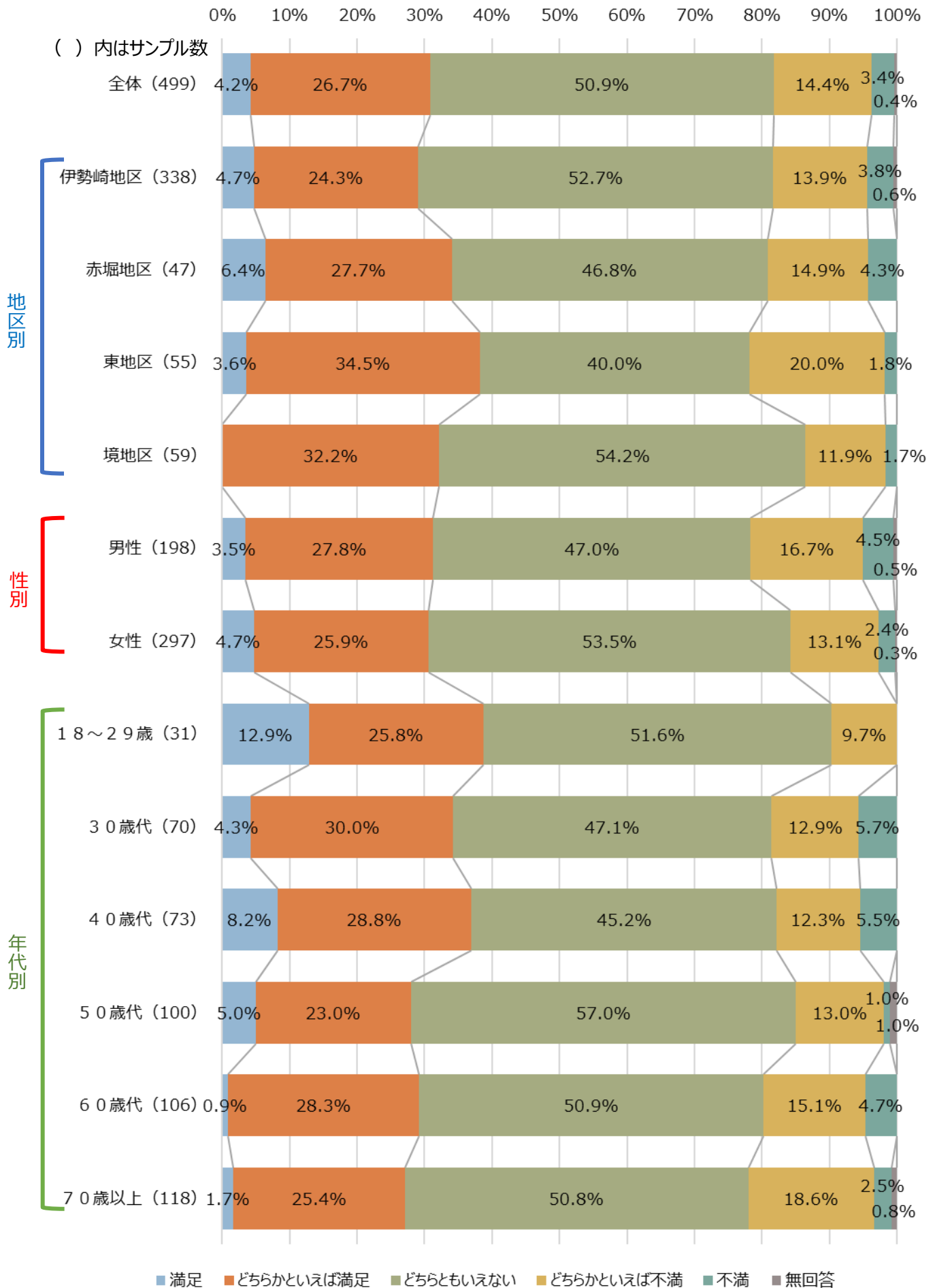
「暮らしの安心実現」に関する取組への満足度の回答（割合）



「暮らしの安心実現」に関する取組の重要度への回答（割合）

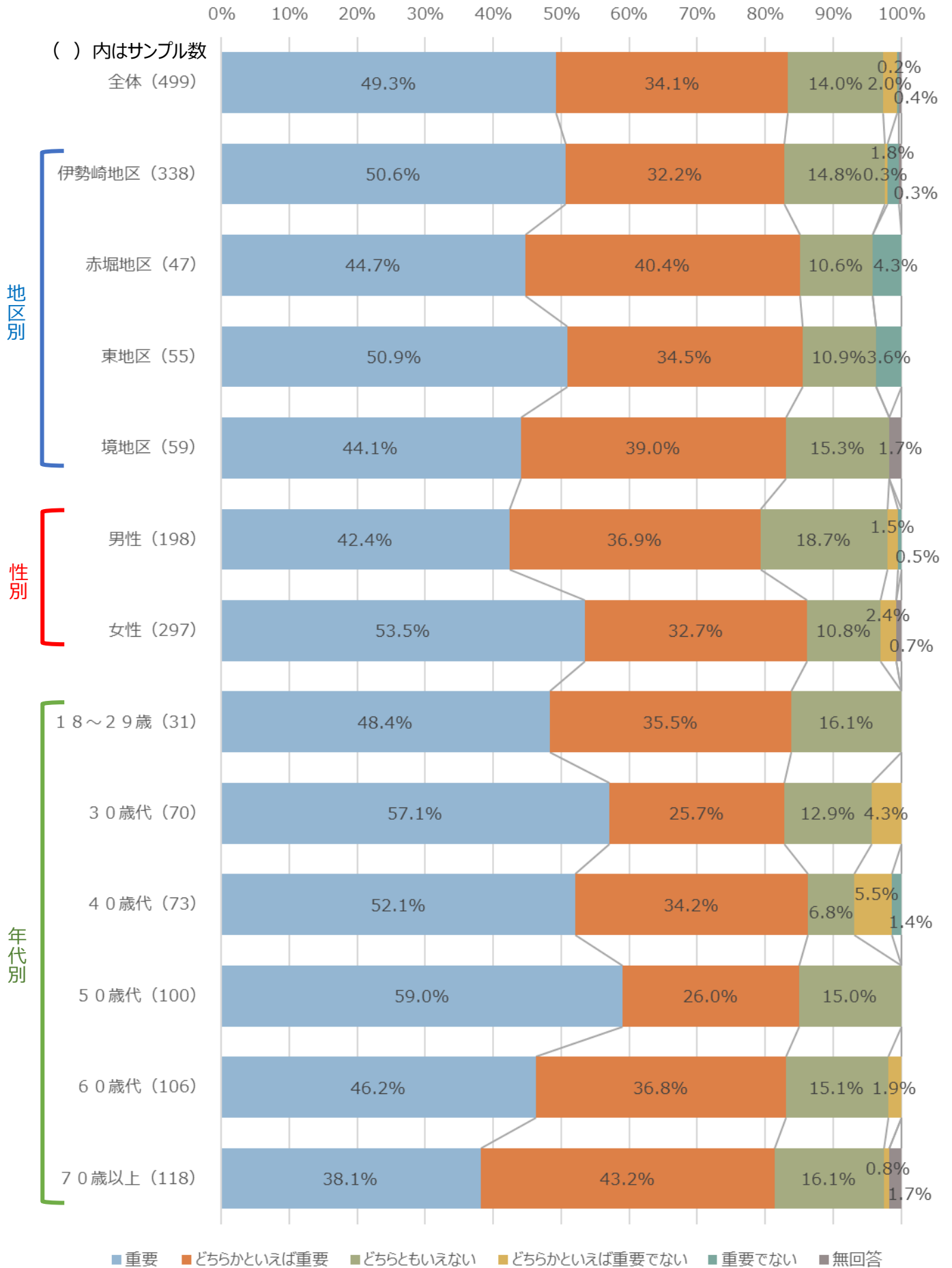


「災害に関する時の情報伝達の強化や防災訓練の実施など、地域における防災力の強化」への満足度の回答（割合）
 【地区別・性別・年代別】

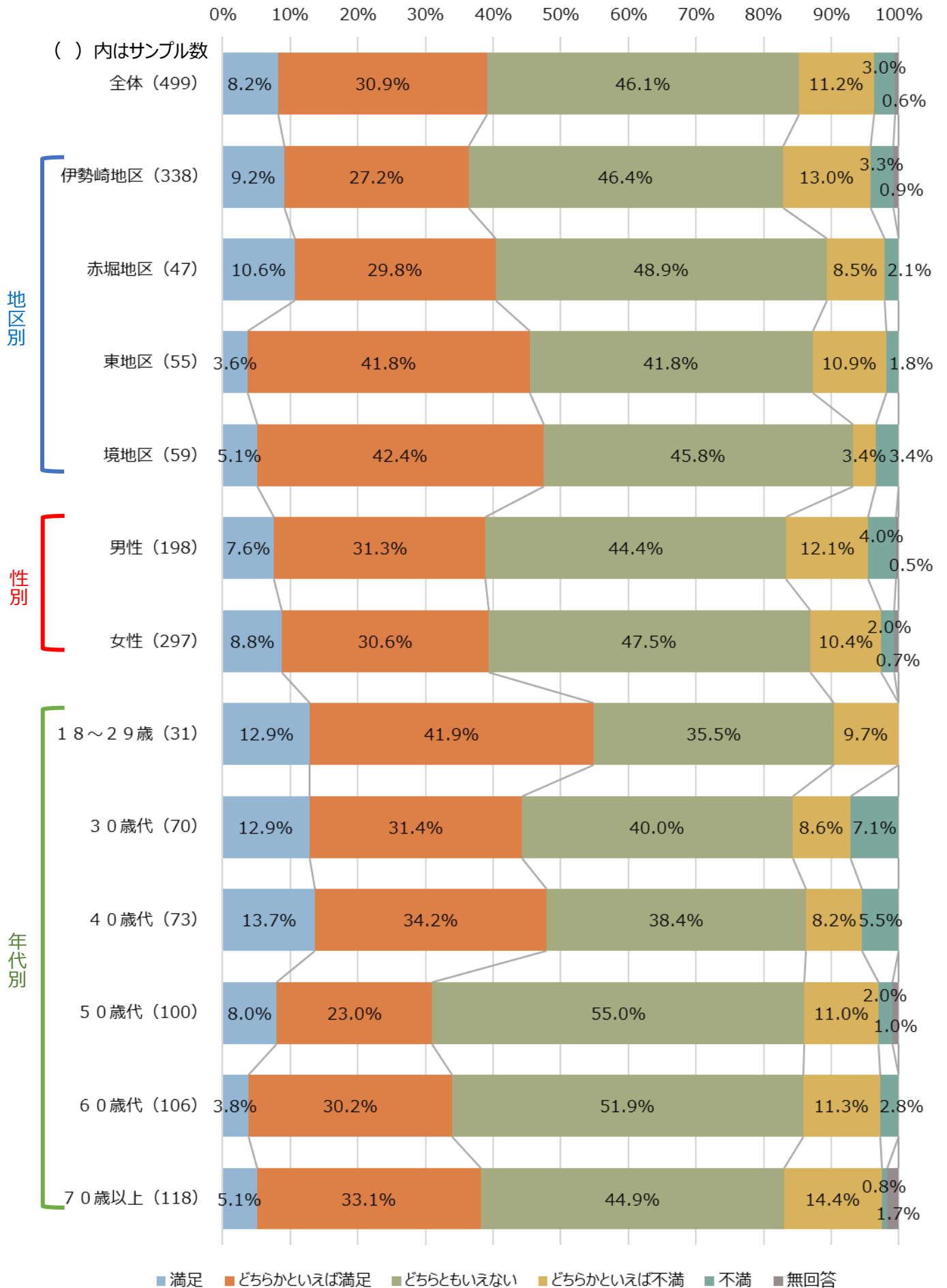


「災害に関する時の情報伝達の強化や防災訓練の実施など、地域における防災力の強化」の重要度への回答（割合）

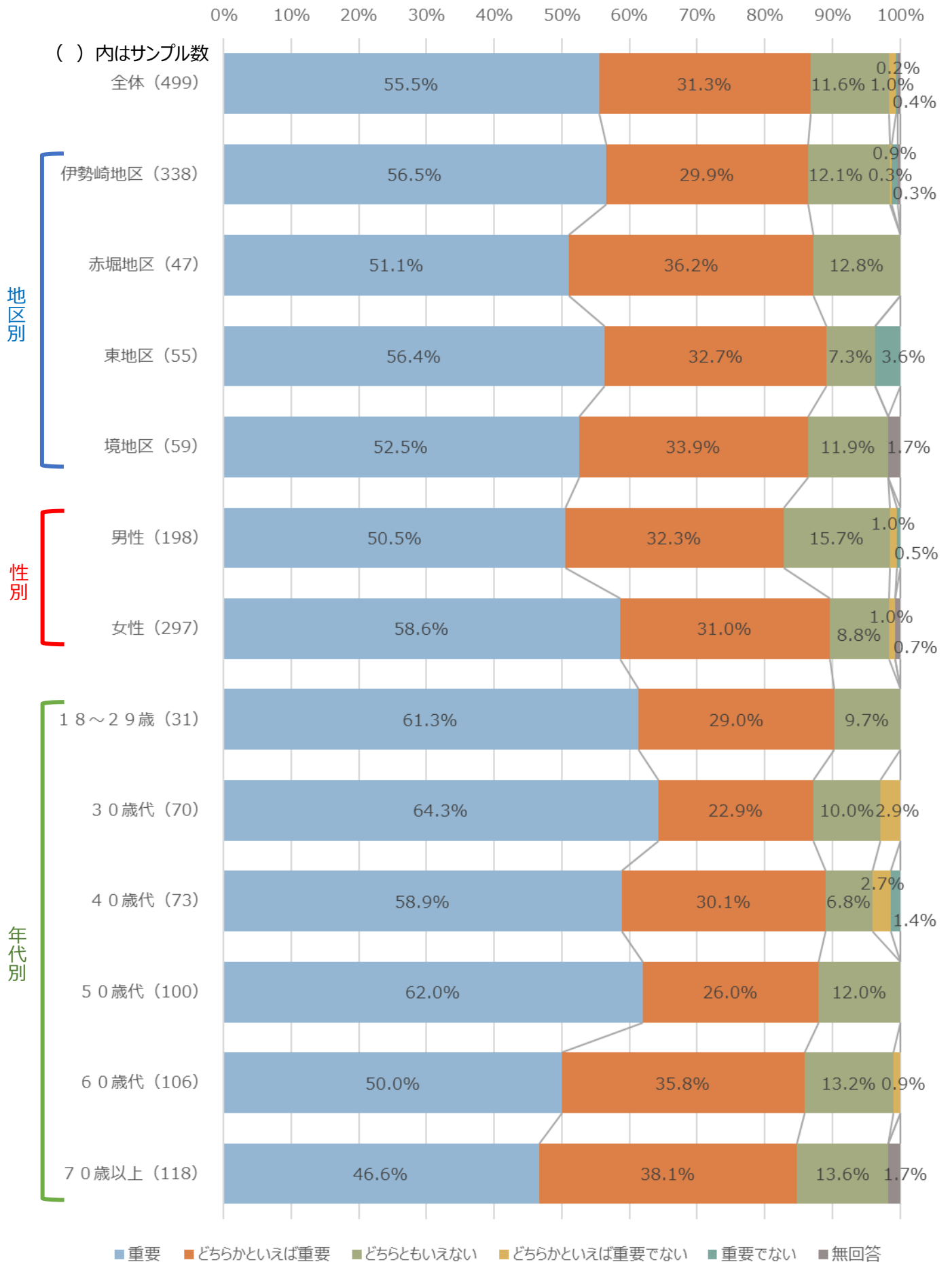
【地区別・性別・年代別】



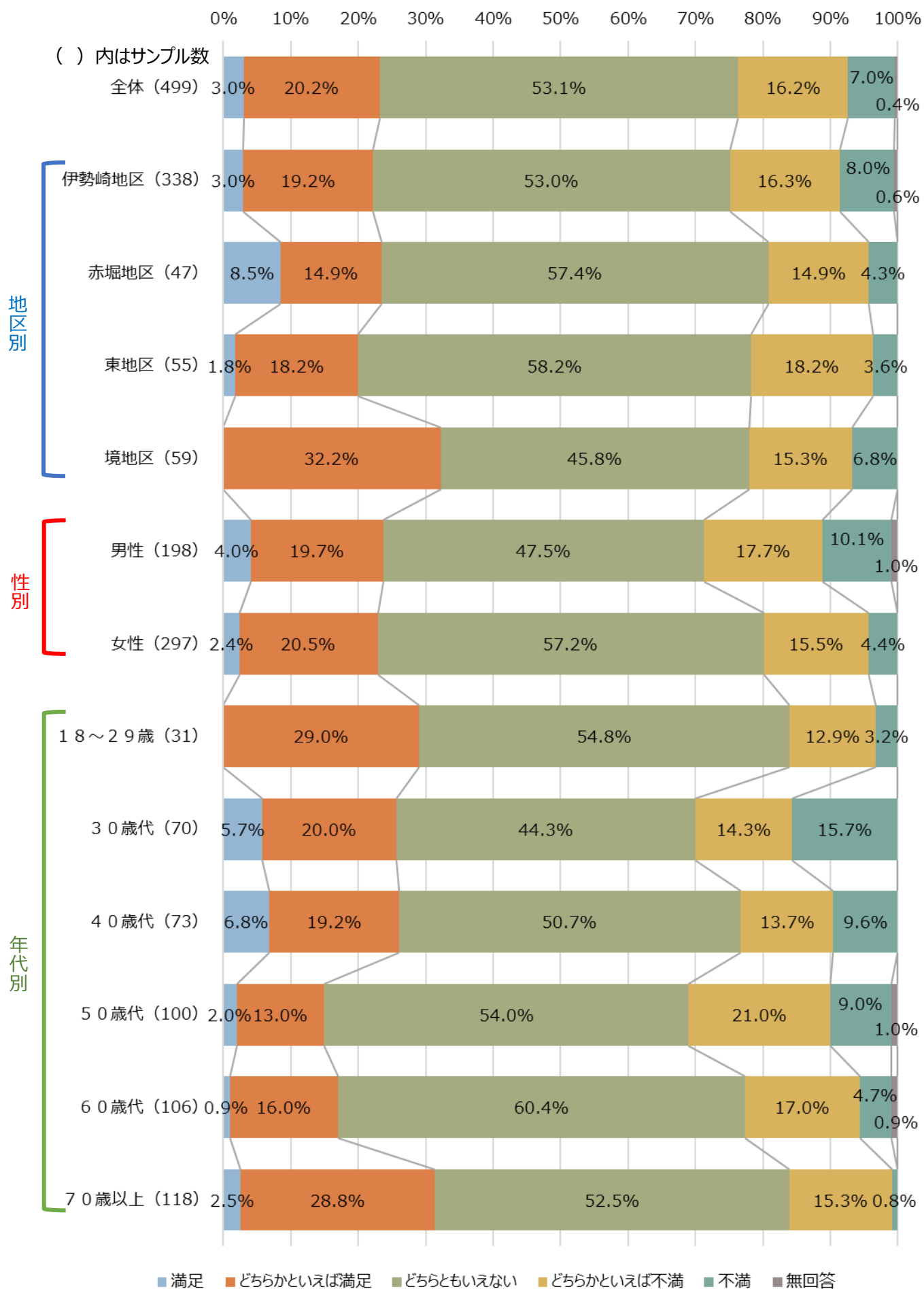
「災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり」への満足度の回答（割合）【地区別・性別・年代別】



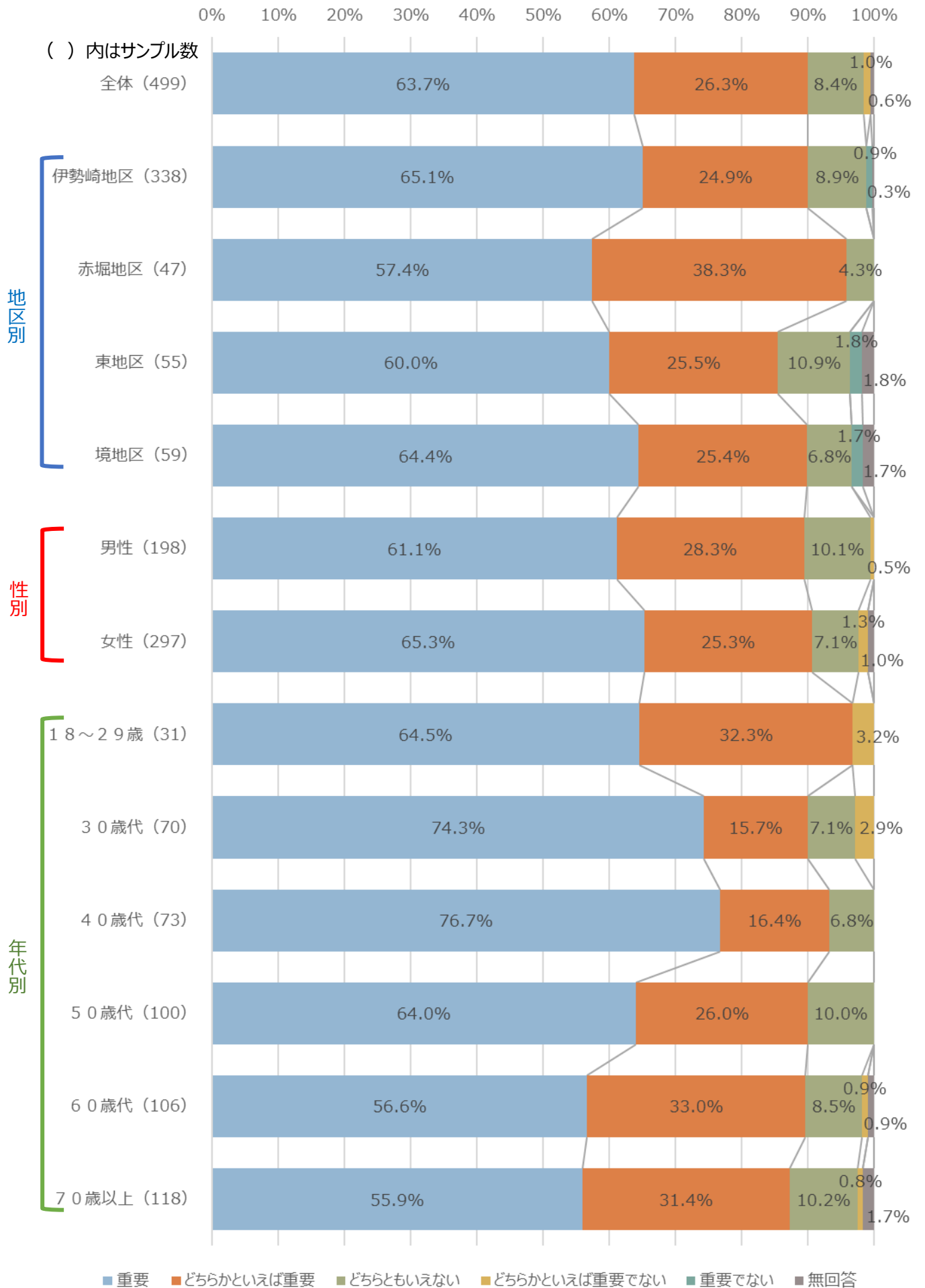
「災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり」の重要度への回答（割合）【地区別・性別・年代別】



「防犯体制の強化・交通安全対策の推進」への満足度の回答（割合）【地区別・性別・年代別】



「防犯体制の強化・交通安全対策の推進」の重要度への回答（割合）【地区別・性別・年代別】

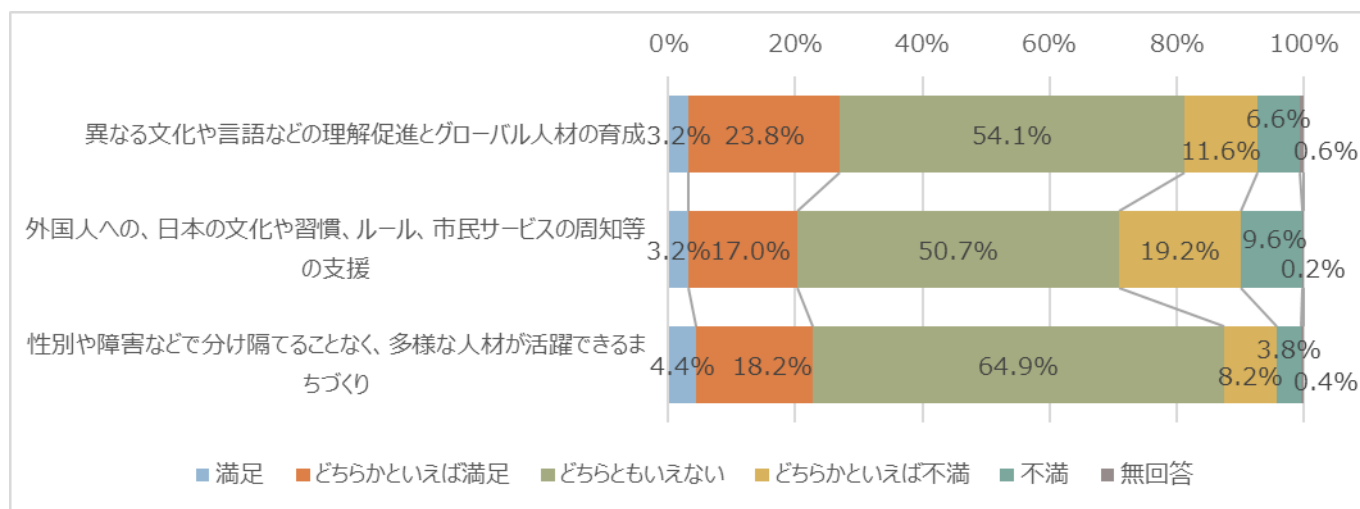


(26) 「共生社会の実現」に関する取組への満足度及び重要度

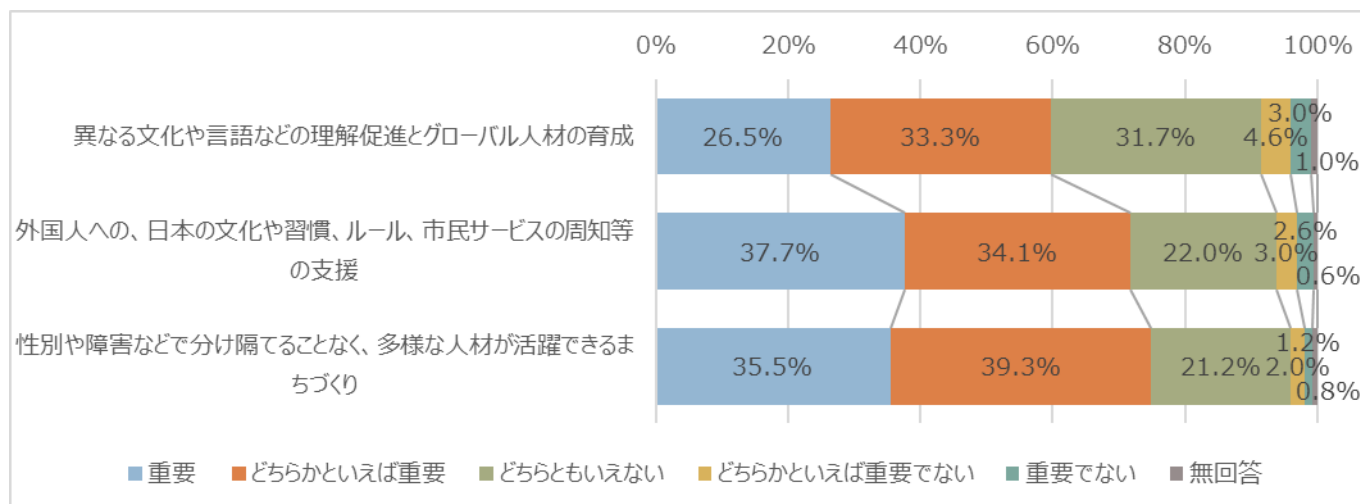
「共生社会の実現」に関する取組への満足度及び重要度について聞いたところ、「異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は 27.1%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は 18.2%であり、満足度は 3.05（全体の 11 位）、重要度は 3.76（全体の 18 位）であった。「外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は 20.2%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は 28.9%であり、満足度は 2.85（全体の 18 位）、重要度は 4.02（全体の 12 位）であった。「性別や障害などで分け隔てることなく、多様な人材が活躍できるまちづくり」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は 22.6%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は 12.0%であり、満足度は 3.11（全体の 10 位）、重要度は 4.07（全体の 11 位）であった。

| 取組 | 満足度 | | 重要度 | | 満足度の割合 (%) | |
|------------------------------------|------|----|------|----|------------|-------|
| | 平均値 | 順位 | 平均値 | 順位 | 満足 | 不満 |
| 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 3.05 | 11 | 3.76 | 18 | 27.1% | 18.2% |
| 外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援 | 2.85 | 18 | 4.02 | 12 | 20.2% | 28.9% |
| 性別や障害などで分け隔てることなく、多様な人材が活躍できるまちづくり | 3.11 | 10 | 4.07 | 11 | 22.6% | 12.0% |

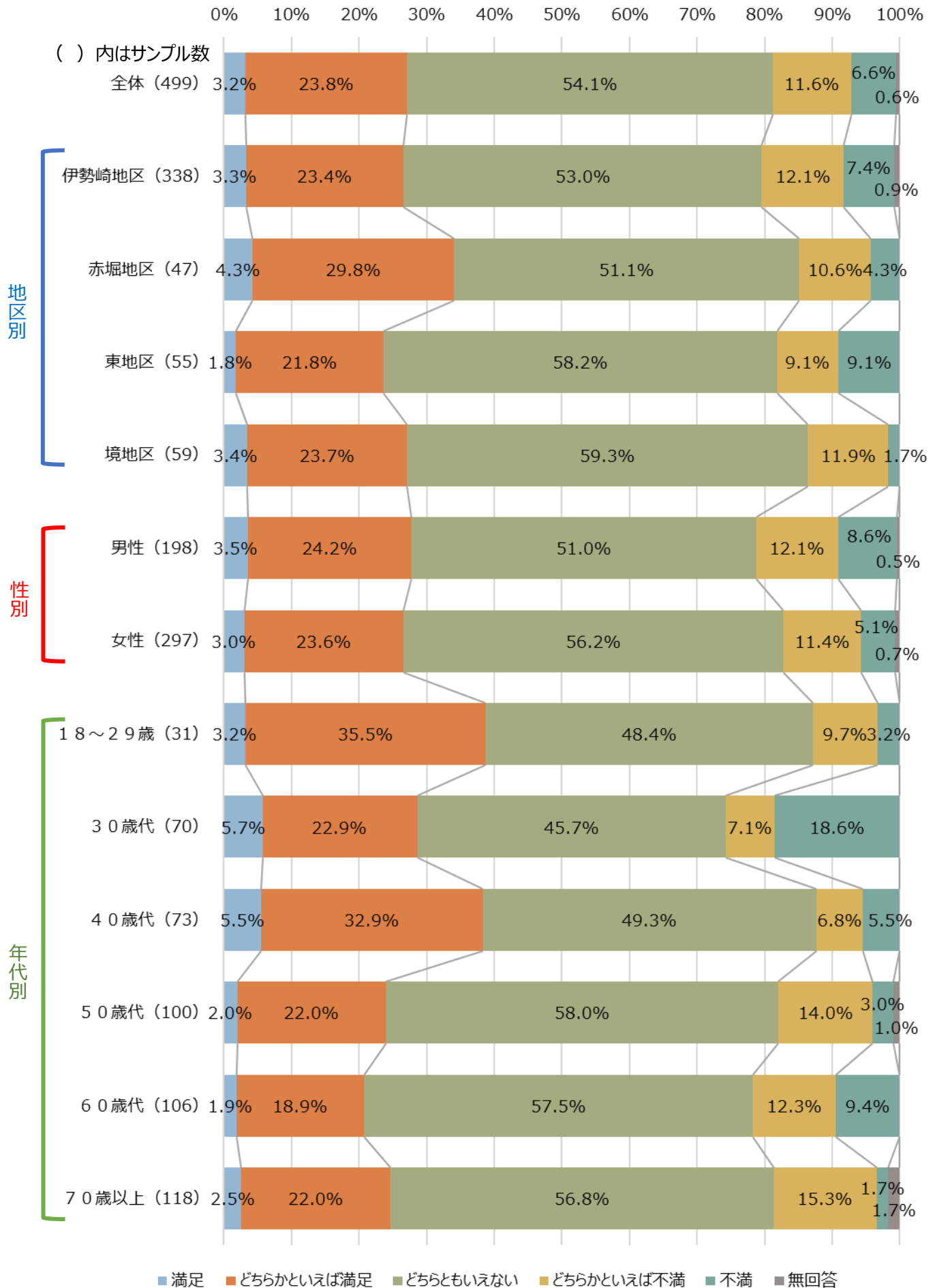
「共生社会実現プロジェクト」に関する取組への満足度の回答（割合）



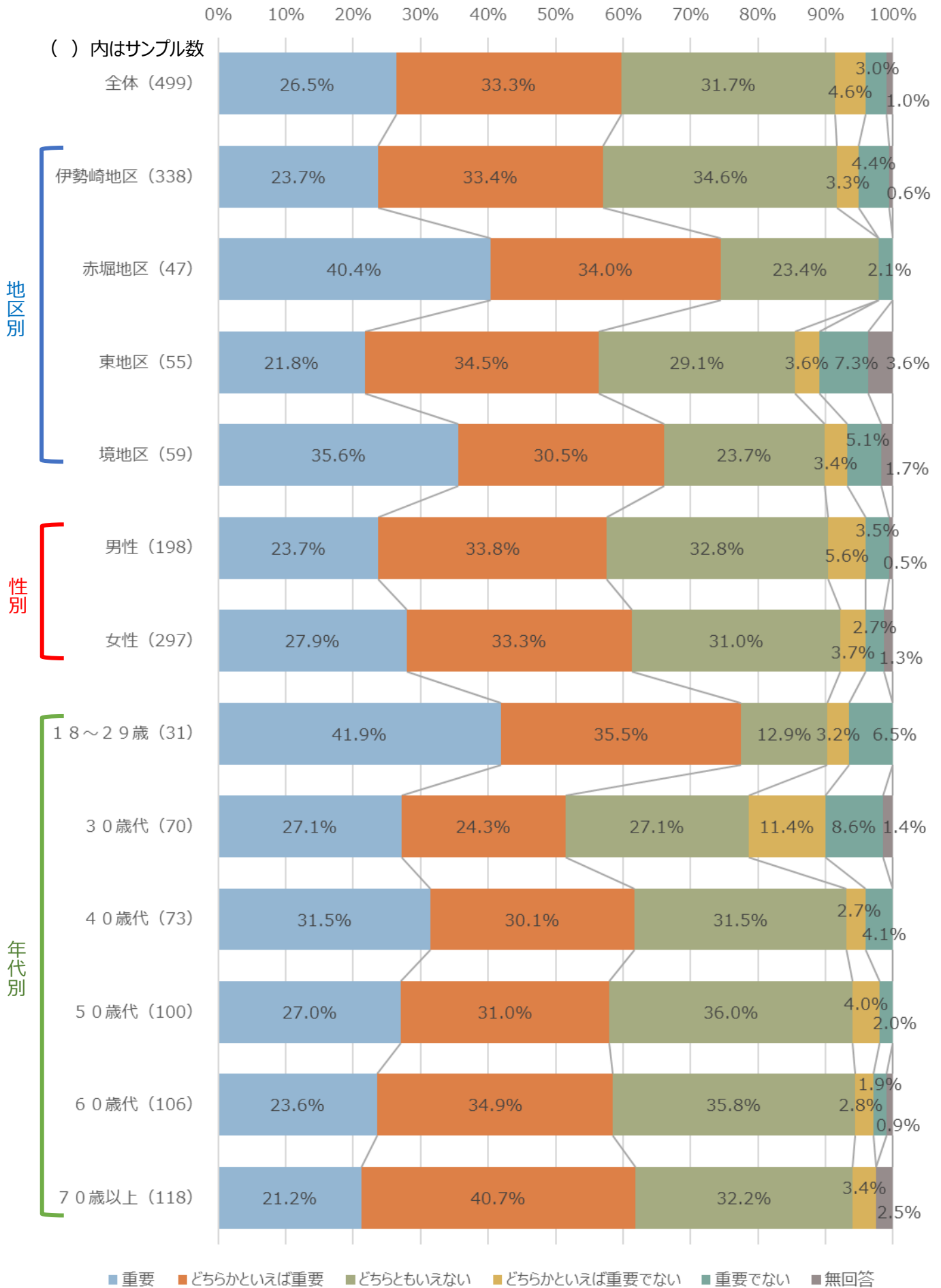
「共生社会実現プロジェクト」に関する取組の重要度への回答（割合）



「異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成」への満足度の回答（割合）【地区別・性別・年代別】

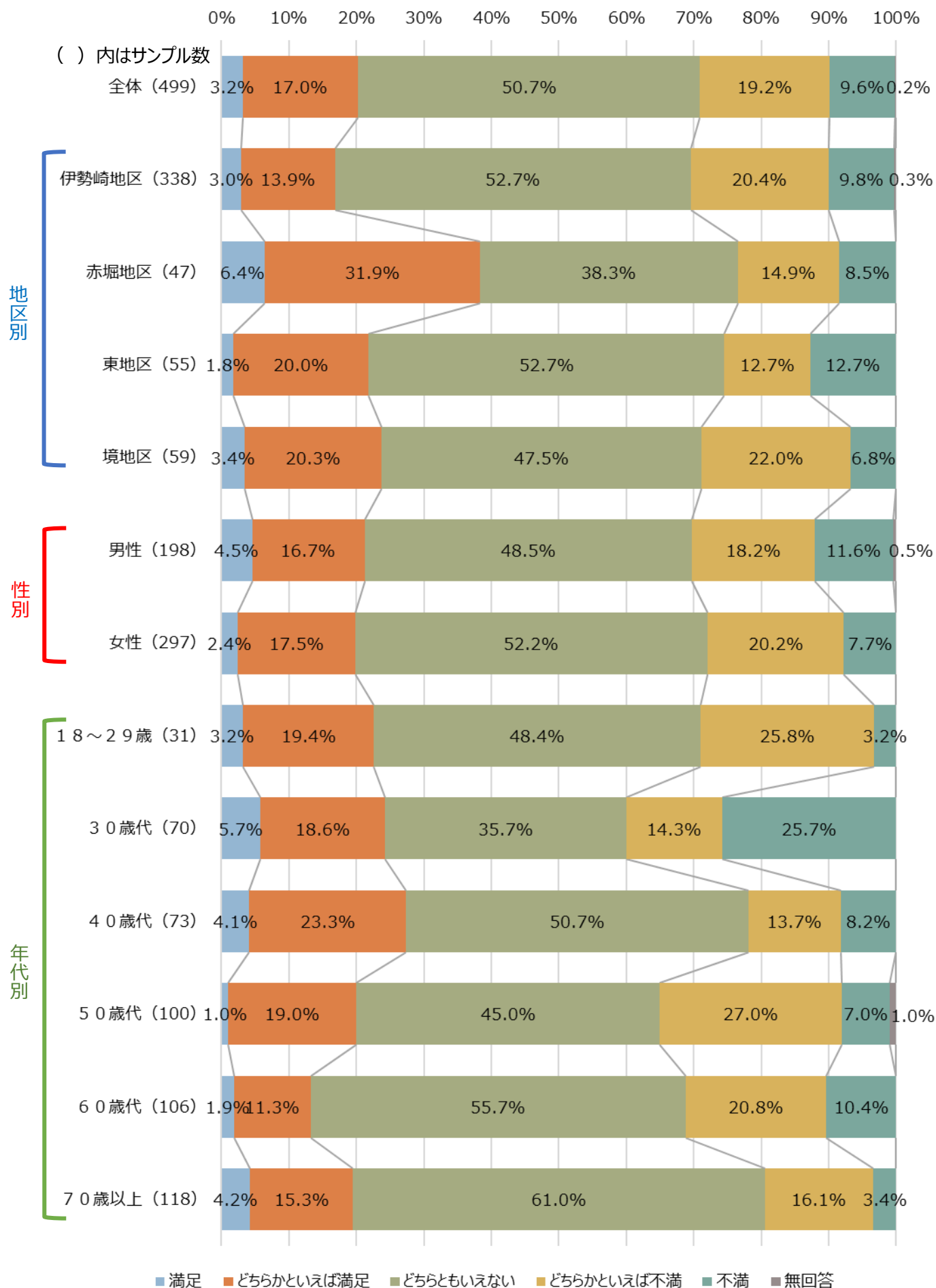


「異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成」の重要度への回答（割合）【地区別・性別・年代別】



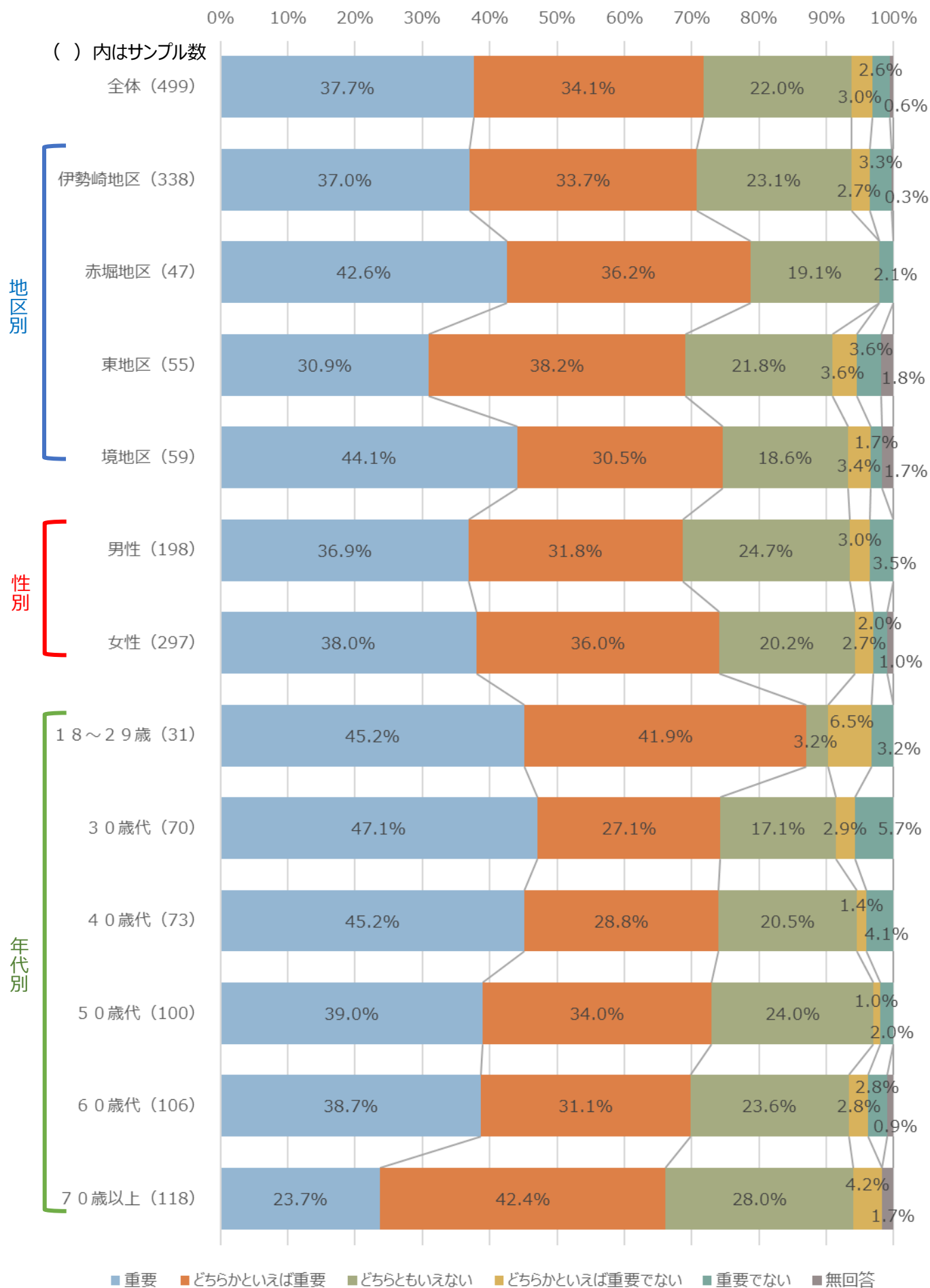
「外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援」への満足度の回答（割合）

【地区別・性別・年代別】



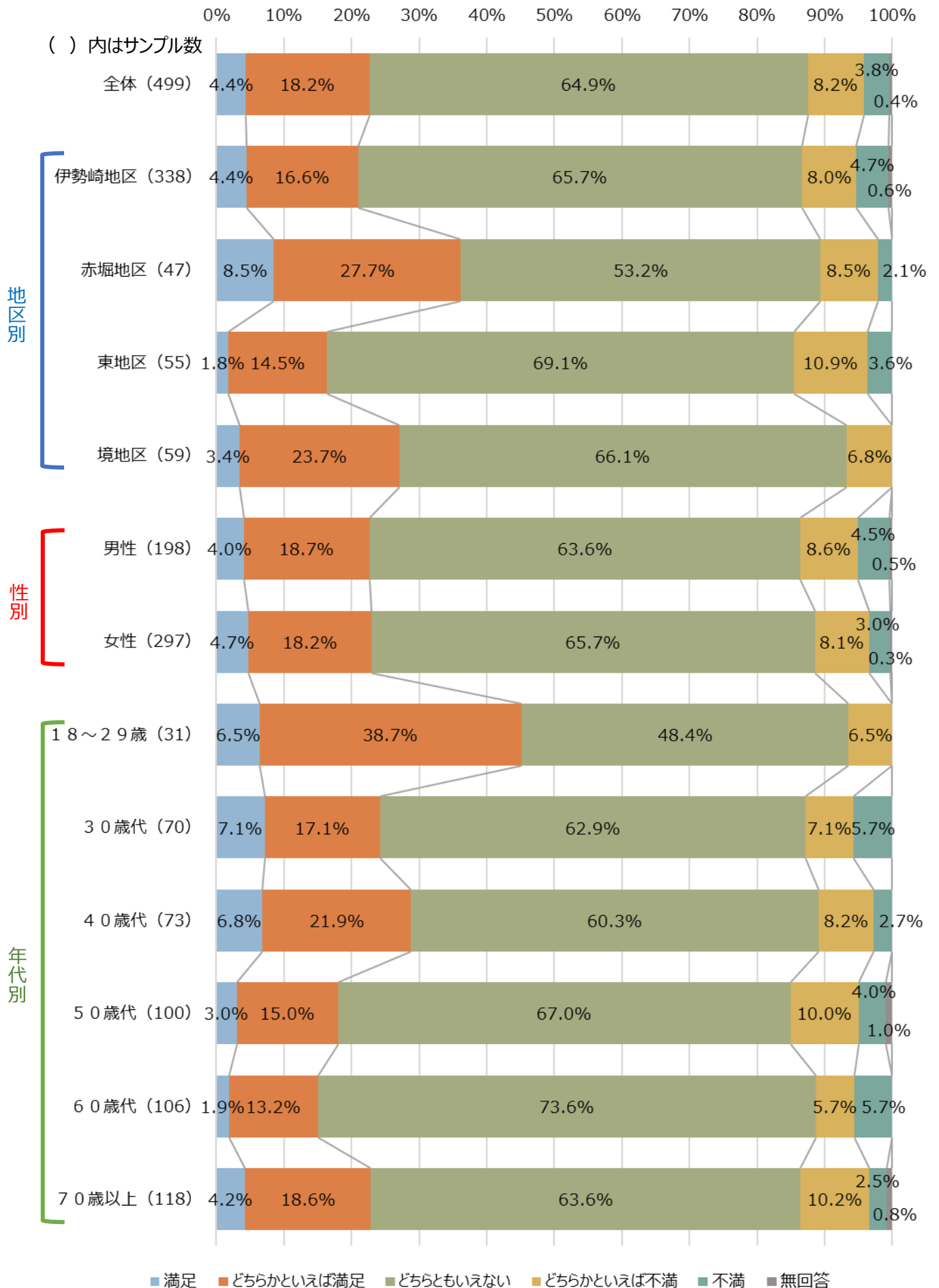
「外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援」の重要度への回答（割合）

【地区別・性別・年代別】



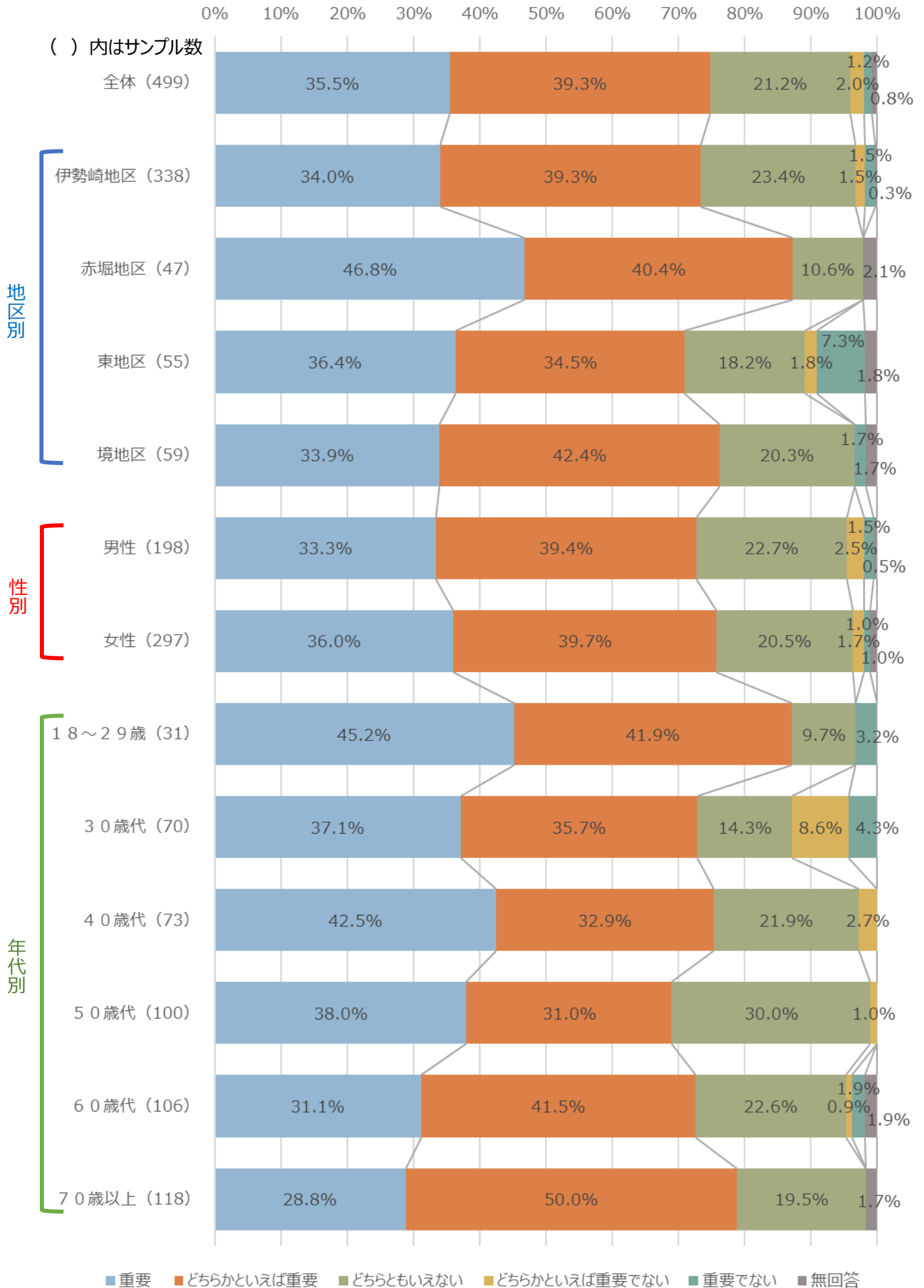
「性別や障害などで分け隔てることなく、多様な人材が活躍できるまちづくり」への満足度の回答（割合）

【地区別・性別・年代別】



「性別や障害などで分け隔てることなく、多様な人材が活躍できるまちづくり」の重要度への回答（割合）

【地区別・性別・年代別】

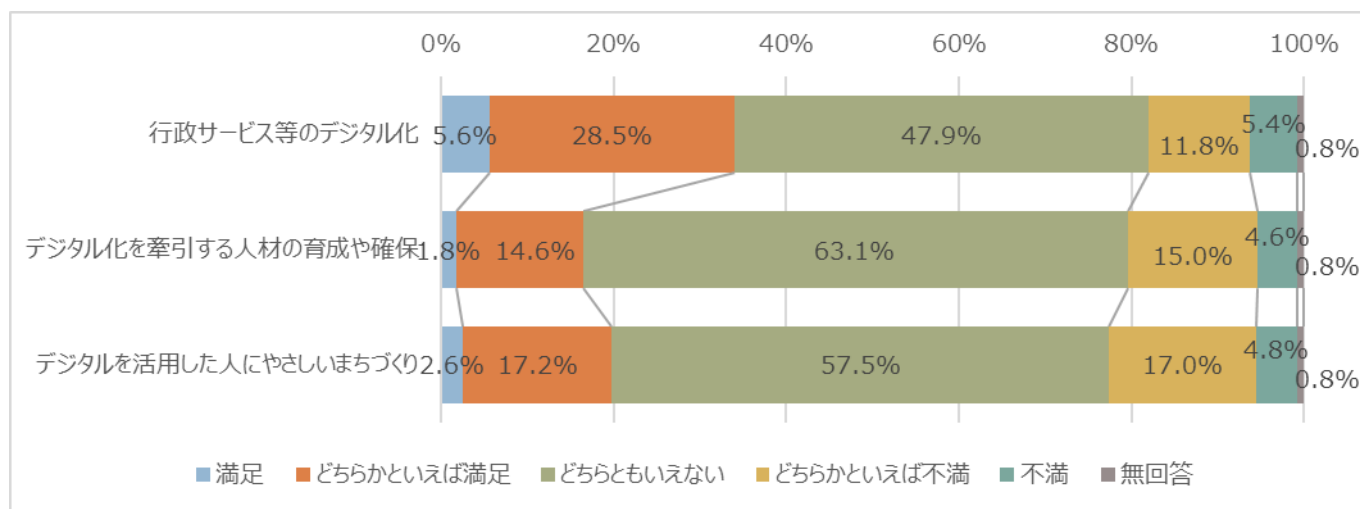


(27) 「DXの推進」に関する取組への満足度及び重要度

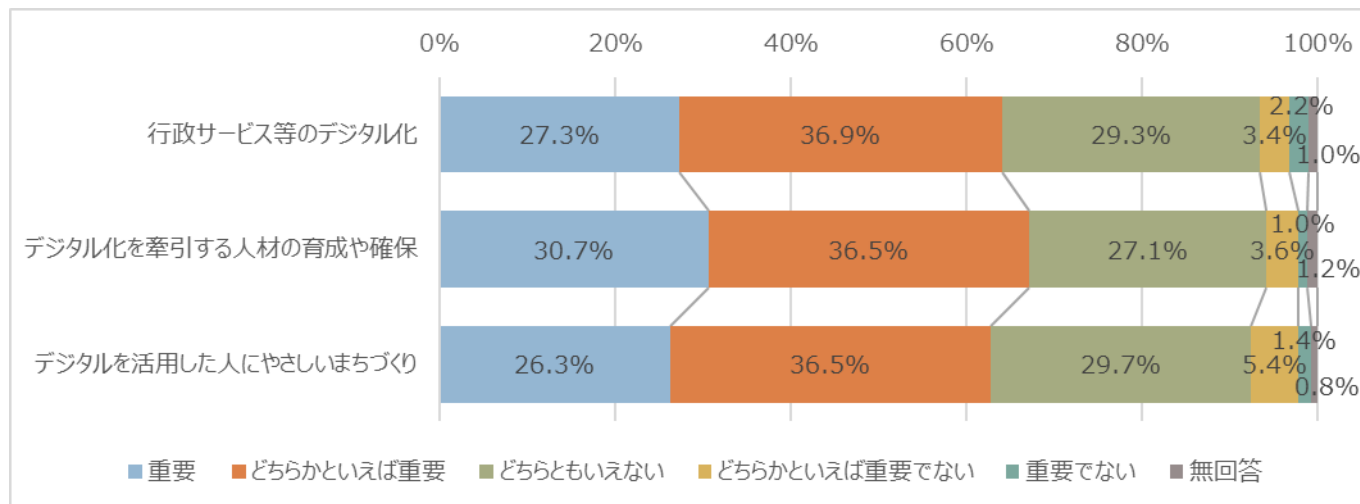
「DXの推進」に関する取組への満足度及び重要度について聞いたところ、「行政サービス等のデジタル化」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は34.1%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は17.2%であり、満足度は3.17（全体の6位）、重要度は3.84（全体の16位）であった。「デジタル化を牽引する人材の育成や確保」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は16.4%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は19.6%であり、満足度は2.94（全体の16位）、重要度は3.93（全体の14位）であった。「デジタルを活用した人にやさしいまちづくり」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は19.8%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は21.8%であり、満足度は2.96（全体の13位）、重要度は3.81（全体の17位）であった。

| 取組 | 満足度 | | 重要度 | | 満足度の割合 (%) | |
|----------------------|------|----|------|----|------------|-------|
| | 平均値 | 順位 | 平均値 | 順位 | 満足 | 不満 |
| 行政サービス等のデジタル化 | 3.17 | 6 | 3.84 | 16 | 34.1% | 17.2% |
| デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 2.94 | 16 | 3.93 | 14 | 16.4% | 19.6% |
| デジタルを活用した人にやさしいまちづくり | 2.96 | 13 | 3.81 | 17 | 19.8% | 21.8% |

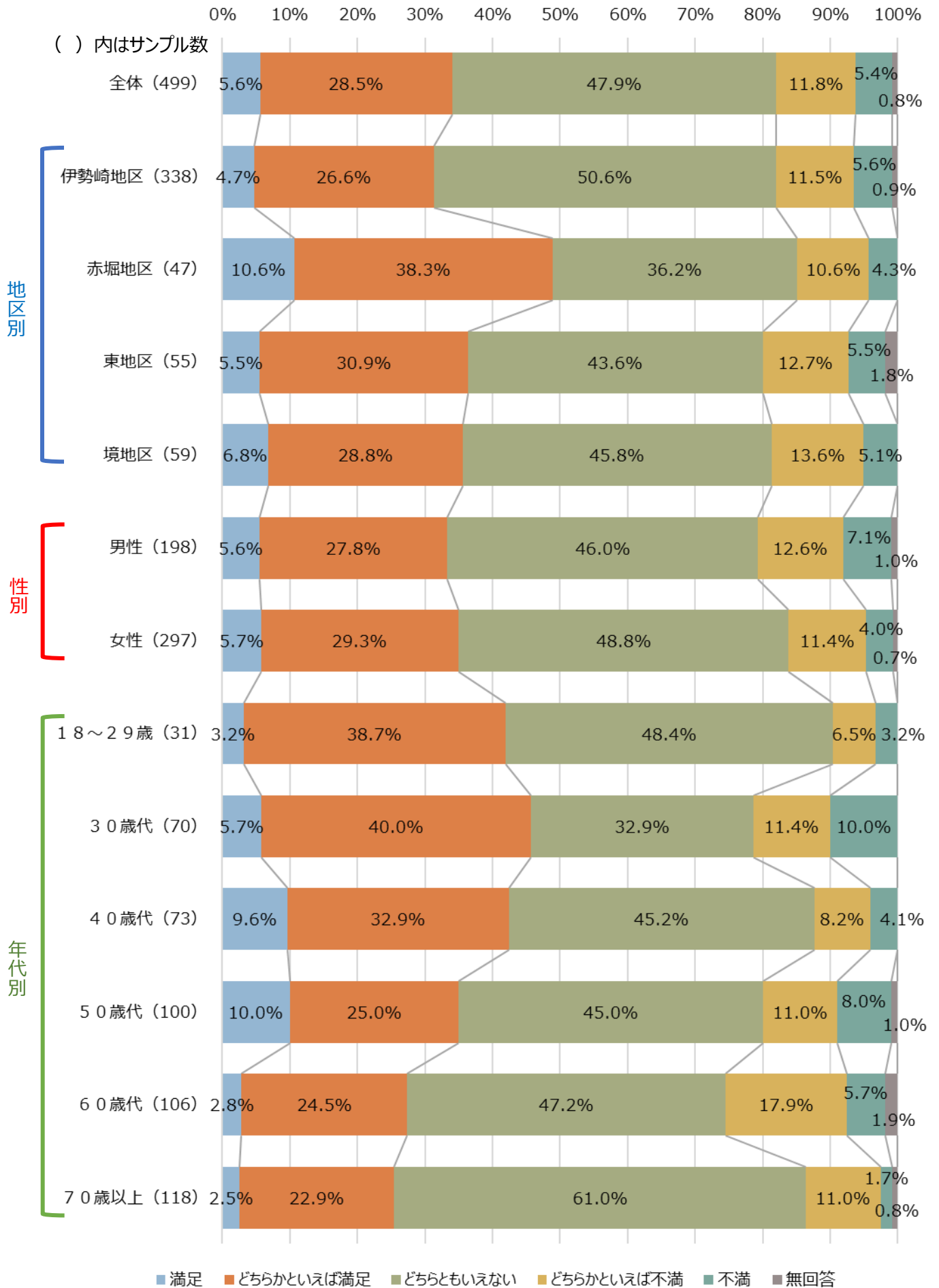
「DXの推進」に関する取組への満足度の回答（割合）



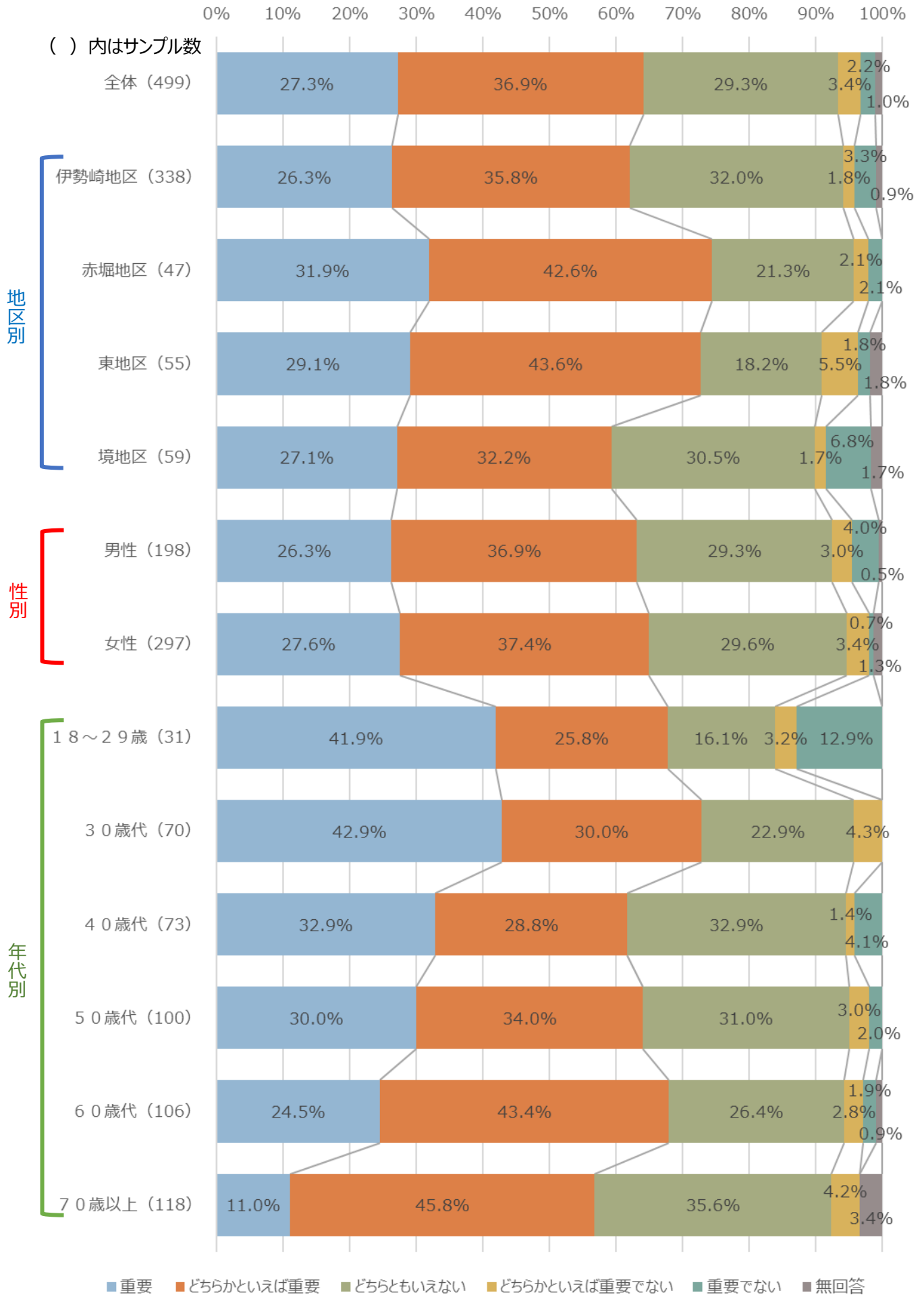
「DXの推進」に関する取組の重要度への回答（割合）



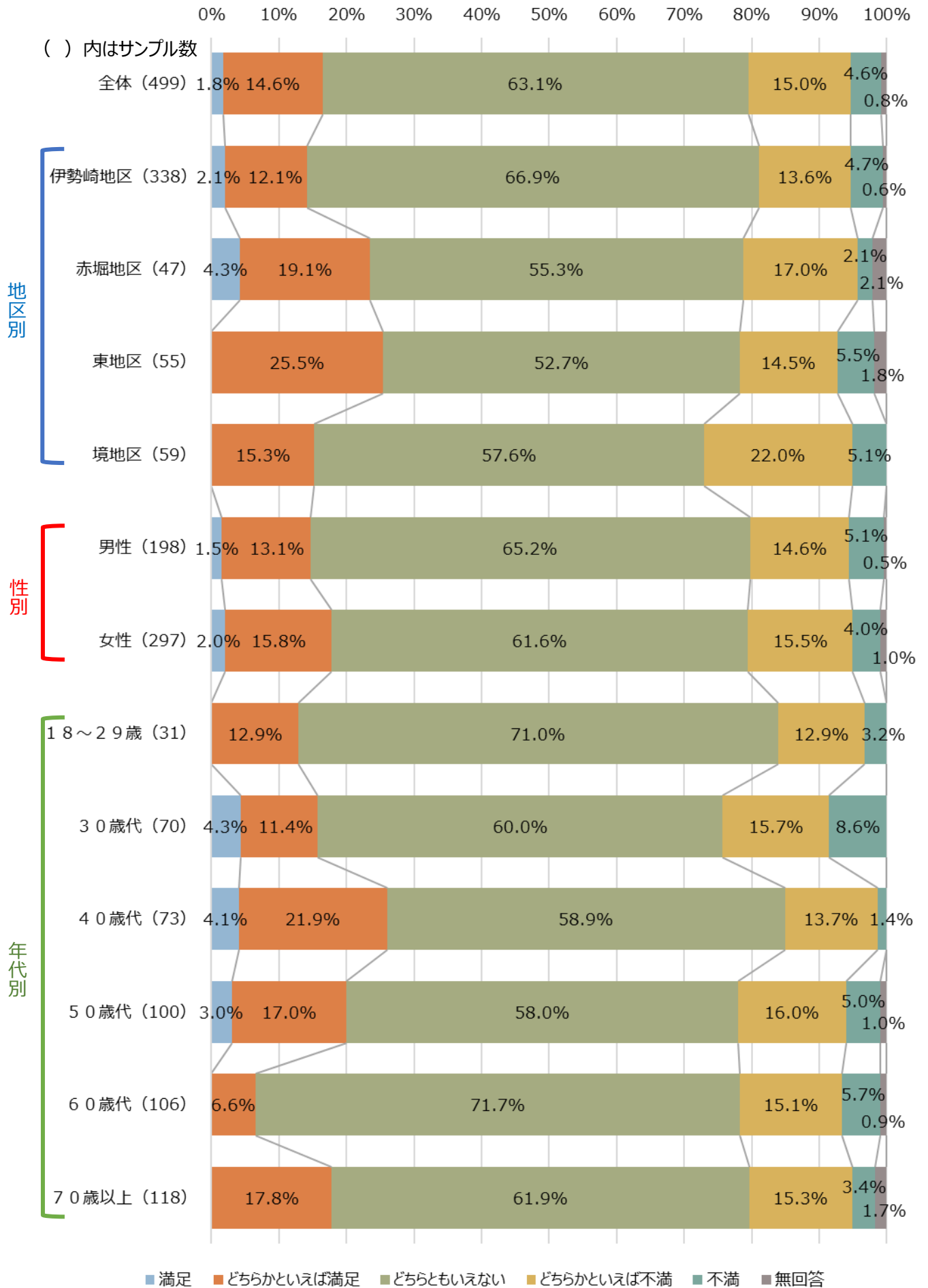
「行政サービス等のデジタル化」への満足度の回答（割合）【地区別・性別・年代別】



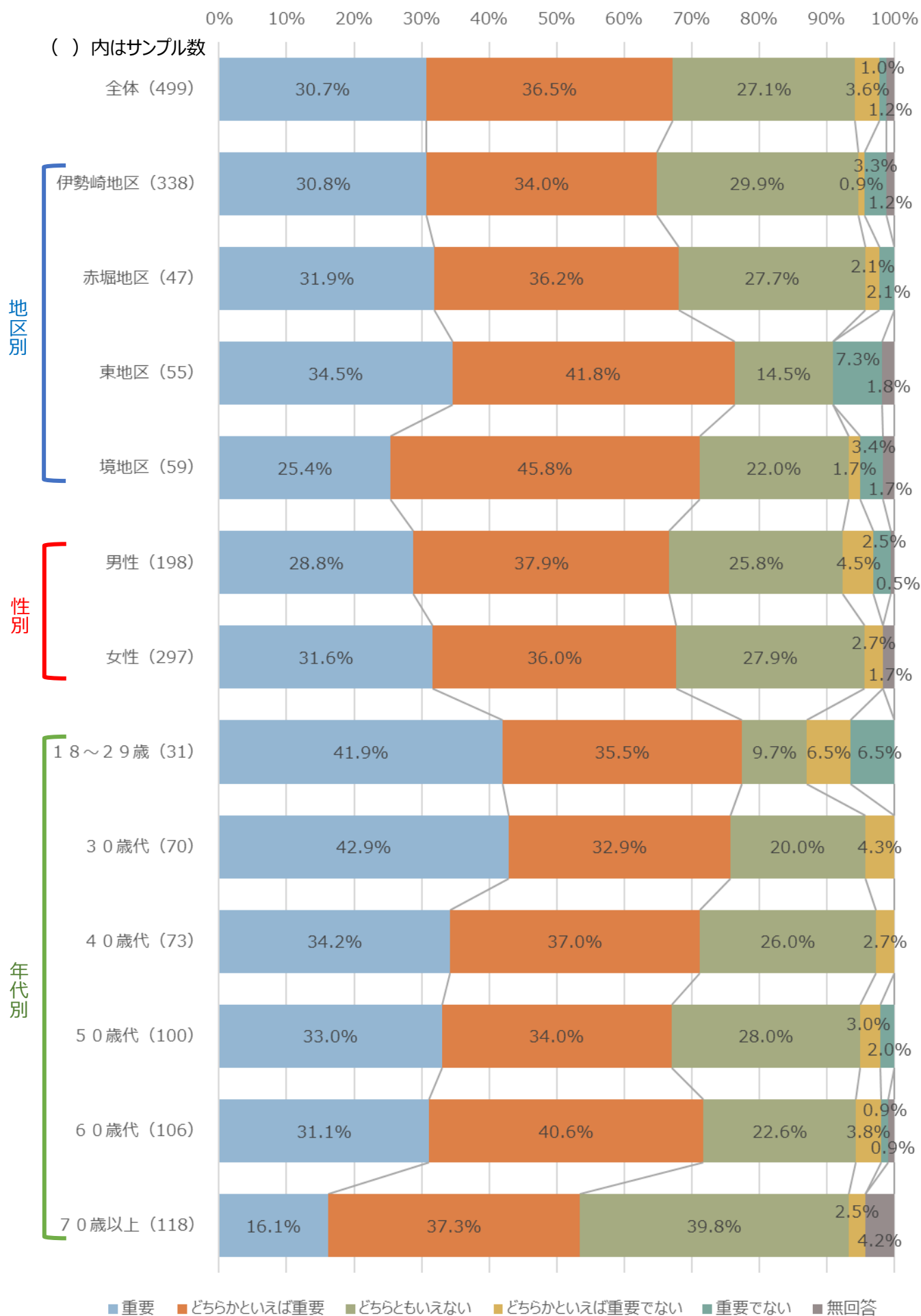
「行政サービス等のデジタル化」の重要度への回答（割合）【地区別・性別・年代別】



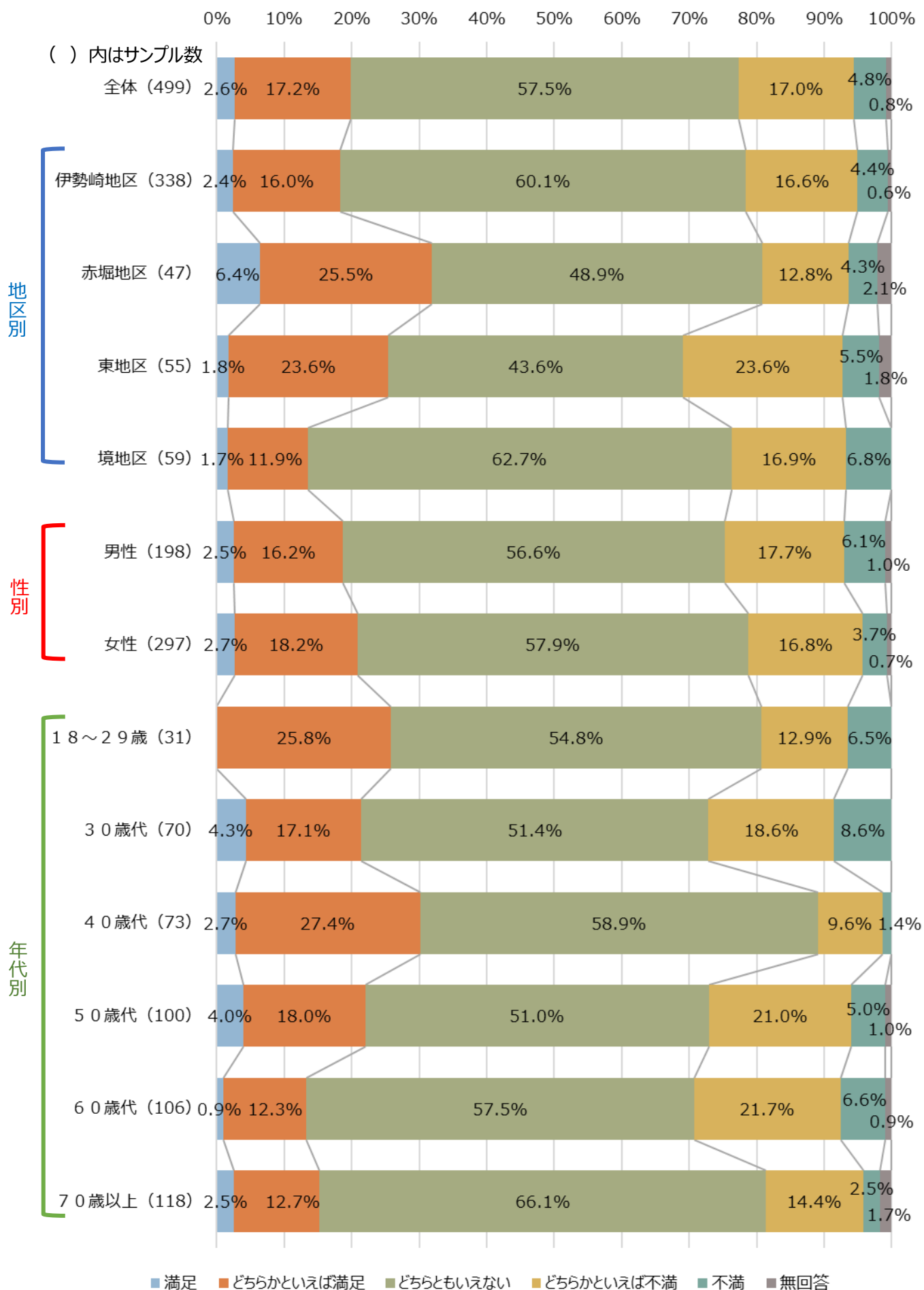
「デジタル化を牽引する人材の育成や確保」への満足度の回答（割合）【地区別・性別・年代別】



「デジタル化を牽引する人材の育成や確保」の重要度への回答（割合）【地区別・性別・年代別】



「デジタルを活用した人にやさしいまちづくり」への満足度の回答（割合）【地区別・性別・年代別】



「デジタルを活用した人にやさしいまちづくり」の重要度への回答（割合）【地区別・性別・年代別】

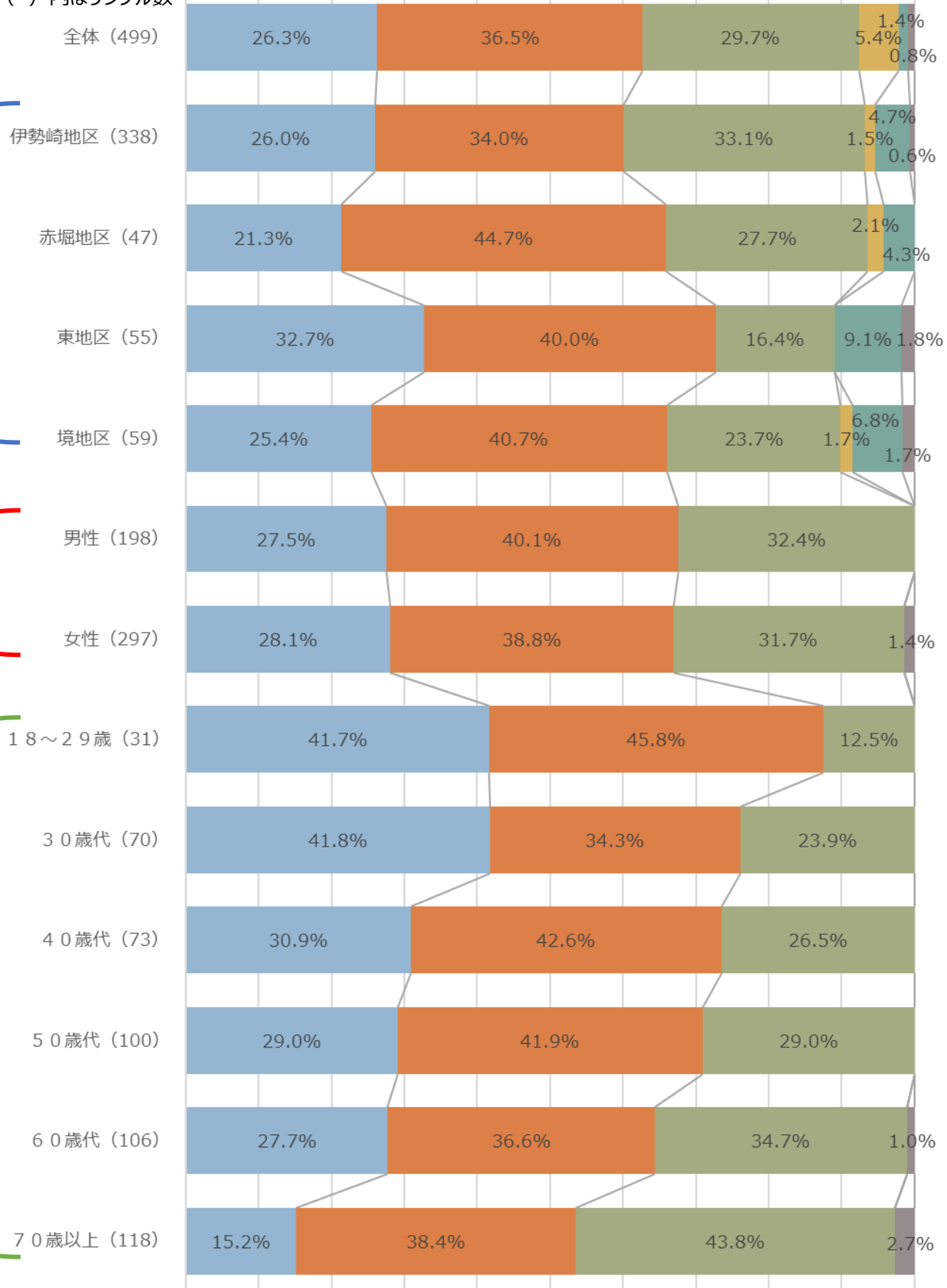
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

() 内はサンプル数

地区別

性別

年代別



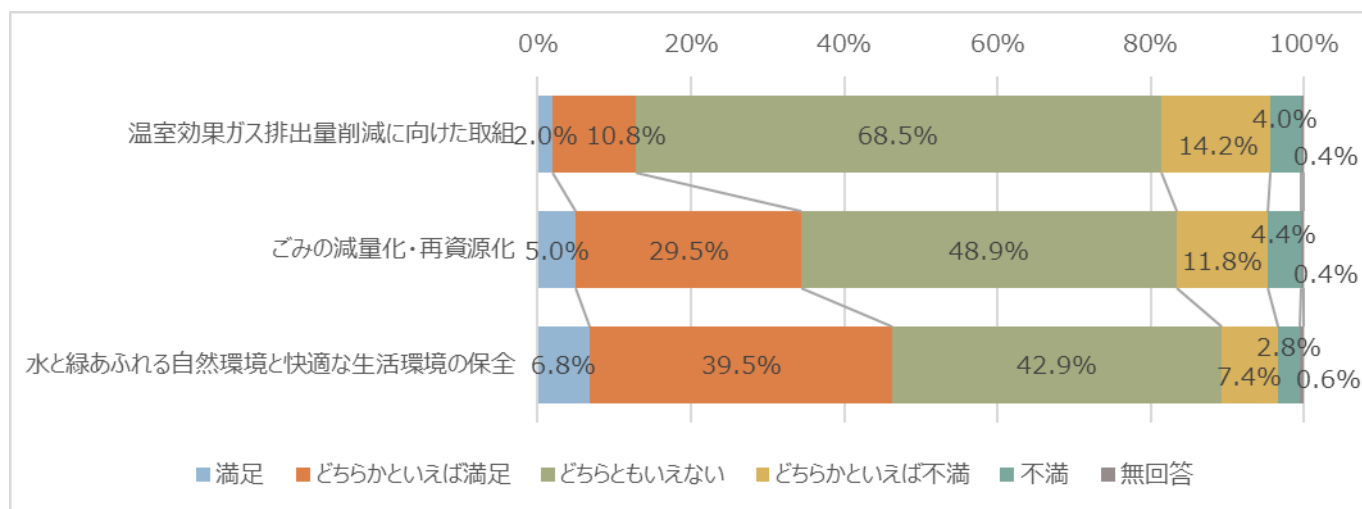
■重要 ■どちらかといえば重要 ■どちらともいえない ■どちらかといえば重要でない ■重要でない ■無回答

(28) 「SDGsの推進（いせさきGXの推進）」に関する取組への満足度及び重要度

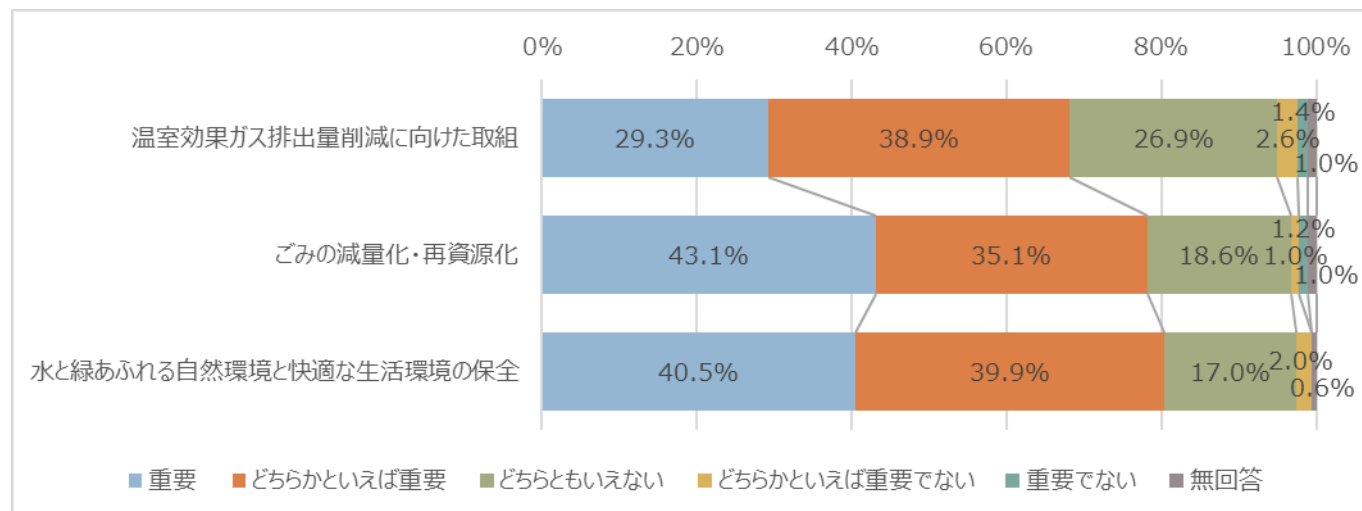
「SDGsの推進（いせさきGXの推進）」に関する取組への満足度及び重要度を聞いたところ、「温室効果ガス排出量削減に向けた取組」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は12.8%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は18.2%であり、満足度は2.93（全体の17位）、重要度は3.93（全体の14位）であった。「ごみの減量化・再資源化」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は34.5%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は16.2%であり、満足度は3.19（全体の5位）、重要度は4.19（全体の10位）であった。「水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全」については、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は46.3%、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は10.2%であり、満足度は3.40（全体の1位）、重要度は4.20（全体の9位）であった。

| 取組 | 満足度 | | 重要度 | | 満足度の割合 (%) | |
|------------------------|------|----|------|----|------------|-------|
| | 平均値 | 順位 | 平均値 | 順位 | 満足 | 不満 |
| 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 2.93 | 17 | 3.93 | 14 | 12.8% | 18.2% |
| ごみの減量化・再資源化 | 3.19 | 5 | 4.19 | 10 | 34.5% | 16.2% |
| 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 3.40 | 1 | 4.20 | 9 | 46.3% | 10.2% |

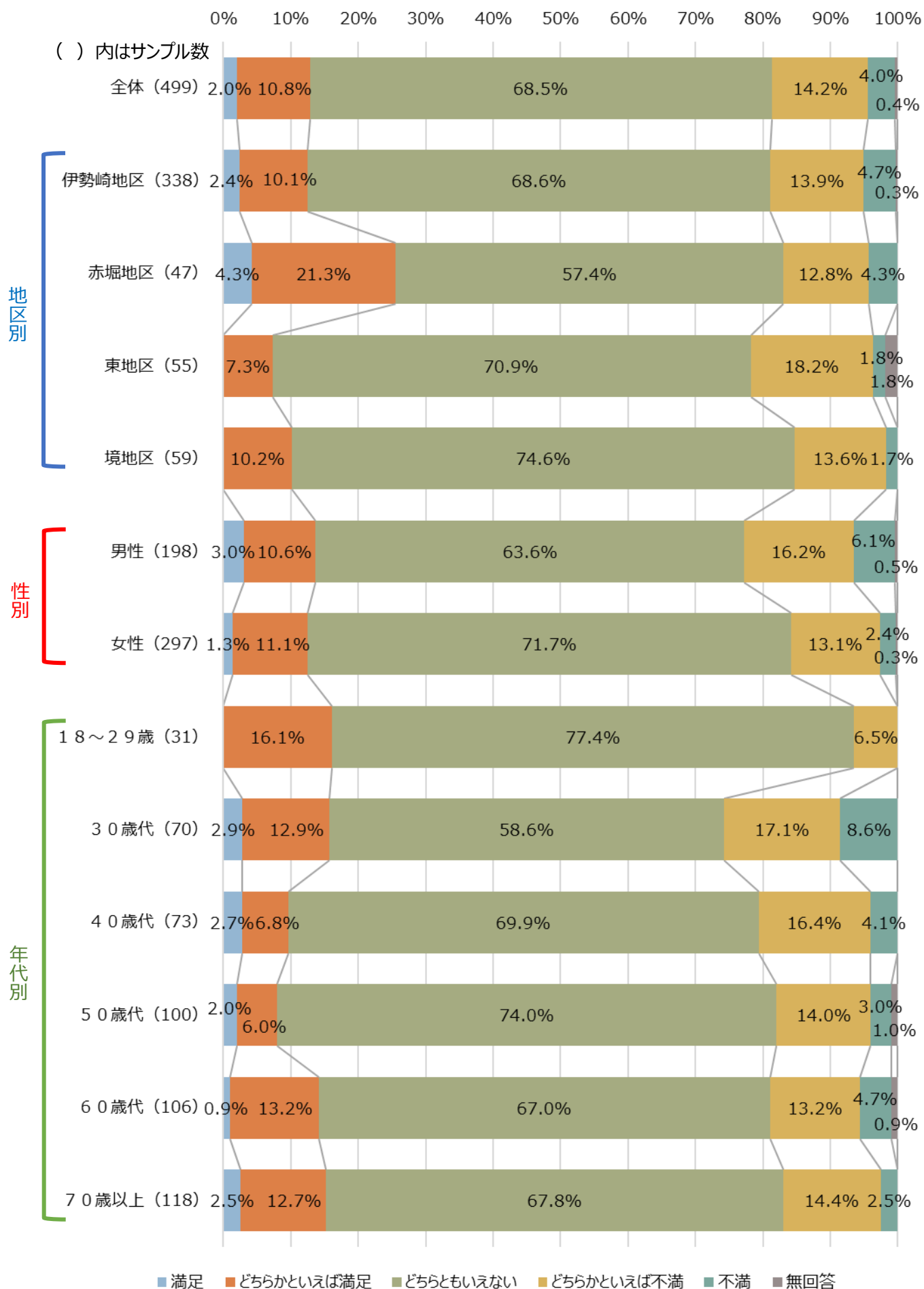
「SDGsの推進（いせさきGXの推進）」に関する取組への満足度の回答（割合）



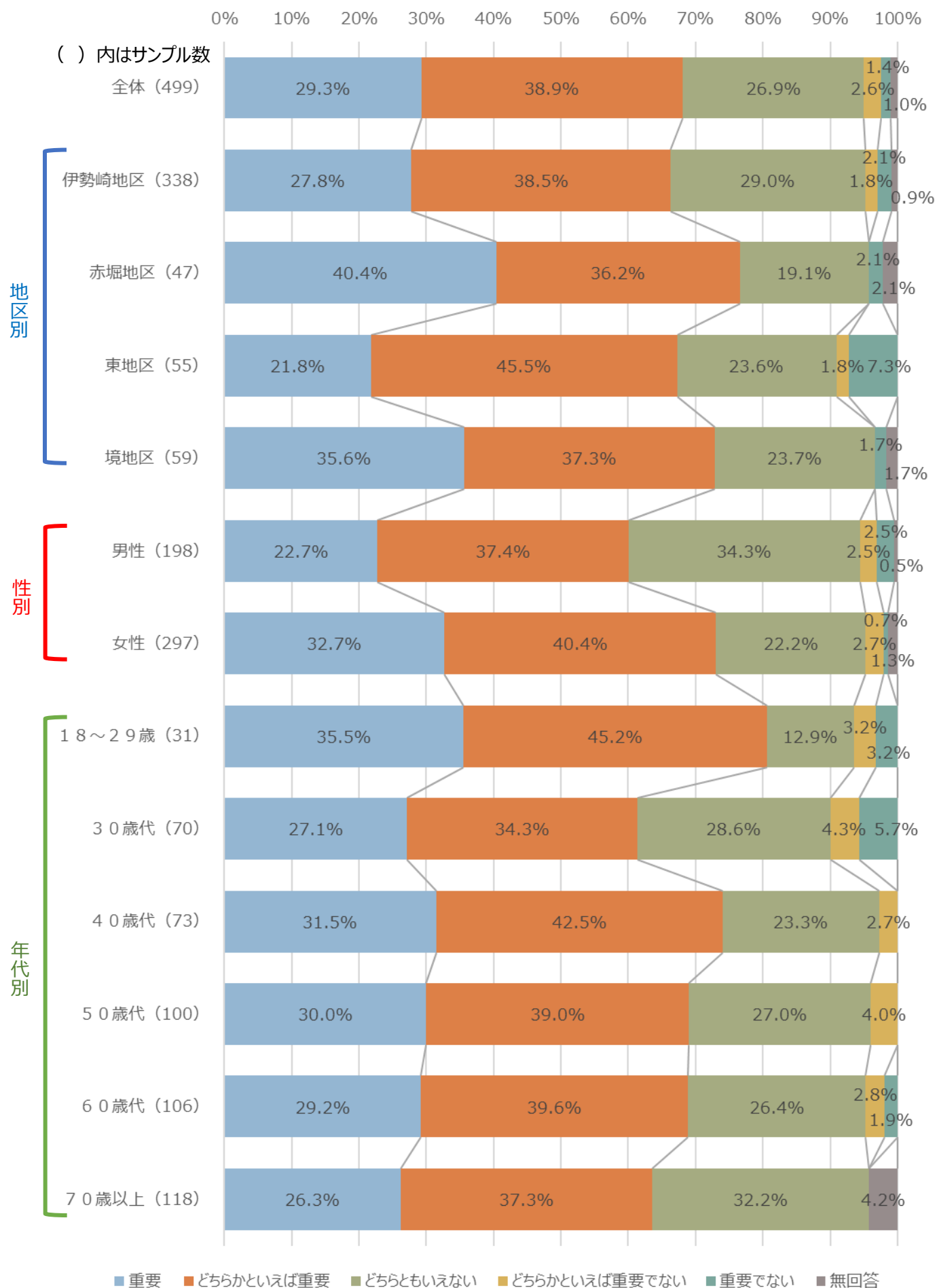
「SDGsの推進（いせさきGXの推進）」に関する取組の重要度への回答（割合）



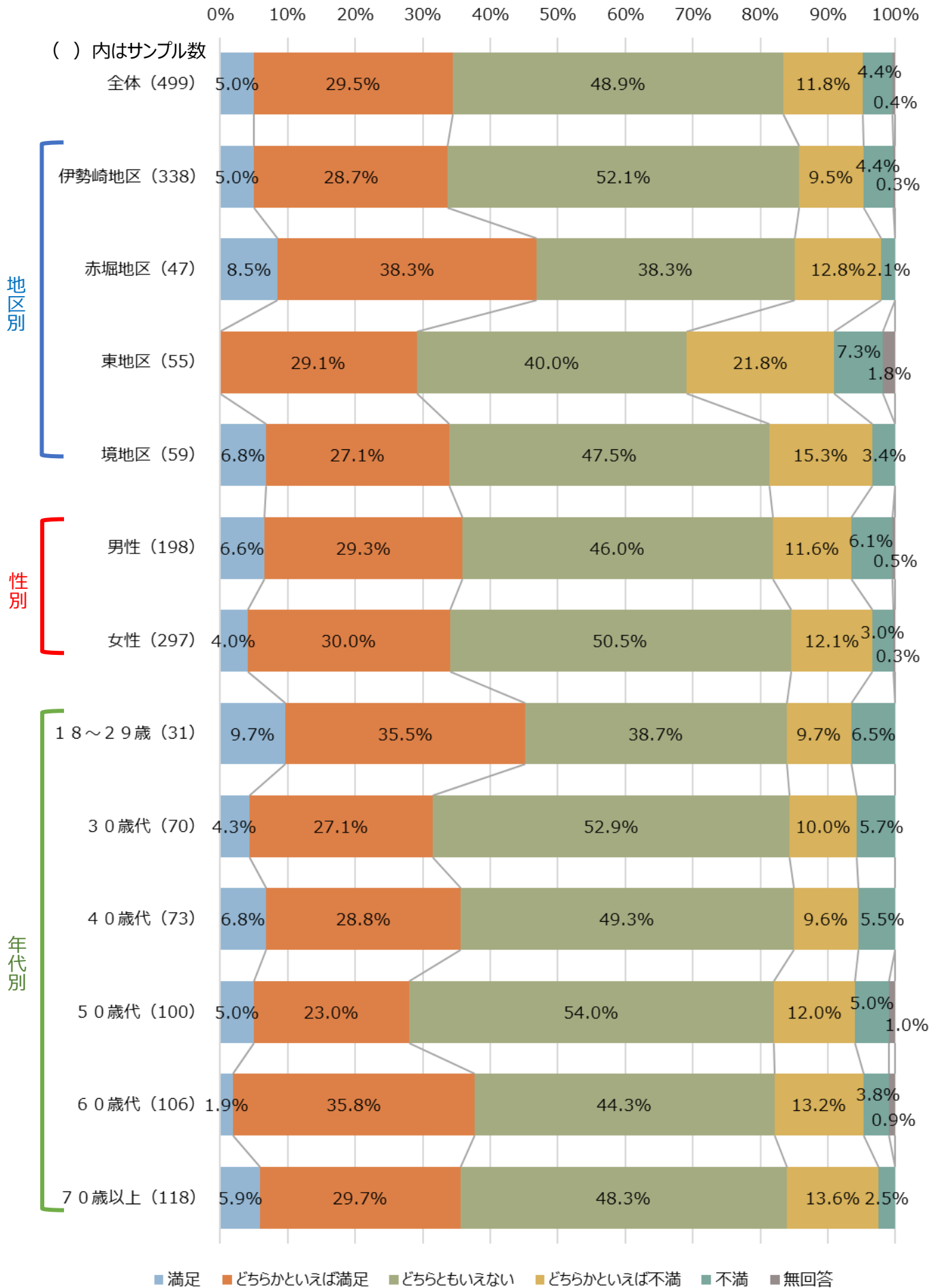
「温室効果ガス排出量削減に向けた取組への満足度の回答（割合）【地区別・性別・年代別】



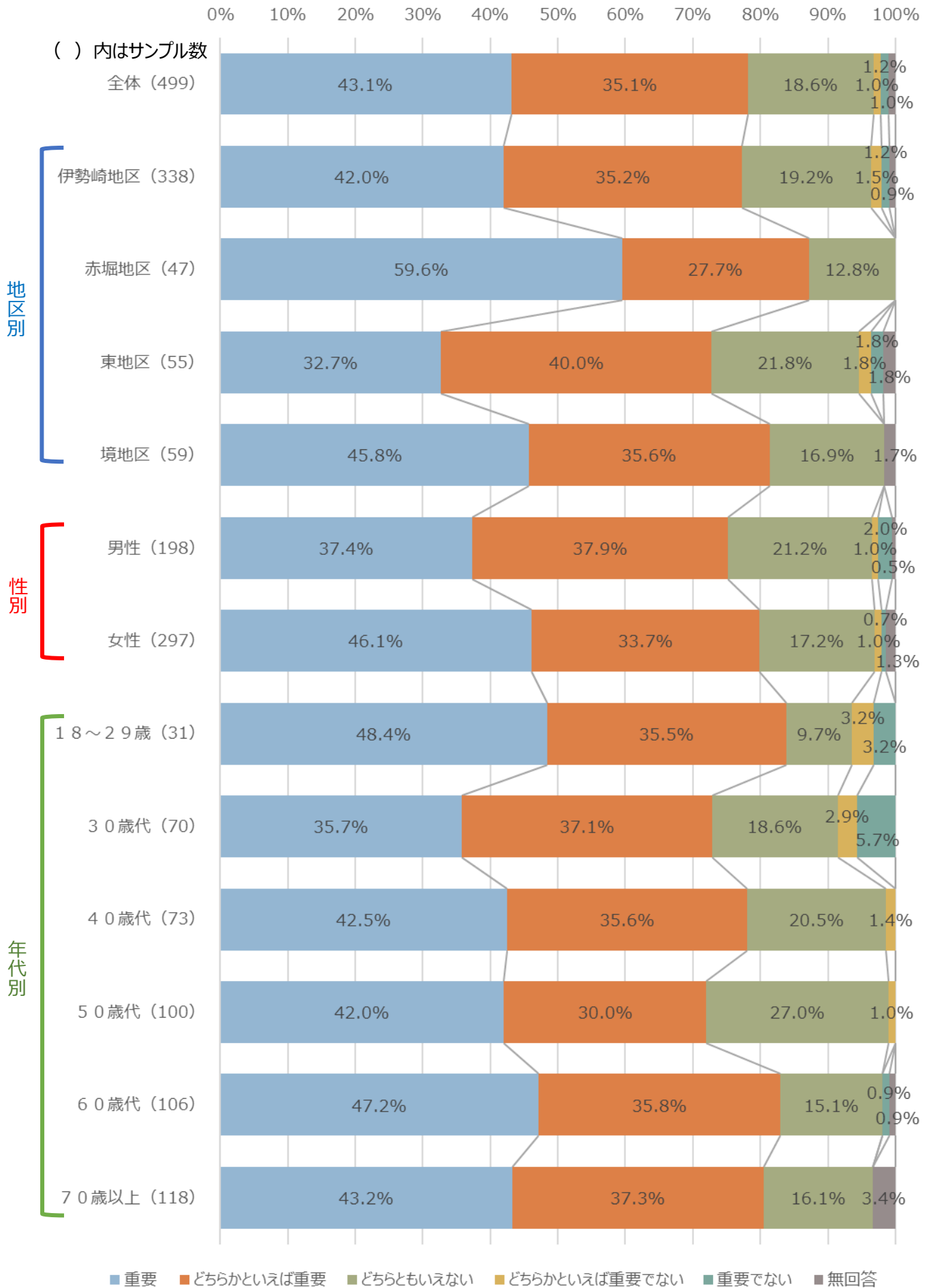
「温室効果ガス排出量削減に向けた取組」の重要度への回答（割合）【地区別・性別・年代別】



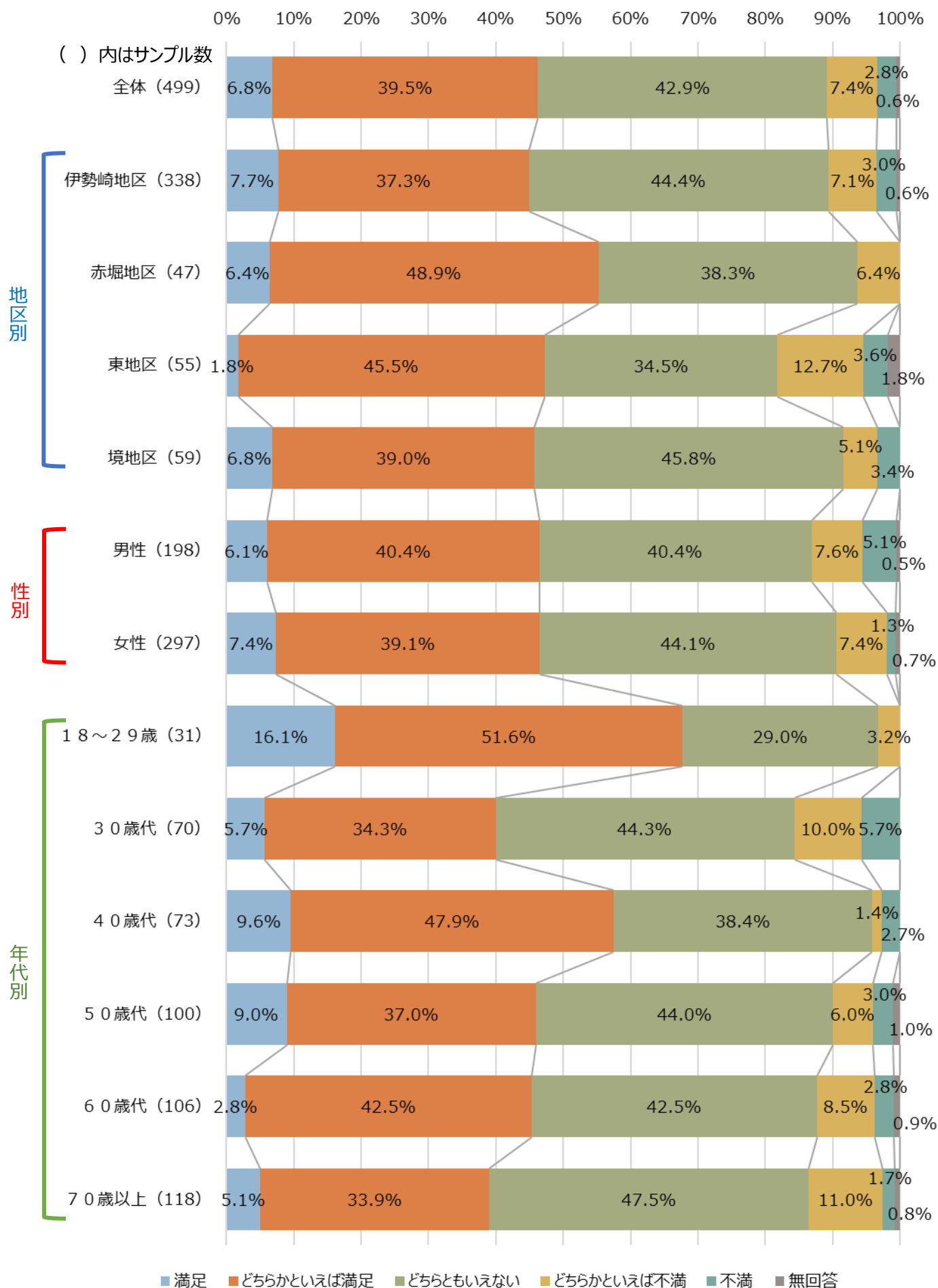
「ごみの減量化・再資源化への満足度の回答（割合）【地区別・性別・年代別】



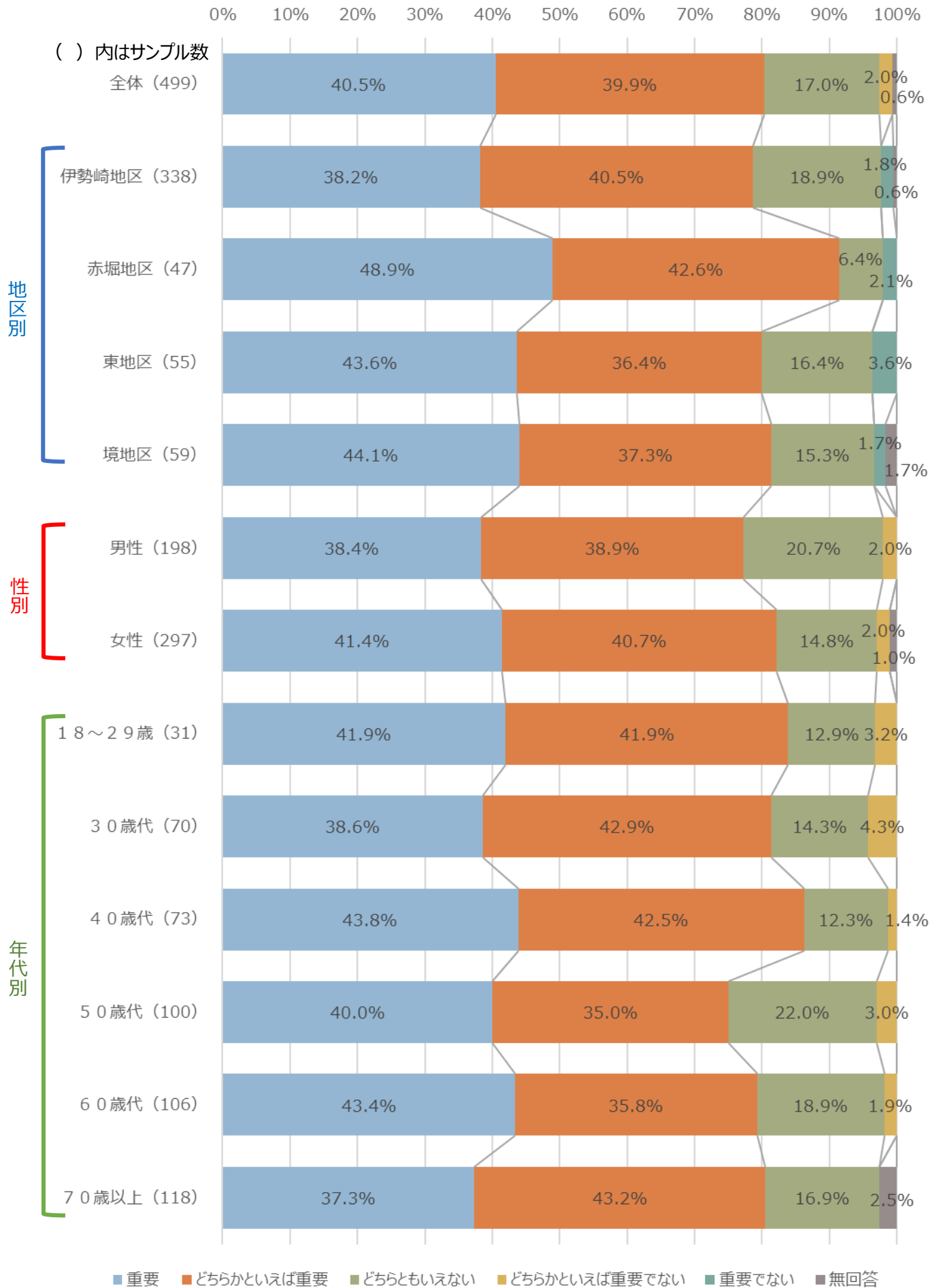
「ごみの減量化・再資源化」の重要度への回答（割合）【地区別・性別・年代別】



「水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全への満足度の回答（割合）【地区別・性別・年代別】



「水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全」の重要度への回答（割合）【地区別・性別・年代別】



(29) 「互いに認め合う多文化共生」への満足度

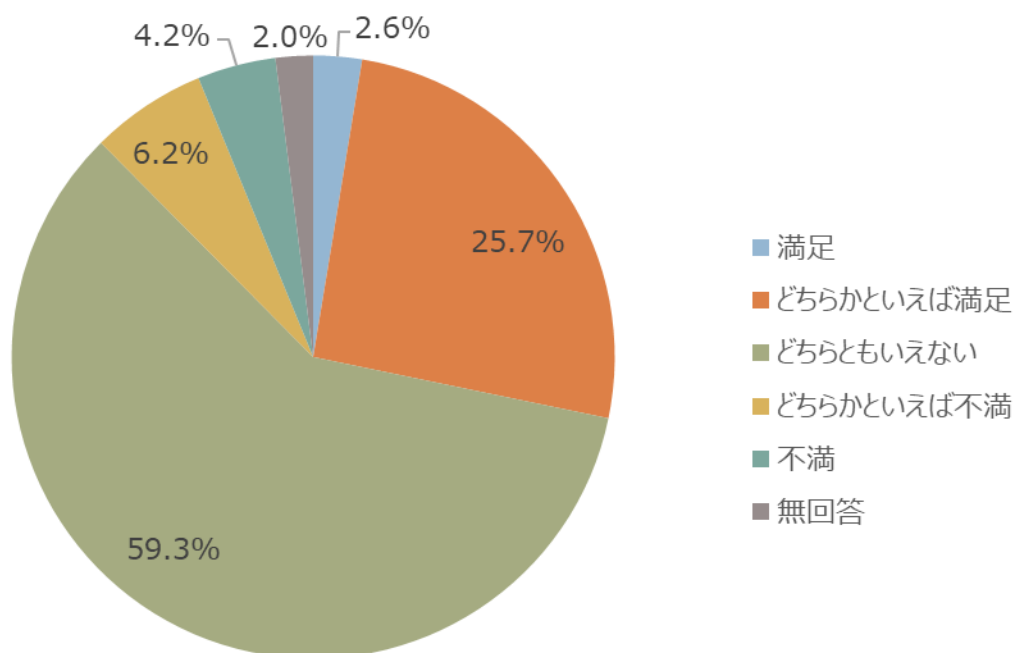
伊勢崎市では「互いに認め合う多文化共生」を推進しているため、これに関する取組について満足度を聞いたところ、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は141人(28.3%)、どちらともいえないと回答した人は296人(59.3%)、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は52人(10.4%)、「無回答」が10人(2.0%)となった。

主な取組：外国人向け日本語教室、各種行政サービスの翻訳や通訳、企業等関係機関と連携、多文化交流のイベントや講座の開催など

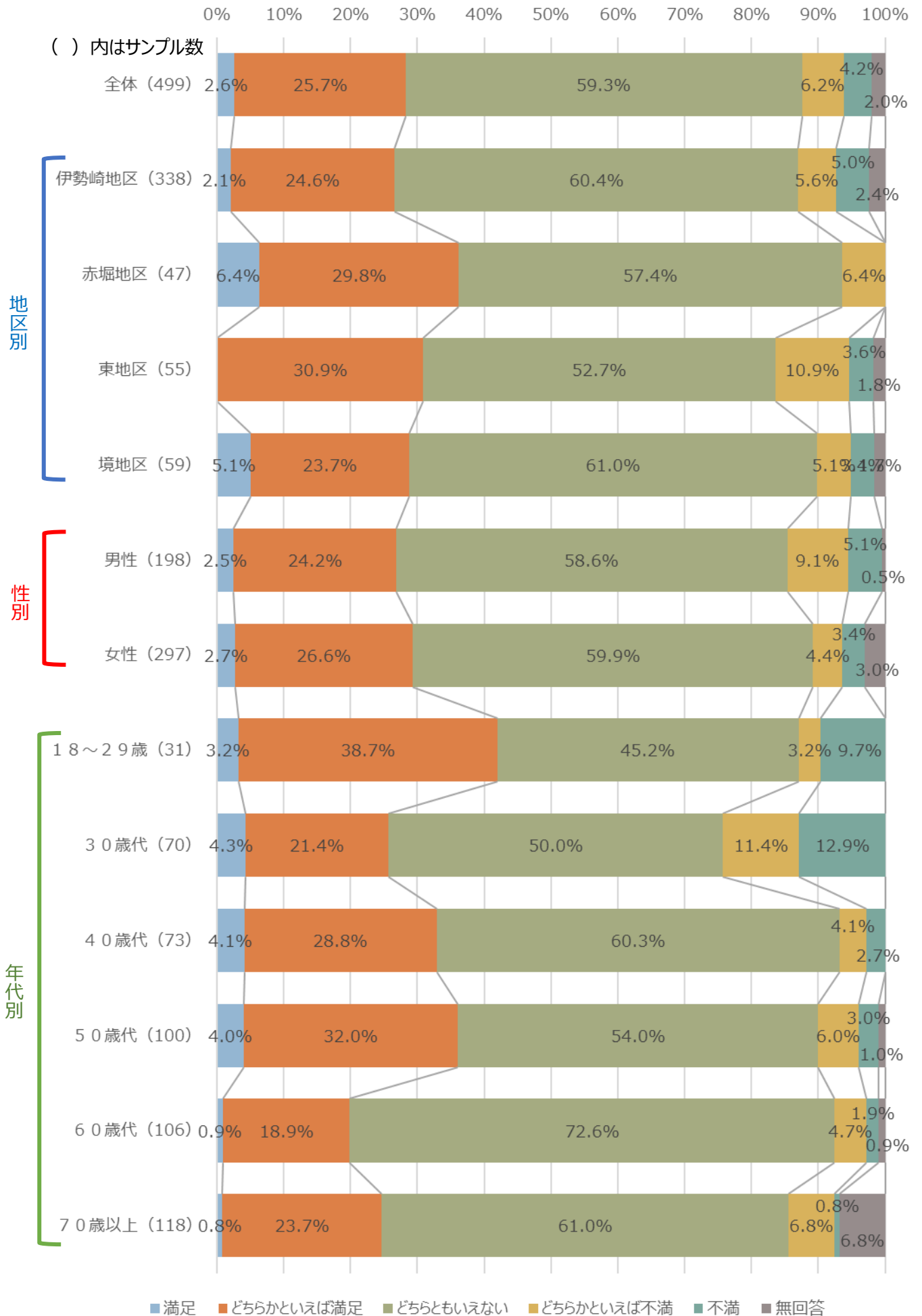
「互いに認め合う多文化共生」への満足度

| | 回答数 | 割合 |
|------------|-----|--------|
| 満足 | 13 | 2.6% |
| どちらかといえば満足 | 128 | 25.7% |
| どちらともいえない | 296 | 59.3% |
| どちらかといえば不満 | 31 | 6.2% |
| 不満 | 21 | 4.2% |
| 無回答 | 10 | 2.0% |
| 合計 | 499 | 100.0% |

「互いに認め合う多文化共生」への満足度の回答（割合）



「互いに認め合う多文化共生」への満足度の回答（割合）【地区別・性別・年代別】



(30) 「人権を尊重するまちづくり」への満足度

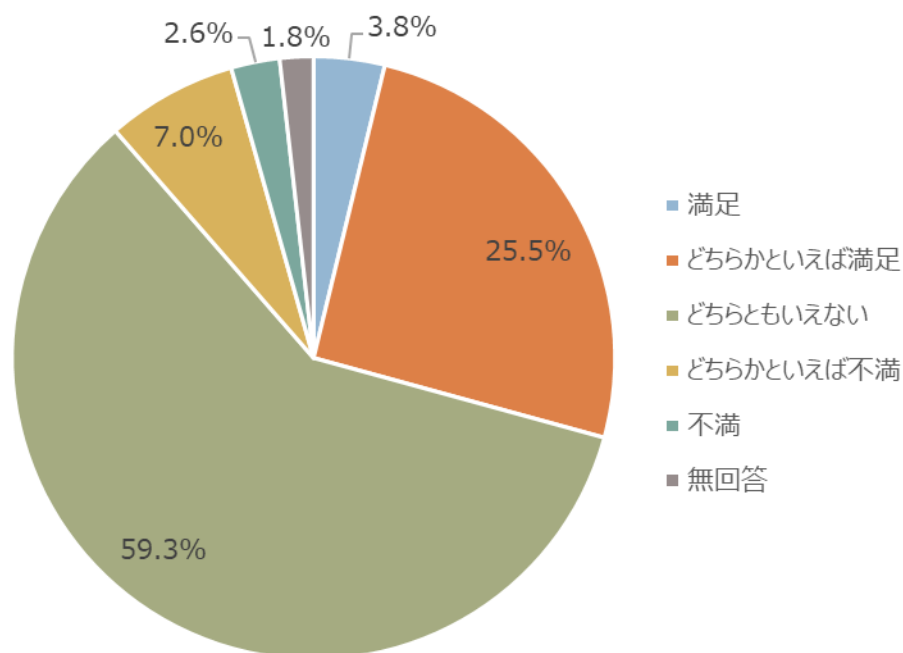
伊勢崎市では「人権を尊重するまちづくり」を推進しているため、これに関する取組について満足度を聞いたところ、「どちらかといえば満足」を含め「満足」と回答した人は 146 人(29.3%)、「どちらともいえない」と回答した人は 296 人(59.3%)、「どちらかといえば不満」を含め「不満」と回答した人は 48 人(9.6%)、「無回答」が 9 人(1.8%) となった。

主な取組：人権法律行政相談、教職員を対象とした人権教育に係る研修、講演会やパネル展などの啓発、相談・支援体制の強化など

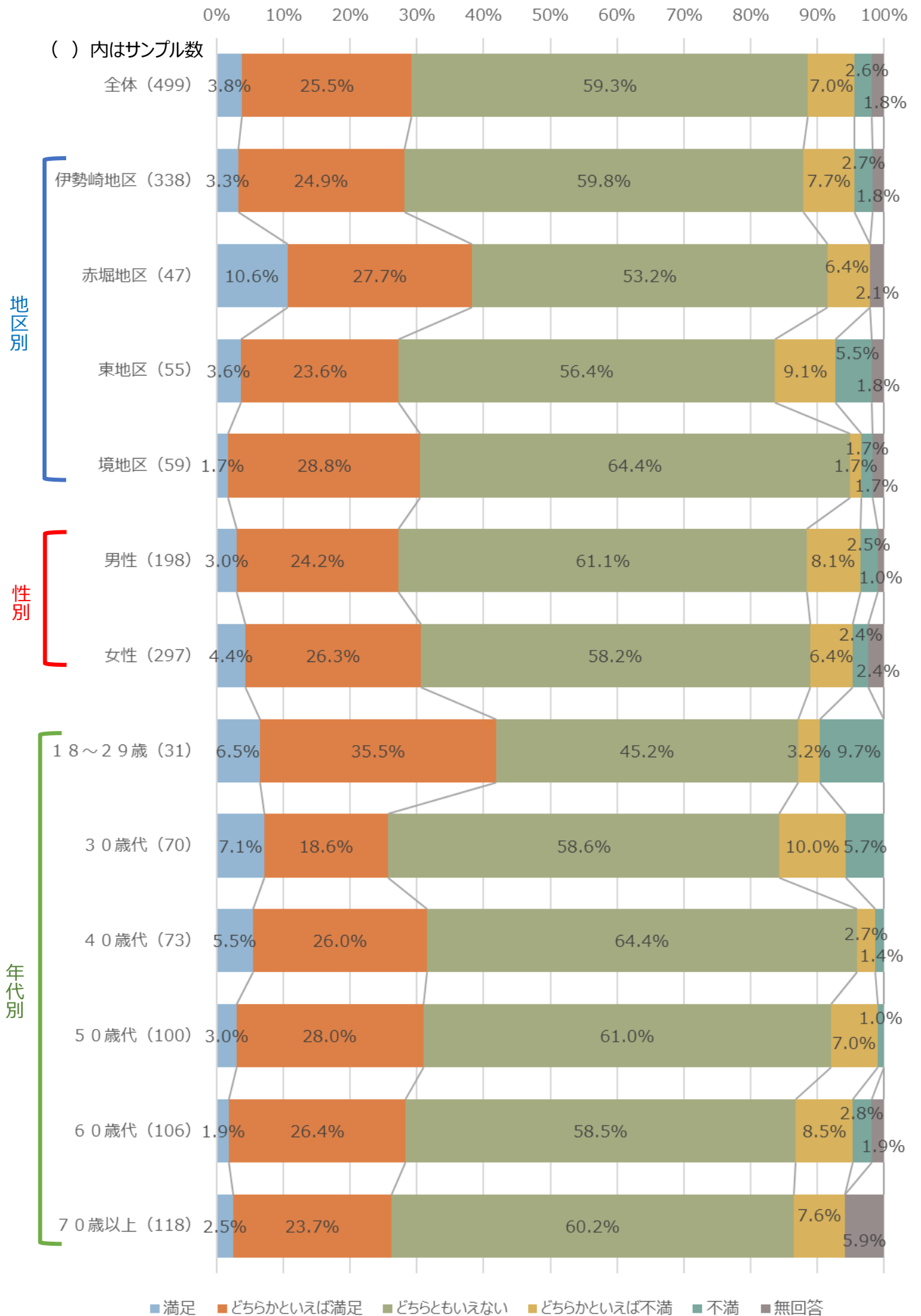
「人権を尊重するまちづくり」への満足度

| | 回答数 | 割合 |
|------------|-----|--------|
| 満足 | 19 | 3.8% |
| どちらかといえば満足 | 127 | 25.5% |
| どちらともいえない | 296 | 59.3% |
| どちらかといえば不満 | 35 | 7.0% |
| 不満 | 13 | 2.6% |
| 無回答 | 9 | 1.8% |
| 合計 | 499 | 100.0% |

「人権を尊重するまちづくり」への満足度の回答（割合）



「人権を尊重するまちづくり」への満足度の回答（割合）【地区別・性別・年代別】



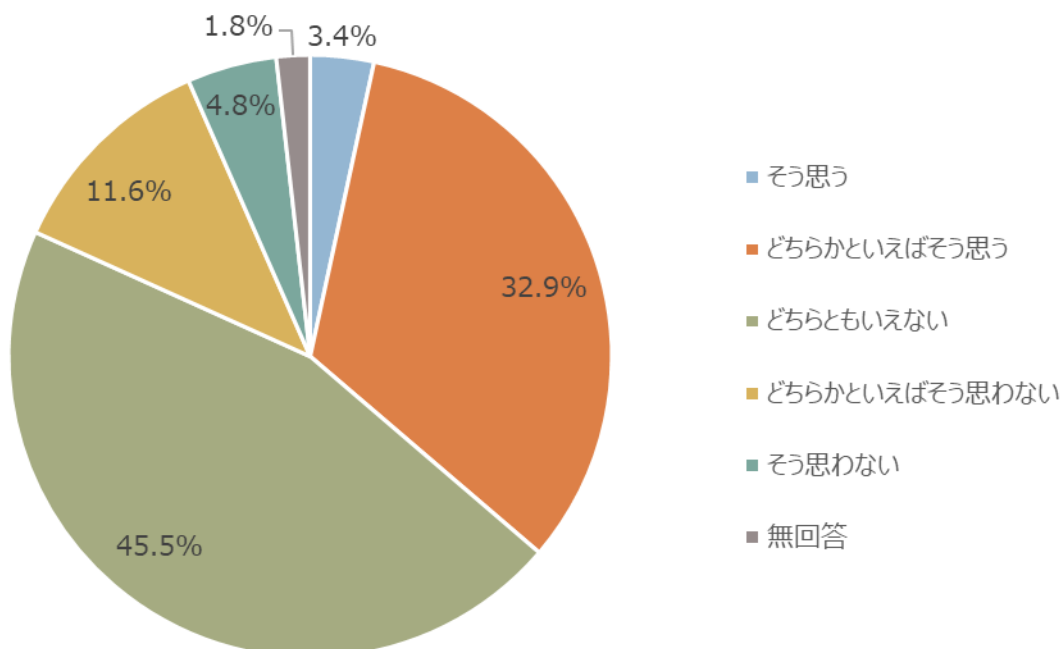
(31) 伊勢崎市はD Xが進んでいると思うか

伊勢崎市は行政手続においてデジタルの活用が進んでいると思うか聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」を含め「そう思う」と回答した人は 181 人(36.3%)、「どちらともいえない」と回答した人は 227 人(45.5%)、「どちらかといえばそう思わない」を含め「そう思わない」と回答した人は 82 人(16.4%)、「無回答」が 9 人(1.8%)となった。

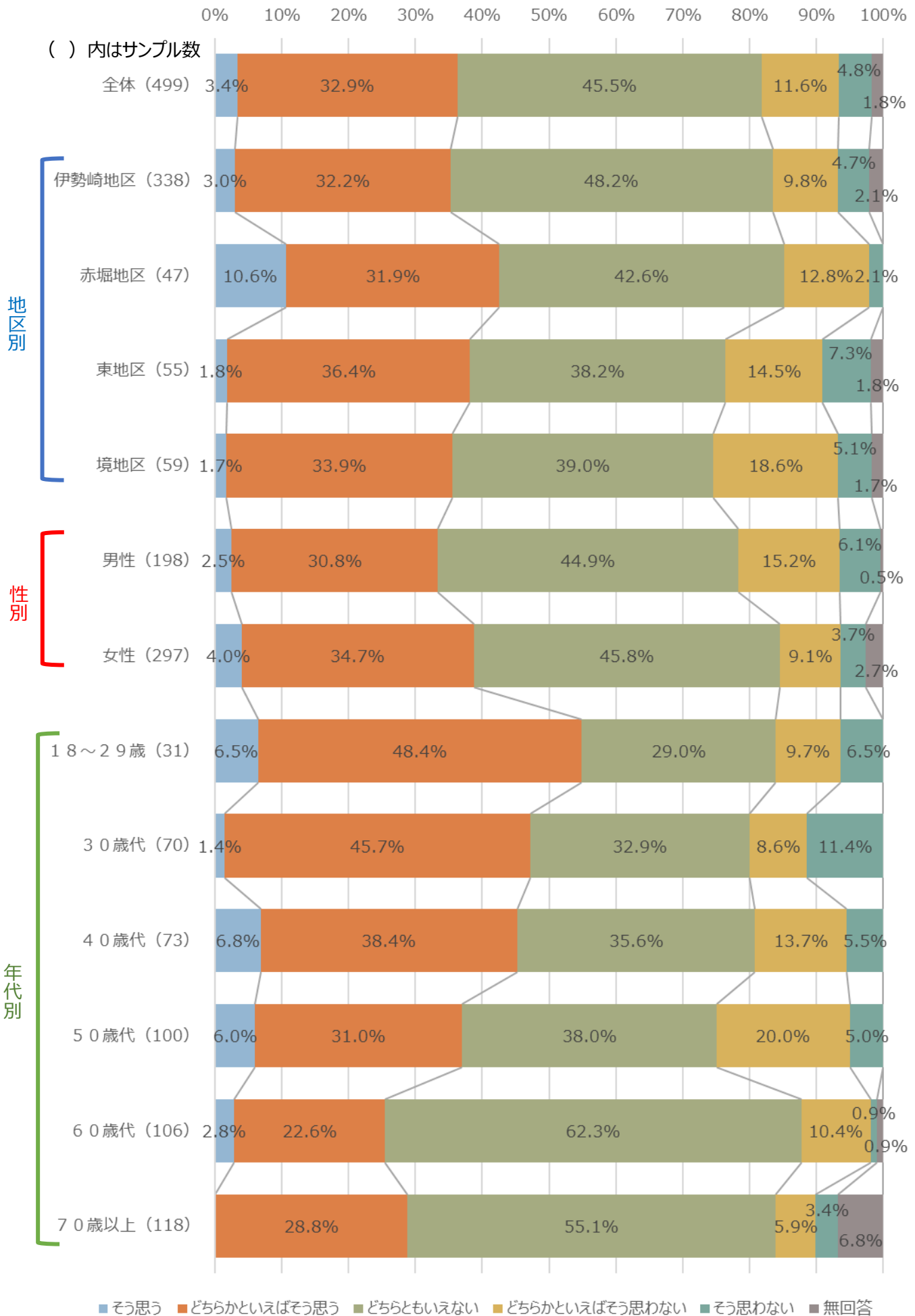
「伊勢崎市はD Xが進んでいると思うか」についての回答

| | 回答数 | 割合 |
|----------------|-----|--------|
| そう思う | 17 | 3.4% |
| どちらかといえばそう思う | 164 | 32.9% |
| どちらともいえない | 227 | 45.5% |
| どちらかといえばそう思わない | 58 | 11.6% |
| そう思わない | 24 | 4.8% |
| 無回答 | 9 | 1.8% |
| 合計 | 499 | 100.0% |

「伊勢崎市はD Xが進んでいると思うか」についての回答（割合）



「伊勢崎市はDXが進んでいると思うか」についての回答（割合）【地区別・性別・年代別】



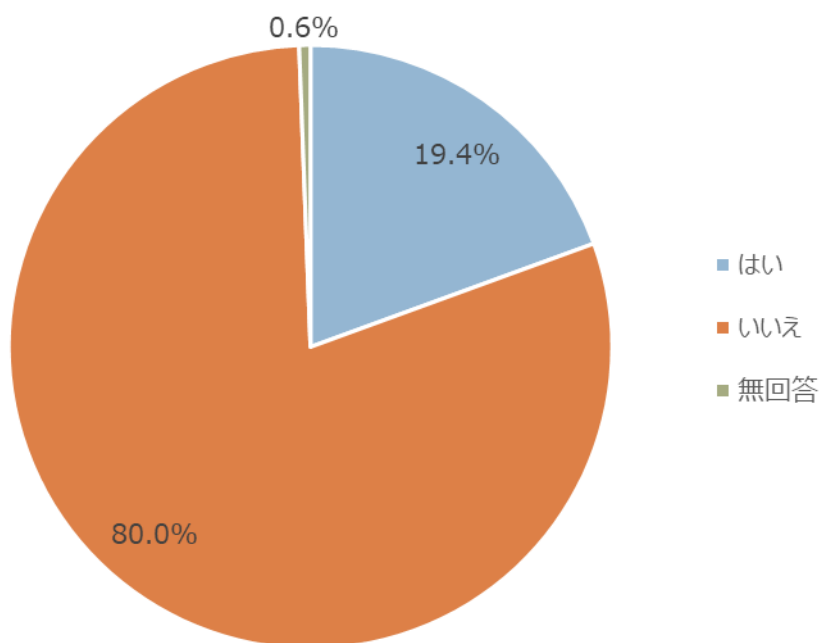
(32) 伊勢崎市が「SDGs 未来都市」であることの認知度

伊勢崎市が、令和6年5月に国の「SDGs 未来都市」に選定されたことについて知っているか聞いたところ、知っていた人は97人（19.4%）であり、知らなかった人は399人（80.0%）、無回答が3人（0.6%）であった。

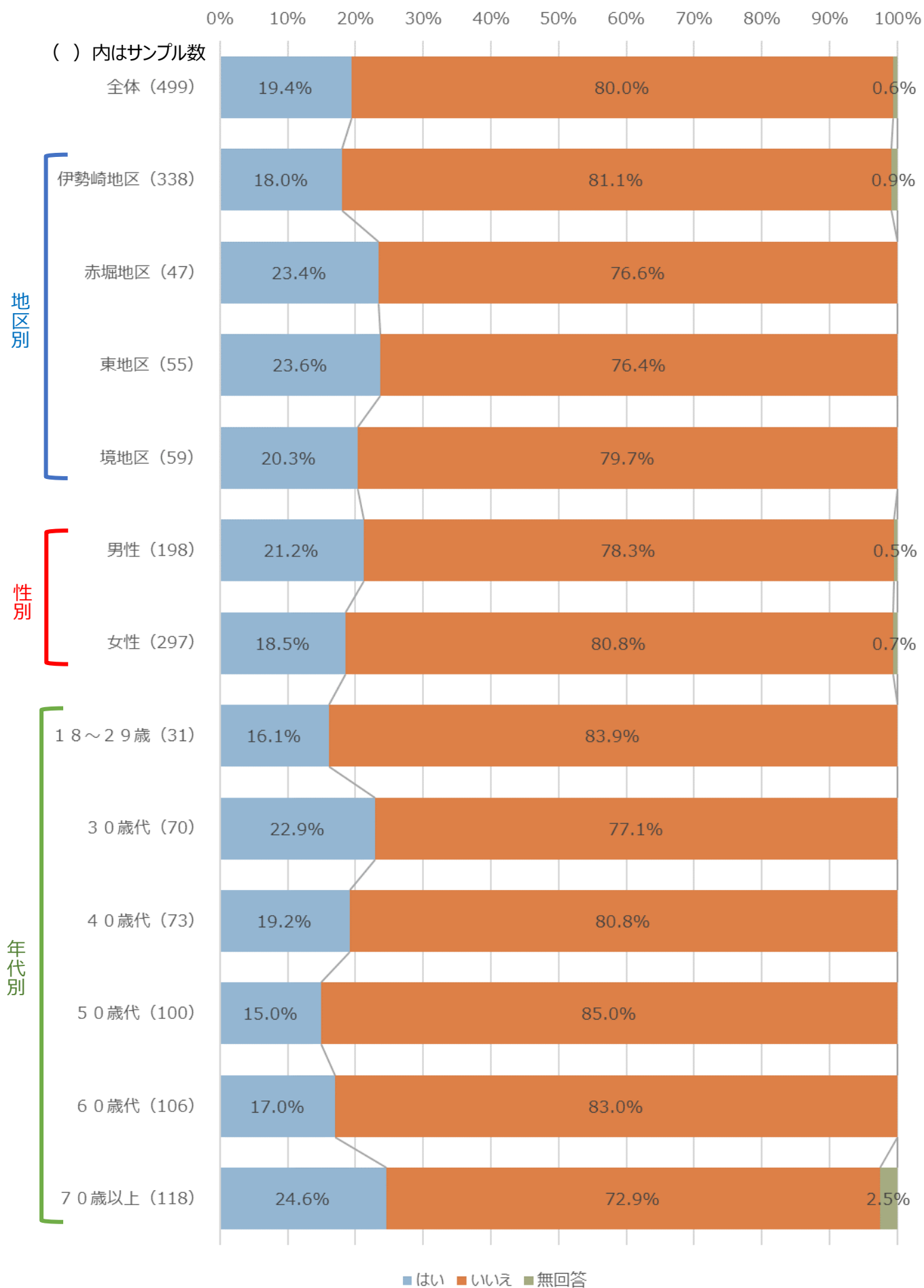
「伊勢崎市がSDGs 未来都市であること」の認知度の回答

| | 回答数 | 割合 |
|-----|-----|--------|
| はい | 97 | 19.4% |
| いいえ | 399 | 80.0% |
| 無回答 | 3 | 0.6% |
| 合計 | 499 | 100.0% |

「伊勢崎市がSDGs 未来都市であること」の認知度の回答（割合）



「伊勢崎市がSDGs未来都市であること」の認知度の回答（割合）【地区別・性別・年代別】



(33) 「いせさきGX」の認知度

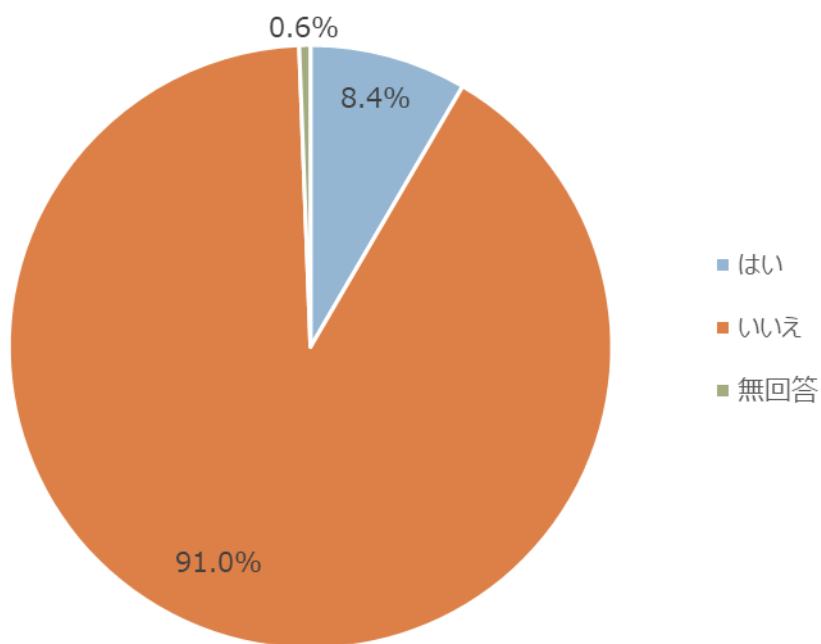
「いせさきGX[※]」について知っていたか聞いたところ、知っていた人は42人（8.4%）であり、知らなかった人は454人（91.0%）、無回答が3人（0.6%）であった。

※いせさきGX：「脱炭素に限定せず、一般的な環境問題への対応として、あらゆる主体が進める全ての取組を環境配慮という観点から検討・実行するもの。」

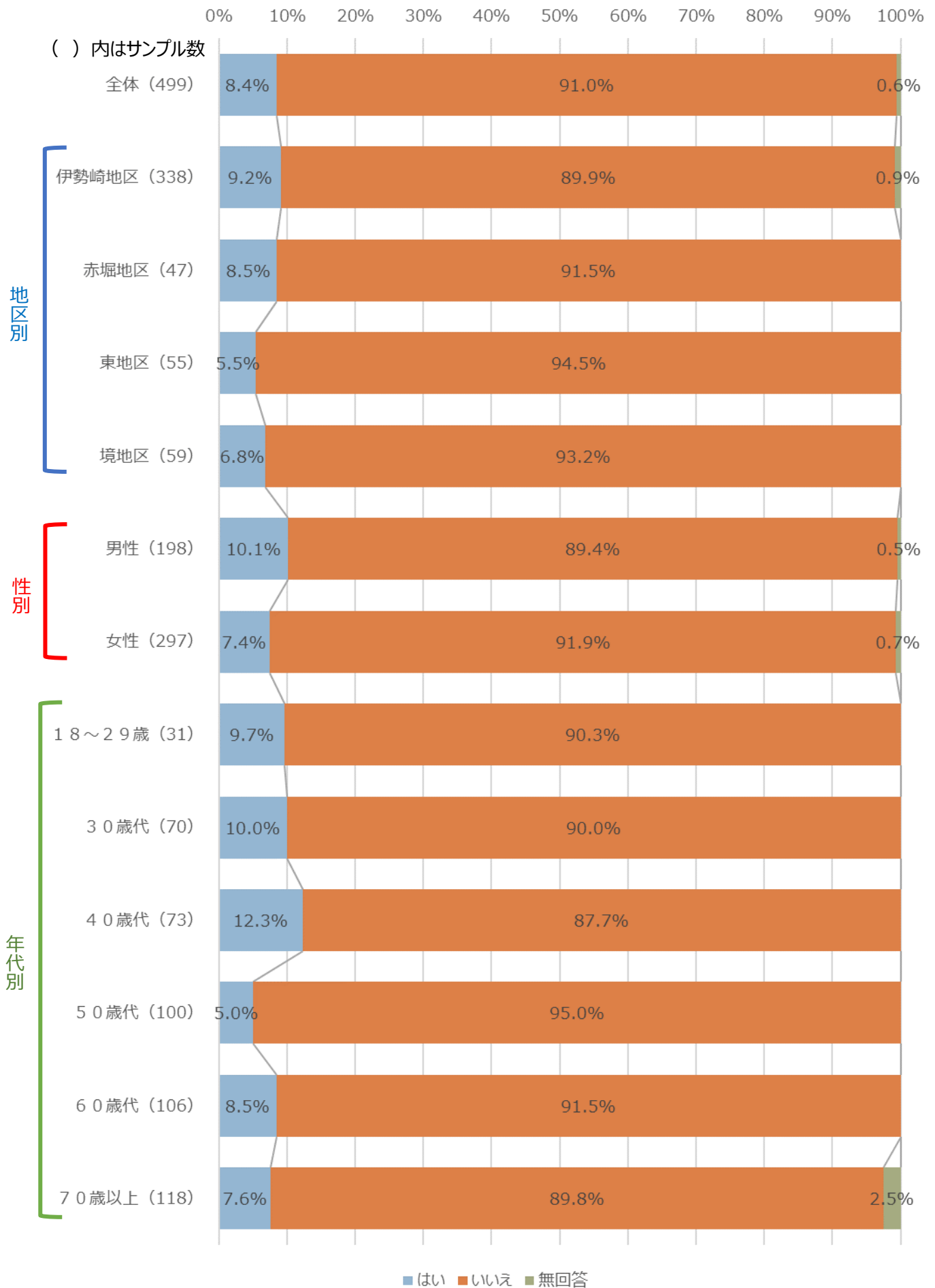
「いせさきGX」の認知度

| | 回答数 | 割合 |
|-----|-----|--------|
| はい | 42 | 8.4% |
| いいえ | 454 | 91.0% |
| 無回答 | 3 | 0.6% |
| 合計 | 499 | 100.0% |

「いせさきGX」の認知度（割合）



「いせさきGX」の認知度（割合）【地区別・性別・年代別】



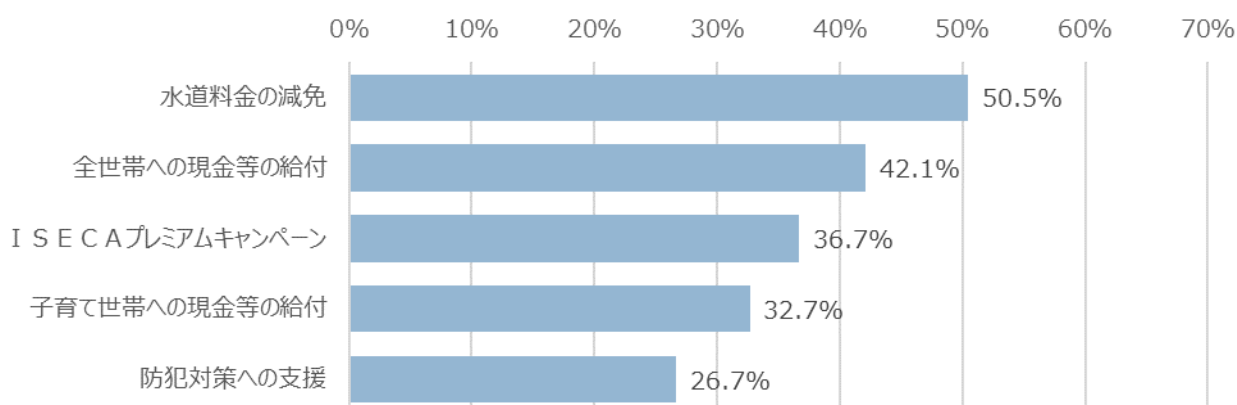
(34) 今後、市に実施してほしい取組

コロナ禍から続く物価高騰に対し、国の交付金を活用して伊勢崎市でも様々な支援策を実施してきたが、今後、市に実施してほしい取組について聞いたところ、「水道料金の減免」と回答した人が最も多く、252人(50.5%)となっている。以下、「全世帯への現金等の給付」が210人(42.1%)、「I S E C Aプレミアムキャンペーン」が183人(36.7%)と続いている。

「今後、市に実施してほしい取組」についての回答（複数回答）

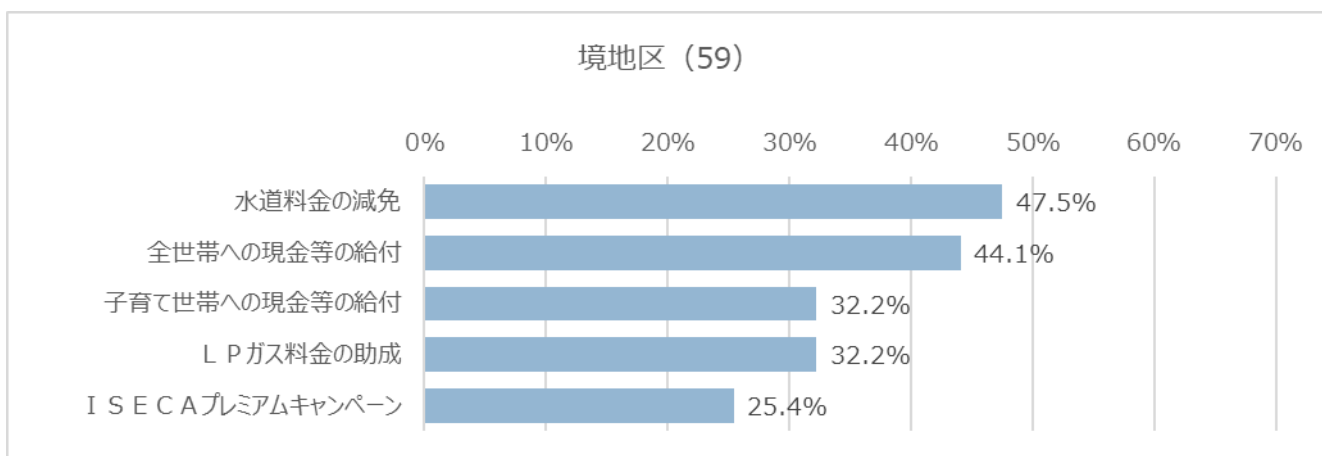
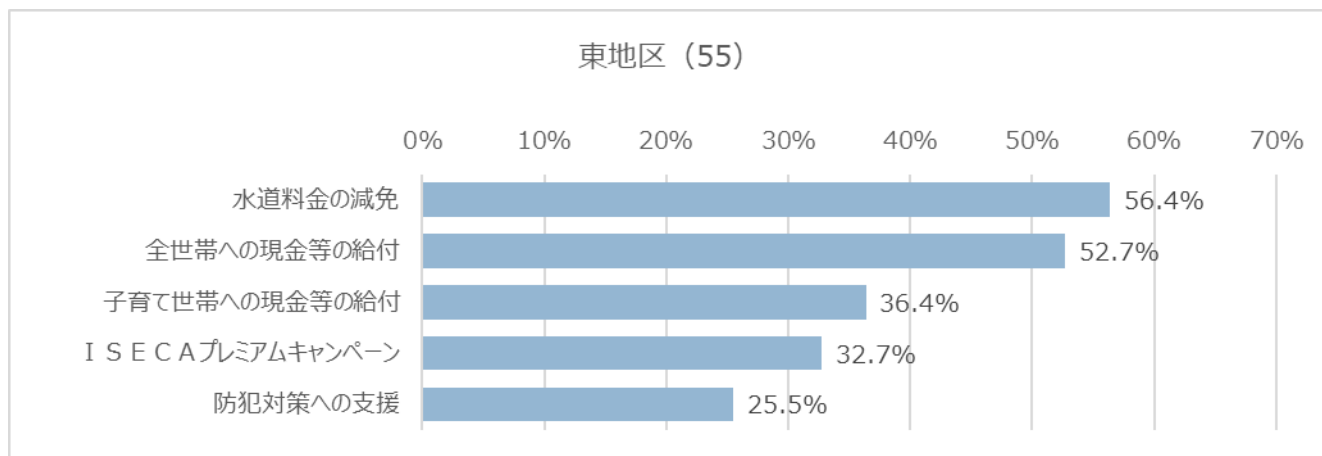
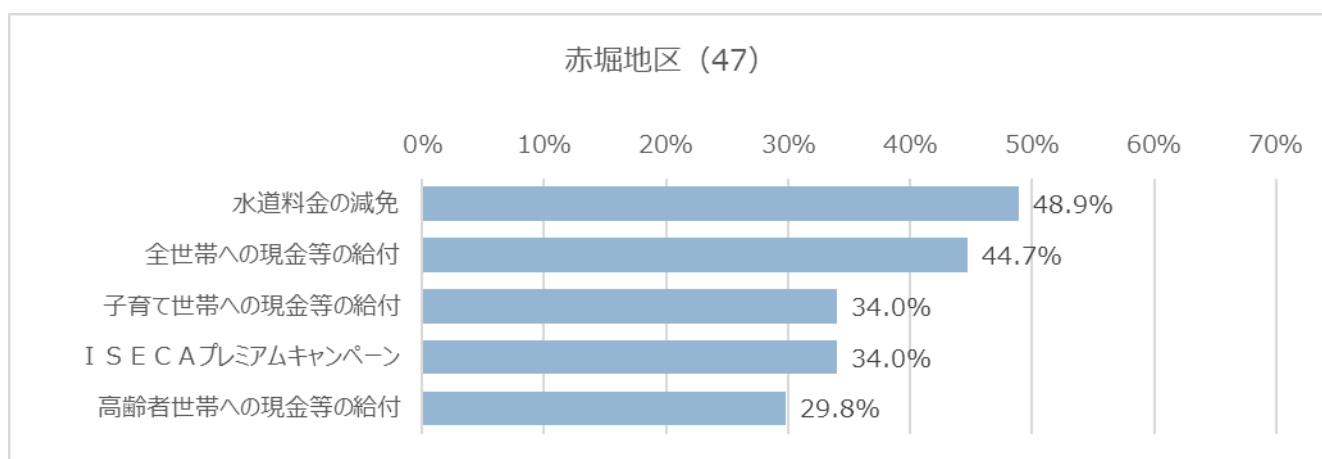
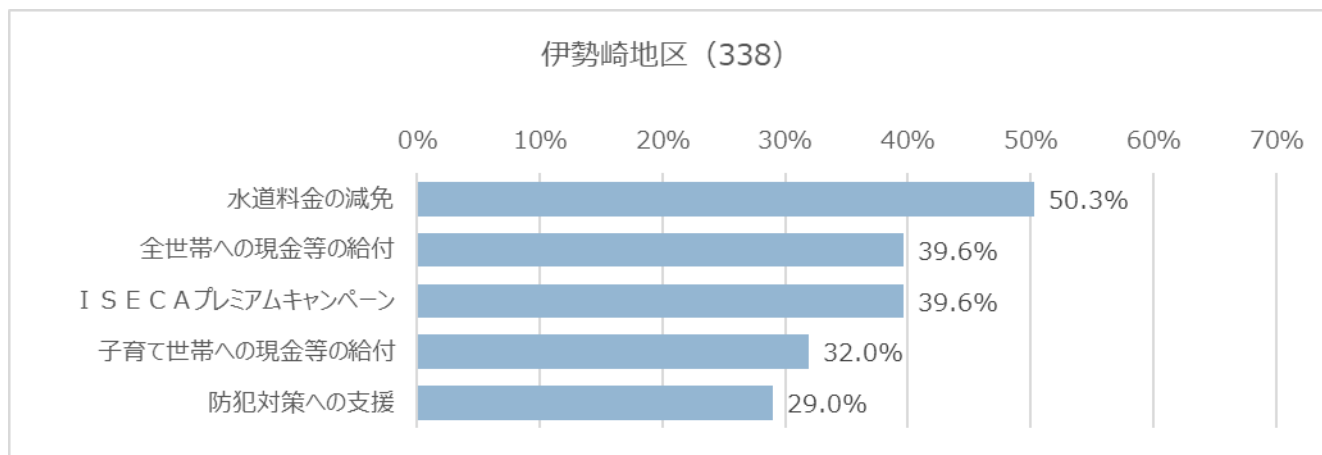
| | 回答数 | 割合 |
|----------------------|-----|-------|
| 水道料金の減免 | 252 | 50.5% |
| 全世帯への現金等の給付 | 210 | 42.1% |
| I S E C Aプレミアムキャンペーン | 183 | 36.7% |
| 子育て世帯への現金等の給付 | 163 | 32.7% |
| 防犯対策への支援 | 133 | 26.7% |
| 高齢者世帯への現金等の給付 | 130 | 26.1% |
| 低所得世帯への現金等の給付 | 108 | 21.6% |
| L P ガス料金の助成 | 108 | 21.6% |
| 省エネ家電等への買い替え費用の助成 | 93 | 18.6% |
| 無回答 | 5 | 1.0% |

「今後、市に実施してほしい取組」についての回答の上位5項目（複数回答・割合）



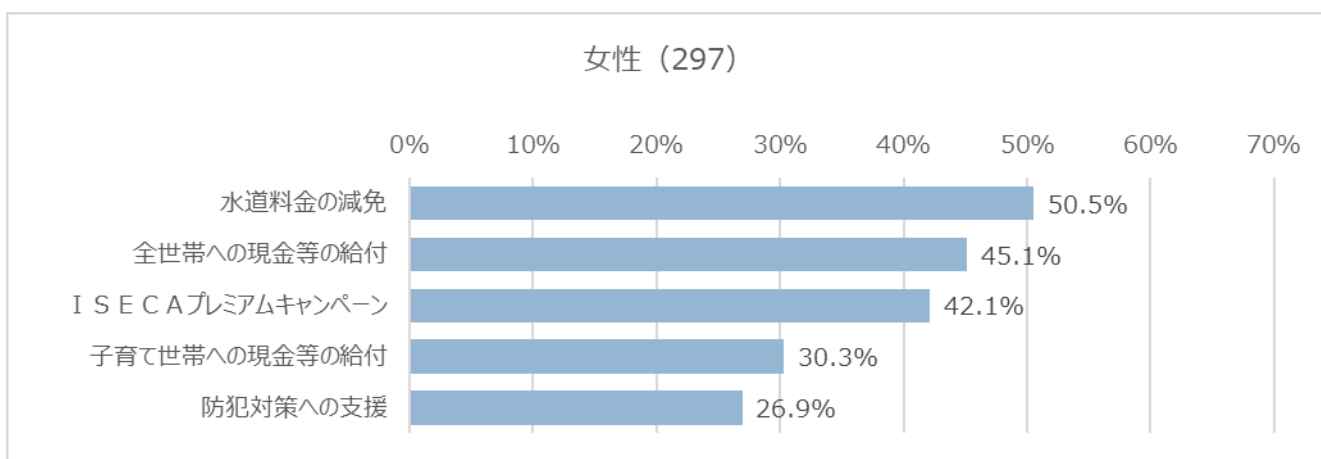
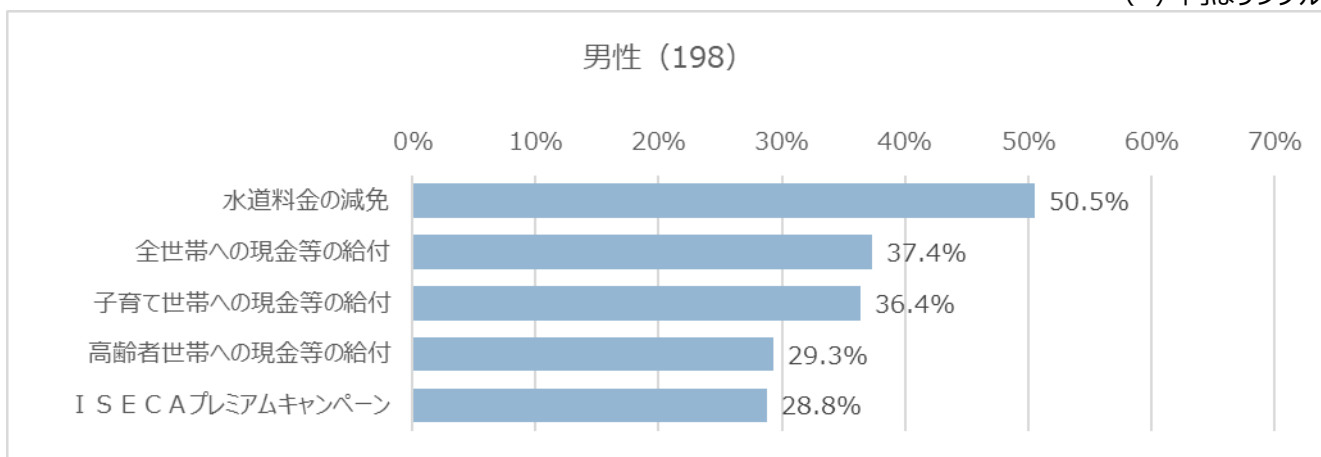
「今後、市に実施してほしい取組」の回答の上位5項目（複数回答・割合）【地区別】

() 内はサンプル数



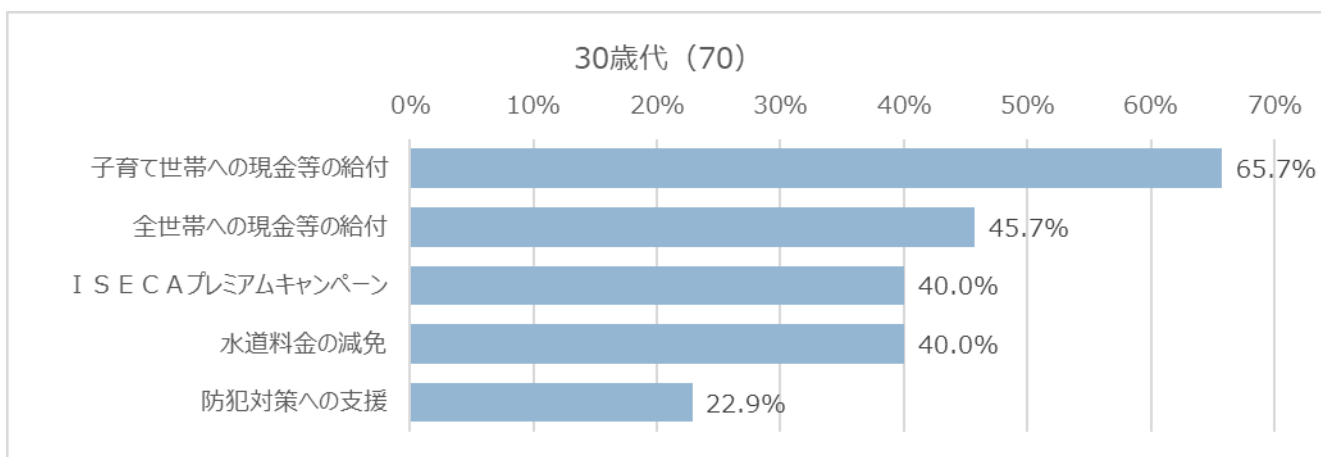
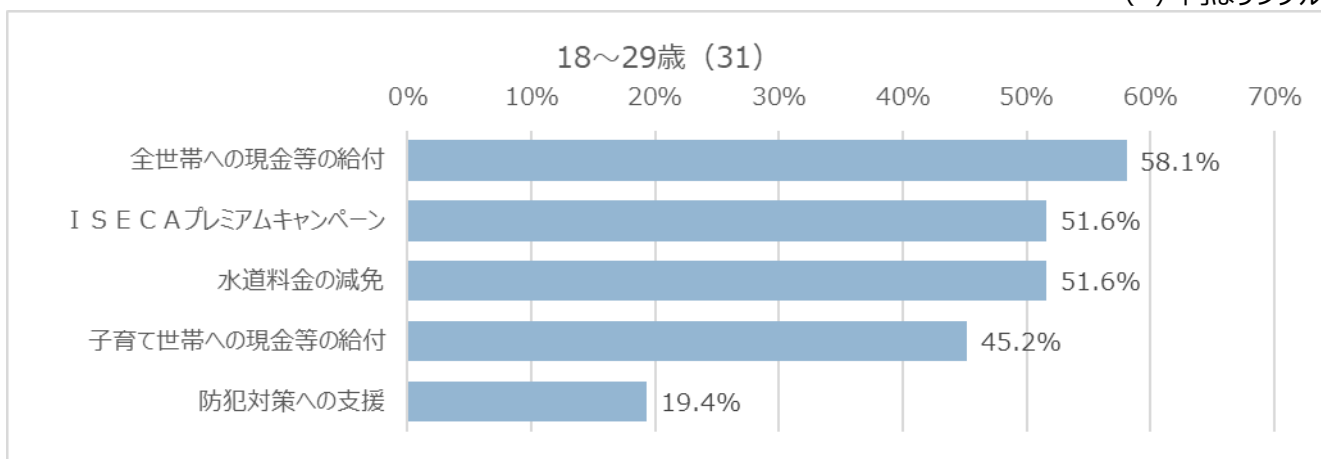
「今後、市に実施してほしい取組」の回答の上位5項目（複数回答・割合）【性別】

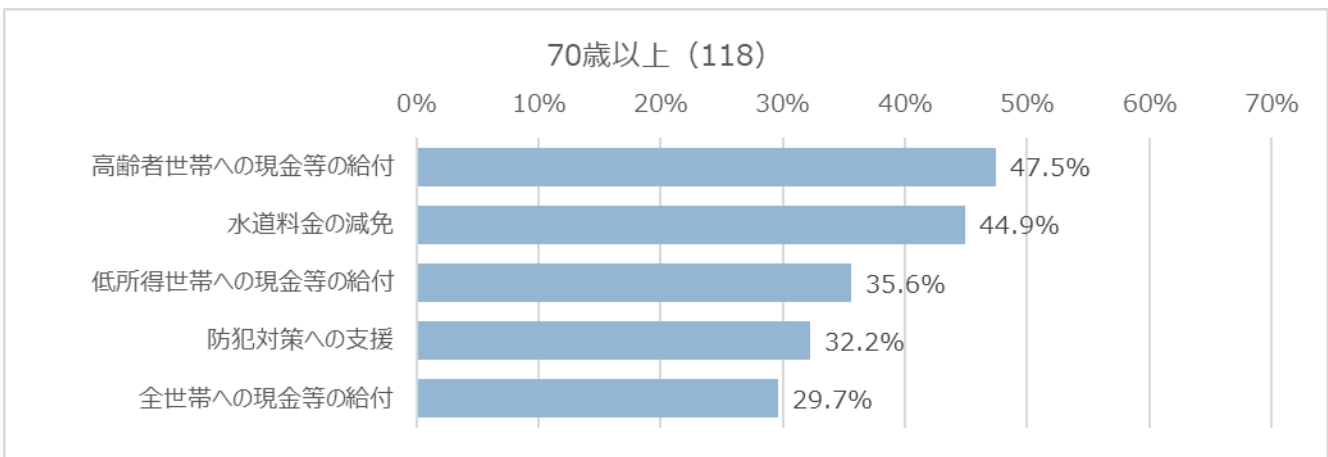
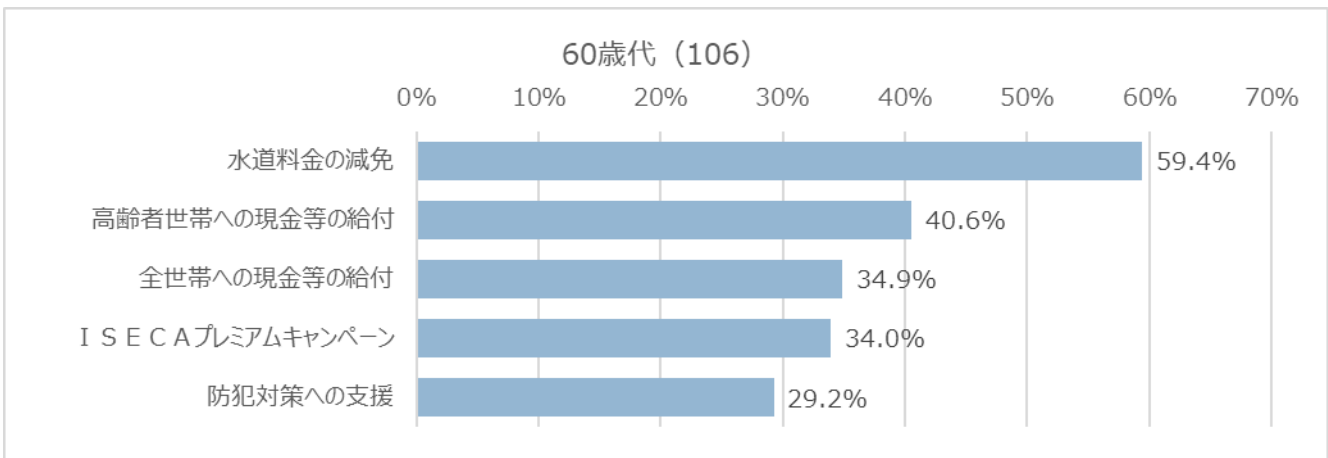
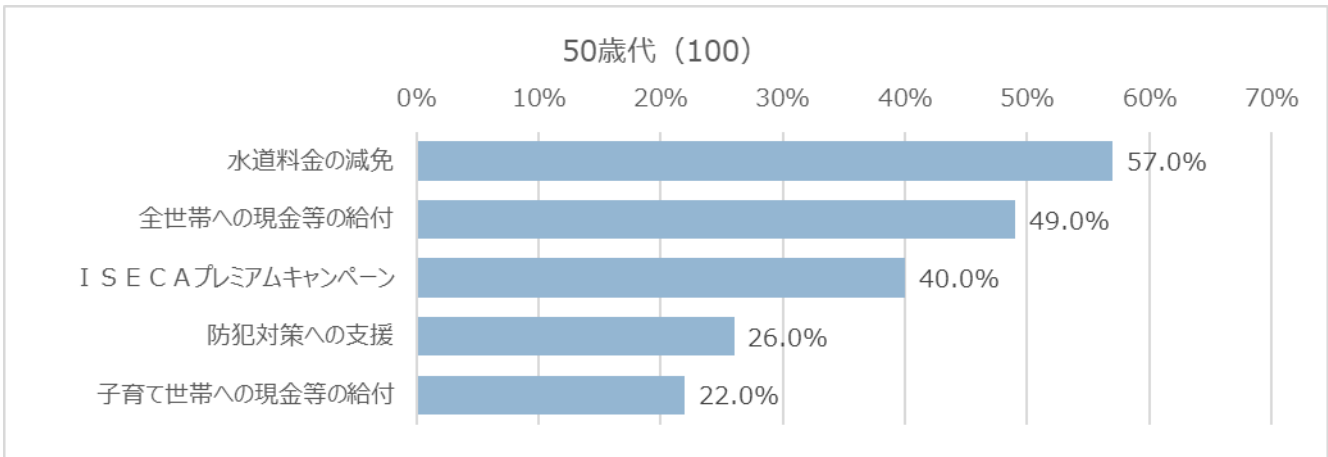
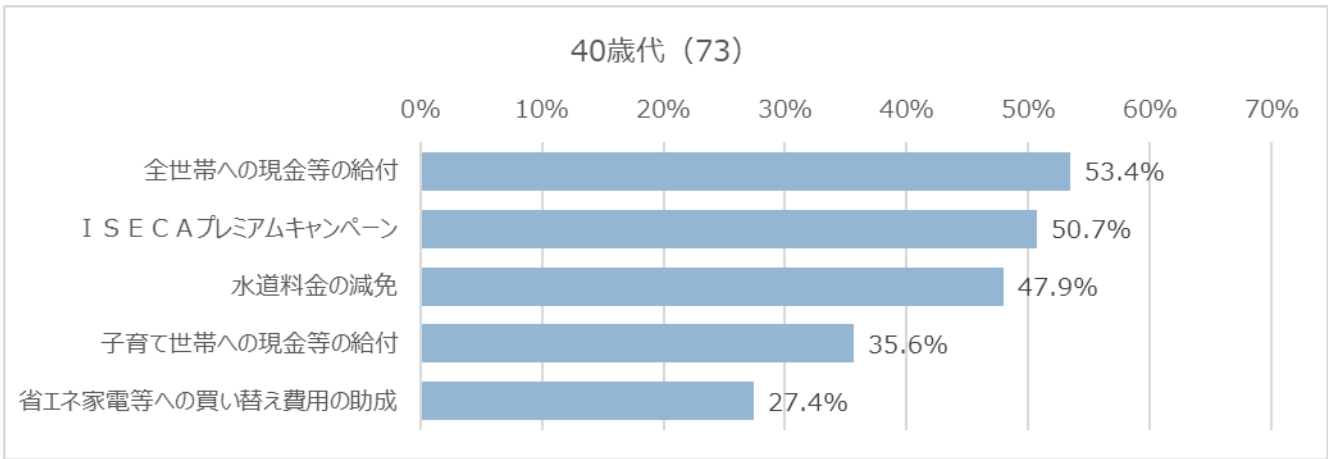
() 内はサンプル数



「今後、市に実施してほしい取組」の回答の上位5項目（複数回答・割合）【年代別】

() 内はサンプル数





◆「その他」の今後、市に実施してほしい取組（主なもの）

- ・高齢者世帯への減税・社会保険料の軽減
- ・子育て世帯への減税・社会保険料の軽減
- ・賃金上昇のための企業等への支援

■ 自由記述（まちづくりや市民サービスに対する意見・要望・提案等）

【少子高齢化対策】

- ・子育て支援を充実してほしい
- ・高齢者の移動手段を確保してほしい
- ・健康寿命延伸のための健康体操教室などを開催してほしい
- ・病児・病後児保育を充実させてほしい
- ・図書館の機能を見直すべき

【産業の活性化】

- ・商業施設を誘致してほしい
- ・空き家対策を強化してほしい
- ・企業誘致による雇用創出が必要
- ・地域資源を活かした観光振興を強化すべき

【暮らしの安心実現】

- ・防災・減災対策を強化してほしい
- ・道路インフラの整備をしてほしい
- ・公共交通機関を充実させてほしい
- ・公園の木や花をきれいに保ってほしい

【共生社会の実現】

- ・外国人への生活ルール周知を強化してほしい
- ・外国人との交流を促進すべき
- ・多文化共生施策の推進してほしい
- ・障害者支援を充実させてほしい

【DXの推進】

- ・行政手続のデジタル化を進めてほしい
- ・高齢者等に対してデジタル活用への支援をしてほしい

【SDGsの推進】

- ・環境保全と都市の緑化が必要
- ・持続可能な都市づくりを進めるべき

【その他】

- ・行政手続の簡素化や情報発信の強化をしてほしい
- ・地域の行事が小規模になってきてしまっていて寂しい

Ⅲ 参考資料（調査票）

伊勢崎市市民意識調査

あなたの15分が伊勢崎市の未来をつくります！

この調査は、市のこれまでの取組に対する評価や考えをお聞きし、今後のまちづくりに役立てることを目的とし、市民を代表してお答えいただく調査です。

回答に要する時間は15分程度です。お忙しいところ大変恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をお願いします。

令和8年3月

伊勢崎市長 臂 泰雄

令和8年 **3月16日（月）まで**にご回答ください。
回答時間の目安：15分

インターネットでの回答が便利です



◀左の2次元コードをスマートフォン等で読み取ってアクセスしてください。

紙の調査票で回答する場合

本調査票にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

令和8年3月16日（月）
消印有効

〈アンケート専用ページURL〉

<https://logoform.jp/form/Gpfu/1416971>

期日までにアンケートに回答していただいた方から

抽選で300名様に



500円分のISECAポイントをプレゼント。

※詳細は2ページをご覧ください。

〈お問合せ先〉
伊勢崎市役所企画部企画調整課

TEL：24-5111（直通：27-2707） FAX：23-9800
E-mail：kikaku@city.isesaki.lg.jp

《本アンケートについて》

- この調査は、18歳以上の市民の皆様から無作為に選んだ方々にご協力をお願いしています。
- 封筒のあて名のご本人が回答してください。ご本人による回答が困難な場合は、ご家族の方などのご協力をお願いいたします。
- 回答内容は、個人が特定できないよう、全て統計的に処理し、調査結果を市ホームページで公表します。

ISECAポイントの抽選への応募方法

回答期限 令和8年3月16日(月) ※消印有効

インターネットでの回答・応募が便利です

回答専用フォームでアンケートに回答

同ページ内の入力フォームに必要事項を入力

調査票で回答する場合

本調査票に回答

調査票に同封された
「ISECA会員コード確認書」
に必要事項を記入

回答済の調査票、ISECA会員
コード確認書を返送

当選者へポイントの付与

※抽選結果の発表は、ポイントの付与をもってかえさせていただきます。

ISECAポイントのプレゼントを受け取るには、ポイントプレゼントの申請前に伊勢崎市電子地域通貨のアプリ会員(chiicaのダウンロード)または、専用カード会員になる必要があります。

▶アプリ会員になる方法

アンドロイド端末の場合

- ① Google Play を起動
- ② 「chiica」または「チーカ」で検索
- ③ インストール

右記の二次元コードからもインストールできます。



iOS端末の場合

- ① App Store を起動
- ② 「chiica」または「チーカ」で検索
- ③ インストール

右記の二次元コードからもインストールできます。



【ISECAポイントが使えるお店】

- ◆市HP「ISECAまとめページ」
⇒【手順3】ISECAポイントを使う
⇒「使えるお店」からご確認下さい。

市ホームページ「ISECAまとめページ」



▶専用カード会員になる方法

- ① 市役所本庁舎北館2階 ISECA窓口にて利用申し込みをしてください。
- ② 申込時、本人確認をします。
(マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証などをお持ちください。)
不備等が無ければ、即日で専用カードを発行します。

※専用カードは残高を使い切ったとしても廃棄せず、継続して使ってください。

なお、専用カードからアプリにポイントを移行した場合は、アプリを利用してください。

※使い切りカードではありません。

■現在と将来の伊勢崎市についておたずねします。

(1) 現在の伊勢崎市のイメージについて、あてはまるものに○をつけてください。

| 項目 | | あてはまるものすべてに○ |
|-------------|---|--------------|
| 【子育て・教育】 | 未来の担い手が育ち、全ての人成長し続けられるまち | |
| 【健康・福祉】 | 誰もが健康で互いに支え合いながら生き生きと暮らせるまち | |
| 【産業・観光・文化】 | 経済の好循環が生まれ、活気にあふれ人が集えるまち | |
| 【まちづくり】 | 住環境と自然環境が調和した、心地良い空間で暮らせるまち | |
| 【安心安全】 | 1人ひとりが日頃から安全を意識し、安心して暮らせるまち | |
| 【環境】 | あらゆる活動で環境に配慮し、1人ひとりが脱炭素社会や循環型社会の実現に向けて行動できるまち | |
| 【共生・共創・行財政】 | 互いに認め合い、共に創る、未来に向かって持続発展できるまち | |

(2) 将来の伊勢崎市がどんな市になって欲しいかについて、あてはまるものに○をつけてください。

| 項目 | | あてはまるものすべてに○ |
|-------------|---|--------------|
| 【子育て・教育】 | 未来の担い手が育ち、全ての人成長し続けられるまち | |
| 【健康・福祉】 | 誰もが健康で互いに支え合いながら生き生きと暮らせるまち | |
| 【産業・観光・文化】 | 経済の好循環が生まれ、活気にあふれ人が集えるまち | |
| 【まちづくり】 | 住環境と自然環境が調和した、心地良い空間で暮らせるまち | |
| 【安心安全】 | 1人ひとりが日頃から安全を意識し、安心して暮らせるまち | |
| 【環境】 | あらゆる活動で環境に配慮し、1人ひとりが脱炭素社会や循環型社会の実現に向けて行動できるまち | |
| 【共生・共創・行財政】 | 互いに認め合い、共に創る、未来に向かって持続発展できるまち | |

■市の取組についておたずねします。

(3) 次に示す伊勢崎市の取組について、どれくらい満足していますか。取組ごとに、1～5の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

5＝満足 4＝どちらかといえば満足 3＝どちらともいえない 2＝どちらかといえば不満 1＝不満

| 取 組 | 満足度 | | | | |
|---------------------------------------|------|---|---|---|------|
| | 満足 ← | | | | → 不満 |
| 1 子どもを産み育てやすい環境づくり | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 あらゆる世代の人が生きがいをもち、心身ともに健康に活躍できる環境づくり | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 工業・農業等の生産力の向上・販路拡大の支援 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6 地域の魅力の情報発信や移住定住の促進など、にぎわいあるまちづくり | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7 災害時の情報伝達の強化や防災訓練の実施など、地域における防災力の強化 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8 災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11 外国人への、日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 12 性別や障害などで分け隔てることなく、多様な人材が活躍できるまちづくり | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 13 行政サービス等のデジタル化 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 14 デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 15 デジタルを活用した人にやさしいまちづくり | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 16 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 17 ごみの減量化・再資源化 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 18 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

(4) 伊勢崎市がもっと住みよいまちになるために、次に示す伊勢崎市の取組は、どれくらい重要だと思いますか。取組ごとに、1～5の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

5=重要

2=どちらかといえば重要でない

4=どちらかといえば重要

1=重要でない

3=どちらともいえない

| 取 組 | 重要度 | | | | |
|---------------------------------------|------|---|---|---|---------|
| | 重要 ← | | | | → 重要でない |
| 1 子どもを産み育てやすい環境づくり | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 地域の未来を担う児童・生徒が生き生きと学び育つ地域づくり | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 あらゆる世代の人が生きがいをもち、心身ともに健康に活躍できる環境づくり | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 工業・農業等の生産力の向上・販路拡大の支援 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 労働環境の向上と雇用確保の支援 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6 地域の魅力の情報発信や移住定住の促進など、にぎわいあるまちづくり | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7 災害時の情報伝達の強化や防災訓練の実施など、地域における防災力の強化 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8 災害に強く、快適に暮らすことができるまちづくり | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10 異なる文化や言語などの理解促進とグローバル人材の育成 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11 外国人への日本の文化や習慣、ルール、市民サービスの周知等の支援 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 12 性別や障害などで分け隔てることなく、多様な人材が活躍できるまちづくり | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 13 行政サービス等のデジタル化 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 14 デジタル化を牽引する人材の育成や確保 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 15 デジタルを活用した人にやさしいまちづくり | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 16 温室効果ガス排出量削減に向けた取組 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 17 ごみの減量化・再資源化 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 18 水と緑あふれる自然環境と快適な生活環境の保全 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

(5) 伊勢崎市は「互いに認め合う多文化共生」を推進しています。以下の取組について、どれくらい満足していますか。〈あてはまるもの1つに○〉

具体的な取組：外国人向け日本語教室、各種行政サービスの翻訳や通訳、企業等関係機関と連携、多文化交流のイベントや講座の開催など

| 満足 | どちらかといえば満足 | どちらともいえない | どちらかといえば不満 | 不満 |
|----|------------|-----------|------------|----|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

(6) 伊勢崎市は「人権を尊重するまちづくり」を推進しています。以下の取組について、どれくらい満足していますか。〈あてはまるもの1つに○〉

具体的な取組：人権法律行政相談、教職員を対象とした人権教育に係る研修、講演会やパネル展などの啓発、相談・支援体制の強化など

| 満足 | どちらかといえば満足 | どちらともいえない | どちらかといえば不満 | 不満 |
|----|------------|-----------|------------|----|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

(7) 現在、社会のあらゆる分野でデジタル化が進められていますが、伊勢崎市は行政手続において、デジタルの活用が進んでいると思いますか。〈あてはまるもの1つに○〉

| そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらともいえない | どちらかといえばそう思わない | そう思わない |
|------|--------------|-----------|----------------|--------|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

(8) 伊勢崎市が「SDGs未来都市^{※1}」に選定されていることを知っていますか。

〈あてはまるもの1つ〉

| |
|---|
| <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ |
|---|

※1 SDGs未来都市：SDGsの達成に向けた取組を積極的に進めている自治体を、国が認定する制度。伊勢崎市は、令和6年5月に選定されました。SDGs未来都市として、多文化共生の推進を軸に、経済・社会・環境の3つの側面における相乗効果・好循環の実現を目指します。

(9) 「いせさきGX^{※2}」について知っていますか。〈あてはまるもの1つ〉

| |
|---|
| <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ |
|---|

※2 いせさきGX：脱炭素に限定せず、一般的な環境問題への対応として、あらゆる主体が進める全ての取組を環境配慮という観点から検討・実行するもの。市が進める全ての施策や事業に「環境配慮」を取り入れ、市の取組のどこを取っても環境に配慮されている状態を目指します。

(10) コロナ禍から続く物価高騰に対し、国の交付金を活用して伊勢崎市でも様々な支援策を実施してきましたが、今後、市に実施してほしい取組について、1～9の中から3つまで選んで記入してください。

1～9から3つ
まで選んで記入⇒

1. 低所得世帯への現金等の給付
2. 全世帯への現金等の給付
3. 子育て世帯への現金等の給付
4. 高齢者世帯への現金等の給付
5. 防犯対策への支援
6. ISECAプレミアムキャンペーン
7. LPガス料金の助成
8. 省エネ家電等への買い替え費用の助成
9. 水道料金の減免

その他に実施してほしい支援策があれば、ご記入ください。

| |
|--|
| |
| |
| |

■ 定住意向についておたずねします。

(11) あなたのお住まいの地区は。〈あてはまるもの1つ〉

- 伊勢崎地区※
- 赤堀地区
- 東地区
- 境地区

※伊勢崎地区：北地区、南地区、殖蓮地区、茂呂地区、三郷地区、宮郷地区、名和地区、豊受地区

(12) お住まいの地区の住みやすさについて、どのように感じていますか。〈あてはまるもの1つ〉

- 住みやすい
- どちらかといえば住みやすい
- どちらともいえない
- どちらかといえば住みにくい
- 住みにくい

(13) お住まいの地区の住みやすいと思う点について、下の1～14から3つまで選んで記入してください。

1～14から3つ
まで選んで記入⇒

1. 車での移動がしやすい
2. バスなどの公共交通機関が便利
3. 通勤・通学先が近い
4. 地域での人間関係がよい
5. 買い物などが便利
6. 自然環境が良い
7. 学校・図書館などの教育施設が充実している
8. 公園・スポーツ施設が充実している
9. 子育てをする環境が充実している
10. 高齢者・障害者への対応が充実している
11. 医療体制が充実している
12. 災害の被害が少ない(小さい)
13. 魅力的な仕事が充実している
14. 学校教育が充実している

その他に住みやすいと思う点があれば、ご記入ください。

| |
|--|
| |
| |
| |

(14) お住まいの地区の住みにくいと思う点について、下の1～14から3つまで選んで記入してください。

1～14から3つ
まで選んで記入⇒

1. 車での移動がしにくい
2. バスなどの公共交通機関が不便
3. 通勤・通学先が遠い
4. 地域での人間関係が悪い
5. 買い物などが不便
6. 自然環境が悪い
7. 学校・図書館などの教育施設が少ない
8. 公園・スポーツ施設が少ない
9. 子育てをする環境が充実していない
10. 高齢者・障害者への対応が充実していない
11. 医療体制が充実していない
12. 災害の被害が多い（大きい）
13. 魅力的な仕事が少ない
14. 学校教育が充実していない

その他に住みにくいと思う点があれば、ご記入ください。

| |
|--|
| |
| |
| |

(15) 現在のお住まいの直前に住んでいたところはどちらですか。〈あてはまるもの1つ〉

- 生まれてからずっと現在の住まい
- 市内の別住所
- 県内の他市町村
- 群馬県以外

(16) 伊勢崎市をお住まいとして選んだ理由は何ですか。〈あてはまるものすべて〉

- 生まれ育った場所だから
- 自分や家族の持家があるから
- 家賃や住宅の価格が手ごろだから
- 親や子、親族、友人などがいるから
- 通勤・通学に便利だから
- 買い物、医療などの生活環境が整っているから
- 子育ての環境が整っているから
- 余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから
- 街ににぎわいや活気があるから
- 街並みや景観がよいから
- 自然が身近にあるから
- 街のイメージがよいから
- 長年住んでいて愛着があるから
- 伊勢崎市が好きだから
- 特に理由はない
- その他 ()

(17) あなたは伊勢崎市に愛着を感じていますか。〈あてはまるもの1つ〉

- 愛着を感じている
- やや愛着を感じている
- どちらともいえない
- あまり愛着を感じていない
- 愛着を感じていない

(18) これからもずっと今のお住まいに住み続けますか。〈あてはまるもの1つ〉

- ずっと住んでいたい
- 当分住んでいたい
- どちらともいえない
- できれば移りたい
- 移りたい
- 移るかもしれないがいずれ戻ってきたい

(19) 現実の問題は別として、もし転居するとしたら、どこを希望されますか。〈あてはまるもの1つ〉

- 伊勢崎市内 →設問(21)へ
- 現在の住まいがいい →設問(21)へ
- 県内の他市町村 →設問(20)へ
- 群馬県以外 →設問(20)へ
- 具体的にはわからない →設問(21)へ

(20) (19)で「県内の他市町村」または「群馬県以外」選んだ方におたずねします。

(19)で選んだ転居先を希望するのは、どのような理由からですか。

〈あてはまるものすべて〉

- 生まれ育った場所だから
- 自分や家族の持家があるから
- 家賃や住宅の価格が手ごろだから
- 親や子、親族、友人などがいるから
- 通勤・通学に便利だから
- 買い物、医療などの生活環境が整っているから
- 子育ての環境が整っているから
- 余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから
- 街ににぎわいや活気があるから
- 街並みや景観がよいから
- 自然が身近にあるから
- 街のイメージがよいから
- 長年住んでいて愛着があるから
- 特に理由はない
- その他 ()

■あなたご自身についておたずねします。

(21) あなたの性別は。〈あてはまるもの1つ〉

- 男性
- 女性
- その他

(22) あなたの年齢は。〈あてはまるもの1つ〉

- 18～29歳
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳以上

(23) 一緒に住んでいる家族等は。〈あてはまるものすべて〉

- 配偶者
- 子ども
- 孫
- 自分または配偶者の親
- 一人暮らし
- その他

家族等の年齢について

- 全員が65歳以上
- 全員が18歳～64歳
- 18歳未満の人がいる
- その他

(24) あなたの居住形態は。〈あてはまるもの1つ〉

- 持ち家（一戸建て・マンション）
- 借家
- 会社の寮や社宅
- その他

